

弘前市

子ども・子育て支援事業に関する

ニーズ調査報告書

令和6年10月

青森県 弘前市

目次

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
(1) 調査票の種類と調査対象者等	1
3 調査の実施方法と配布・回収状況	2
(1) 調査時期と調査方法	2
(2) 調査の配布・回収状況からみた調査信頼度	2
4 報告書の見方について	3
(1) 年齢・学年の定義	3
(2) 電算処理等の注意点	3
5 調査対象者の属性・家族状況	3
(1) 居住地域の状況	3
(2) 児童の属性	4
(3) 調査回答者の状況と配偶者の有無	5
6 利用できる子育て支援サービスの種類	6
7 調査結果のまとめ	7

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

1 子育て環境について	9
(1) 1. 就学前児童の主な保育者と親族等協力者の状況	9
2. 小学生の主な保育者と親族等協力者の状況	12
(2) 1. 就学前児童の子育てに関する相談者の状況	15
2. 小学生の子育てに関する相談者の状況	15
2 主な保育者とその就労状況	16
(1) 1. 就学前児童の母親の就労状況	16
2. 小学生の母親の就労状況	19
(2) 1. 就学前児童の父親の就労状況	22
2. 小学生の父親の就労状況	25

第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望	29
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	29
(2) 幼稚園	33
(3) 幼稚園の預かり保育	36
(4) 認可保育所	39
(5) 認定こども園	42
(6) 事業所内保育施設	45
(7) その他認可外の保育施設	48

(8)	定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由	51
(9)	「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向	53
(10)	休日の教育・保育事業の利用意向	55
(11)	1. 就学前児童の病児・病後児保育事業の潜在ニーズ	60
	2. 小学生の病児・病後児保育事業の潜在ニーズ	65
2	地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向	69
(1)	地域子育て支援拠点事業の利用について	69
(2)	1. 就学前児童の不定期の教育・保育事業や 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	71
	2. 小学生の不定期の保育や宿泊を伴う施設の利用について	77
3	放課後の過ごし方について	84
(1)	1. 就学前児童の平日の放課後の過ごし方について	84
	2. 小学生の平日の放課後の過ごし方について	90
(2)	1. 就学前児童の土曜・休日の放課後児童クラブ利用希望について	95
	2. 小学生の土曜・休日の放課後児童クラブ利用希望について	97
(3)	1. 就学前児童の長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望について	101
	2. 小学生の長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望について	102
4	子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について	103
5	地域における子育て環境や支援について	104
(1)	1. 就学前児童の保護者が感じる子育ての楽しさ・つらさ・孤立感	104
	2. 小学生の保護者が感じる子育ての楽しさ・つらさ・孤立感	106
(2)	1. 就学前児童の保護者に対する子育て支援	108
	2. 小学生の保護者に対する子育て支援	109
(3)	1. 就学前児童の保護者の仕事と子育ての両立について	110
	2. 小学生の保護者の仕事と子育ての両立について	111
(4)	1. 就学前児童の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度	112
	2. 小学生の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度	112

第4章 子ども・子育て支援に関する意見・要望等

1	子育てサポートに関する意見・要望等	113
(1)	就学前児童の子育てサポートに関する意見・要望等（問 11）	113
(2)	小学生の子育てサポートに関する意見・要望等（問 11）	114
2	子育て環境や支援に関する意見・要望等	115
(1)	就学前児童の子育て環境や支援に関する意見・要望等（問 38）	115
(2)	小学生の子育て環境や支援に関する意見・要望等（問 29）	116

資料編

1	「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査票」の見本	117
(1)	就学前児童の保護者用	117
(2)	小学生の保護者用	138

第1章

調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

すべての家庭が安心して子育てができ、子どもたちが健やかに成長できる社会の実現を目指すために、子ども・子育て関連3法に基づく子ども・子育て支援新制度が平成27年4月に施行されました。「子ども・子育て支援法」では、「市町村子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけられました。

弘前市では、子ども・子育て関連3法の趣旨を踏まえ平成27年3月に「第1期弘前市子ども・子育て支援事業計画」を策定、令和2年3月には「第2期弘前市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、弘前市の実情に応じた質の高い教育・保育の提供及び地域の子育て支援の充実にかかわる施策を推進してきました。

現在の計画が令和6年度末で終期を迎えることから、令和7年度を始めとする「第3期弘前市子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

計画策定の基礎資料とするため、子どもたちの普段の現状や子育て家庭の状況等を把握し、子育て支援における課題を整理することを目的に調査を実施しました。

2 調査の設計

(1) 調査票の種類と調査対象者等

調査対象者の調査内容は、以下のとおりです。

図表1.1 調査の実施方法

	調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」	
	「就学前児童用」	「小学生用」
調査対象者	就学前児童を持つ保護者	小学生を持つ保護者
調査件数	4,000件	6,498件
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭等の子育て環境 ・保護者の就労状況 ・定期的な教育・保育事業の現状・利用意向 ・地域の子育て事業の現状・利用意向 ・お子さんの病気等の際の対応 ・不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用・利用意向 ・小学校就学後の過ごし方 ・地域における子育て環境や支援の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭等の子育て環境 ・保護者の就労状況 ・お子さんの病気等の際の対応 ・不定期の保育や宿泊を伴う施設の利用状況 ・お子さんの放課後の過ごし方 ・長期休暇期間の放課後児童クラブの利用希望 ・地域における子育て環境や支援の状況

3 調査の実施方法と配布・回収状況

(1) 調査時期と調査方法

子ども子育て支援ニーズ調査は、令和6年6月13日～令和6年7月3日にかけて実施しました。調査方法は、就学前児童のいる世帯は無作為に抽出し、郵送による調査依頼、小学生のいる世帯は全数を対象にし、学校を通じて調査依頼、ともにWEBでの回答で実施しました。

(2) 調査の配布・回収状況からみた調査信頼度

調査によるそれぞれの配布・回答状況は、以下のとおりです。

ニーズ調査では、各種の教育・保育事業のニーズ量を推計することから、調査の信頼度（95%）が求められています。今回の調査では、信頼度の必要サンプル数を上回る0～2歳で1,101人、3～5歳で1,112人、小学1～3年生で1,570人、小学4～6年生で1,456人から回答をいただきました。

図表 1.2 調査票の配布・回収状況

保護者	地区	配布数	回収数	回収率
就学前児童	市全域	4,000人	2,224人	55.6%
	0～2歳	2,030人	1,101人	54.2%
	3～5歳	1,970人	1,112人	56.4%
	年齢不詳	—	11人	—
小学生	市全域	6,498人	3,026人	46.6%
	1～3年生	3,237人	1,570人	48.5%
	4～6年生	3,261人	1,456人	44.6%
	年齢不詳	—	—	—

図表 1.3 調査の信頼度

保護者	地区	対象者数	回収数	必要サンプル数
就学前児童	市全域	5,503人	2,224人	359人
	0～2歳	2,479人	1,101人	333人
	3～5歳	3,024人	1,112人	341人
小学生	市全域	6,498人	3,026人	363人
	1～3年生	3,237人	1,570人	344人
	4～6年生	3,261人	1,456人	344人

■社会調査信頼度の95%の計算式

$$n = \frac{N}{\left(\frac{E^2}{K}\right) \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

- ※ n : サンプル数
- N : 全体の人数 (母集団)
- E : 許容できる誤差の範囲
- P : 母比率 = 0.5 (50%のときに最大のサンプル数となるため)
- K : 信頼度係数 = 1.96 (通常、信頼度95%を基準とするため)

4 報告書の見方について

(1) 年齢・学年の定義

就学前児童・小学生の年齢定義は、ニーズ調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

図表 1.4 ニーズ調査における年齢・学年定義

年齢区分	該当する生年月	年齢区分	該当する生年月
0歳児	令和5年4月以降	1年生	平成29年4月～平成30年3月
1歳児	令和4年4月～令和5年3月	2年生	平成28年4月～平成29年3月
2歳児	令和3年4月～令和4年3月	3年生	平成27年4月～平成28年3月
3歳児	令和2年4月～令和3年3月	4年生	平成26年4月～平成27年3月
4歳児	平成31年4月～令和2年3月	5年生	平成25年4月～平成26年3月
5歳児	平成30年4月～平成31年3月	6年生	平成24年4月～平成25年3月

(注) 調査期間【令和6年度】における年齢定義

(2) 電算処理等の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

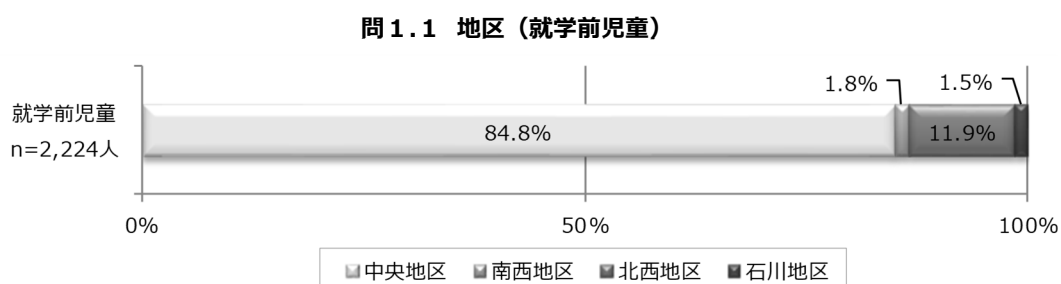
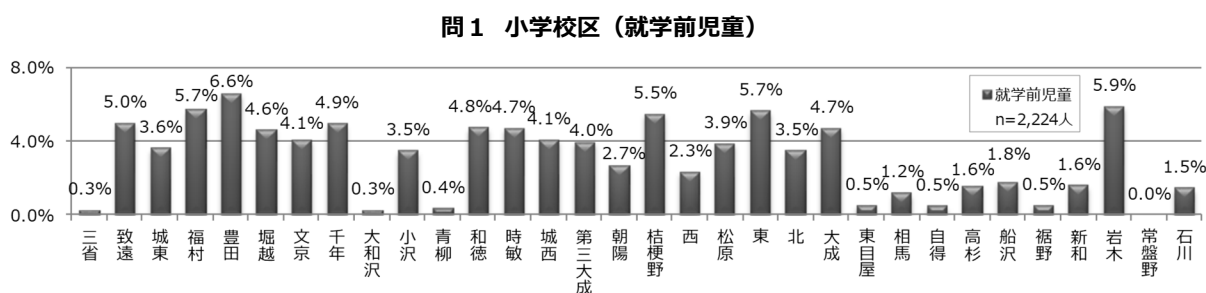
なお、回答数が少ない場合、コメントの記載を省略している場合があります。

また、今回調査からの新規設問については、(新規)と記載しております。

5 調査対象者の属性・家族状況

(1) 居住地域の状況

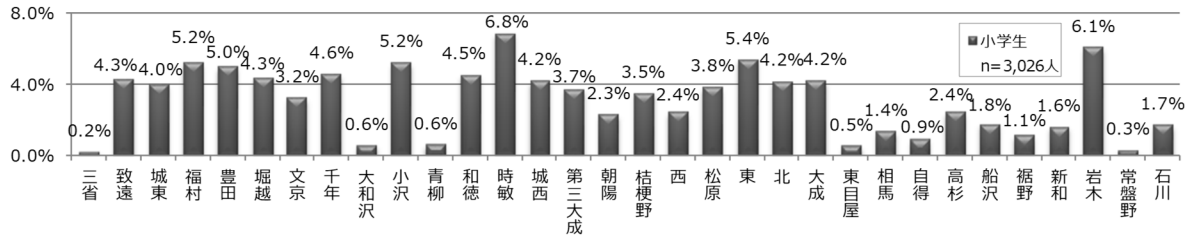
ア。「就学前児童」 回答者が居住している地域の状況は以下のとおりです。



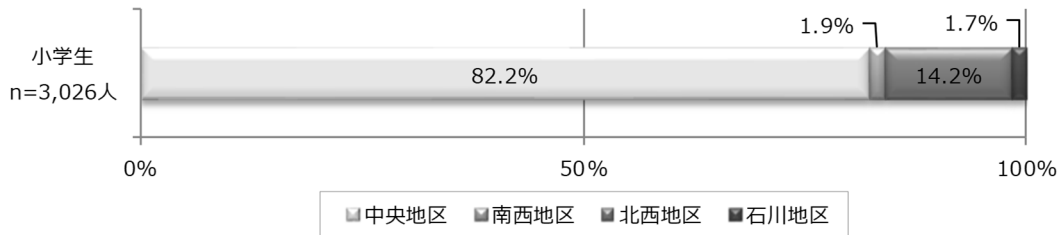
第1章 調査実施の概要

イ.「小学生」 回答者が居住している地域の状況は以下のとおりです。

問1 小学校区（小学生）



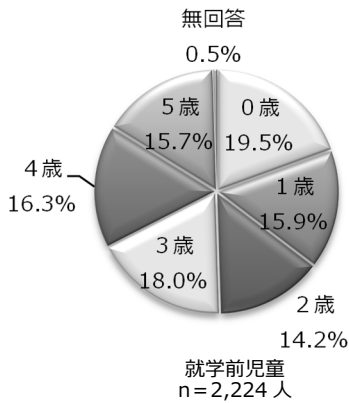
問1.1 地区（小学生）



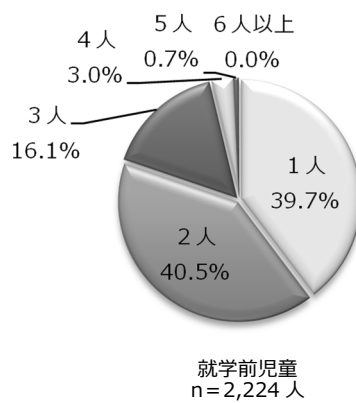
(2) 児童の属性

ア.「就学前児童」 回収された2,224件の就学前児童の属性は以下のとおりです。

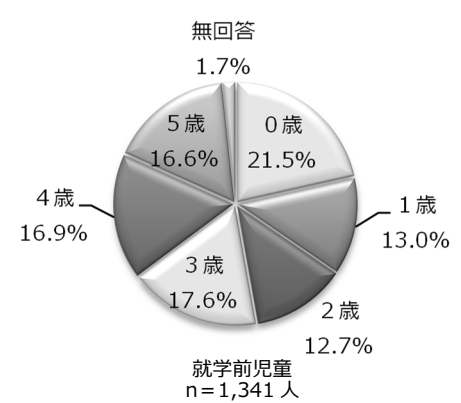
問2 年齢



問3 子どもの人数

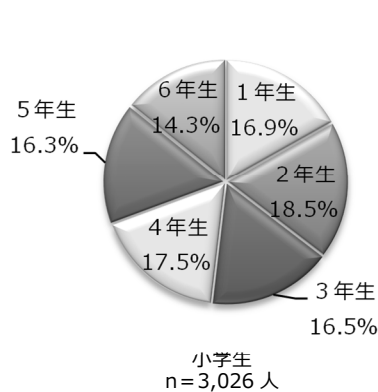


問3.1 末子の年齢（2人兄弟以上）

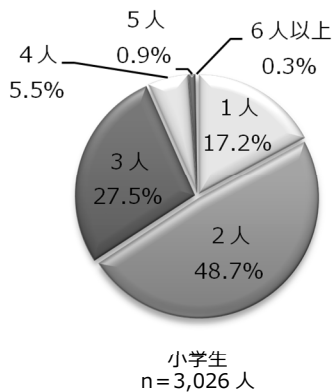


イ.「小学生」 回収された3,026件の小学生の属性は以下のとおりです。

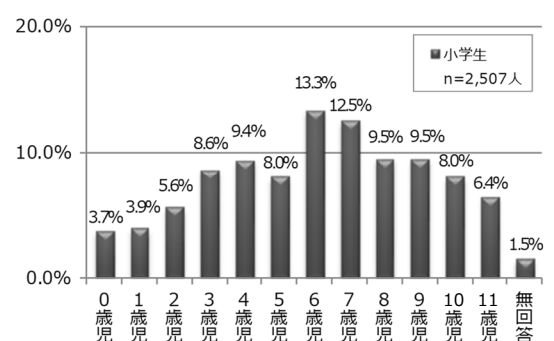
問2 学年



問3 子どもの人数



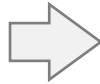
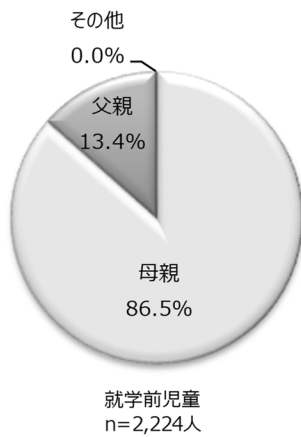
問3.1 末子の年齢（2人兄弟以上）



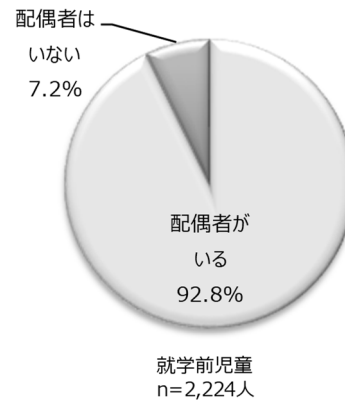
(3) 調査回答者の状況と配偶者の有無

ア. 「就学前児童」 この調査の回答者は、次のとおりです。

問4 調査回答者

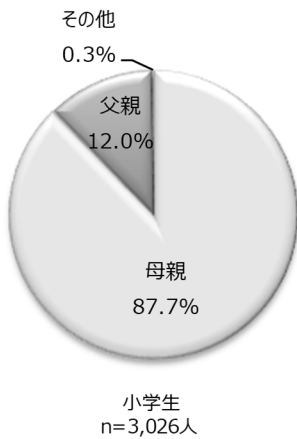


問5 配偶者の有無

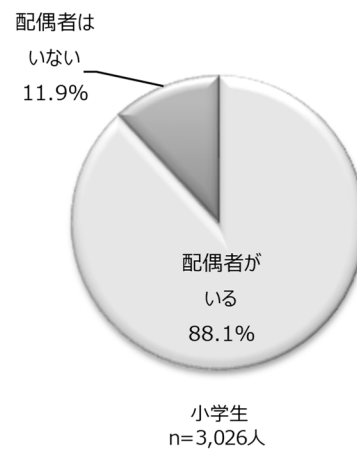


イ. 「小学生」 この調査の回答者は、次のとおりです。

問4 調査回答者



問5 配偶者の有無



6 利用できる子育て支援サービスの種類

弘前市の子育て家庭が現在利用できる環境にある、子育て支援サービスは下表のとおりです。

図表 1.5 弘前市で利用できる環境にある教育・保育事業と地域の子育て支援事業

分類	子育て支援サービス名	事業の説明
(1) 幼児期の教育・保育事業		
	①幼稚園	・通常の就園時間を利用
	②幼稚園の預かり保育	・通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ
	③認可保育所	・国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの
	④認定こども園	・幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
	⑤事業所内保育施設	・企業が主に従業員用に運営する施設
	⑥その他の認可外の保育施設	・県の認可を受けていない保育施設（ベビーホテル等）
(2) 地域の子育て支援事業		
	①地域子育て支援拠点事業	・親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれる事業
	②妊婦健康診査事業	・母親とおなかの赤ちゃんの健康を守り、妊婦の状況をチェックする検診
	③乳児家庭全戸訪問事業	・生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児に関する不安や悩みの相談に応じ、子育て支援の情報提供などを行う
	④子育て短期支援事業	・保護者が病気や仕事・出産・育児疲れなどで一時的に養育ができなくなった子どもを児童養護施設等で預かる事業
	⑤一時預かり事業	・保護者が断続的な就労や疾病・災害・看護・冠婚葬祭など、一時的に保育が必要な場合に子どもを預かる事業
	⑥延長保育事業	・保護者の就労形態等の事情により、子どもを通常の保育時間を超えて保育する事業
	⑦病児・病後児保育事業	・病中や病気の回復期にある子どもを、一時的に預かる事業
	⑧放課後児童健全育成事業	・就労などの事情により昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中、保護者に代わって行う保育事業

7 調査結果のまとめ

① 子育て支援の環境や支援に対する満足度

就学前児童の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度は、「やや満足+満足」(30.9%)が「やや不満+不満」(21.3%)を9.6ポイント上回りました。また、回答に5点から1点まで、5段階で点数を付けて集計したところ、平均点は3.09点となり、「普通」(3点)よりやや高くなっています。【問37】

小学生では、「やや満足+満足」(28.8%)が「やや不満+不満」(21.9%)を6.9ポイント上回りました。また、平均点は3.06点となり、就学前児童と同様に、「普通」(3点)よりやや高くなっています。【問28】

② 地域の人や社会の支援

就学前児童の保護者の62.0%が、自身の子育てが地域の人や社会に支えられていると感じていますが、誰に支えられているかについては、「同じ世代の子どもを持つ保護者」(64.4%)が最も多く、当事者同士の相互の支え合いが、子育て支援において大きな役割を担っている状況がうかがえます。また、「子育て支援などに関わる教育・保育事業の職員」は61.3%となっています。【問35.1、問35.2】

小学生の保護者の63.7%が、自身の子育てが地域の人や社会に支えられていると感じていますが、誰に支えられているかについては、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が76.7%と、就学前児童の保護者を12.3ポイント上回っています。「子育て支援などに関わる教育・保育事業の職員」は43.1%と、就学前児童の保護者と比べて18.2ポイント低くなっています。【問26.1、問26.2】

小学生の保護者の仕事と子育てを両立させるうえで大変なことは、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりにみてくれる人がいないこと」が40.2%と最も多くなっていますが、就学前児童の保護者の50.8%を10.6ポイント下回っています。【問27、問36】

③ 教育・保育事業の現状と今後の利用希望

就学前児童の平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望の伸びをみると、「幼稚園」で16.5ポイント、「幼稚園の預かり保育」で13.3ポイント、「認可保育所」で12.9ポイントの10ポイント以上の伸びとなっています。さらに、「認定こども園」では20.9ポイント増加し、希望が高いことがうかがえます。

また、現状利用はないが、今後の利用希望として、「小規模な保育施設」が10.7%、「ファミリー・サポート・センター」が8.1%となっています。【問15-1、問17】

④ 母親の就労状況

就学前児童の母親の就労状況をみると、産休・育休・介護休業中の人を除き73.0%の人が就労しています。帰宅時間は19時台までが合計97.8%で、そのうち「18~19時台」が42.5%となっています。また、母親の就労日数では「6日以上/週」が20.1%います。【問12(1)、問12(1)-1、問12(1)-2】

小学生の母親の就労状況をみると、産休・育休・介護休業中の人を除き85.1%の人が就労しており、就学前児童の保護者を12.1ポイント上回っています。帰宅時間は19時台までが97.5%で、そのうち「18~19時台」が38.5%となっています。【問12(1)、問12(1)-1、問12(1)-2】

⑤ **放課後の過ごし方の希望**

就学前児童の放課後の過ごし方の希望をみると、小学校低学年のうち「放課後児童クラブ」が 50.7%、「児童館・児童センター」が 49.9%となっていますが、小学校高学年になるとそれぞれ約 20 ポイント減少し、その減少が「自宅」、「塾や習い事」、「部活動・スポーツ少年団」へ移行しています。【問 29、問 30】

小学生の現在の放課後の過ごし方をみると、「自宅」（62.8%）が最も多く、次いで「放課後児童クラブ」（27.5%）、「塾や習い事」（27.4%）、「児童館・児童センター」（24.5%）が主な過ごし方で、小学校高学年の希望では「部活動・スポーツ少年団」、「塾や習い事」が増加しています。【問 19、問 20】

塾や習い事などへの移動手段としては、「家族等の送迎」が 66.8%と最も多くなっています。【問 19-1】

⑥ **地域子育て支援拠点事業に対する利用者**

就学前児童の地域子育て支援拠点事業の利用者は 21.9%、類似事業は 1.1%となっており、「利用していないが今後利用したい」の新規利用希望者も 22.8%と低率にとどまっています。未利用者の利用希望回数は、1 週当たり、1 か月当たりのいずれも「1 回」が最も多くなっています。【問 18、問 19、問 19.1】

⑦ **子育てに関する公的な相談体制**

就学前児童の保護者の 91.0%は、子育てに関して気軽に相談できる人が「いる／ある」と回答していますが、その相談相手は「祖父母等の親族」（79.0%）、「友人や知人」（70.9%）が多くなっており、相談機能の役割を担っている施設・窓口をみると、「子育て支援施設」（8.5%）、「保健センター」（1.8%）、「自治体の子育て関連相談窓口」（1.8%）などは 1 割未満にとどまり、気軽に相談できる相談先としての機能を高める必要があると思われます。【問 10、問 10-1】

小学生の保護者も、87.5%が気軽に相談できる人が「いる／ある」と回答していますが、就学前児童と同様の傾向で、「子育て支援施設」（6.7%）、「自治体の子育て関連相談窓口」（0.8%）は 1 割未満にとどまっています。【問 10、問 10-1】

⑧ **事業の周知状況と今後の利用意向**

就学前児童の保護者の子育て支援事業の周知・利用状況は、認知度が高いにもかかわらず、利用状況が低い事業として「②保健センターの情報・相談事業」（19.4%）、「⑥子育ての総合相談窓口」（14.3%）、「④教育相談センター・教育相談室」（5.2%）があげられます。これらの事業の今後の利用意向をみると、「②保健センターの情報・相談事業」は 34.9%、「⑥子育ての総合相談窓口」は 43.2%、「④教育相談センター・教育相談室」は 35.7%となっています。【問 20A～C】

第2章

子育て家庭を取り巻く環境

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

1 子育て環境について

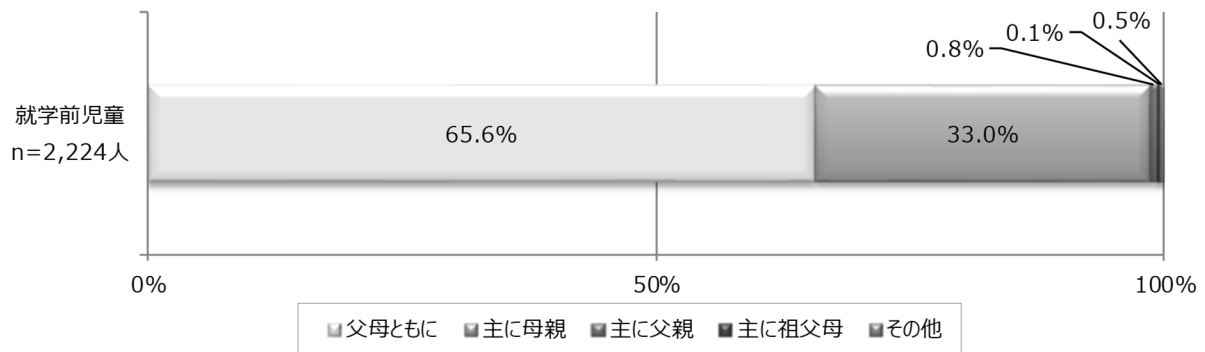
(1) 1. 就学前児童の主な保育者と親族等協力者の状況

就学前児童の主な保育者の状況を見ると、「父母ともに」(65.6%)が最も多く、次いで「主に母親」(33.0%)となっています。

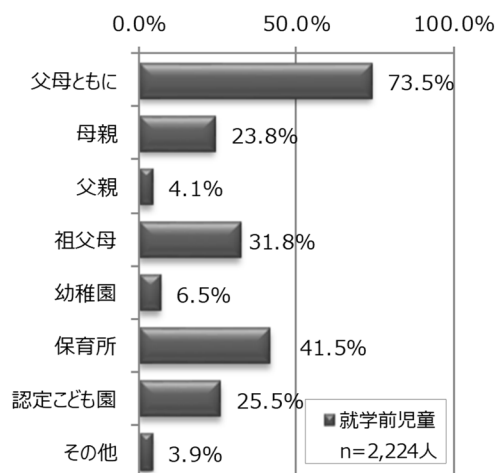
日常的に子育てに関わっている人(施設含む)は、「父母ともに」(73.5%)が最も多く、次いで「保育所」(41.5%)、「祖父母」(31.8%)、「認定こども園」(25.5%)、「母親」(23.8%)の順となっています。

また、子育てに影響を与える環境をみると、「家庭」(97.0%)が最も多く、次いで「保育所」(51.9%)、「認定こども園」(32.1%)、「地域」(27.4%)の順となっています。

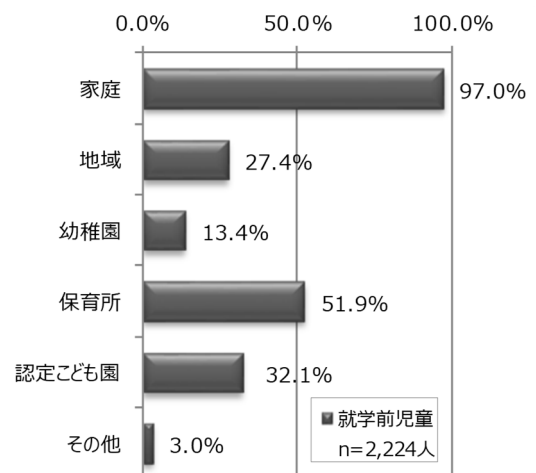
問6 主な保育者の状況



問7 日常的に子育てに関わっている人(施設含む)



問8 子育てに影響を与える環境

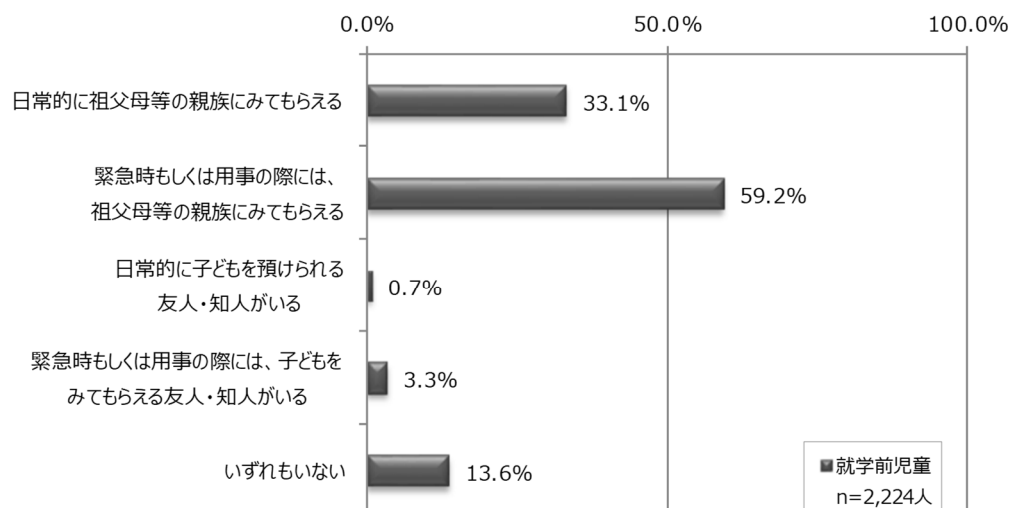


就学前児童の主な親族等協力者の状況を見ると、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる」(59.2%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(33.1%)の順となっています。一方、「いずれもない」と回答した人は13.6%となっています。

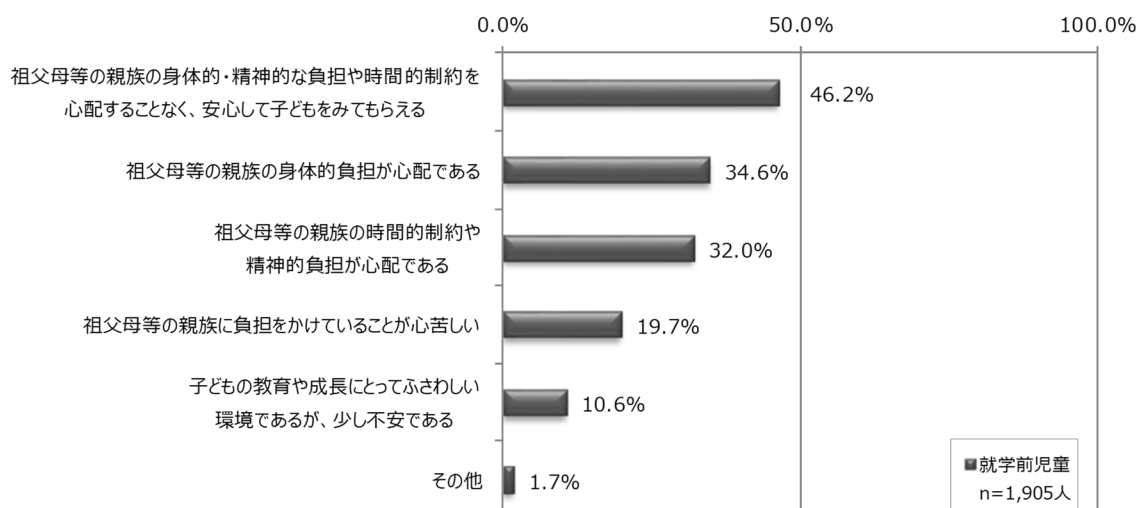
祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えに対して、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(46.2%)が最も多いものの、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」(34.6%)や「祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が心配である」(32.0%)などの回答もみられ、祖父母の身体的・精神的な負担を心配しながら子どもをみてもらっている人も多くいます。

また、友人・知人に子どもをみてもらうことへの考えに対しては、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(56.6%)が最も多く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的負担が心配である」(24.1%)、「友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」(20.5%)、「友人・知人の身体的負担が心配である」(18.1%)の順となっており、親族や友人等に子どもを預けることができても心苦しさなどを感じていることがうかがえます。

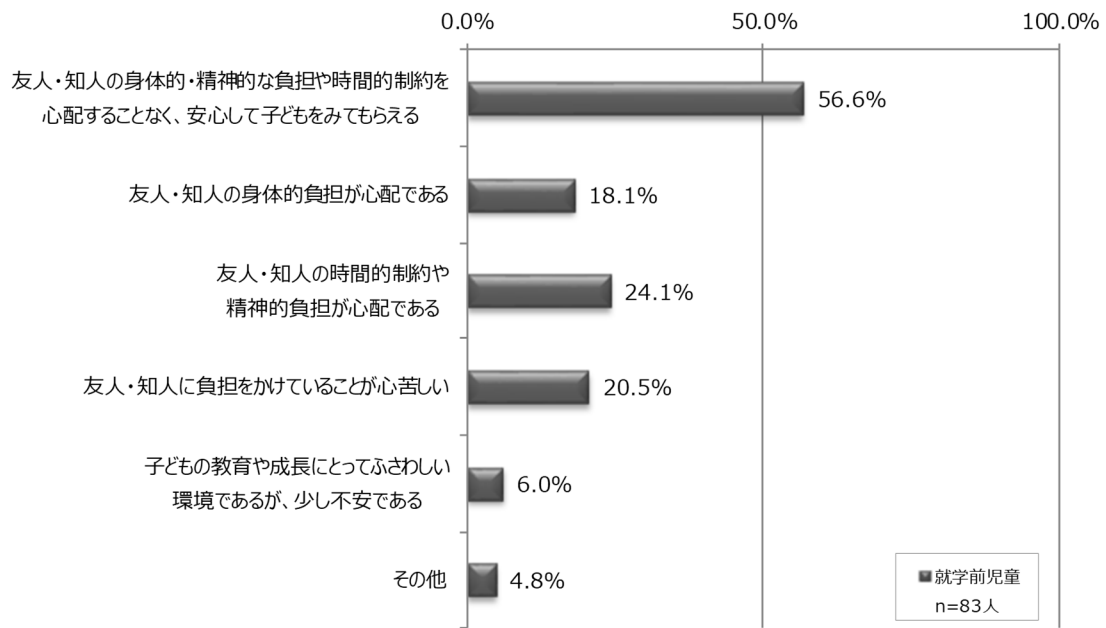
問9 主な親族等協力者の状況



問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



問9-2 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え



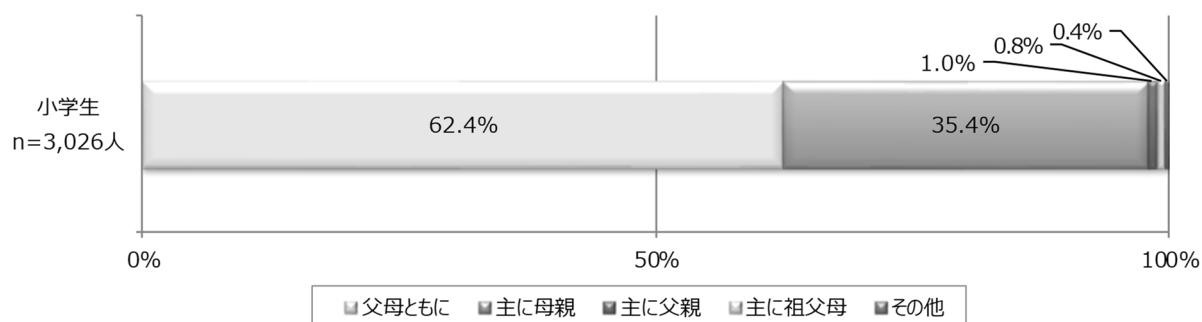
2. 小学生の主な保育者と親族等協力者の状況

小学生の主な保育者の状況をみると、「父母ともに」（62.4％）が最も多く、次いで「主に母親」（35.4％）となっています。

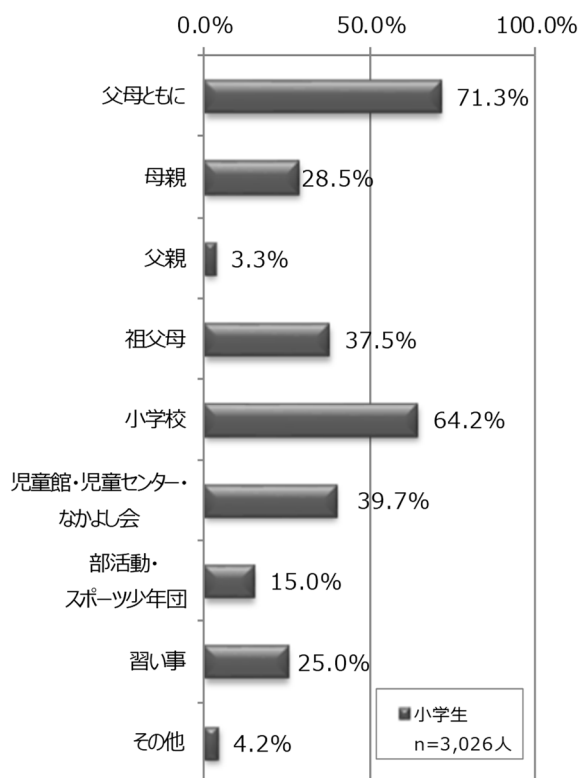
日常的に子育てに関わっている人（施設含む）は、「父母ともに」（71.3％）が最も多く、次いで「小学校」（64.2％）、「児童館・児童センター・なかよし会」（39.7％）、「祖父母」（37.5％）、「母親」（28.5％）の順となっています。

また、子育てに影響を与える環境をみると、「家庭」（95.7％）が最も多く、次いで「小学校」（85.7％）、「地域」（31.3％）の順となっています。

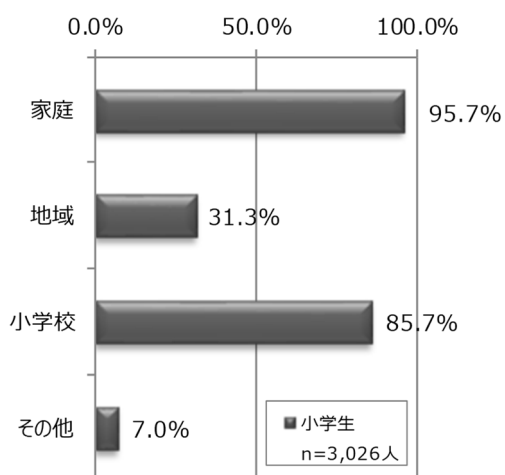
問6 主な保育者の状況



問7 日常的に子育てに関わっている人（施設含む）



問8 子育てに影響を与える環境

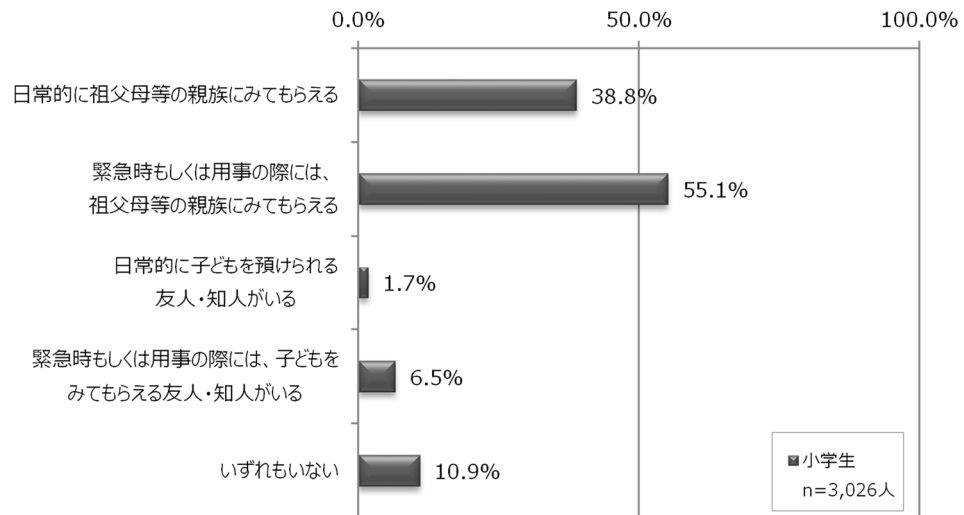


小学生の主な親族等協力者の状況を見ると、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる」(55.1%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(38.8%)の順となっています。一方、「いずれもない」と回答した人は10.9%となっています。

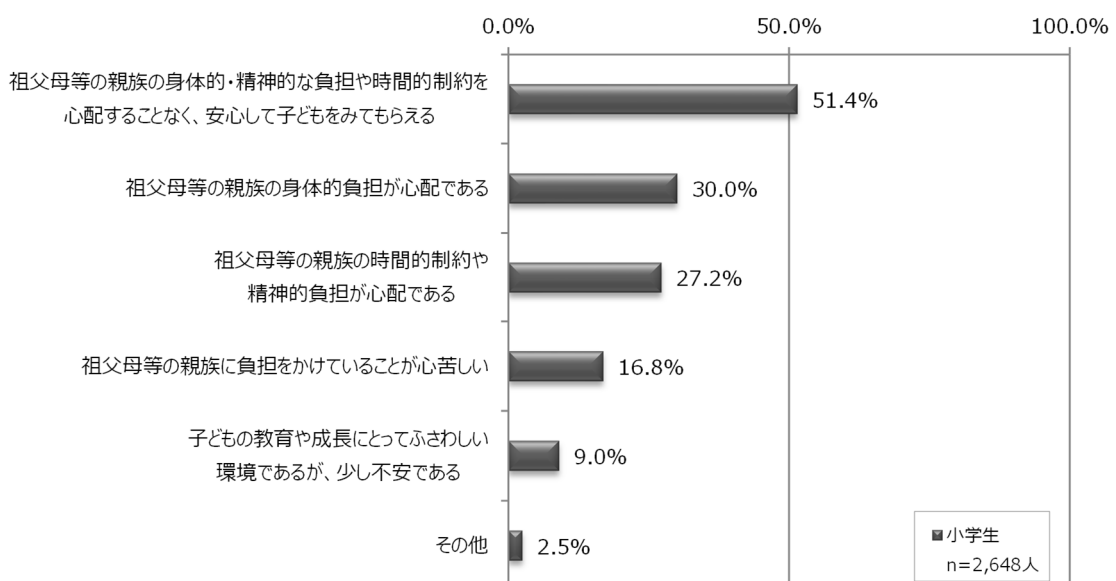
祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えに対して、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(51.4%)が最も多いものの、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」(30.0%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が心配である」(27.2%)などの回答もみられ、就学前児童と同様、祖父母の身体的・精神的な負担を心配しながら子どもをみてもらっている人も多くいます。

また、友人・知人に子どもをみてもらうことへの考えに対しては、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(52.0%)が最も多く、次いで「友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」(27.1%)、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が心配である」(25.3%)の順となっており、こちらも就学前児童と同様の傾向となっています。

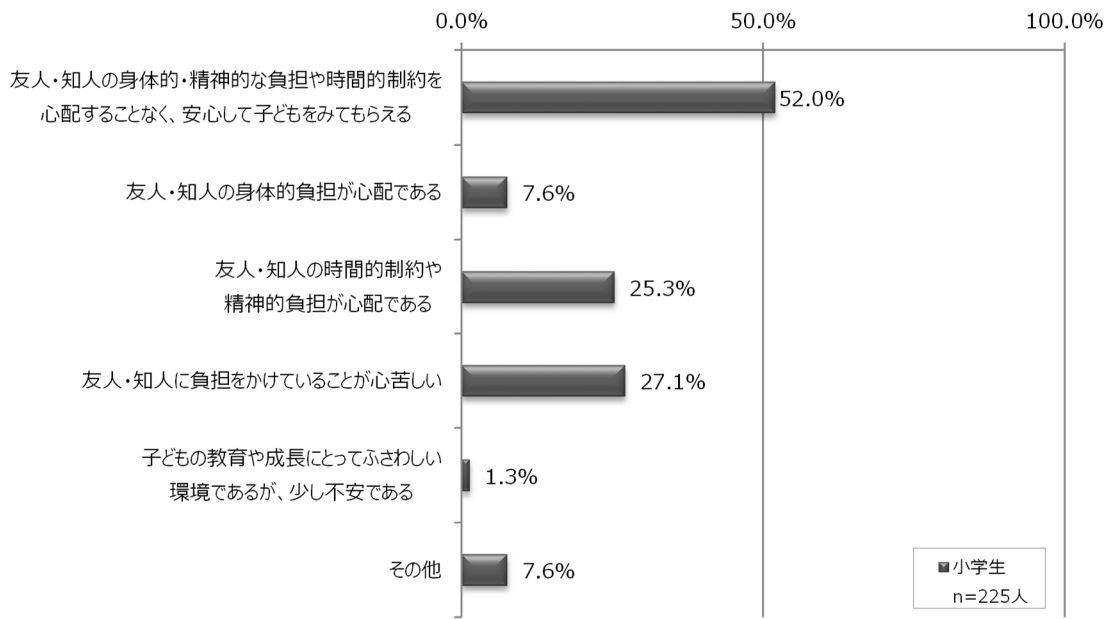
問9 主な親族等協力者の状況



問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



問9-2 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え

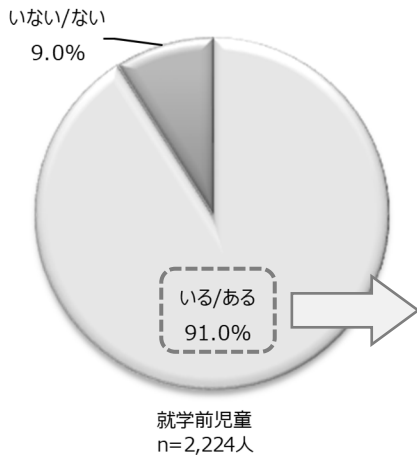


(2) 1. 就学前児童の子育てに関する相談者の状況

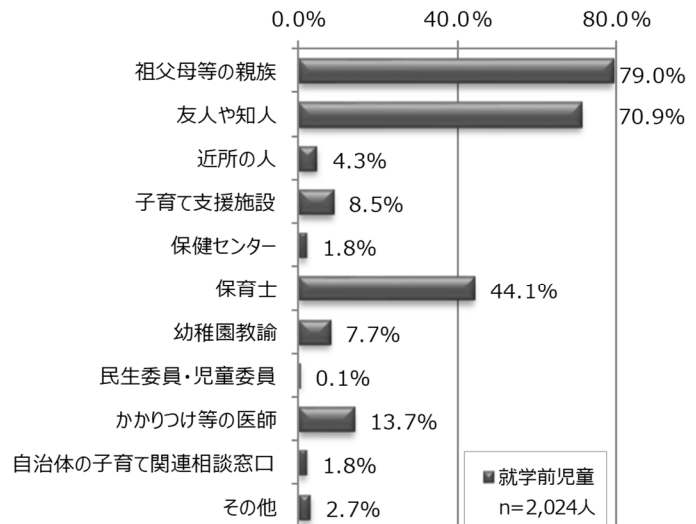
就学前児童の気軽に相談できる人の有無をみると、「いる／ある」(91.0%)が大半を占め、「いない／ない」は9.0%にとどまっています。

気軽に相談できる相談者の状況は、「祖父母等の親族」(79.0%)が最も多く、次いで「友人や知人」(70.9%)、「保育士」(44.1%)、「かかりつけ等の医師」(13.7%)の順となっています。

問 10 気軽に相談できる人の有無



問 10-1 気軽に相談できる相談者の状況

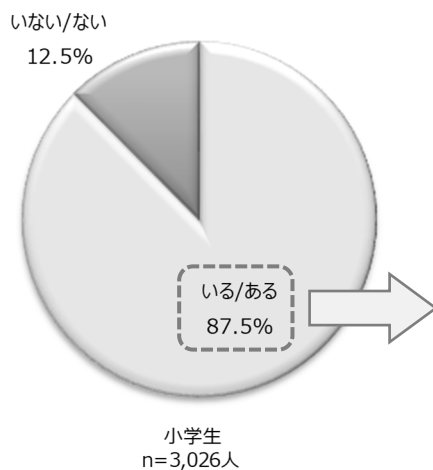


2. 小学生の子育てに関する相談者の状況

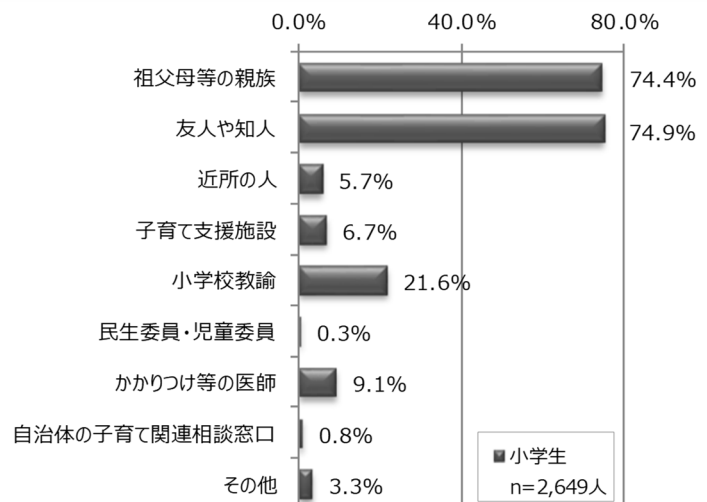
小学生の気軽に相談できる人の有無をみると、「いる／ある」(87.5%)が大半を占め、「いない／ない」は12.5%にとどまっています。

気軽に相談できる相談者の状況は、「友人や知人」(74.9%)と「祖父母等の親族」(74.4%)が多く、次いで「小学校教諭」(21.6%)の順となっています。

問 10 気軽に相談できる人の有無



問 10-1 気軽に相談できる相談者の状況

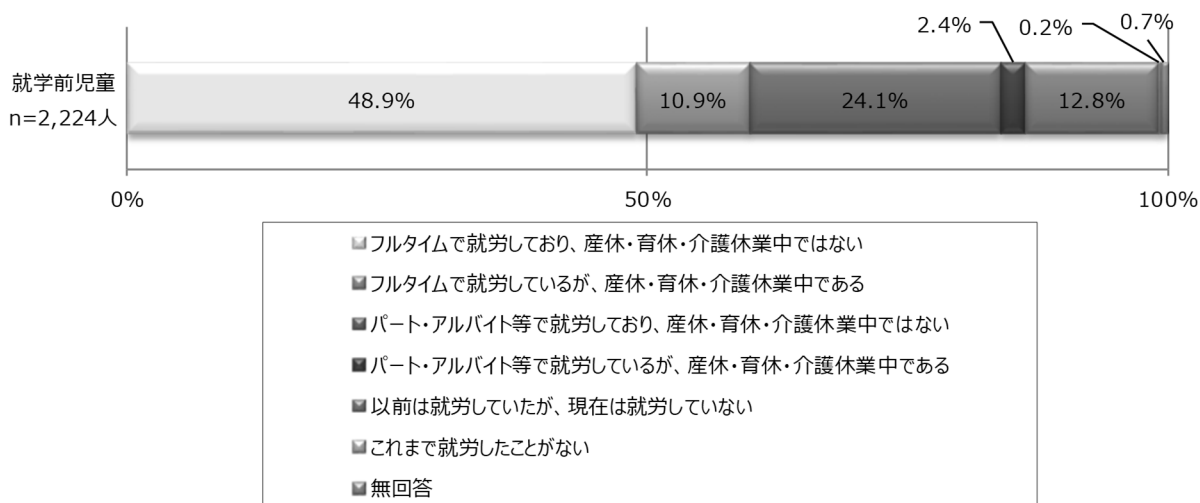


2 主な保育者とその就労状況

(1) 1. 就学前児童の母親の就労状況

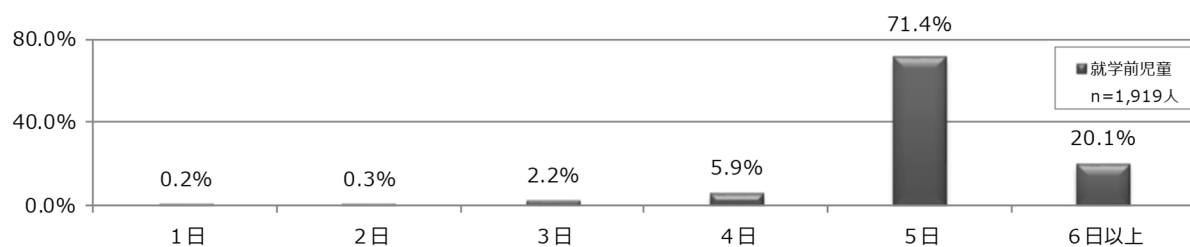
就学前児童の母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(48.9%)と「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(24.1%)を合わせた就労している人は73.0%となっています。「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(10.9%)と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(2.4%)を合わせた産休・育休・介護休業中の人は13.3%となっています。

問12(1) 母親の就労状況

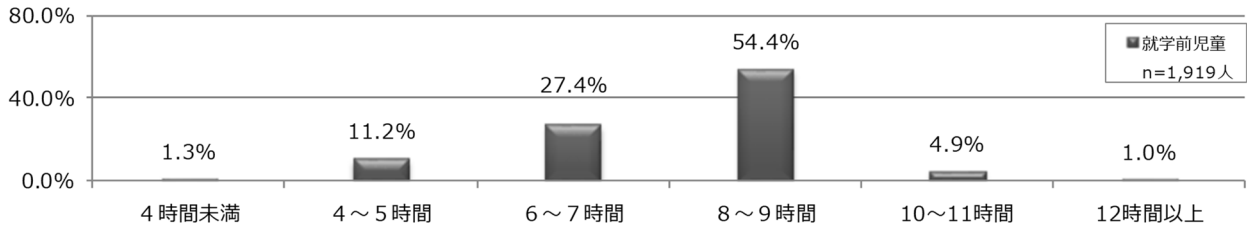


就学前児童の母親の就労日数、就労時間をみると、「5日」(71.4%)、「8～9時間」(54.4%)が最も多くなっています。
 母親の出勤時間は、「8時台」(48.2%)、「7時台」(34.0%)、「9時台」(13.2%)の順となっています。
 また、帰宅時間は「18～19時台」(42.5%)、「16～17時台」(29.2%)の順に多く、20時以降の帰宅は2.3%となっています。

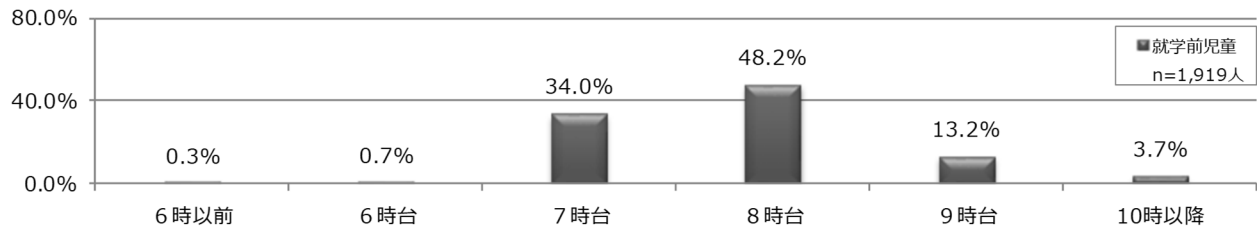
問12(1)-1 母親の就労日数(1週当たり)



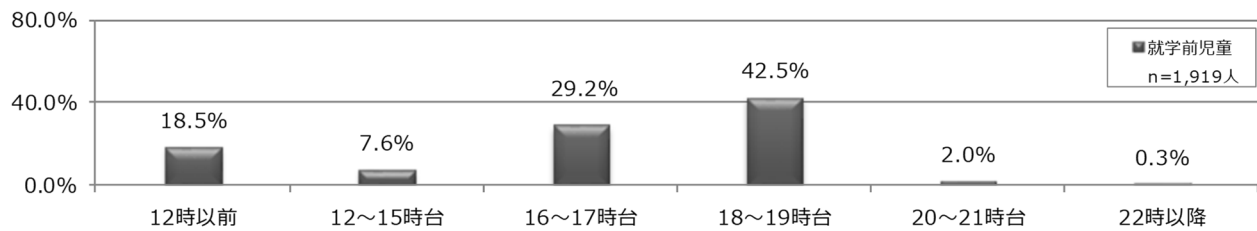
問12(1) - 1 母親の就労時間(1日当たり)



問12(1) - 2 母親の出勤時間

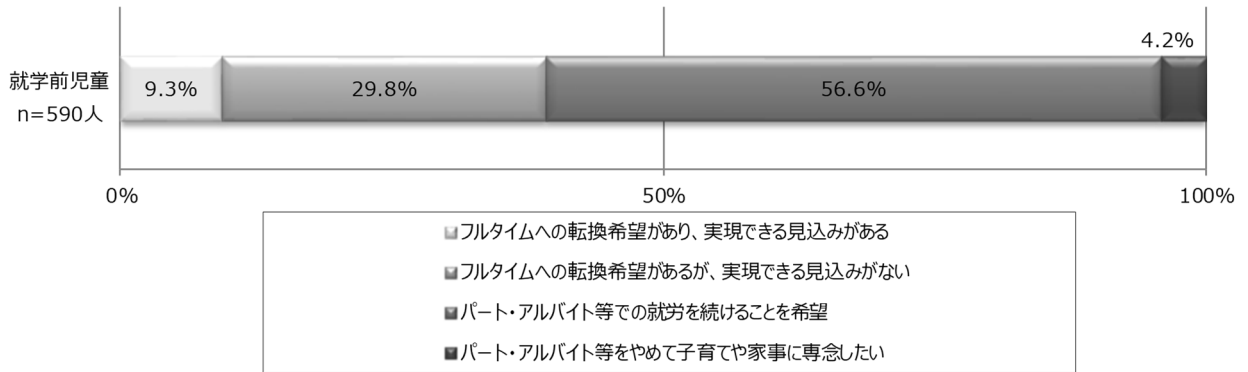


問12(1) - 2 母親の帰宅時間



就学前児童の母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、フルタイムを希望する人は39.1%となっていますが、そのうち実現できる見込みのある人は9.3%と1割弱にとどまっています。

問13(1) 母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向

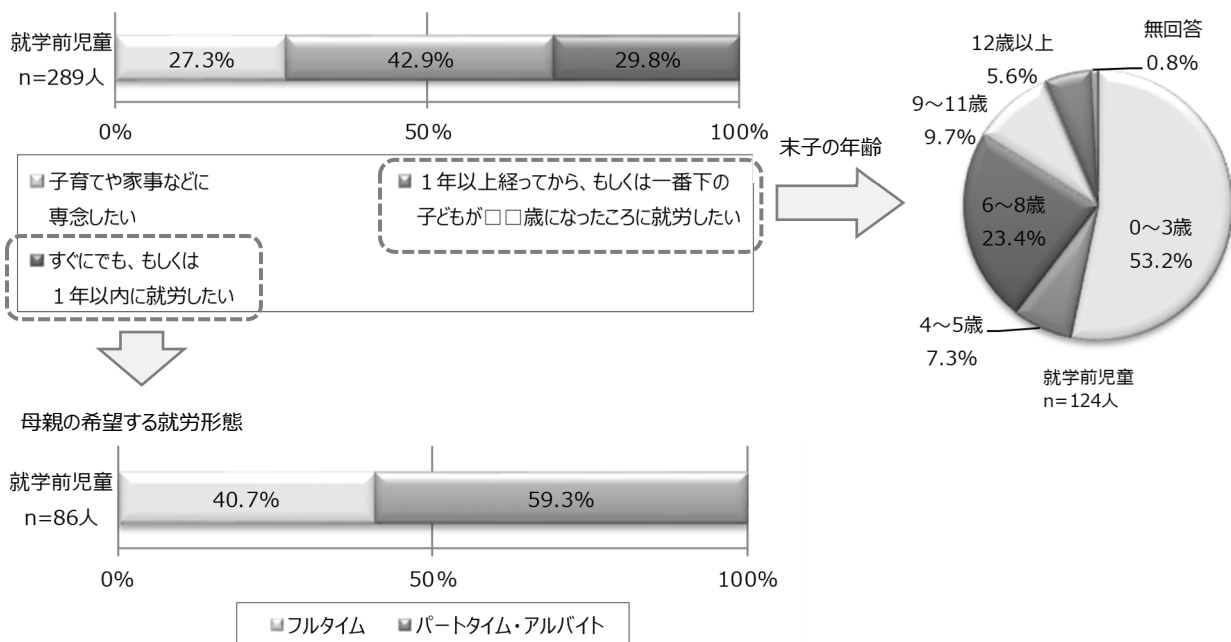


就学前児童の就労していない母親の今後の就労希望をみると、「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(42.9%)が最も多く、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.8%)と合わせると72.7%が就労したいと考えています。

就労希望時の末子の年齢は、「0～3歳」(53.2%)、「6～8歳」(23.4%)、「9～11歳」(9.7%)、「4～5歳」(7.3%)となっており、小学校にあがるまでの時期が約6割を占めています。

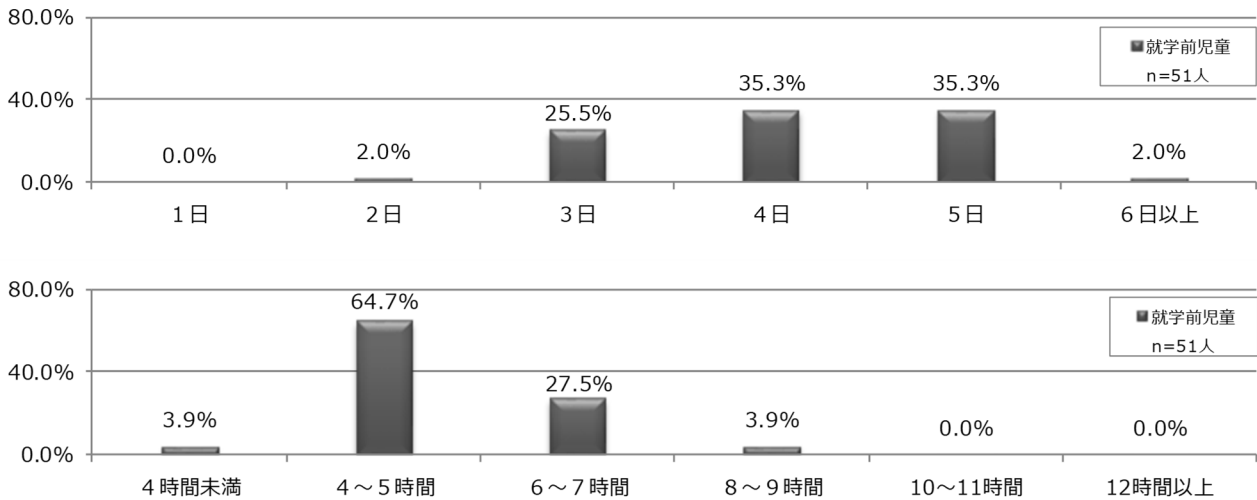
1年以内に希望する就労形態は、「パートタイム・アルバイト等」(59.3%)、「フルタイム」(40.7%)となっています。

問14(1) 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



就学前児童の母親の希望する就労日数、就労時間をみると、就労日数については「4日」、「5日」（ともに 35.3%）が最も多く、次いで「3日」（25.5%）となっており、就労時間は「4～5時間」（64.7%）、「6～7時間」（27.5%）となっています。

問 14（1） 母親の希望就労日数（1週当たり）と希望就労時間（1日当たり）

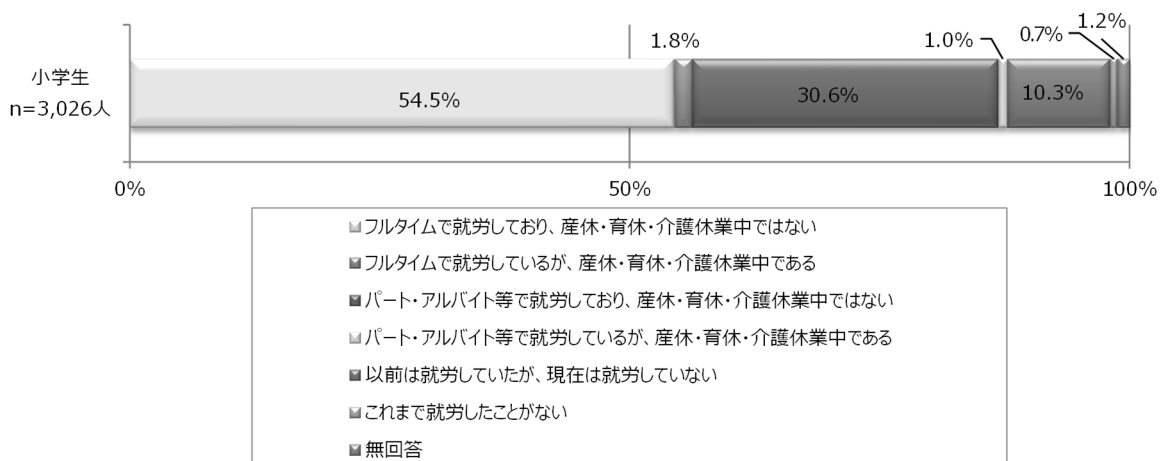


2. 小学生の母親の就労状況

小学生の母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（54.5%）と「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（30.6%）を合わせた就労している人は 85.1%と、就学前児童の母親と比べて 12.1 ポイント上回っています。

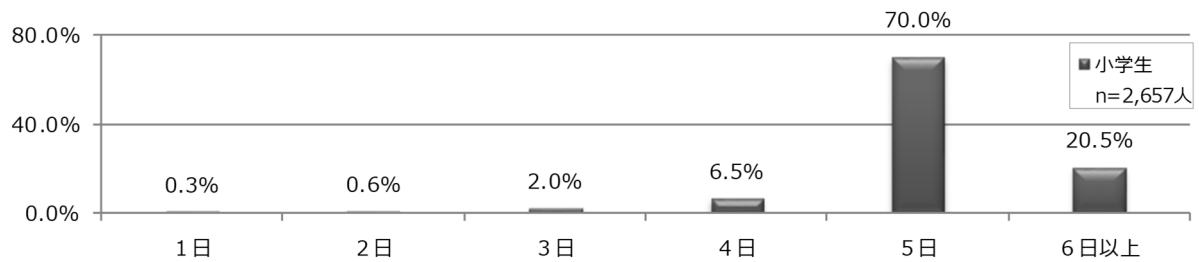
一方、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（1.8%）と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（1.0%）を合わせた産休・育休・介護休業中の人は 2.8%と、就学前児童の母親に比べて 10.5 ポイント下回っています。

問 12（1） 母親の就労状況

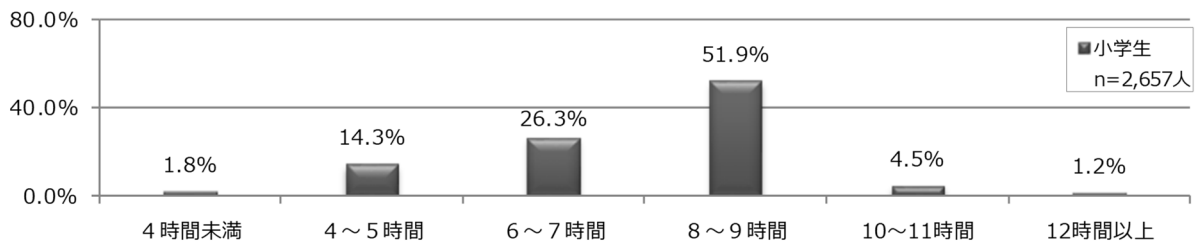


小学生の母親の就労日数、就労時間をみると、「5日」(70.0%)、「8～9時間」(51.9%)が最も多くなっています。
 母親の出勤時間は、「8時台」(47.4%)、「7時台」(33.6%)、「9時台」(14.2%)の順となっています。
 また、帰宅時間は「18～19時台」(38.5%)、「16～17時台」(26.2%)の順に多く、20時以降の帰宅は2.6%となっています。

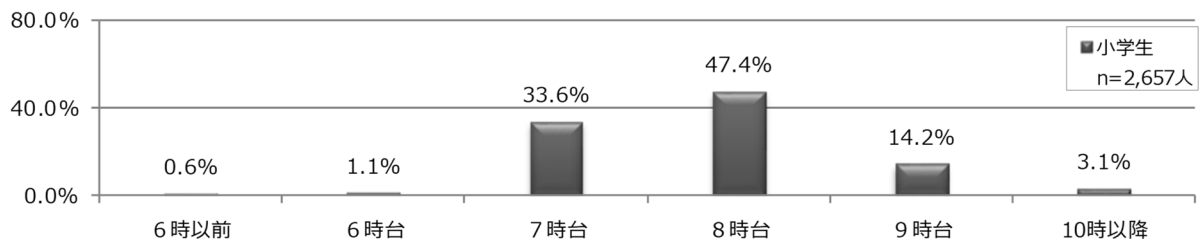
問12(1)-1 母親の就労日数(1週当たり)



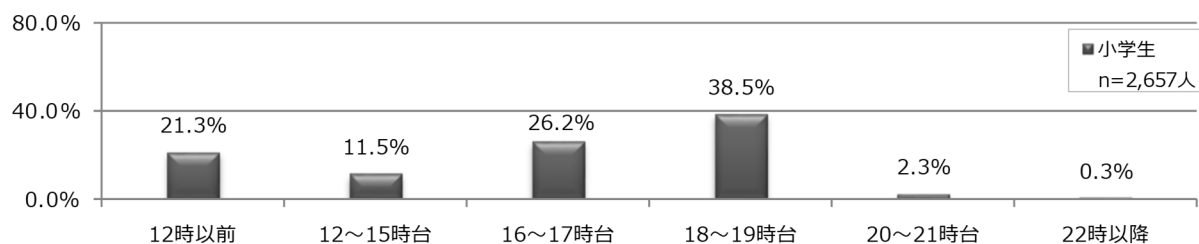
問12(1)-1 母親の就労時間(1日当たり)



問12(1)-2 母親の出勤時間



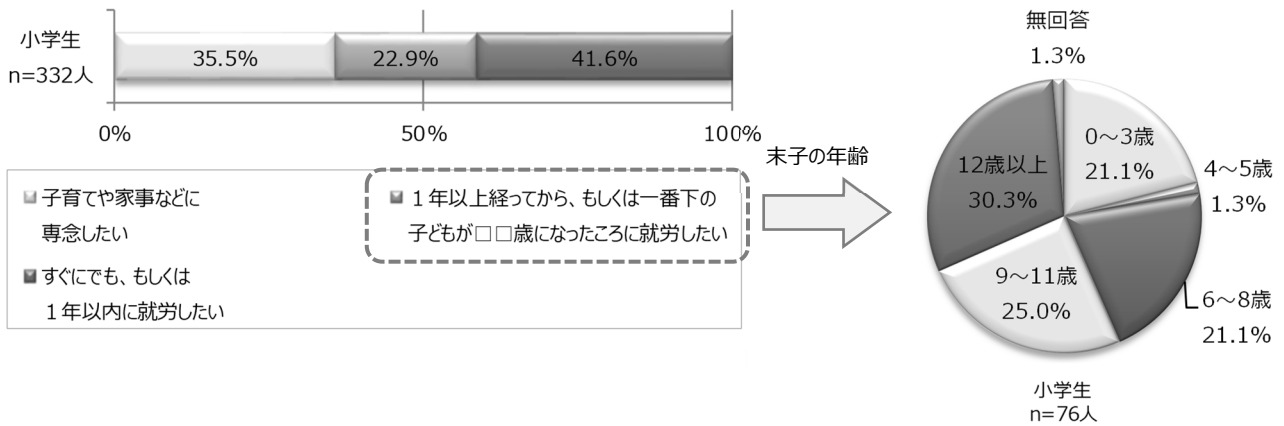
問12(1)-2 母親の帰宅時間



小学生の就労していない母親の今後の就労希望をみると、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(41.6%)が最も多く、「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(22.9%)と合わせると64.5%が就労したいと考えています。

就労希望時の末子の年齢は、「12歳以上」(30.3%)、「9～11歳」(25.0%)、「0～3歳」、「6～8歳」(ともに21.1%)となっており、小学校高学年以降の時期が半数以上を占めています。

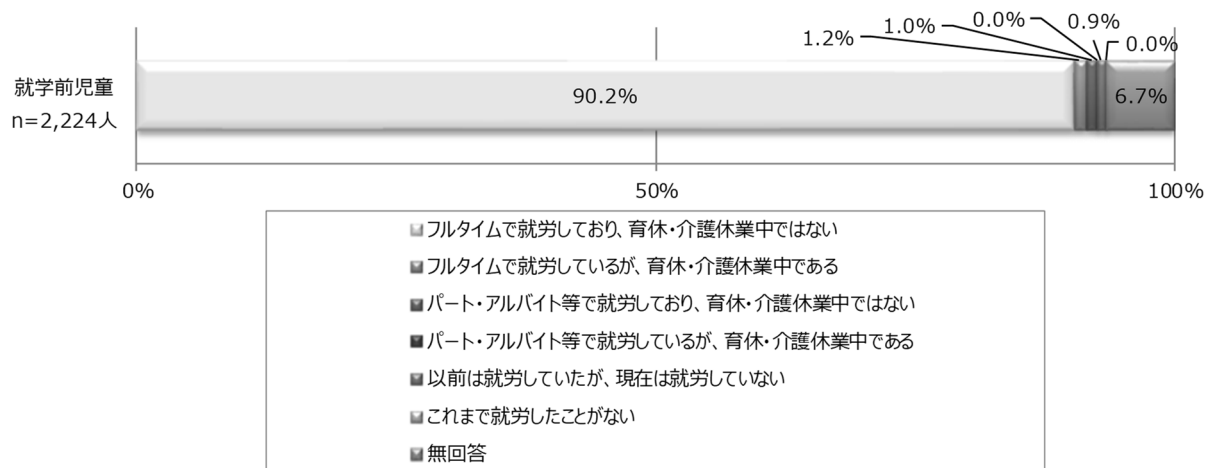
問 12-1 (1) 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



(2) 1. 就学前児童の父親の就労状況

就学前児童の父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(90.2%) が最も多くなっています。

問 12 (2) 父親の就労状況

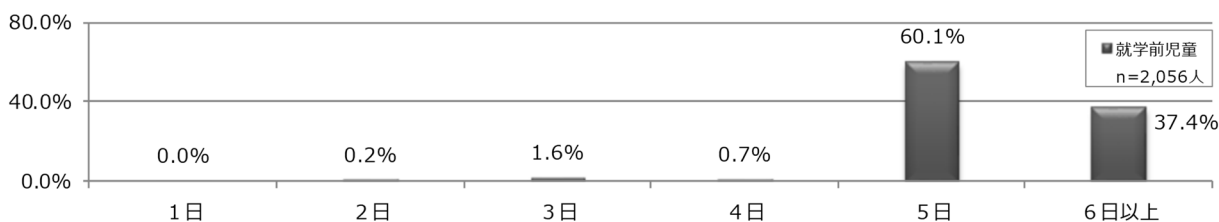


就学前児童の父親の就労日数、就労時間をみると、「5日」(60.1%)、「8～9時間」(65.0%) が最も多く、就労日数は次いで「6日以上」(37.4%)、就労時間は「10～11時間」(20.6%)、「12時間以上」(11.1%) となっています。

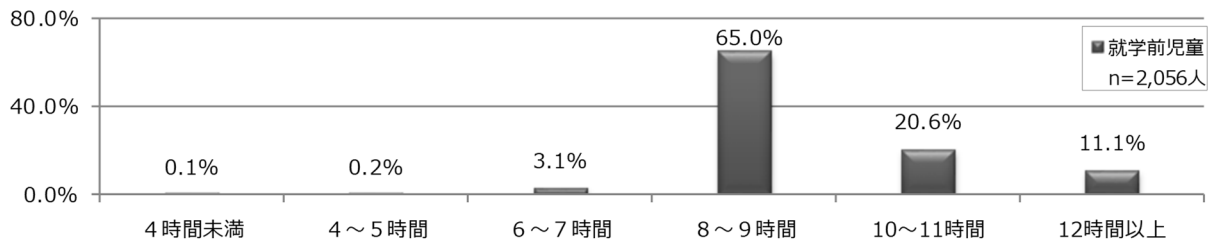
父親の出勤時間は、「7時台」(46.6%)、「8時台」(31.0%)、「6時台」(9.3%) の順となっています。

また、帰宅時間は「18～19時台」(47.3%)、「12時以前」(24.0%)、「20～21時台」(13.1%) の順に多く、20時以降の帰宅は16.5%となっています。

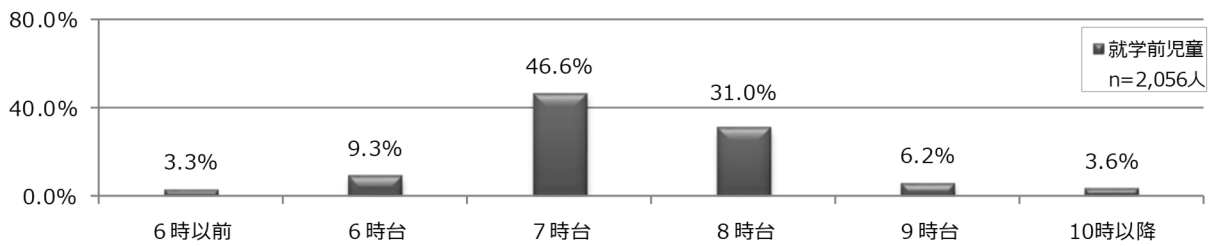
問 12 (2) - 1 父親の就労日数 (1週当たり)



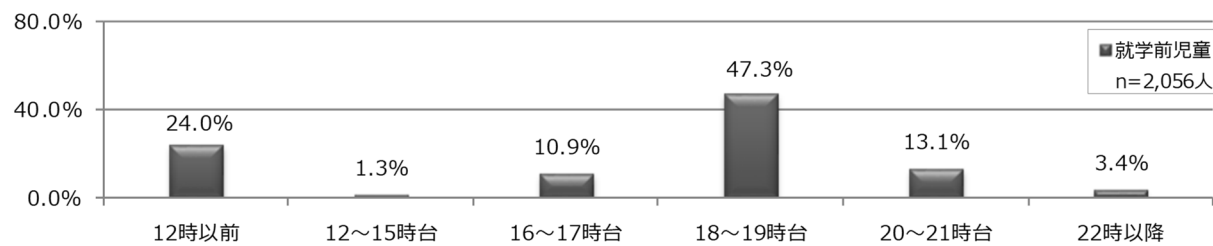
問 12 (2) - 1 父親の就労時間 (1日当たり)



問 12 (2) - 2 父親の出勤時間

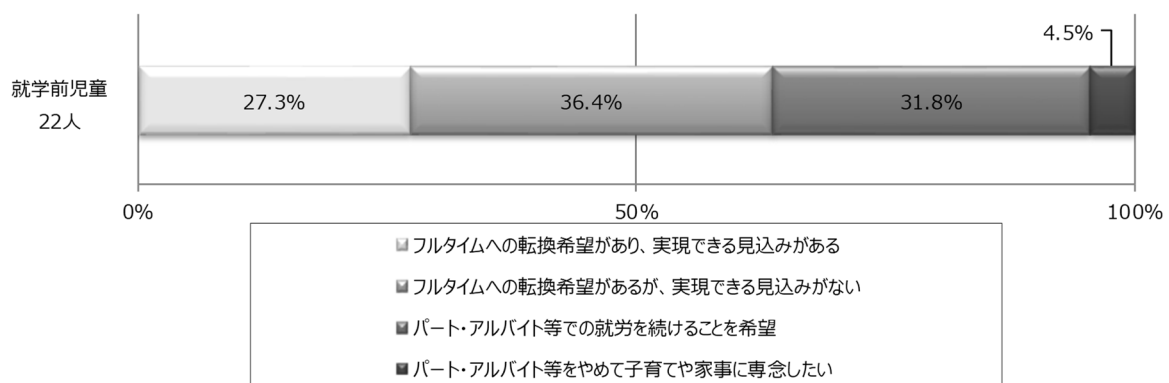


問 12 (2) - 2 父親の帰宅時間



就学前児童の父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、フルタイムを希望する人は63.7%となっており、そのうち実現できる見込みのある人は27.3%となっています。

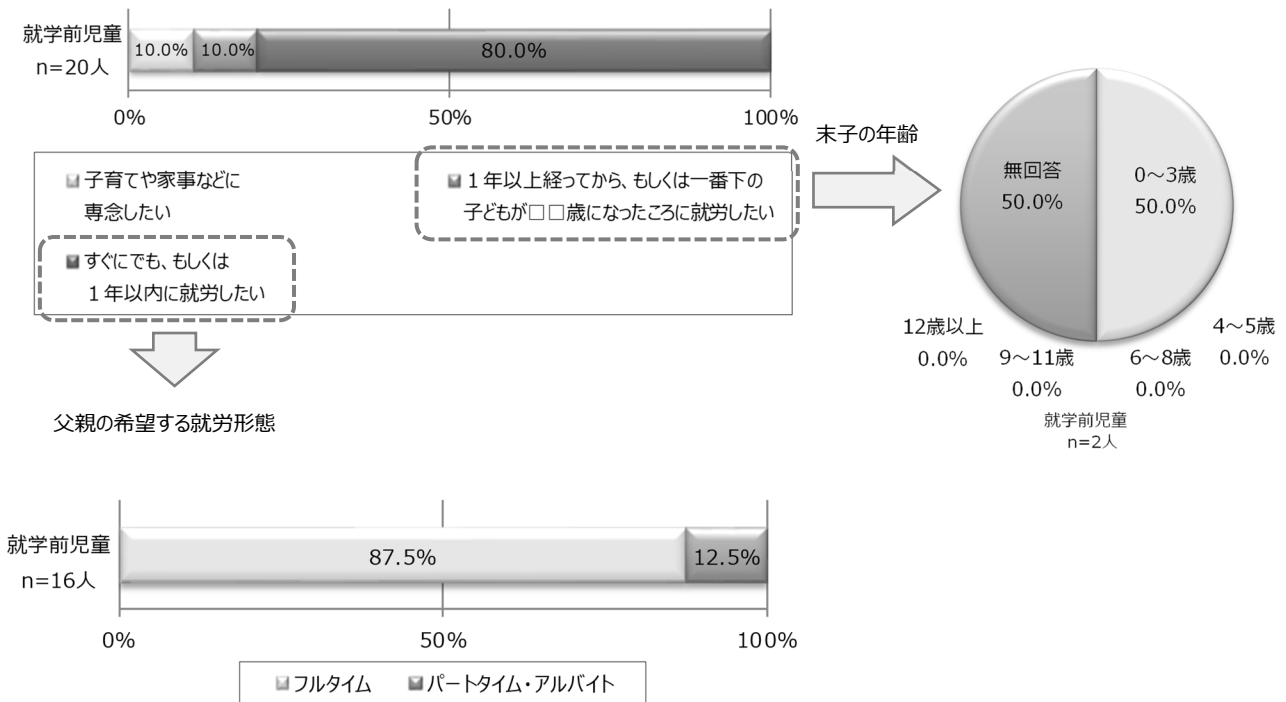
問 13 (2) 父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向



就学前児童の就労していない父親の今後の就労希望をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(80.0%)が最も多く、「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(10.0%)と合わせると90.0%が就労したいと考えています。

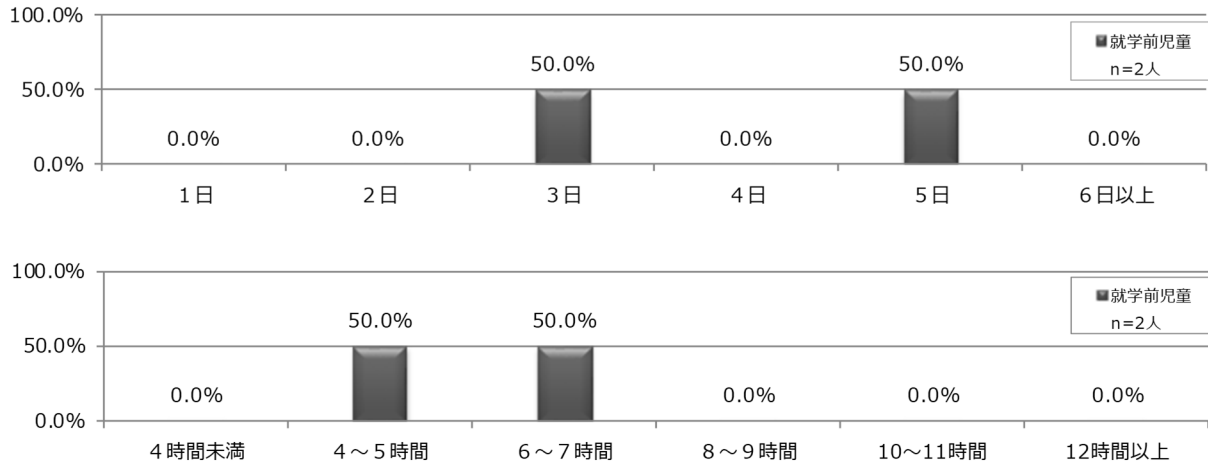
1年以内に希望する就労形態は、「フルタイム」(87.5%)、「パートタイム・アルバイト等」(12.5%)となっています。

問 14 (2) 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



就学前児童の父親の希望する就労日数、就労時間をみると、就労日数については「3日」、「5日」（ともに50.0%）、就労時間は「4～5時間」、「6～7時間」（ともに50.0%）となっています。

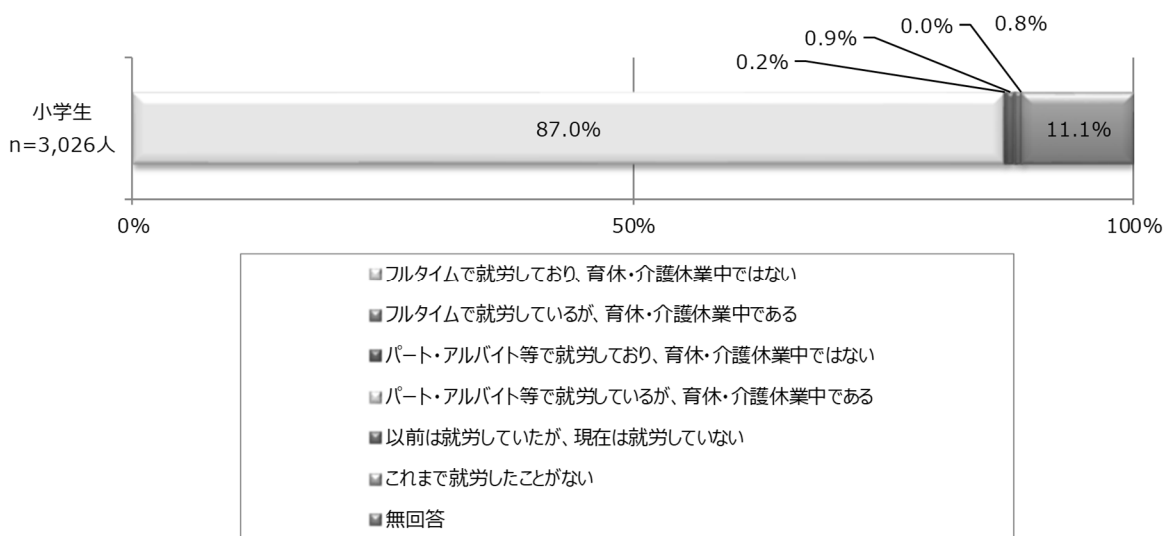
問 14（2） 父親の希望就労日数（1週当たり）と希望就労時間（1日当たり）



2. 小学生の父親の就労状況

小学生の父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（87.0%）が最も多くなっています。

問 12（2） 父親の就労状況

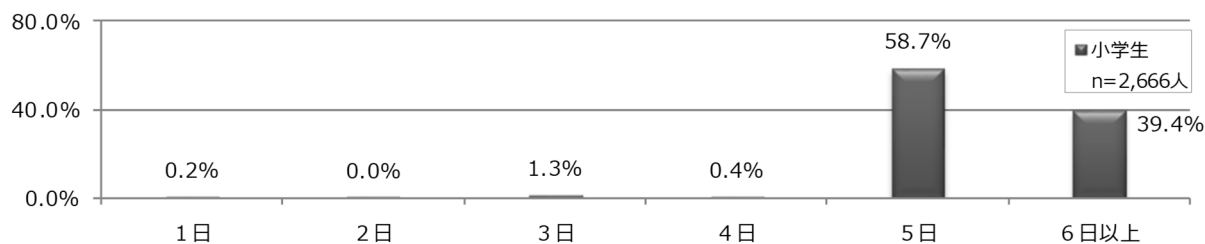


小学生の父親の就労日数、就労時間をみると、「5日」（58.7%）、「8～9時間」（66.9%）が最も多く、就労日数は次いで「6日以上」（39.4%）、就労時間は「10～11時間」（19.9%）、「12時間以上」（10.5%）となっています。

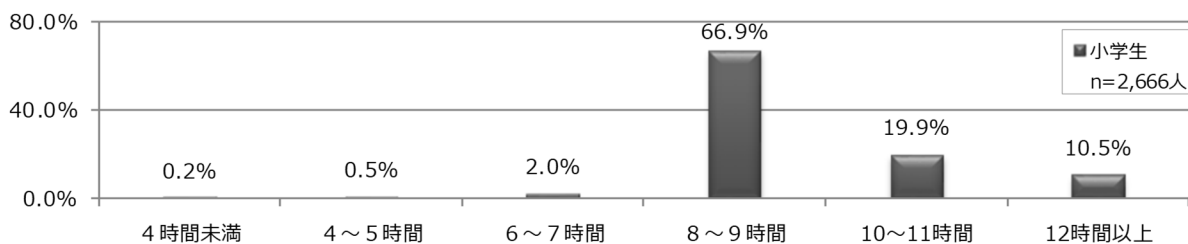
父親の出勤時間は、「7時台」（49.5%）、「8時台」（25.4%）、「6時台」（11.5%）の順となっています。

また、帰宅時間は「18～19時台」（45.6%）、「12時以前」（26.9%）、「20～21時台」（12.8%）の順に多く、20時以降の帰宅は17.0%となっています。

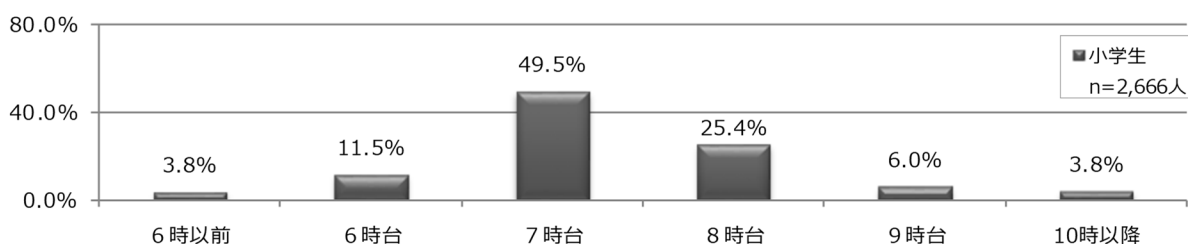
問12(2)-1 父親の就労日数（1週当たり）



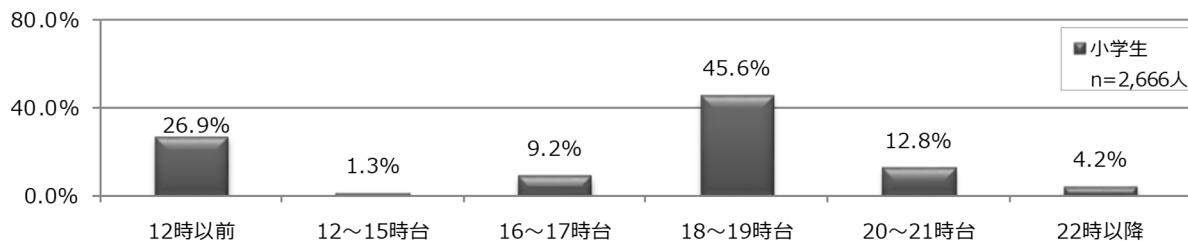
問12(2)-1 父親の就労時間（1日当たり）



問12(2)-2 父親の出勤時間

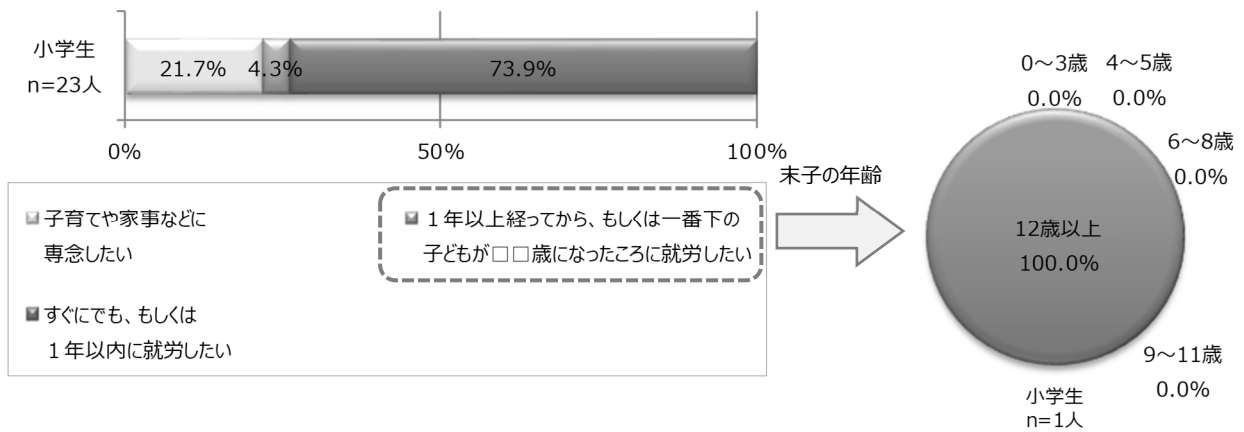


問12(2)-2 父親の帰宅時間



小学生の就労していない父親の今後の就労希望をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(73.9%)が最も多く、「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(4.3%)と合わせると78.2%が就労したいと考えています。

問 12-1 (2) 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



第3章

子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

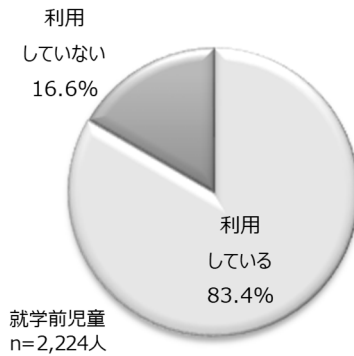
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

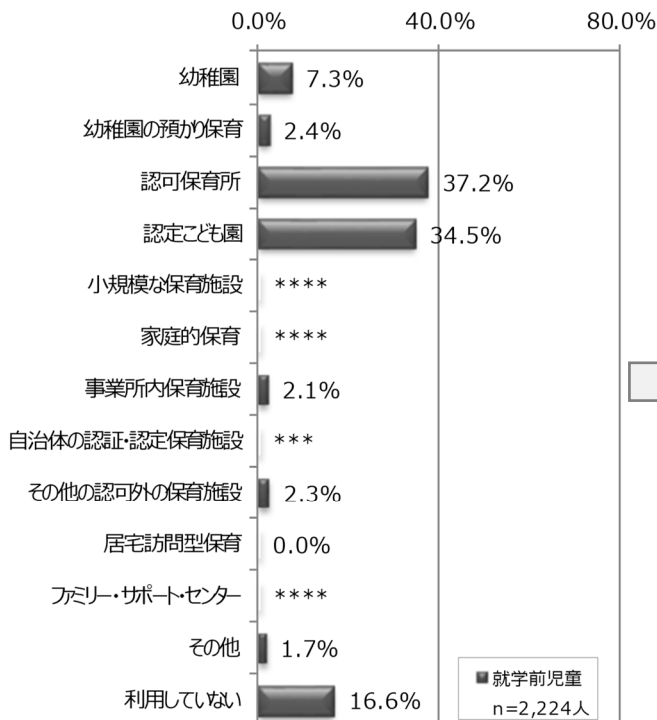
定期的な教育・保育事業（市全体）の利用状況を見ると、83.4%の人が利用していると回答しています。利用中の事業としては、「認可保育所」（37.2%）、「認定こども園」（34.5%）、「幼稚園」（7.3%）、「幼稚園の預かり保育」（2.4%）、「その他の認可外の保育施設」（2.3%）の順となっています。

一方、今後の利用希望では、「認定こども園」（55.4%）、「認可保育所」（50.1%）、「幼稚園」（23.8%）、「幼稚園の預かり保育」（15.7%）の順となっており、利用中の事業と比べると、「認定こども園」、「認可保育所」、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」が、ともに10ポイント以上増加しています。

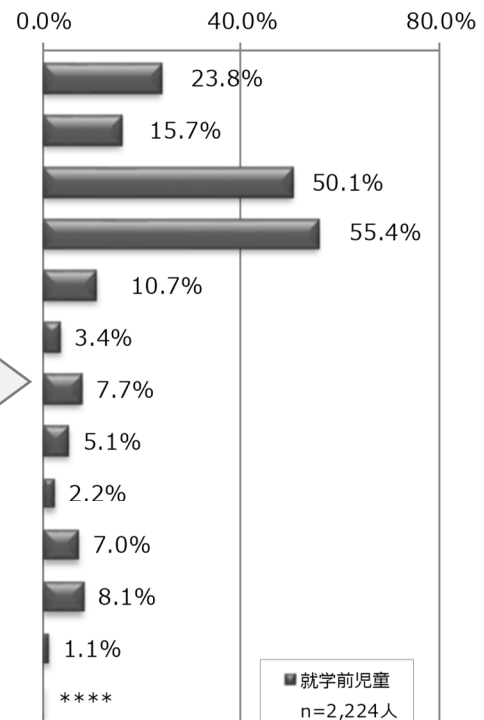
問 15 定期的な教育・保育事業の利用状況



問 15-1 現在利用中の定期的な教育・保育事業



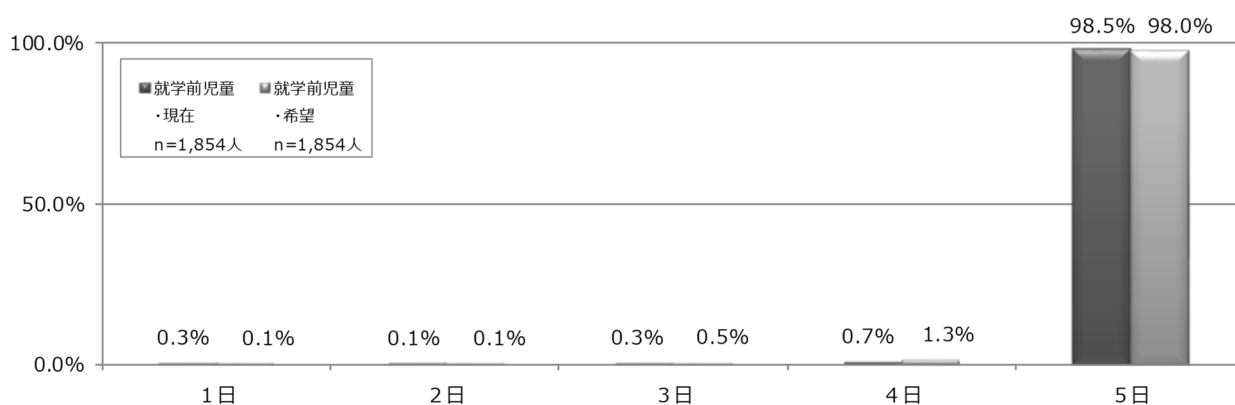
問 17 希望する定期的な教育・保育事業



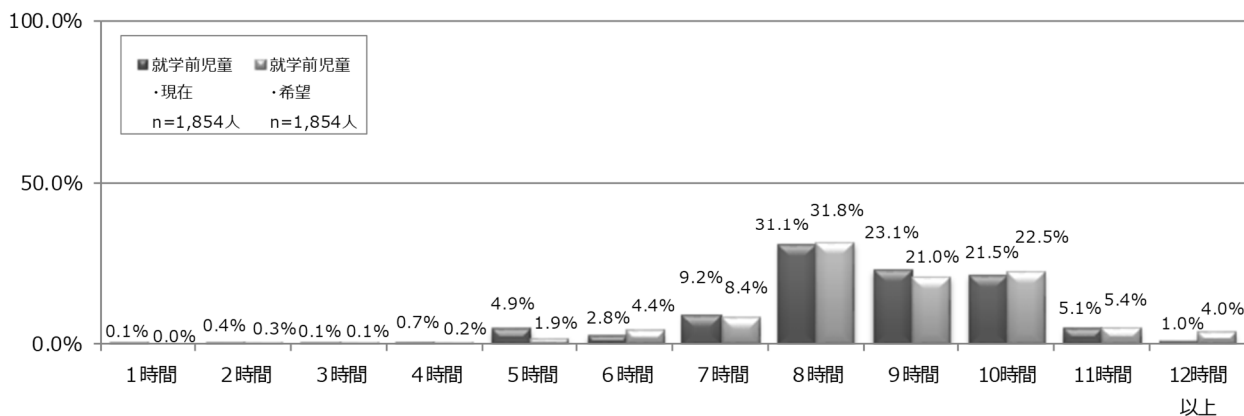
定期的な教育・保育事業（全体）の現在の利用日数と希望する利用日数（1週当たり）をみると、現在の利用日数では98.5%の人が「5日」と回答しており、希望する利用日数も同様に「5日」が98.0%となっています。

また、現在の利用時間と希望する利用時間（1日当たり）については、現在では「8時間」（31.1%）、「9時間」（23.1%）、「10時間」（21.5%）、「7時間」（9.2%）の順となっており、希望では「8時間」（31.8%）、「10時間」（22.5%）、「9時間」（21.0%）、「7時間」（8.4%）と、現在と比べると、希望では「8時間」と「10時間」がわずかに多くなっています。

問15-2.1 定期的な教育・保育事業の利用日数（現在及び希望・1週当たり）

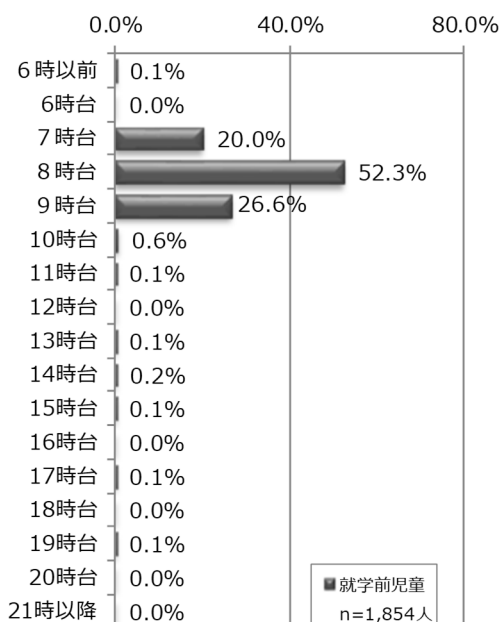


問15-2.2 定期的な教育・保育事業の利用時間（現在及び希望・1日当たり）

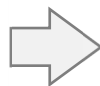
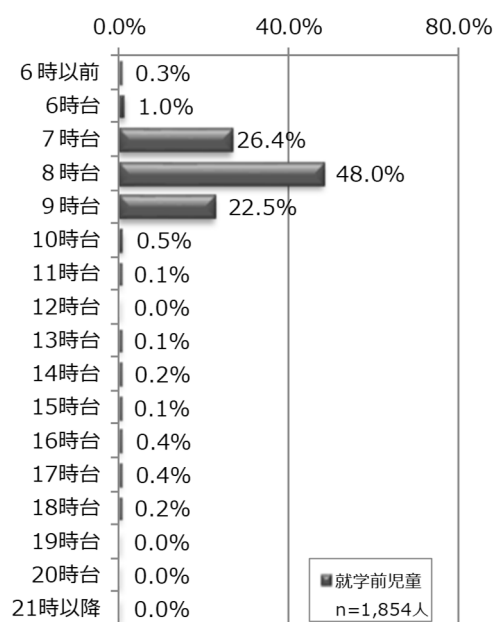


定期的な教育・保育事業（全体）の現在の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」（52.3%）、「9時台」（26.6%）、「7時台」（20.0%）の順で、終了時間は「17時台」（34.6%）、「18時台」（25.6%）、「16時台」（19.6%）の順となっています。また、希望する開始時間と終了時間をみると、開始時間では「7時台」（26.4%）が、終了時間では「19時台」（10.2%）が現在に比べ増加しており、より長時間の利用が望まれている様子がうかがえます。

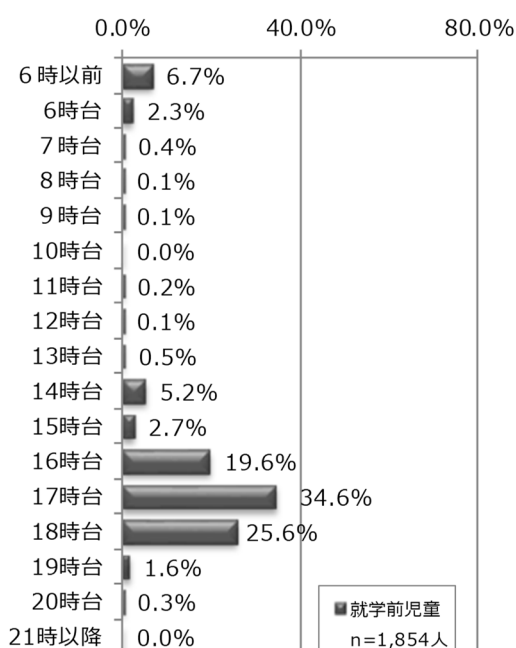
問15-2(1).3 利用開始時間（現在）



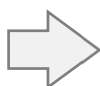
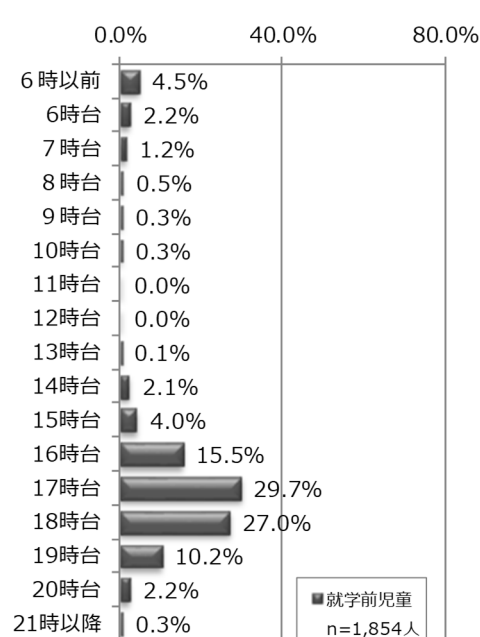
問15-2(2).3 利用開始時間（希望）



問15-2(1).4 利用終了時間（現在）



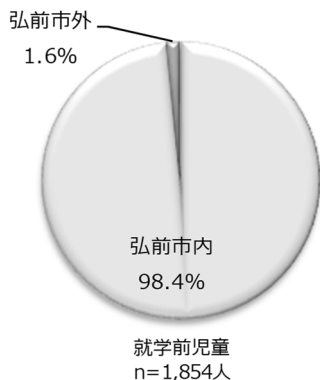
問15-2(1).4 利用終了時間（希望）



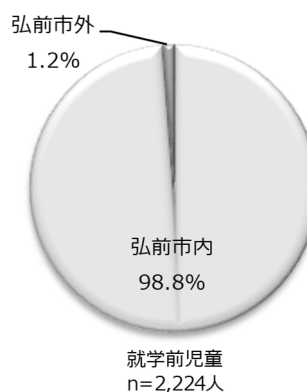
定期的な教育・保育事業（全体）の実施場所をみると、現在 98.4%の人が「弘前市内」と回答し、市内の施設を利用しています。希望する実施場所についても「弘前市内」が 98.8%を占め、同じ傾向となっています。

また、定期的な教育・保育事業（全体）の今後の利用希望で、「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」とその他の事業の両方の利用を希望した人のうち、「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を強く希望する人は 52.0%となっています。

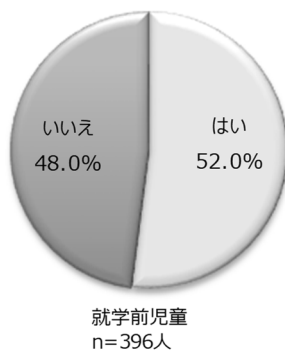
問 15-3 教育・保育の実施場所（現在）



問 17-1 教育・保育の実施場所（希望）



問 17-2 定期的な教育・保育事業で幼稚園または幼稚園の預かり保育の利用を強く希望するか

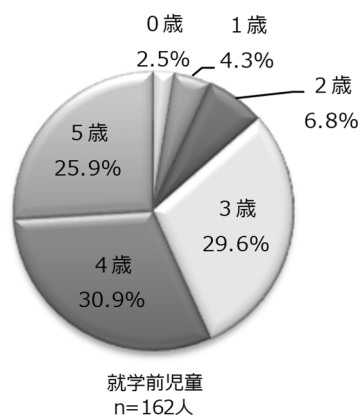


(2) 幼稚園

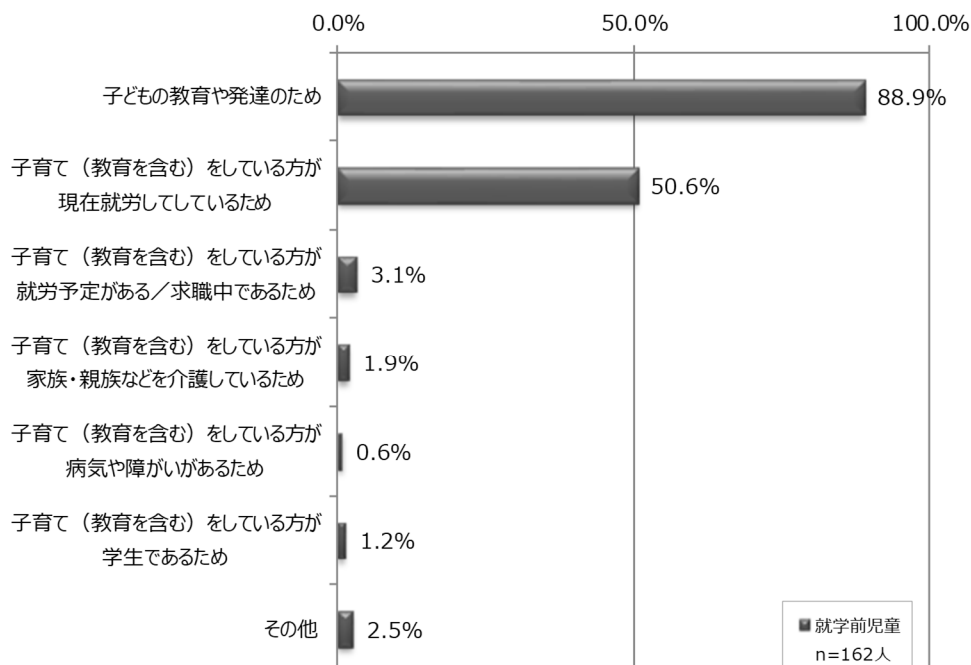
幼稚園の年齢別利用者数をみると、「4歳」(50人：30.9%)、「3歳」(48人：29.6%)、「5歳」(42人：25.9%)の順となっています。

幼稚園を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(88.9%)が最も多く、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労しているため」(50.6%)となっています。

問15-1.① 幼稚園の年齢別利用者数



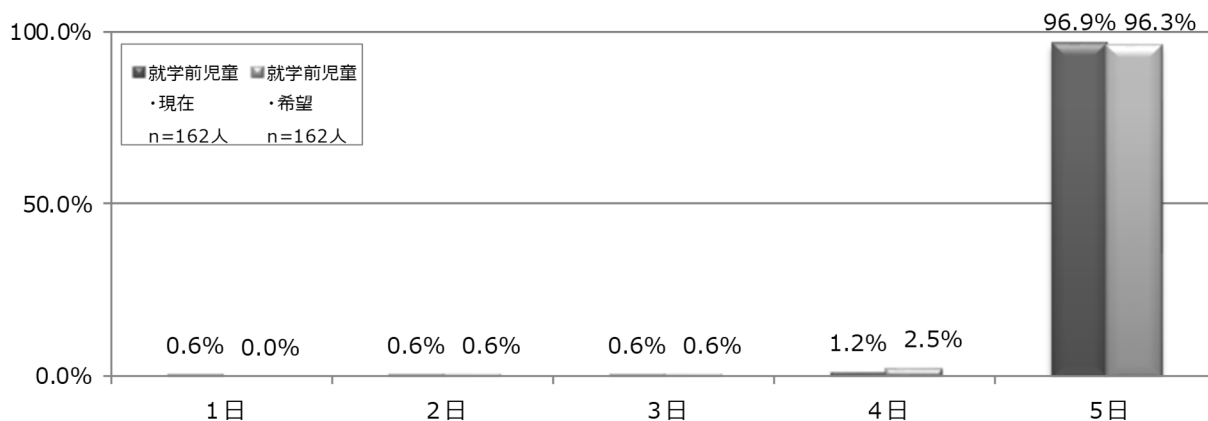
問15-4.① 幼稚園を利用している理由



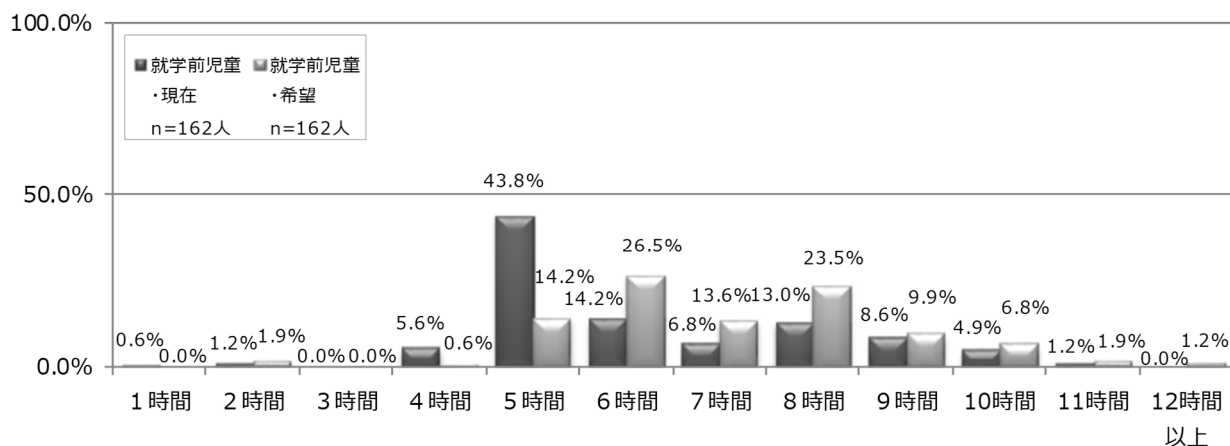
幼稚園の現在の利用日数と希望する利用日数（1週当たり）をみると、現在の利用日数では96.9%の人が「5日」と回答しており、希望する利用日数も同様に「5日」が96.3%となっています。

また、現在の利用時間と希望する利用時間（1日当たり）については、現在では「5時間」（43.8%）、「6時間」（14.2%）、「8時間」（13.0%）の順ですが、希望では「6時間」（26.5%）が最も多く、次いで「8時間」（23.5%）となっていることから、実際よりも長時間の利用が望まれている様子がうかがえます。

問 15-2.1.① 幼稚園の利用日数（現在及び希望・1週当たり）



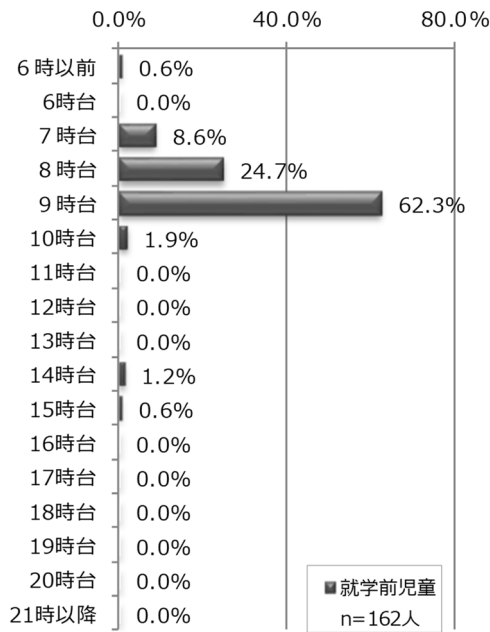
問 15-2.2.① 幼稚園の利用時間（現在及び希望・1日当たり）



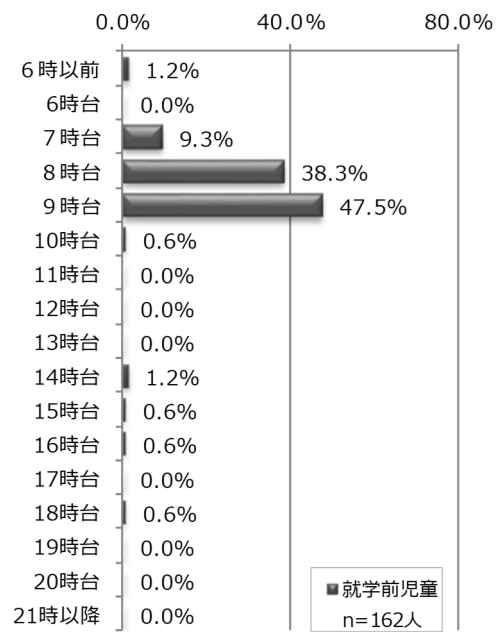
幼稚園の現在の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時台」(62.3%)、「8時台」(24.7%)、「7時台」(8.6%)の順で、終了時間は「14時台」(50.0%)、「17時台」(13.6%)、「16時台」(11.1%)の順となっています。

また、希望する開始時間と終了時間をみると、開始時間では「8時台」(38.3%)が現在に比べて13.6ポイント増加しています。終了時間では「14時台」(17.9%)が現在に比べて32.1ポイント減少している一方、15時以降の時間帯で増加しており、特に「15時台」(24.7%)は現在に比べて17.3ポイント増加しています。このことから、早い時間から遅い時間までの利用が望まれていることがうかがえます。

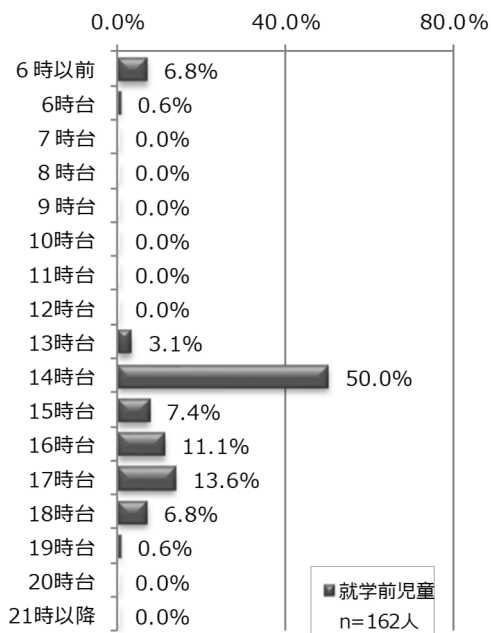
問 15-2 (1) .3.① 利用開始時間 (現在)



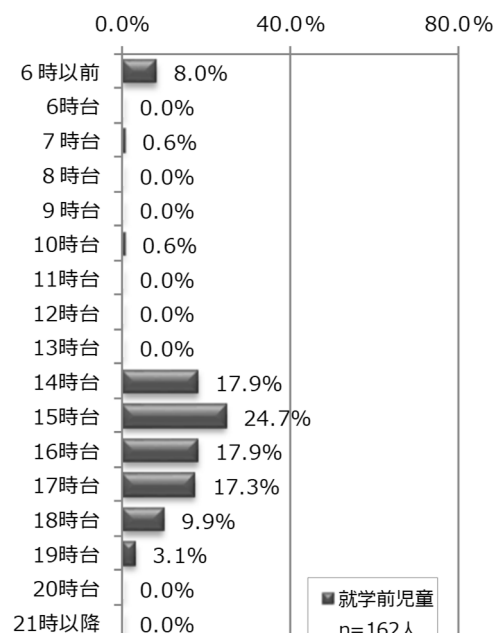
問 15-2 (2) .3.① 利用開始時間 (希望)



問 15-2 (1) .4.① 利用終了時間 (現在)



問 15-2 (2) .4.① 利用終了時間 (希望)

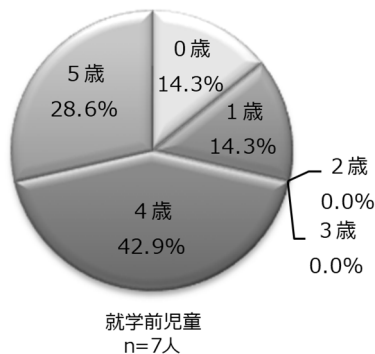


(3) 幼稚園の預かり保育

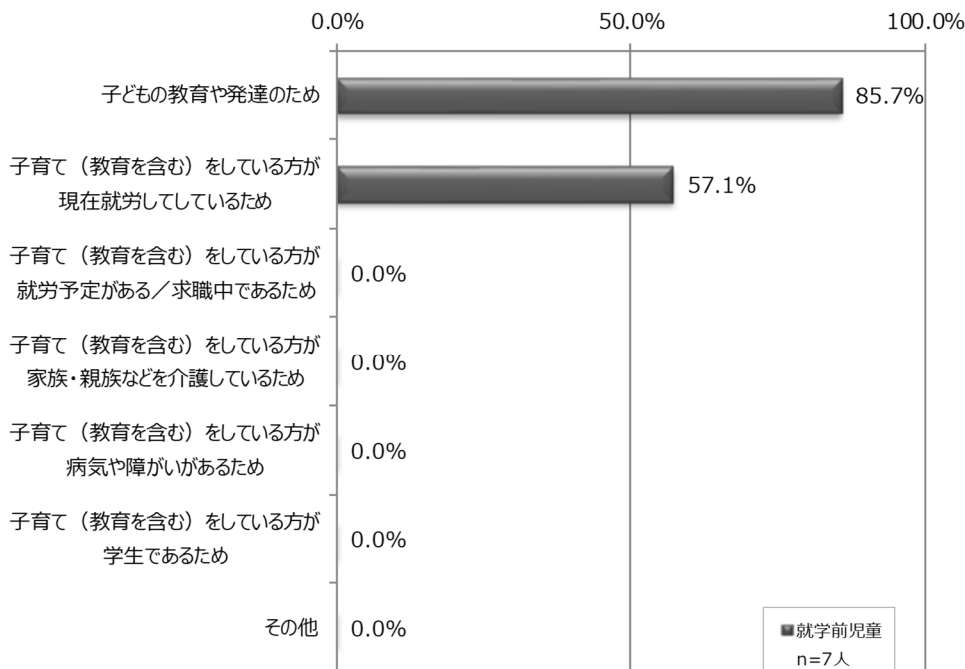
幼稚園の預かり保育の年齢別利用者数をみると、「4歳」（3人：42.9%）、「5歳」（2人：28.6%）、「0歳」、「1歳」（ともに1人：14.3%）の順となっています。

幼稚園の預かり保育を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」（85.7%）が最も多く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」（57.1%）となっています。

問 15- 1.② 幼稚園の預かり保育の年齢別利用者数



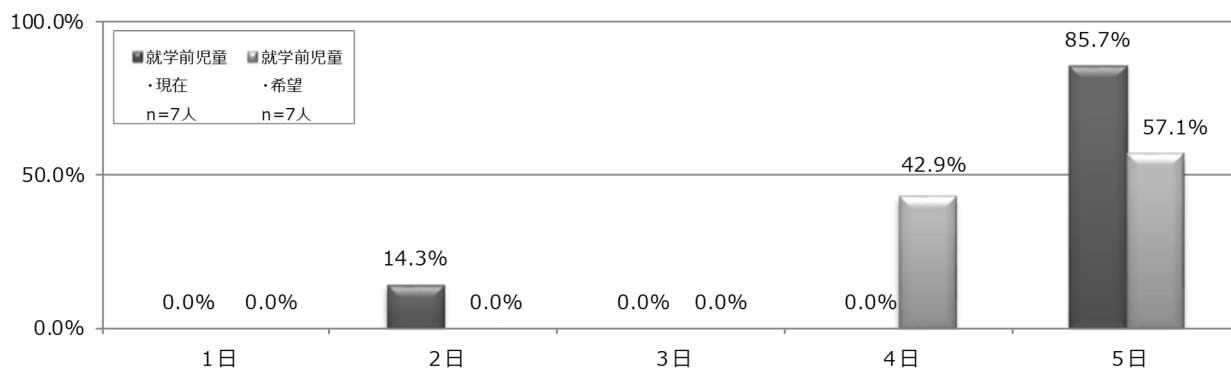
問 15- 4.② 幼稚園の預かり保育を利用している理由



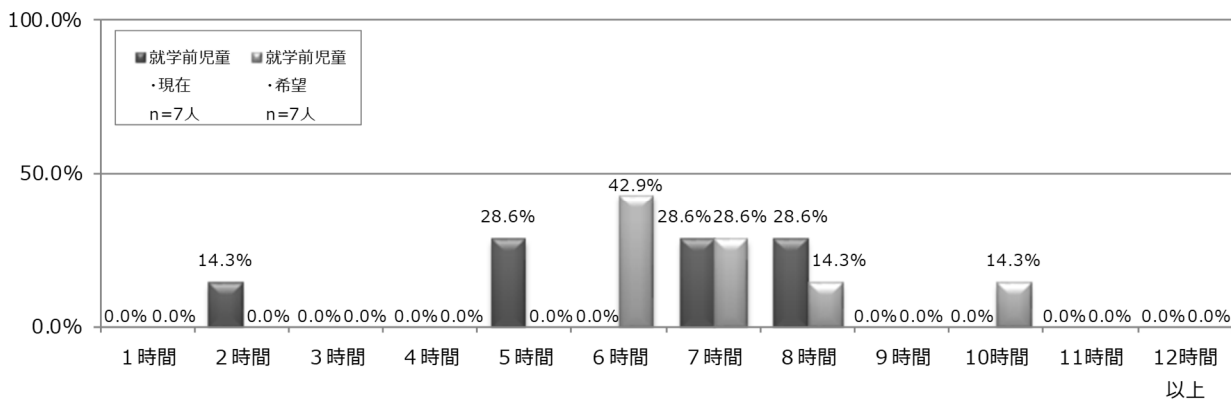
幼稚園の預かり保育の現在の利用日数と希望する利用日数（1週当たり）をみると、現在の利用日数では「5日」（85.7%）、希望する利用日数では「5日」（57.1%）、「4日」（42.9%）となっています。

また、現在の利用時間と希望する利用時間（1日当たり）について、現在では「5時間」、「7時間」、「8時間」がいずれも28.6%となっており、希望では「6時間」（42.9%）が最も多く、次いで「7時間」（28.6%）、「8時間」、「10時間」（ともに14.3%）となっています。

問 15-2.1.② 幼稚園の預かり保育の利用日数（現在及び希望・1週当たり）



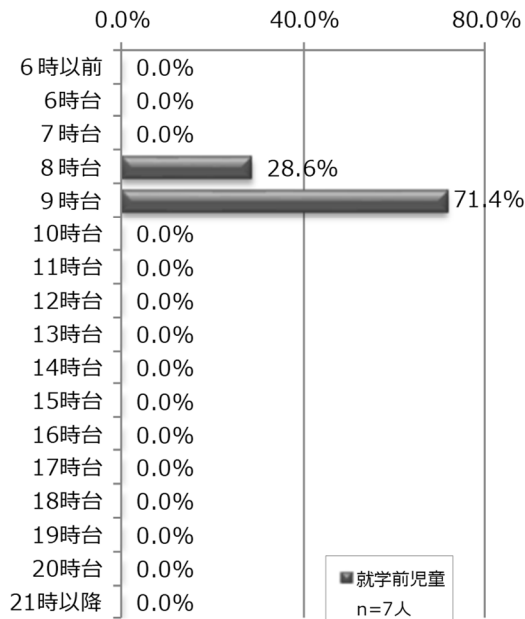
問 15-2.2.② 幼稚園の預かり保育の利用時間（現在及び希望・1日当たり）



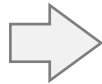
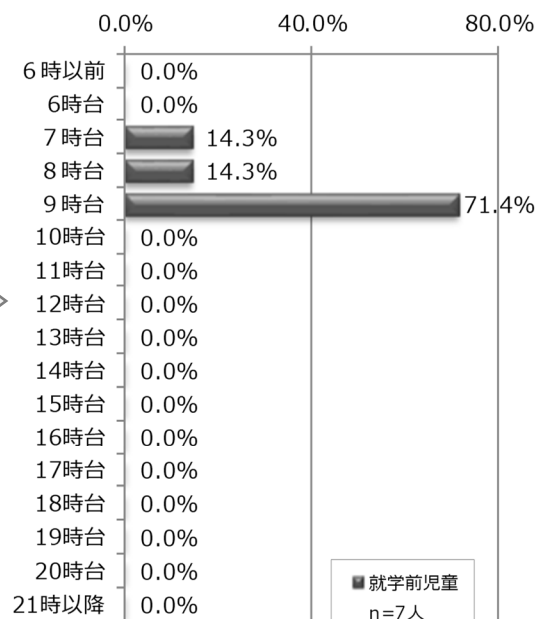
幼稚園の預かり保育の現在の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時台」(71.4%)、「8時台」(28.6%)の順で、終了時間は「6時以前」(42.9%)、「17時台」(28.6%)の順となっています。

また、希望する開始時間と終了時間をみると、開始時間では「7時台」(14.3%)が現在に比べて14.3ポイント増加しています。終了時間では「15時台」(28.6%)と「18時台」(14.3%)が現在に比べて増加しています。

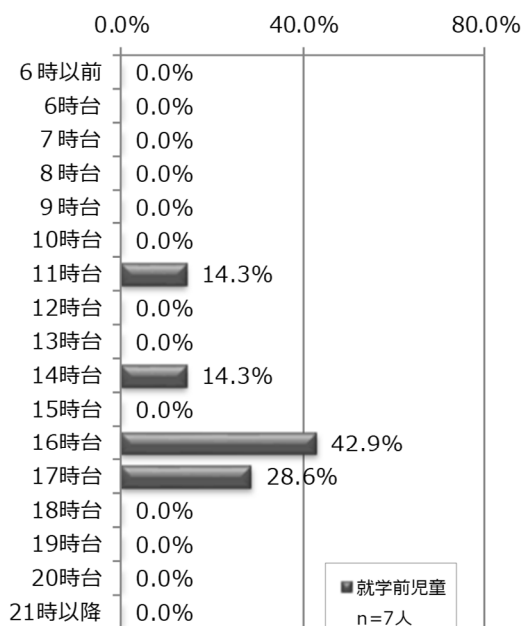
問15-2(1).3.② 利用開始時間(現在)



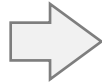
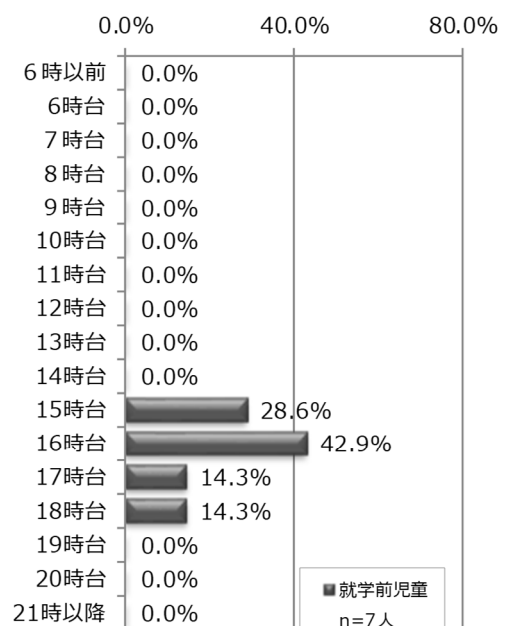
問15-2(2).3.② 利用開始時間(希望)



問15-2(1).4.② 利用終了時間(現在)



問15-2(2).4.② 利用終了時間(希望)

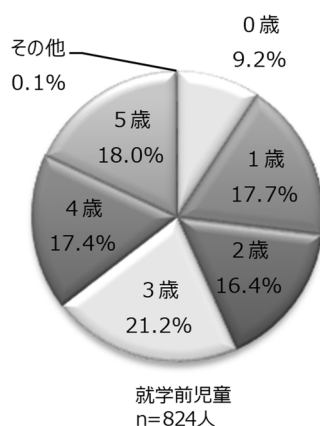


(4) 認可保育所

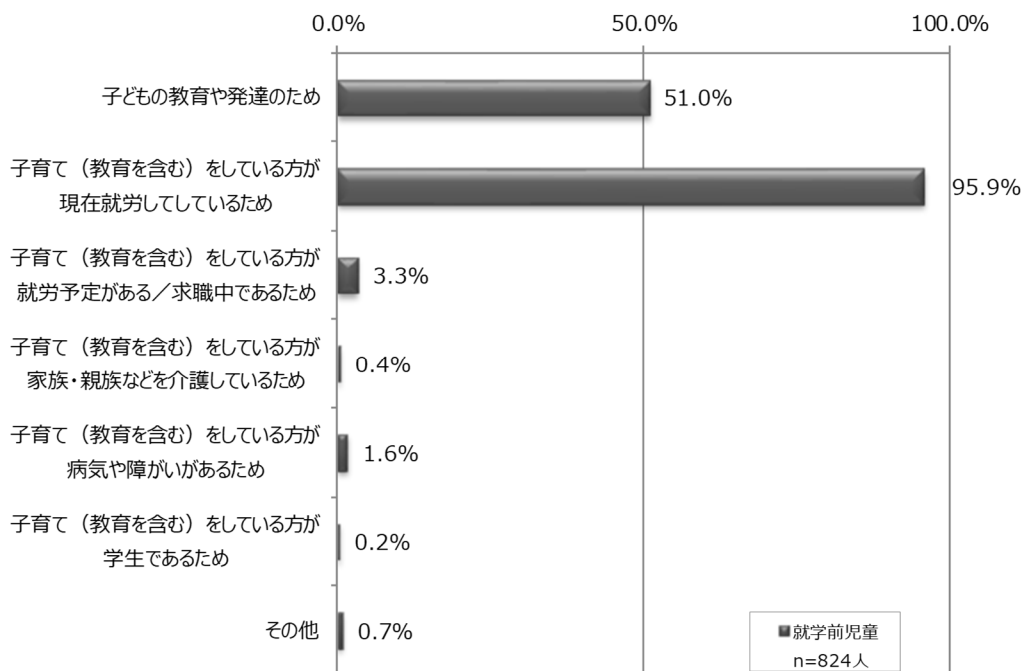
認可保育所の年齢別利用者数をみると、「3歳」（175人：21.2%）、「5歳」（148人：18.0%）、「1歳」（146人：17.7%）、「4歳」（143人：17.4%）、「2歳」（135人：16.4%）の順となっています。

認可保育所を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」（95.9%）が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」（51.0%）となっています。

問 15 - 1.③ 認可保育所の年齢別利用者数



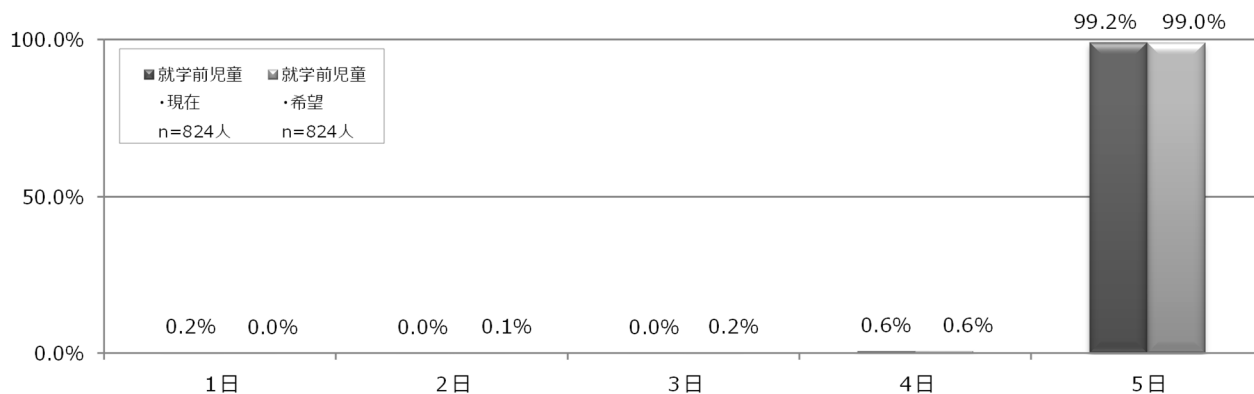
問 15-4.③ 認可保育所を利用している理由



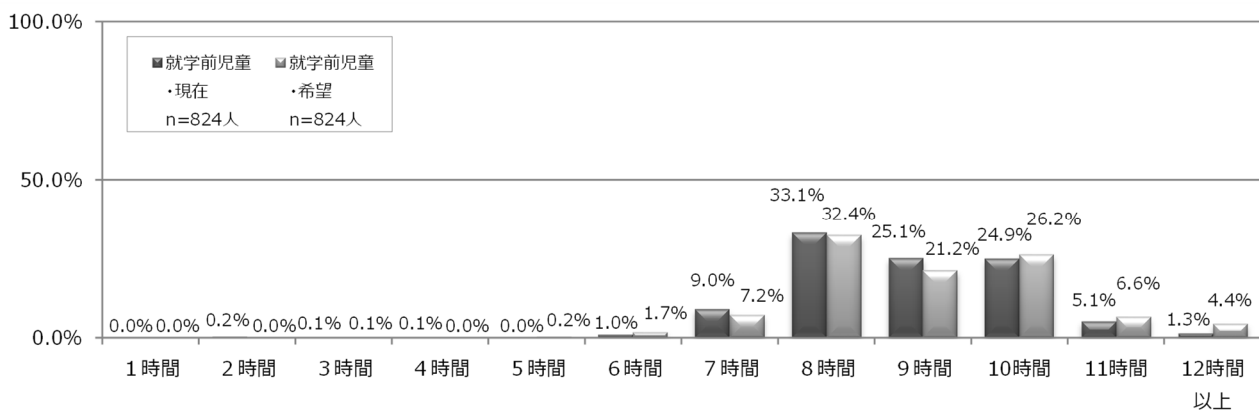
認可保育所の現在の利用日数と希望する利用日数（1週当たり）をみると、現在の利用日数では99.2%の人が「5日」と回答しており、希望する利用日数も同様に「5日」が99.0%となっています。

また、現在の利用時間と希望する利用時間（1日当たり）については、現在では「8時間」（33.1%）、「9時間」（25.1%）、「10時間」（24.9%）、「7時間」（9.0%）の順となっており、希望では現在に比べ「8時間」（32.4%）、「9時間」（21.2%）がやや減少し、「10時間」（26.2%）、「11時間」（6.6%）、「12時間以上」（4.4%）がやや増加しています。

問 15-2.1.③ 認可保育所の利用日数（現在及び希望・1週当たり）



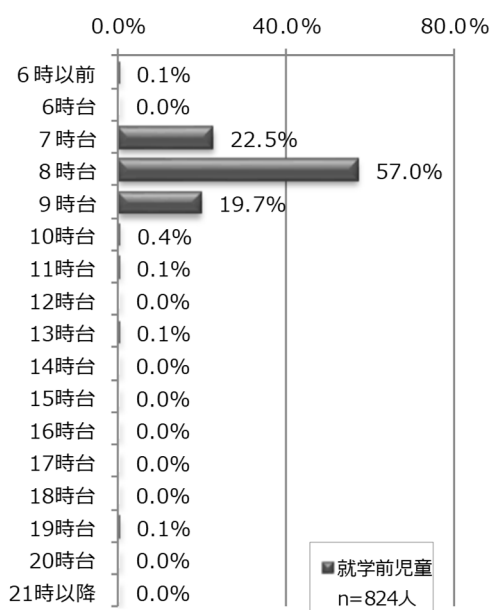
問 15-2.2.③ 認可保育所の利用時間（現在及び希望・1日当たり）



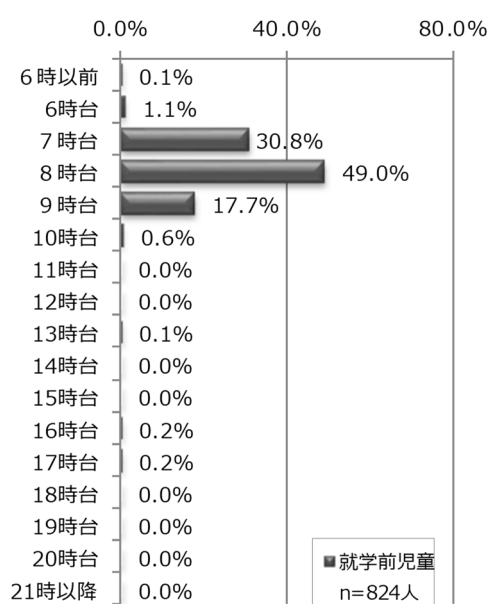
認可保育所の現在の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(57.0%)、「7時台」(22.5%)、「9時台」(19.7%)の順で、終了時間は「17時台」(37.6%)、「18時台」(28.4%)、「16時台」(20.8%)の順となっています。

また、希望する開始時間と終了時間をみると、開始時間では「7時台」(30.8%)が現在に比べて8.3ポイント増加しています。終了時間では18時以降の時間帯で増加しており、特に「19時台」(11.7%)は現在に比べて9.9ポイント増加しており、早い時間から遅い時間までの利用が望まれていることがうかがえます。

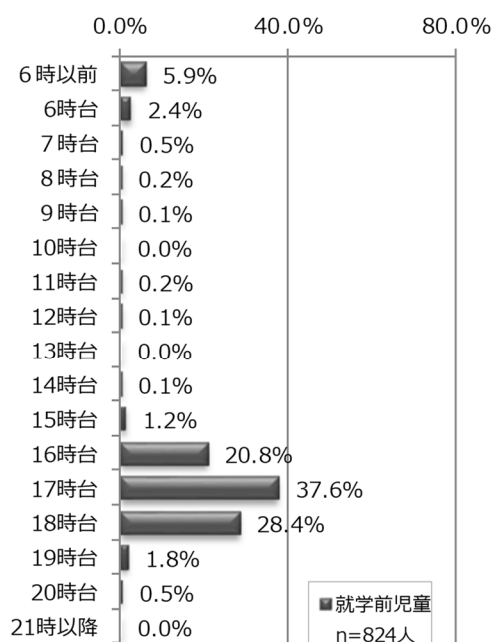
問15-2(1).3.③ 利用開始時間(現在)



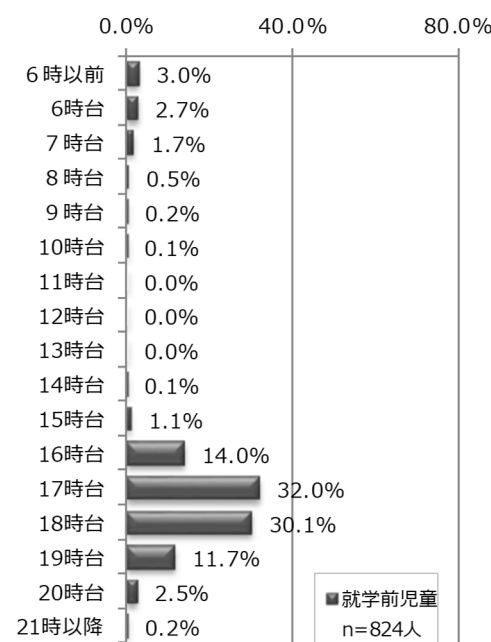
問15-2(2).3.③ 利用開始時間(希望)



問15-2(1).4.③ 利用終了時間(現在)



問15-2(2).4.③ 利用終了時間(希望)

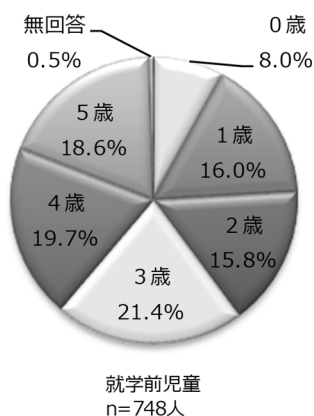


(5) 認定こども園

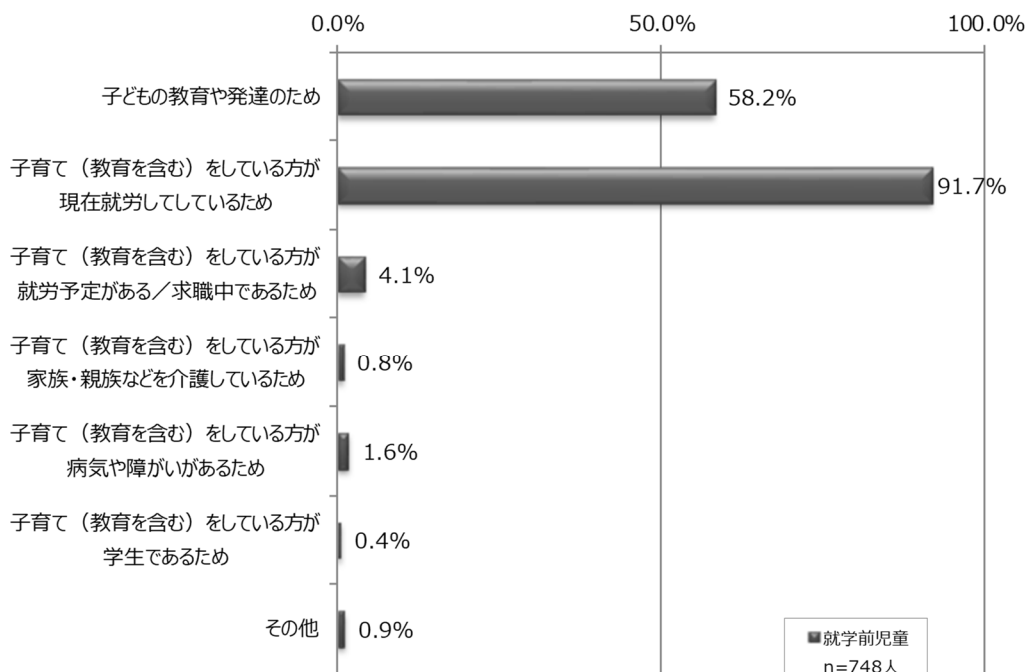
認定こども園の年齢別利用者数をみると、「3歳」(160人：21.4%)、「4歳」(147人：19.7%)、「5歳」(139人：18.6%)、「1歳」(120人：16.0%)、「2歳」(118人：15.8%)の順となっています。

認定こども園を利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労しているため」(91.7%)が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」(58.2%)となっています。

問 15-1.④ 認定こども園の年齢別利用者数



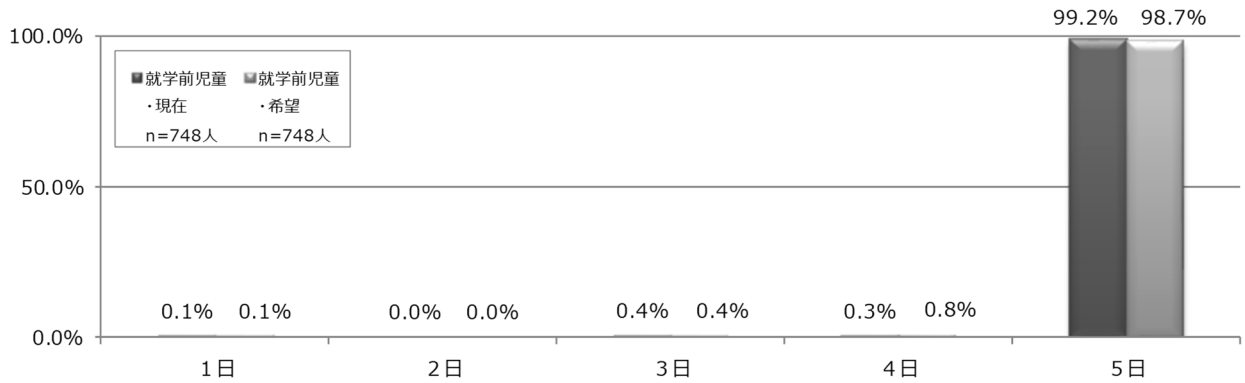
問 15-4.④ 認定こども園を利用している理由



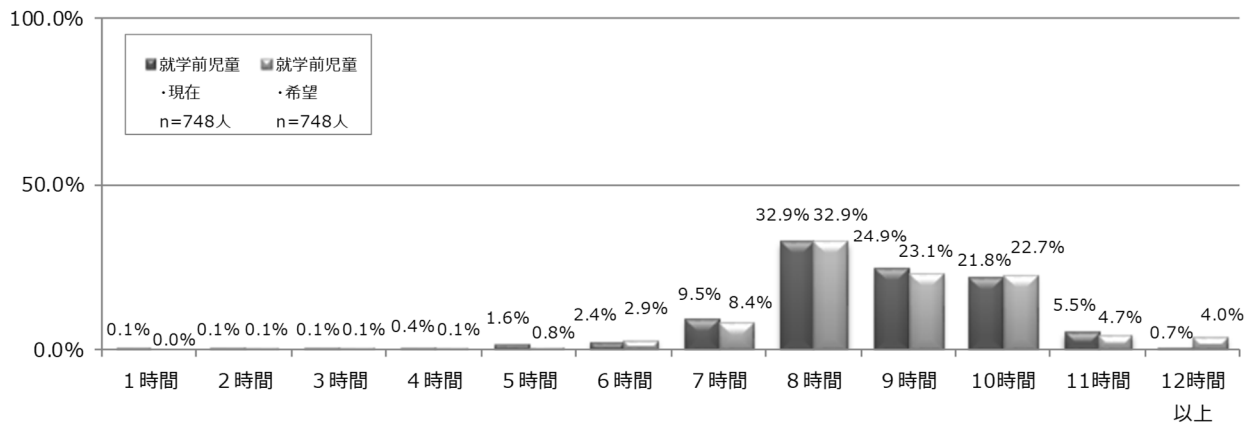
認定こども園の現在の利用日数と希望する利用日数（1週当たり）をみると、現在の利用日数では99.2%の人が「5日」と回答しており、希望する利用日数も同様に「5日」が98.7%となっています。

また、現在の利用時間と希望する利用時間（1日当たり）については、現在では「8時間」（32.9%）、「9時間」（24.9%）、「10時間」（21.8%）、「7時間」（9.5%）の順となっています。希望では「12時間以上」（4.0%）がやや増加していますが、ほぼ希望どおりの利用状況と考えられます。

問 15- 2. 1. ④ 認定こども園の利用日数（現在及び希望・1週当たり）



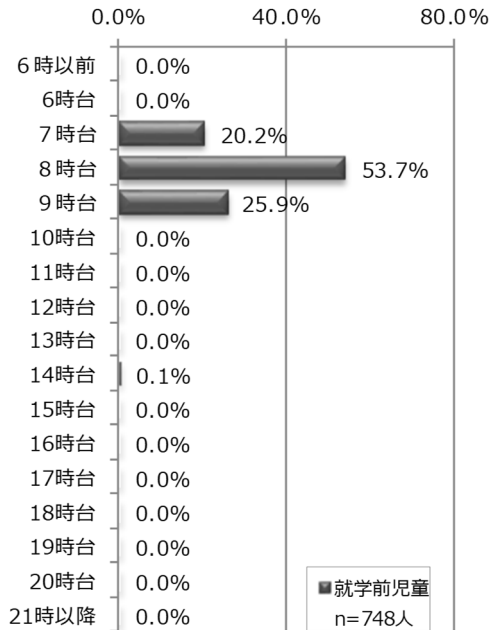
問 15- 2. 2. ④ 認定こども園の利用時間（現在及び希望・1日当たり）



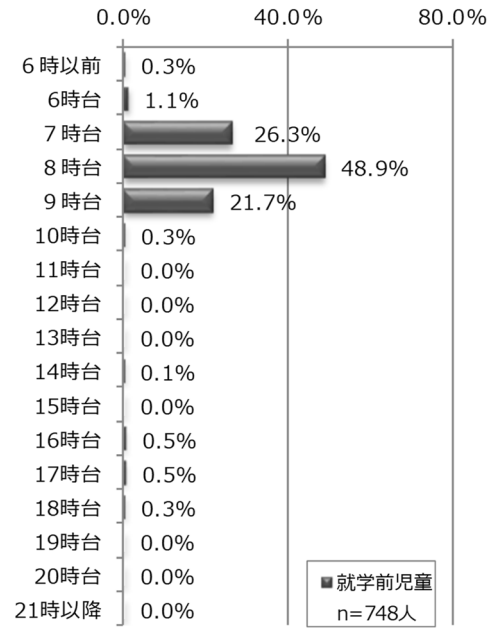
認定こども園の現在の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(53.7%)、「9時台」(25.9%)、「7時台」(20.2%)の順で、終了時間は「17時台」(35.4%)、「18時台」(26.9%)、「16時台」(21.1%)の順となっています。

また、希望する開始時間と終了時間をみると、開始時間では「7時台」(26.3%)が現在に比べて6.1ポイント増加しています。終了時間では「16時台」(17.0%)、「17時台」(29.3%)は減少、18時台以降は増加しており、特に「19時台」(9.8%)は現在に比べて8.7ポイント増加しています。

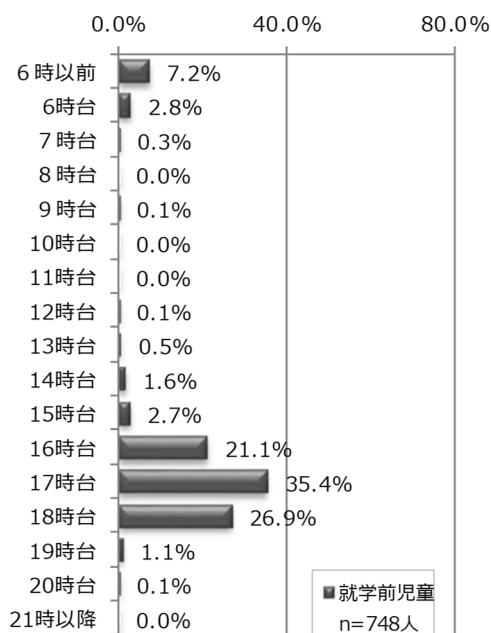
問15-2(1).3.④ 利用開始時間(現在)



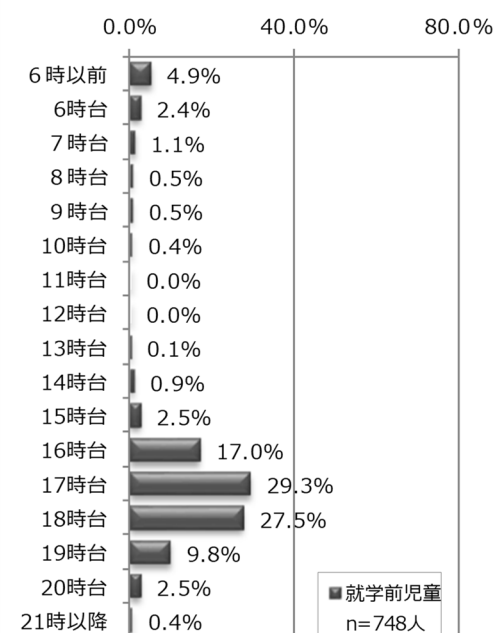
問15-2(2).3.④ 利用開始時間(希望)



問15-2(1).4.④ 利用終了時間(現在)



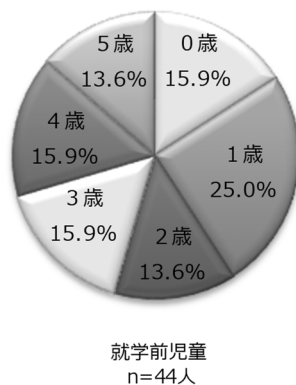
問15-2(2).4.④ 利用終了時間(希望)



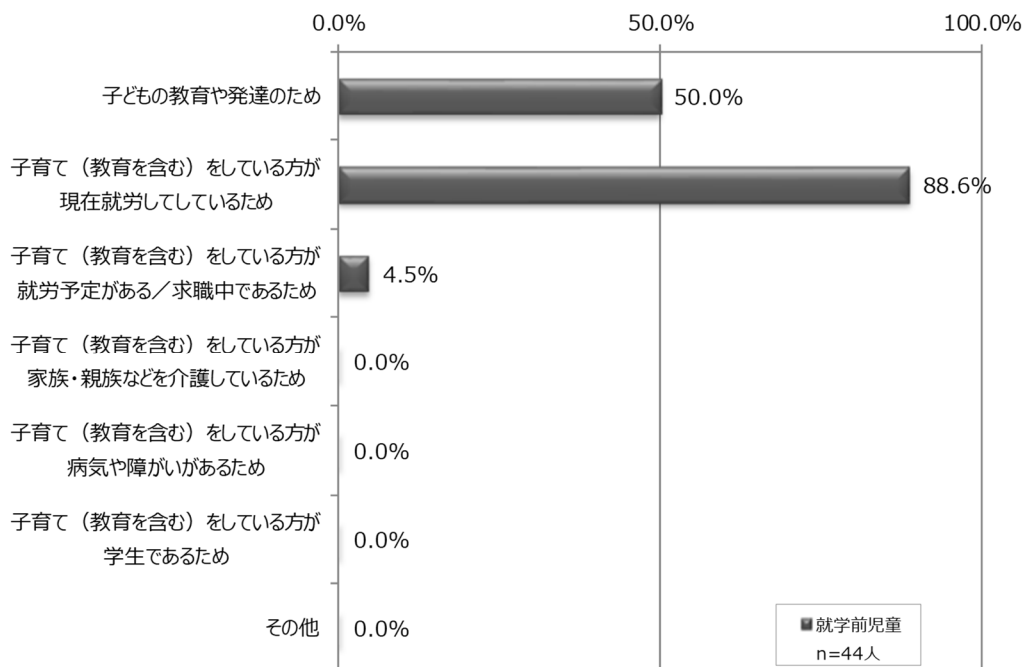
(6) 事業所内保育施設

事業所内保育施設の年齢別利用者数をみると、「1歳」（11人：25.0%）、「0歳」、「3歳」、「4歳」（ともに7人：15.9%）、「2歳」、「5歳」（ともに6人：13.6%）の順となっています。
 事業所内保育施設を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」（88.6%）が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」（50.0%）となっています。

問 15-1.⑤ 事業所内保育施設の年齢別利用者数



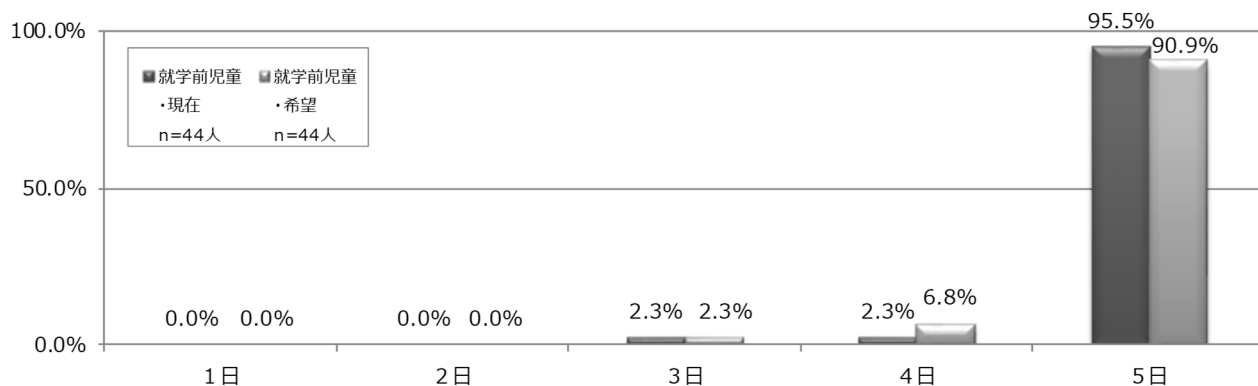
問 15-4.⑤ 事業所内保育施設を利用している理由



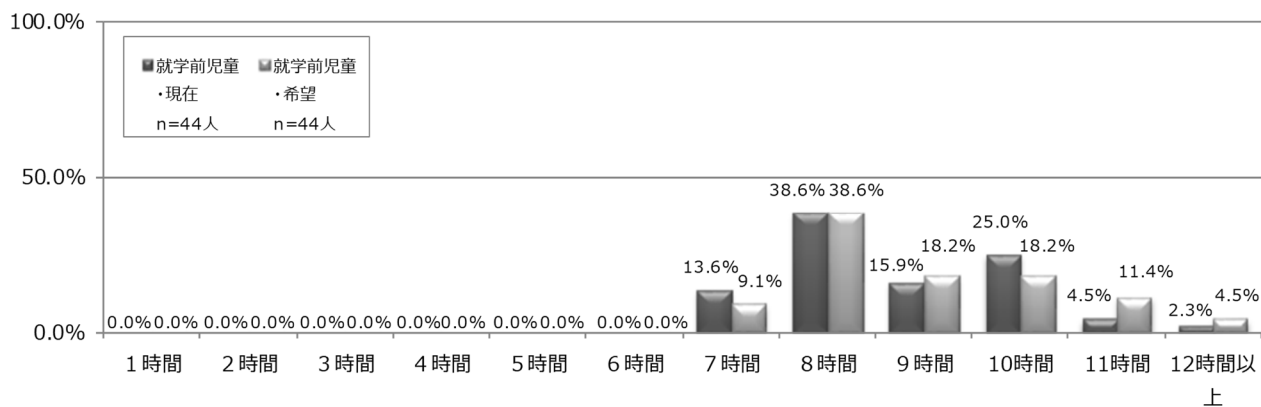
事業所内保育施設の現在の利用日数と希望する利用日数（1週当たり）をみると、現在の利用日数では95.5%の人が「5日」と回答しており、希望する利用日数も同様に「5日」が90.9%となっています。

また、現在の利用時間と希望する利用時間（1日当たり）については、現在では「8時間」（38.6%）、「10時間」（25.0%）、「9時間」（15.9%）の順となっています。希望では「8時間」が38.6%と現在と同率ですが、「9時間」（18.2%）、「11時間」（11.4%）、「12時間以上」（4.5%）は現在に比べて増加しています。

問 15- 2. 1. ⑤ 事業所内保育施設の利用日数（現在及び希望・1週当たり）



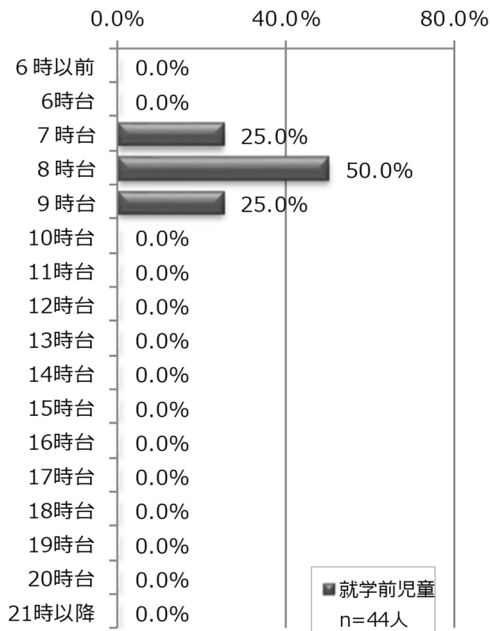
問 15- 2. 2. ⑤ 事業所内保育施設の利用時間（現在及び希望・1日当たり）



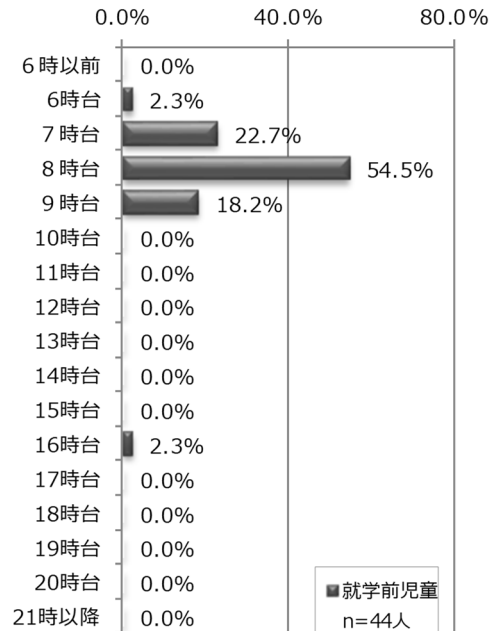
事業所内保育施設の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(50.0%)、「7時台」、「9時台」(ともに25.0%)の順で、終了時間は「17時台」(31.8%)、「18時台」(27.3%)、「16時台」(18.2%)の順となっています。

また、希望する開始時間と終了時間をみると、開始時間では「8時台」(54.5%)が現在に比べて4.5ポイント増加しています。終了時間では「18時台」(31.8%)が4.5ポイント、「19時台」(11.4%)が6.9ポイント現在に比べて増加しています。

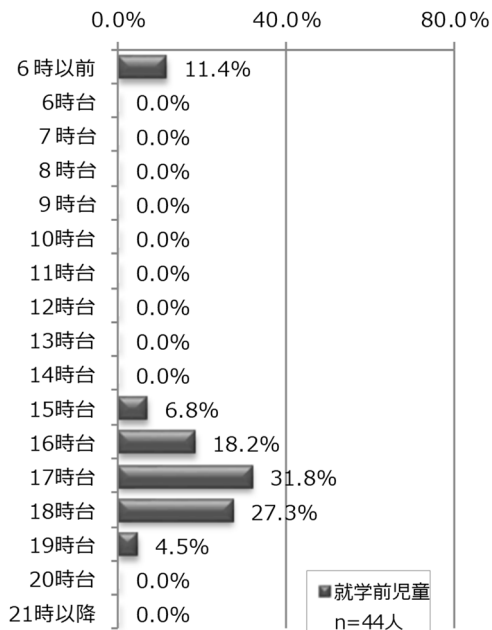
問15-2(1).3.⑤ 利用開始時間(現在)



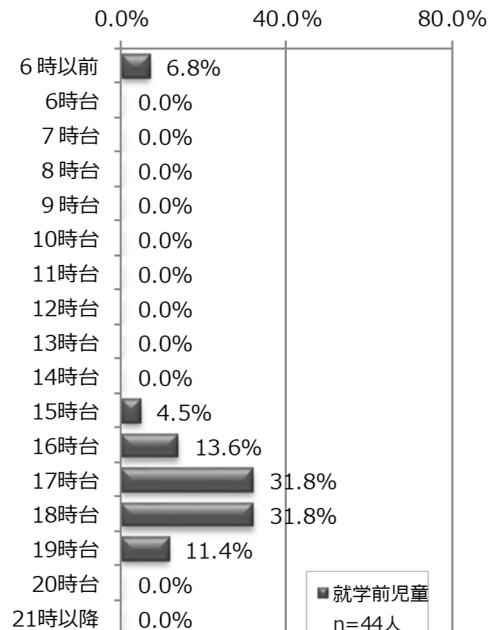
問15-2(2).3.⑤ 利用開始時間(希望)



問15-2(1).4.⑤ 利用終了時間(現在)



問15-2(2).4.⑤ 利用終了時間(希望)

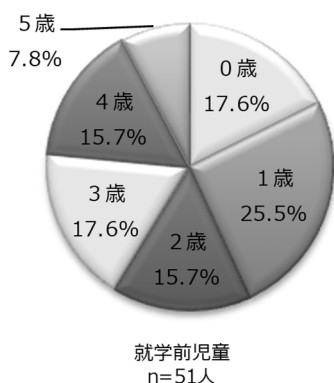


(7) その他認可外の保育施設

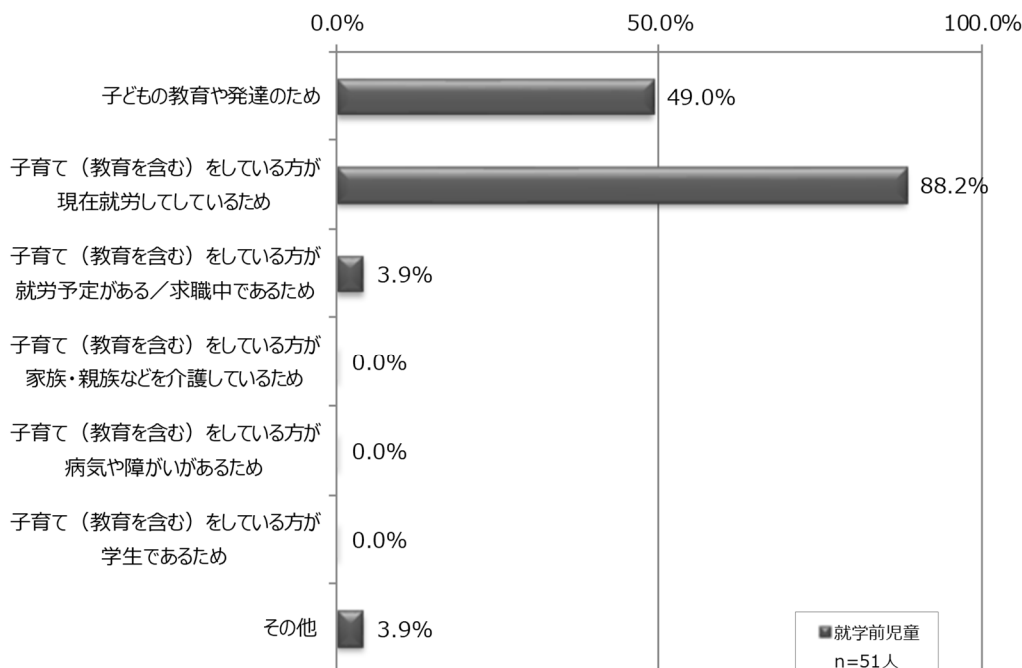
その他認可外の保育施設の年齢別利用者数をみると、「1歳」(13人：25.5%)、「0歳」、「3歳」(ともに9人：17.6%)、「2歳」、「4歳」(ともに8人：15.7%)、「5歳」(4人：7.8%)の順となっています。

その他認可外の保育施設を利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労しているため」(88.2%)が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」(49.0%)となっています。

問 15-1.⑥ その他認可外の保育施設の年齢別利用者数



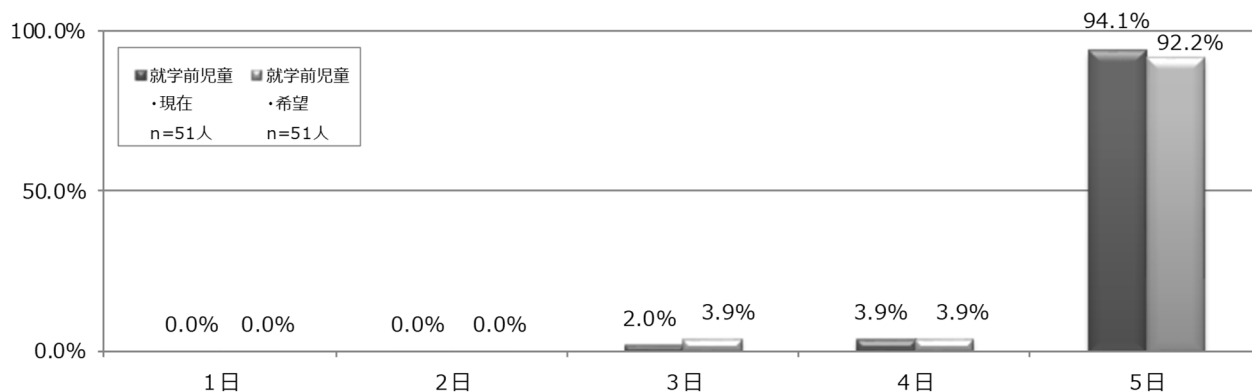
問 15-4.⑥ その他認可外の保育施設を利用している理由



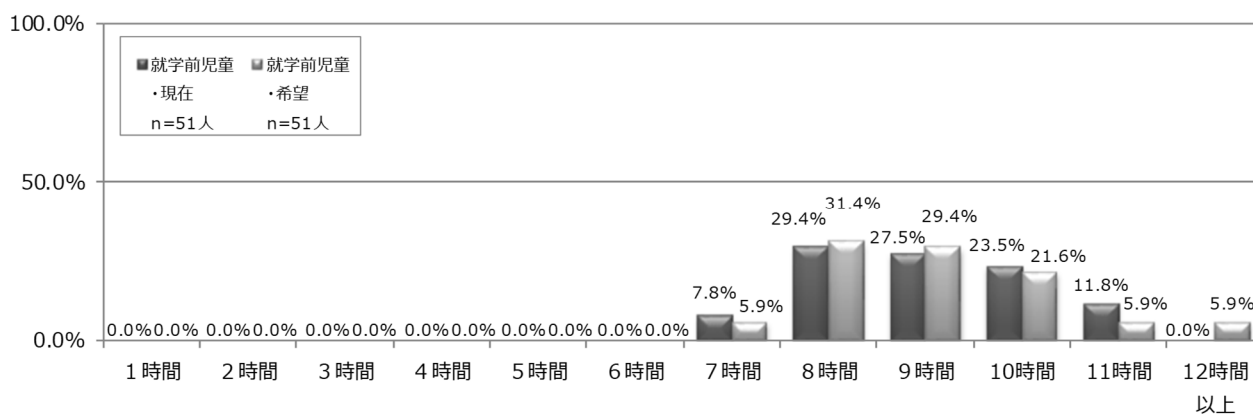
その他認可外の保育施設の利用日数と希望する利用日数（1週当たり）をみると、現在の利用日数では94.1%の人が「5日」と回答しており、希望する利用日数も同様に「5日」が92.2%となっています。

また、現在の利用時間と希望する利用時間（1日当たり）については、現在では「8時間」（29.4%）、「9時間」（27.5%）、「10時間」（23.5%）の順となっています。希望についても「8時間」（31.4%）が最も多く、次いで「9時間」（29.4%）、「10時間」（21.6%）の順となっており、現在とほぼ同様の傾向となっています。

問 15-2.1.⑥ その他認可外の保育施設の利用日数（現在及び希望・1週当たり）



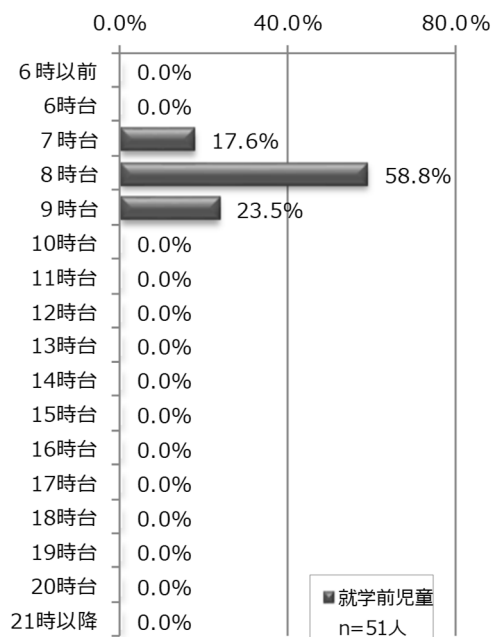
問 15-2.2.⑥ その他認可外の保育施設の利用時間（現在及び希望・1日当たり）



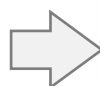
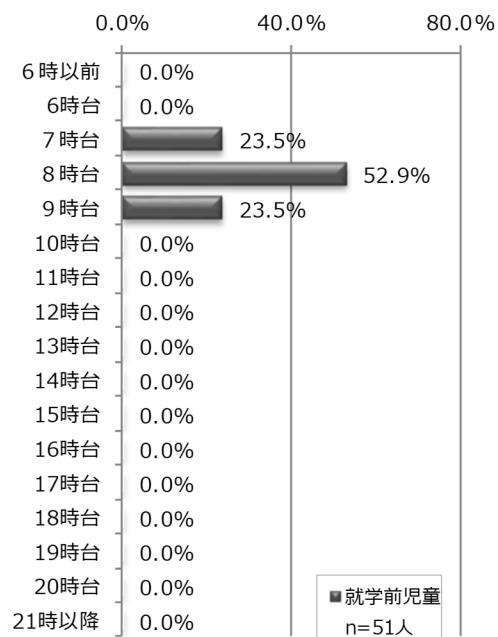
その他認可外の保育施設の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(58.8%)、「9時台」(23.5%)、「7時台」(17.6%)の順で、終了時間は「17時台」(43.1%)、「18時台」(33.3%)、「16時台」(11.8%)の順となっています。

また、希望する開始時間と終了時間をみると、開始時間では「7時台」(23.5%)が現在に比べて5.9ポイント増加しています。終了時間では「19時台」(13.7%)が7.8ポイント増加しています。

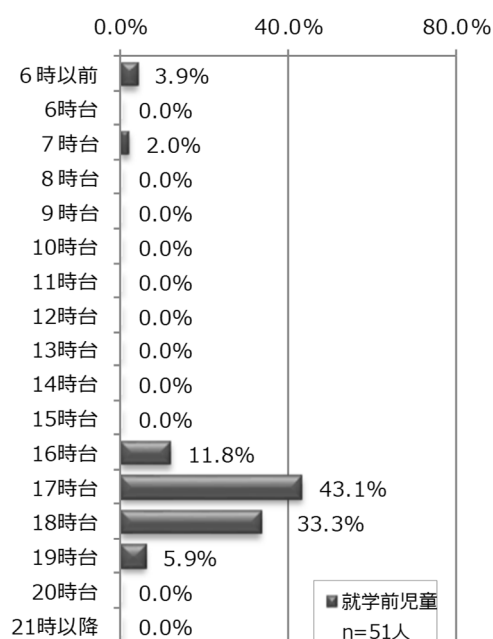
問15-2(1).3.⑥ 利用開始時間(現在)



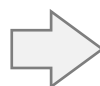
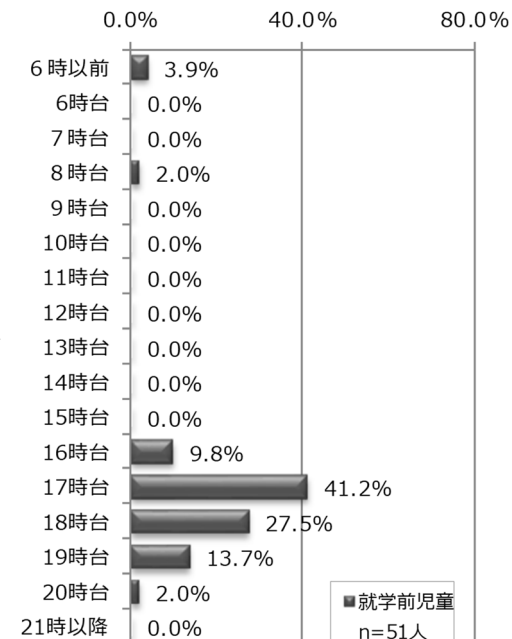
問15-2(2).3.⑥ 利用開始時間(希望)



問15-2(1).4.⑥ 利用終了時間(現在)



問15-2(2).4.⑥ 利用終了時間(希望)



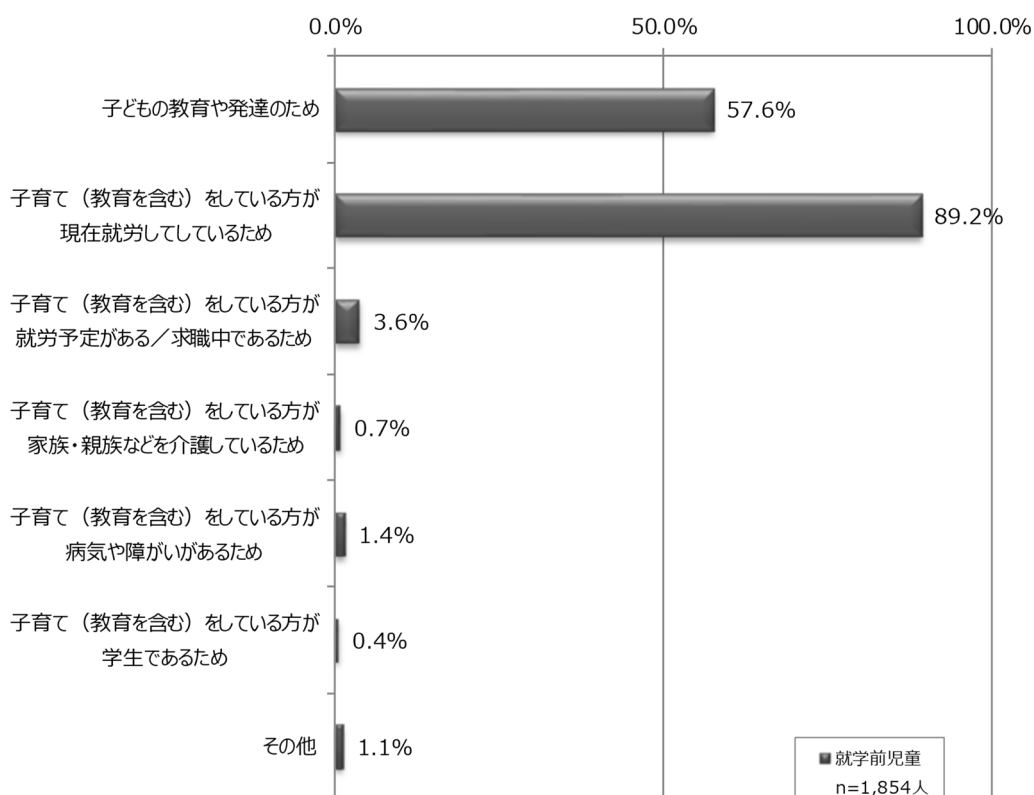
(8) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由

定期的な教育・保育事業を利用している理由をみると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」（89.2%）が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」（57.6%）となっています。

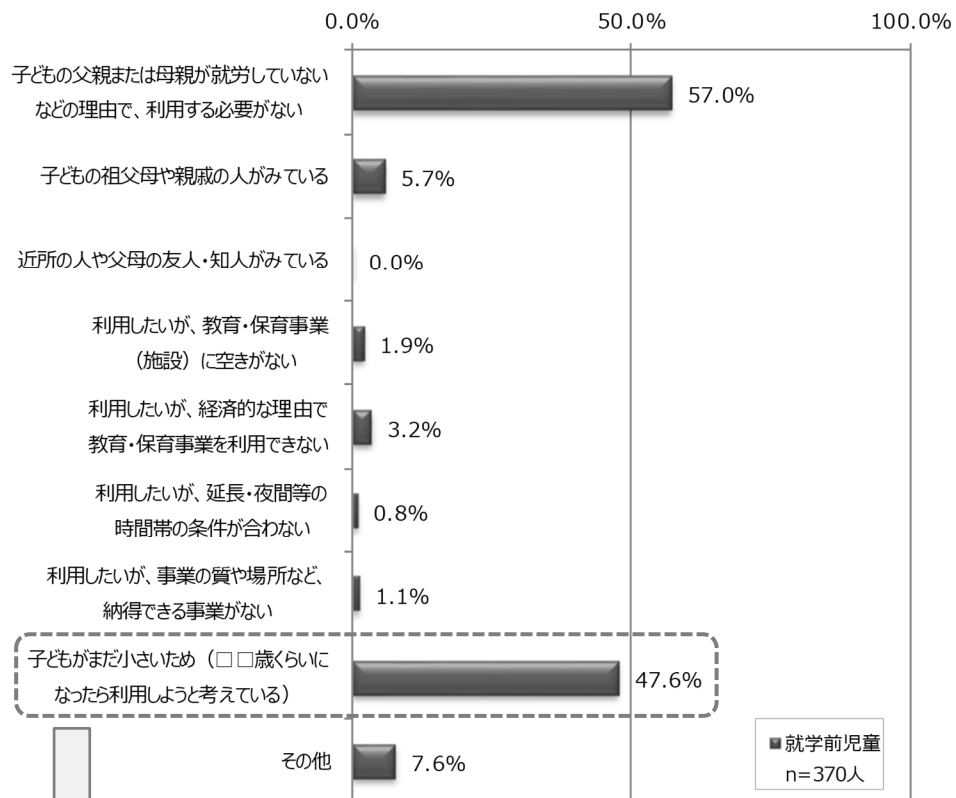
一方、利用しない理由については、「子どもの父親または母親が就労していないなどの理由で、利用する必要がない」（57.0%）が最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」（47.6%）となっています。

また、「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した人の利用を希望する子どもの年齢については、「0歳～3歳」が98.3%と大半を占めています。

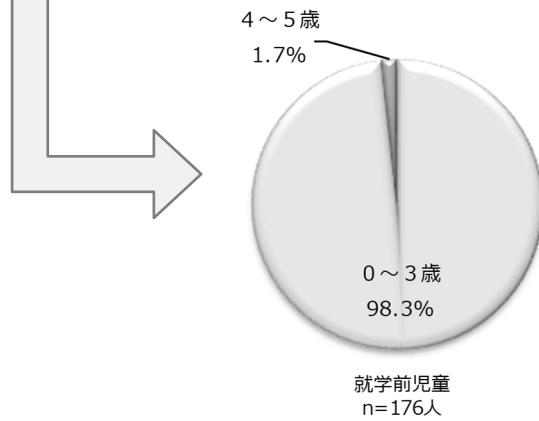
問 15-4 定期的な教育・保育事業を利用している理由



問 15-5 定期的な教育・保育事業を利用しない理由



問 15-5 利用を希望する子どもの年齢



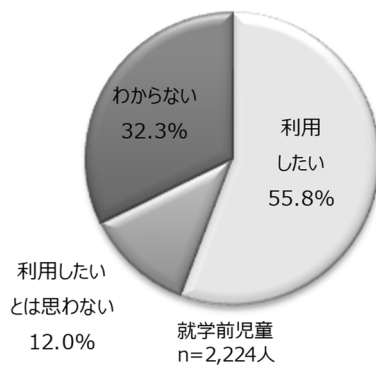
(9) 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向（新規）

（新規）「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向をみると、55.8%の人が利用したいを希望しています。

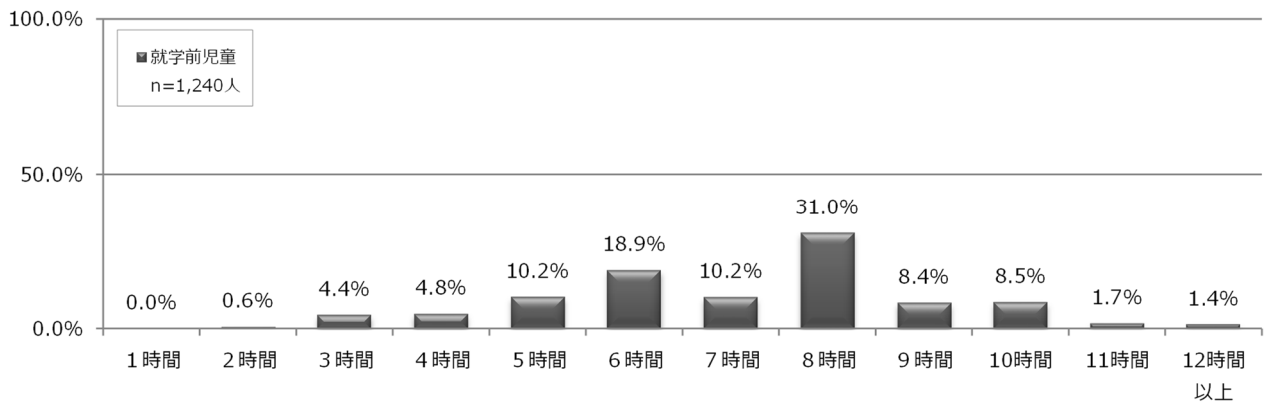
希望する利用時間（1日当たり）をみると、「8時間」（31.0%）、「6時間」（18.9%）、「5時間」、「7時間」（ともに10.2%）の順となっています。

また、希望する利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時台」（40.2%）、「8時台」（36.2%）、「7時台」（15.2%）の順で、終了時間は「17時台」（24.8%）、「16時台」（21.0%）、「15時台」（17.1%）の順となっています。

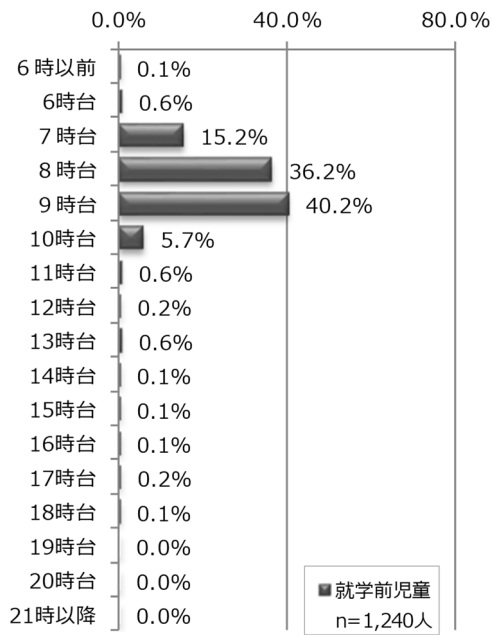
問16 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向



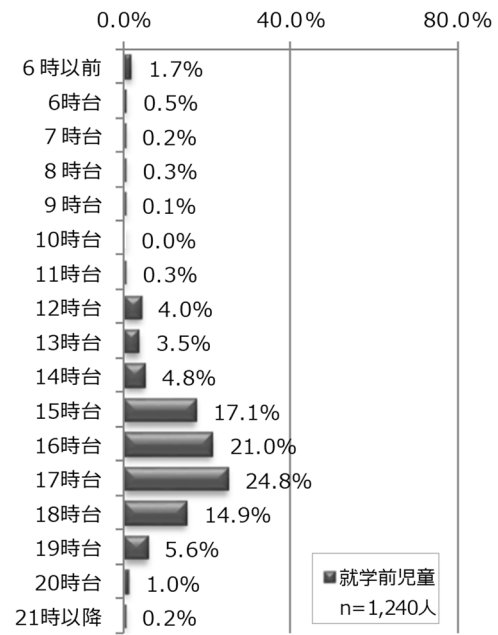
問16-1(1) 「こども誰でも通園制度（仮称）」の希望利用時間（1日当たり）



問 16-1 (1) 希望する利用開始時間

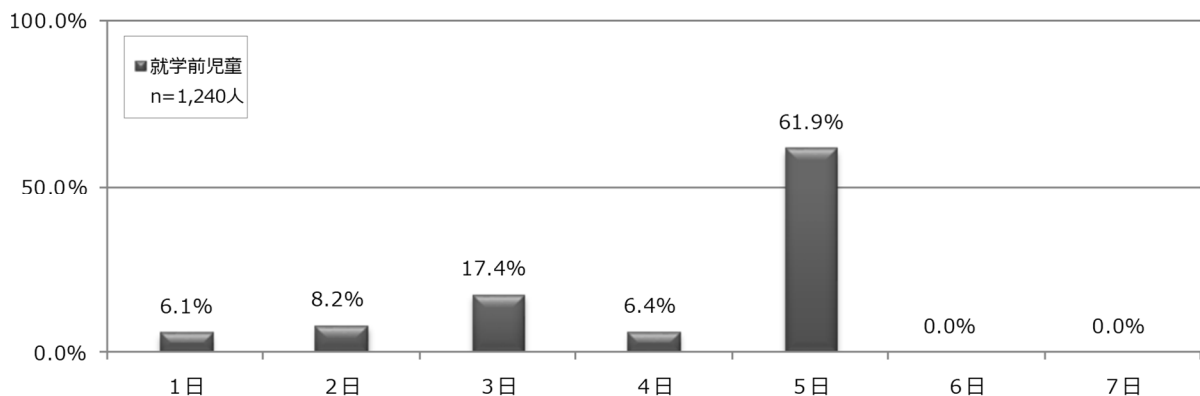


問 16-1 (1) 希望する利用終了時間



「こども誰でも通園制度（仮称）」の希望する利用日数（1週当たり）をみると、「5日」（61.9%）が最も多く、「3日」（17.4%）、「2日」（8.2%）、「4日」（6.4%）、「1日」（6.1%）の順となっています。

問 16-1 (2) 「こども誰でも通園制度（仮称）」の希望利用日数（1週当たり）

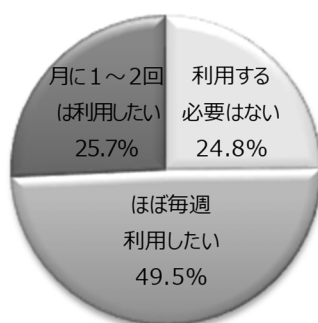


(10) 休日の教育・保育事業の利用意向

定期的な教育・保育事業の土曜日の利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」(49.5%)が最も多く、「月に1～2回は利用したい」(25.7%)と合わせると75.2%の人が利用を希望しています。

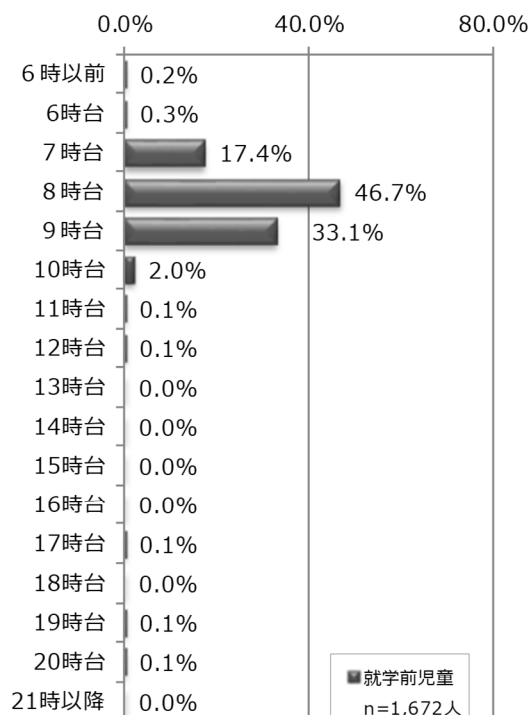
また、希望する利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(46.7%)、「9時台」(33.1%)、「7時台」(17.4%)の順となっています。終了時間は「17時台」(33.1%)、「16時台」(25.8%)、「18時台」(19.1%)の順となっています。

問 21 (1) 土曜日の利用希望

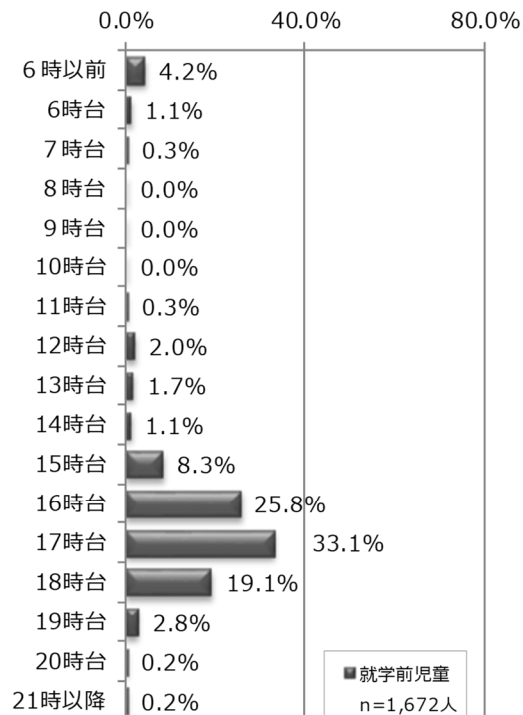


就学前児童
n=2,224人

問 21 (1) .1 土曜日の利用希望開始時間



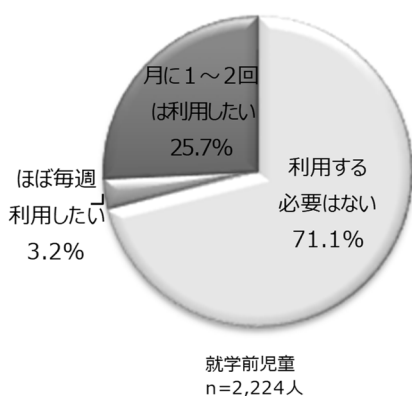
問 21 (1) .2 土曜日の利用希望終了時間



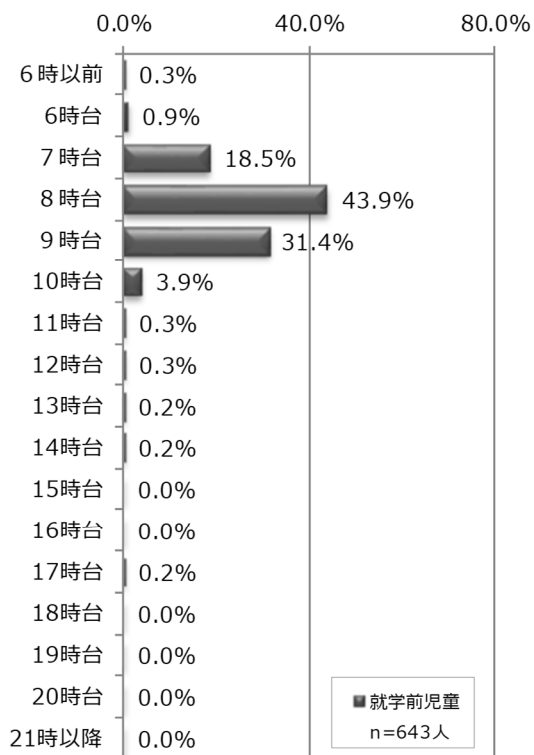
定期的な教育・保育事業の日曜・祝日の利用希望をみると、「月に1～2回は利用したい」(25.7%)、「ほぼ毎週利用したい」(3.2%)を合わせると28.9%の人が利用を希望しています。

また、希望する利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(43.9%)、「9時台」(31.4%)、「7時台」(18.5%)の順となっています。終了時間は「17時台」(32.2%)、「18時台」(24.3%)、「16時台」(18.7%)の順と、土曜日の利用希望時間とほぼ同様の傾向となっています。

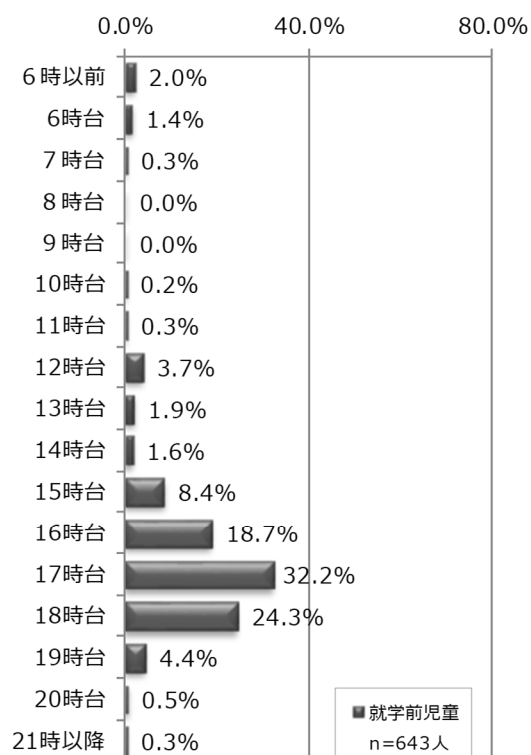
問 21 (2) 日曜・祝日の利用希望



問 21 (2) .1 日曜・祝日の利用希望開始時間

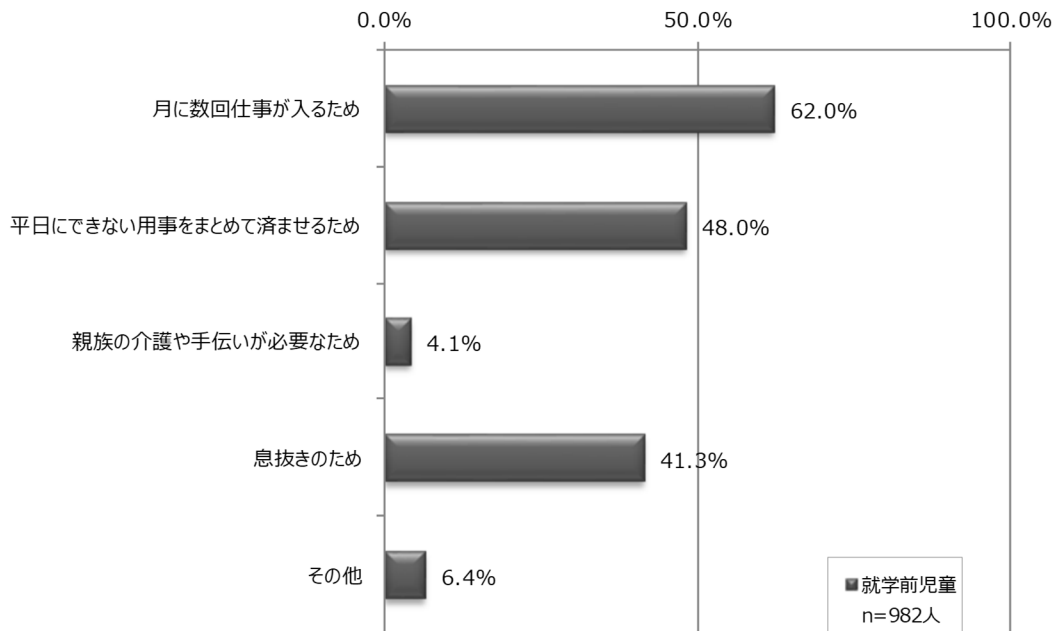


問 21 (2) .2 日曜・祝日の利用希望終了時間



土曜・日曜・祝日において月に1～2回利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(62.0%)が最も多く、次いで「平日にできない用事をまとめて済ませるため」(48.0%)、「息抜きのため」(41.3%)、「親族の介護や手伝いが必要なため」(4.1%)の順となっています。

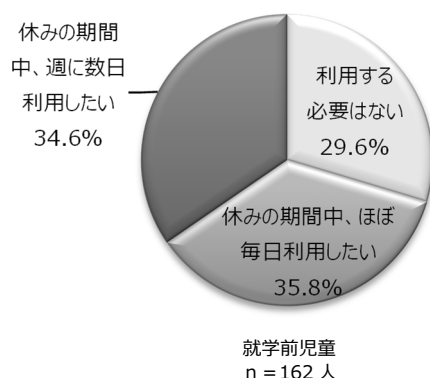
問 21-1 土曜・日曜・祝日において月に1～2回利用したい理由



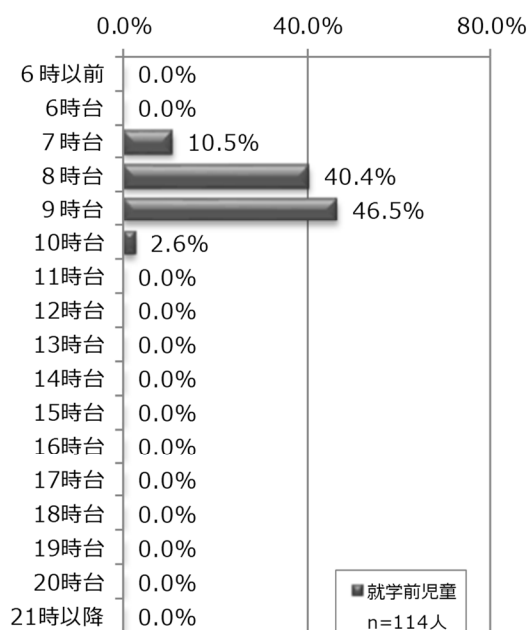
幼稚園を利用している人の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(35.8%)、「休みの期間中、週に数日利用したい」(34.6%)を合わせると70.4%の人が利用を希望しています。

また、希望する利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時台」(46.5%)、「8時台」(40.4%)、「7時台」(10.5%)の順となっています。終了時間は「17時台」(23.7%)、「15時台」(21.1%)、「16時台」(20.2%)、「14時台」(16.7%)の順となっており、土曜・日曜・祝日の希望に比べて朝は遅い時間から、夕方は早い時間の利用が望まれていることがうかがえます。

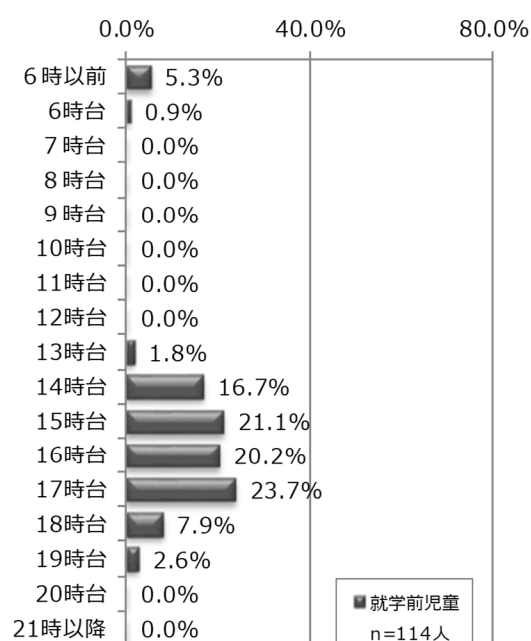
問 22 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）



問 22.1 長期休暇中の利用希望開始時間

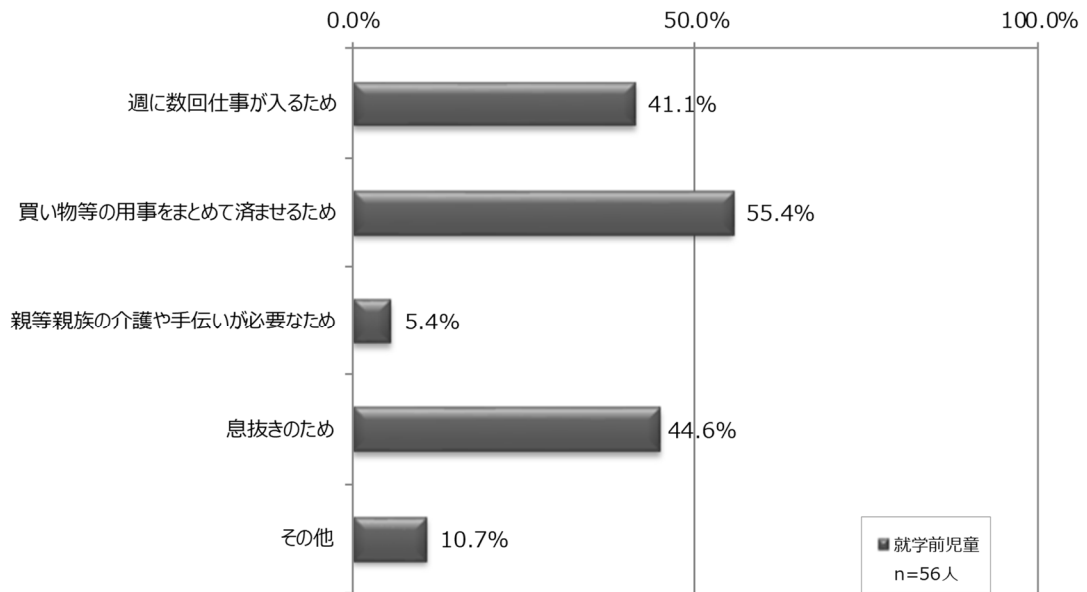


問 22.2 長期休暇中の利用希望終了時間



長期休暇中において週に数日利用したい理由をみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(55.4%)が最も多く、次いで「息抜きのため」(44.6%)、「週に数回仕事が入るため」(41.1%)、「親等親族の介護や手伝いが必要なため」(5.4%)の順となっています。

問 22-1 長期休暇中において週に数日利用したい理由



(11) 1. 就学前児童の病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

就学前児童の定期的な教育・保育事業を利用している人のうち、この1年間に病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった経験がある人は70.0%となっています。

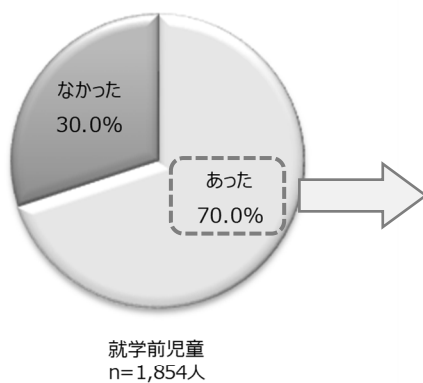
その際の対処方法は、『母親が休み対応した』(89.4%)、『父親が休み対応した』(47.9%)、『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった』(40.1%)の順となっています。

『母親が休み対応した』日数は、「10日」(24.1%)、「5日」(16.1%)、「11～15日」(12.8%)、「16～20日」(11.1%)と続き10日以上が多い傾向となっています。『父親が休み対応した』日数は、「5日」(21.9%)、「3日」(19.3%)、「10日」(17.1%)の順と、母親に比べて少ない日数となっています。

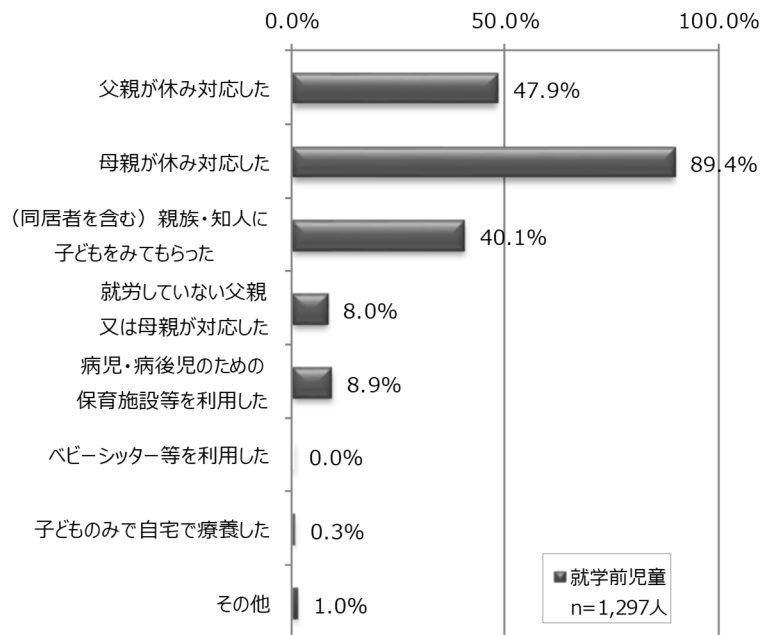
『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった』日数は、「5日」(25.2%)、「10日」(20.2%)、「3日」(13.8%)、『就労していない父親又は母親が対応した』日数は「10日」(26.9%)、「21日以上」(24.0%)、「16～20日」(13.5%)の順となっています。

『病児・病後児のための保育施設等を利用した』日数は、「3日」(22.4%)、「5日」(20.7%)、「1日」(14.7%)、『子どものみで自宅で療養した』日数は、「1日」(50.0%)、「3日」、「5日」(ともに25.0%)の順となっています。

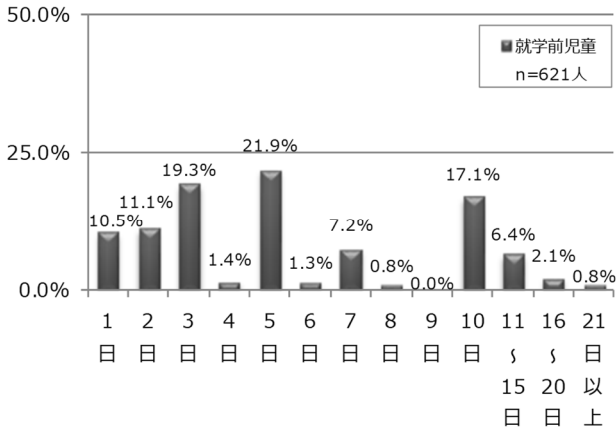
問23 病気やケガで通常の事業が
利用できなかったことの有無



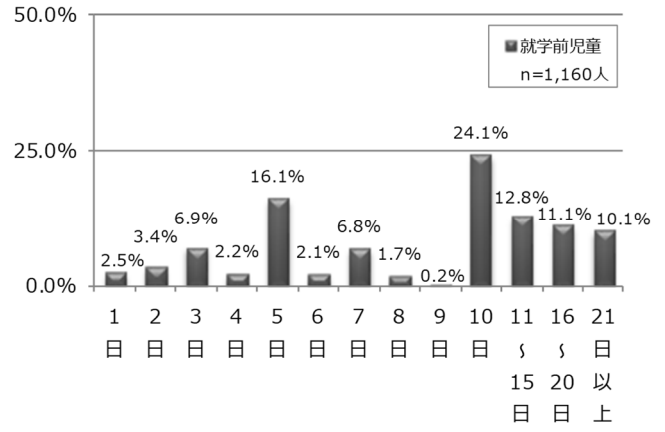
問23-1 この1年間の対処方法



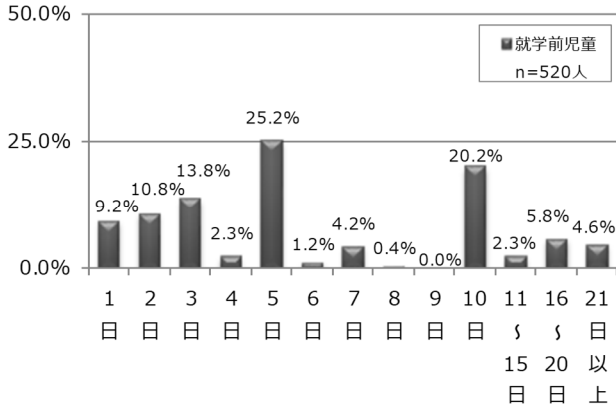
問 23-1.1 父親が休み対応した日数



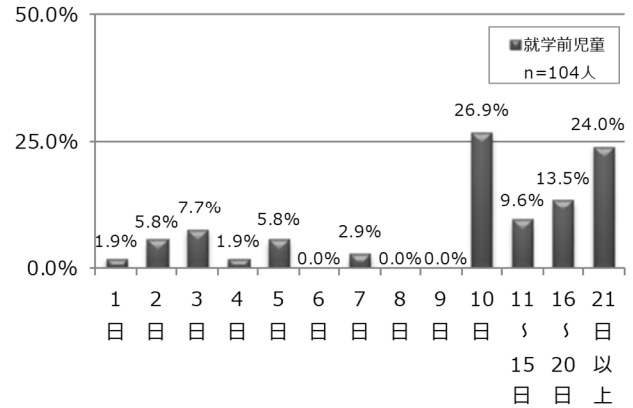
問 23-1.2 母親が休み対応した日数



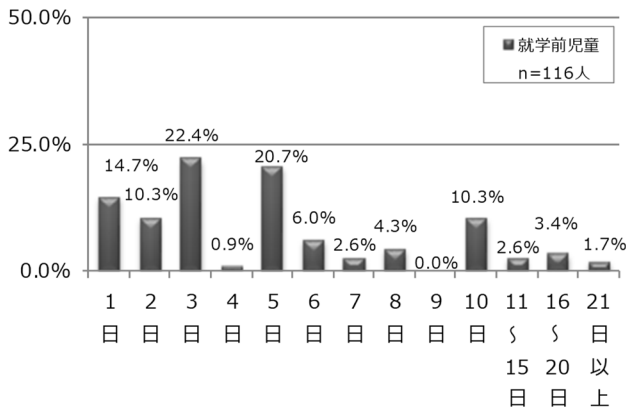
問 23-1.3 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数



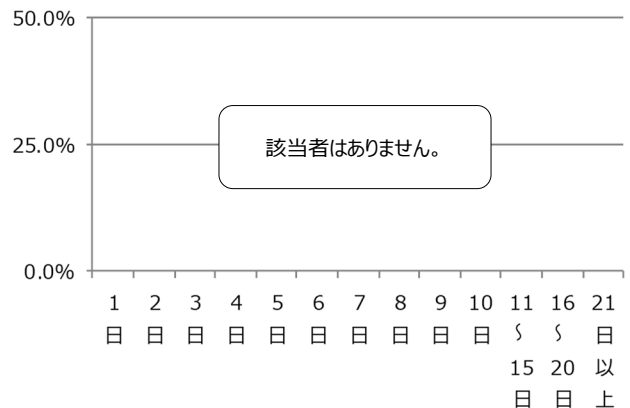
問 23-1.4 就労していない父親又は母親が対応した日数



問 23-1.5 病児・病後児のための保育施設等を利用した日数

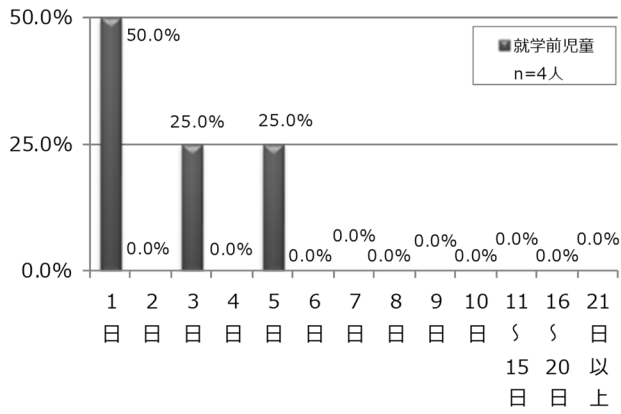


問 23-1.6 ベビーシッター等を利用した日数

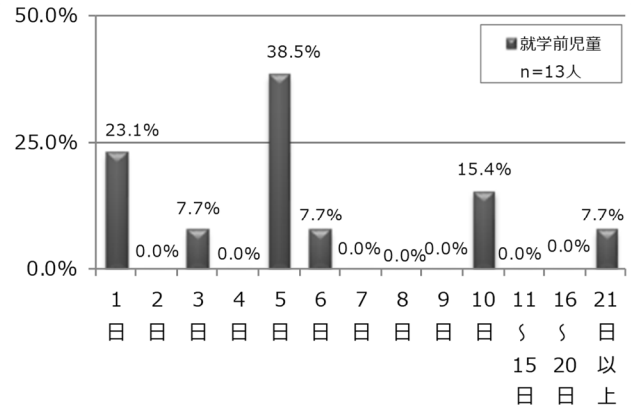


第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

問 23-1.7 子どものみで自宅で療養した日数

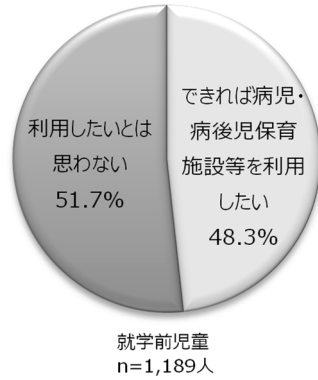


問 23-1.8 その他の日数

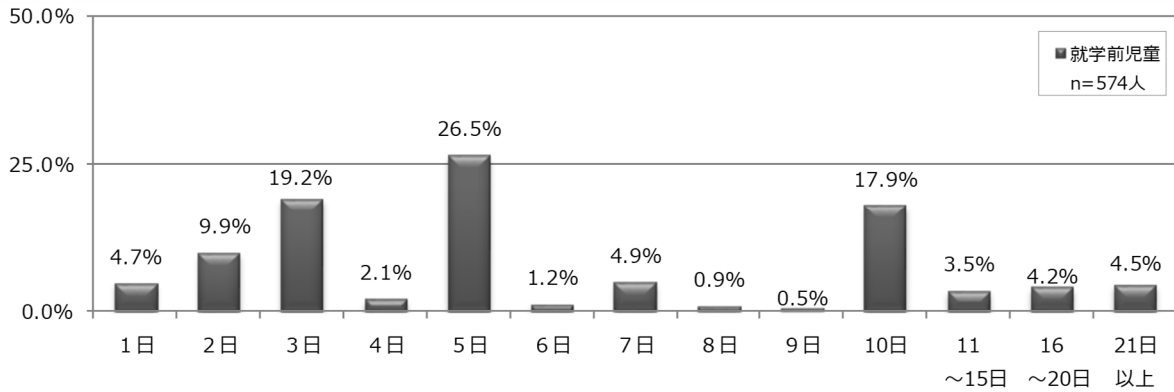


（新規） 就学前児童の父親・母親のいずれかが休んだ際の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 48.3%となっており、利用希望日数は「5日」（26.5%）、「3日」（19.2%）、「10日」（17.9%）の順となっています。

問 23-2 父親・母親のいずれかが休んだ際の病児・病後児保育施設利用意向



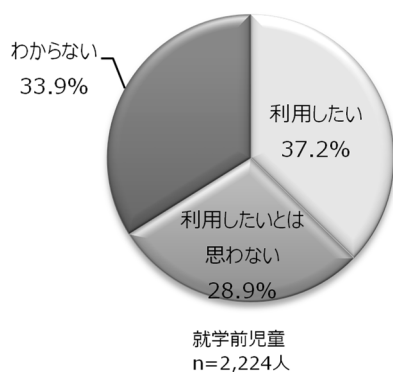
問 23-2.1. 病児・病後児保育施設の利用希望日数



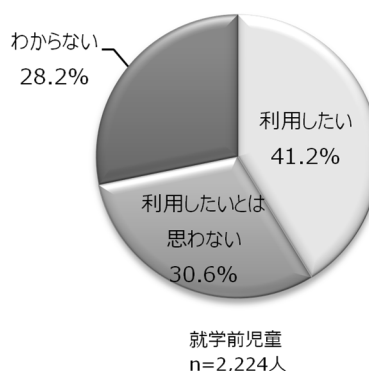
(新規) 就学前児童の病児・病後児保育施設の今後の利用意向をみると、「利用したい」が 37.2%と「利用したいとは思わない」(28.9%) を上回っています。また、「わからない」は 33.9%と、全体の約 3分の1 を占めています。

さらに、送迎サービスがあるとした場合の病児・病後児保育施設の今後の利用意向をみると、「利用したい」が 41.2%、「利用したいとは思わない」が 30.6%となっており、送迎サービスがあれば、利用意向も増加するといえます。

問 24. 今後の病児・病後児保育施設の利用意向



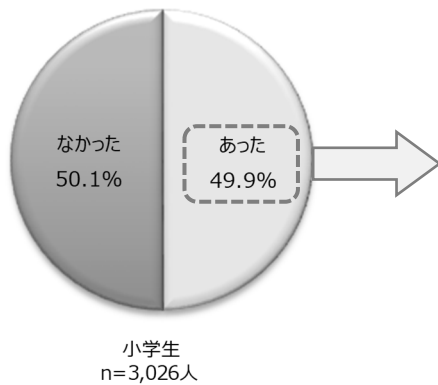
問 25. 送迎サービスがあるとした場合の今後の病児・病後児保育施設の利用意向



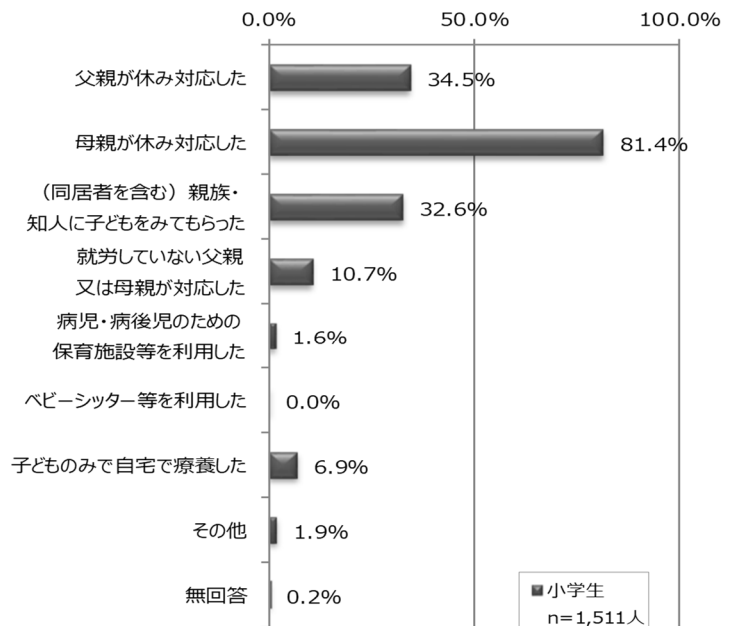
2. 小学生の病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

小学生のこの1年間に病気やケガで通学ができなかった経験がある人は49.9%となっています。
 その際の対処方法は、『母親が休み対応した』(81.4%)、『父親が休み対応した』(34.5%)、『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった』(32.6%)の順となっています。
 『母親が休み対応した』日数は、「5日」(23.7%)、「10日」(15.8%)、「3日」(15.6%)の順となっており、『父親が休み対応した』日数は、「3日」(21.7%)、「5日」(20.2%)、「1日」(20.0%)、「2日」(19.0%)の順となっています。
 『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった』日数は、「5日」(22.1%)、「3日」(20.1%)、「2日」(16.8%)、『就労していない父親又は母親が対応した』日数は、「10日」(17.4%)、「5日」(15.5%)、「7日」(14.9%)の順となっています。
 『病児・病後児のための保育施設等を利用した』日数は、「1日」(33.3%)、「2日」、「3日」(ともに16.7%)、「10日」(12.5%)、『子どものみで自宅で療養した』日数は、「3日」(25.0%)、「2日」(21.2%)、「1日」(17.3%)の順となっています。

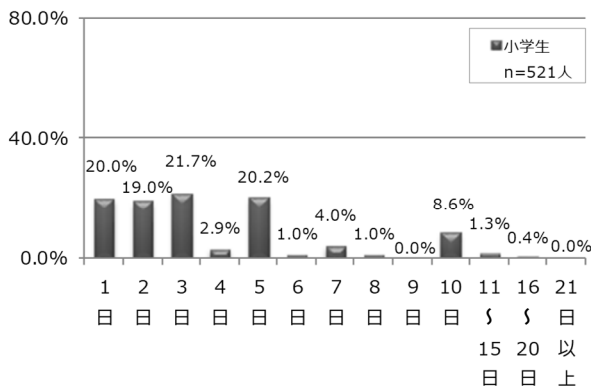
問13 病気やケガで、通学できなかったことの有無



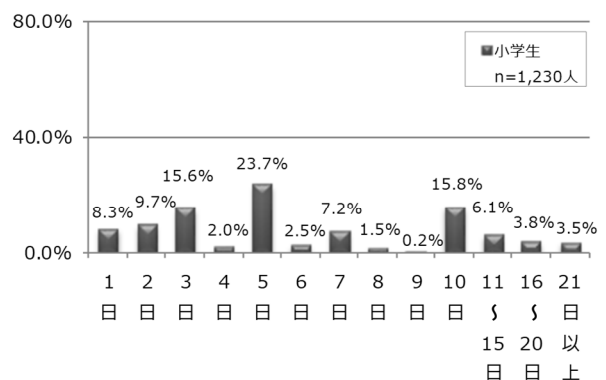
問13-1 この1年間の対処方法



問13-1.1 父親が休み対応した日数

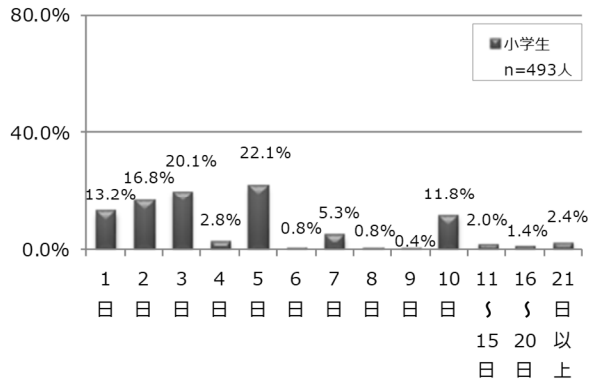


問13-1.2 母親が休み対応した日数

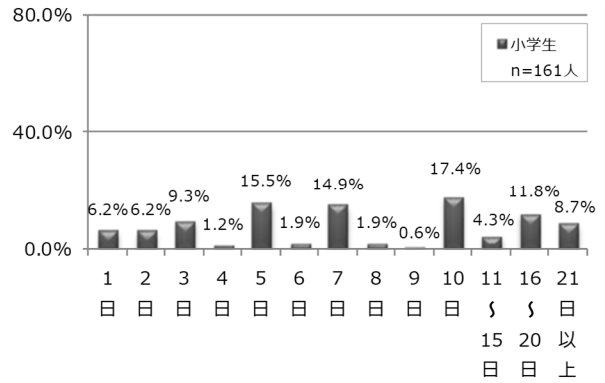


第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

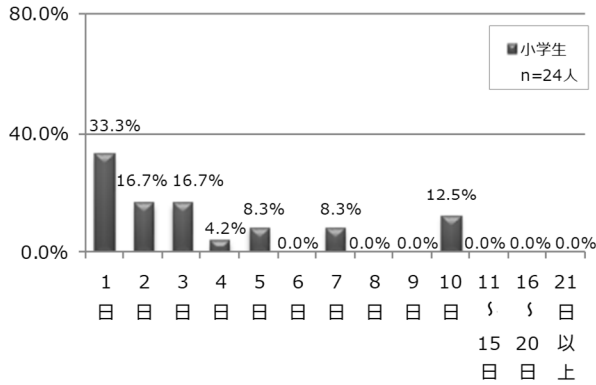
問 13-1.3 (同居者を含む) 親族・知人に
子どもをみてもらった日数



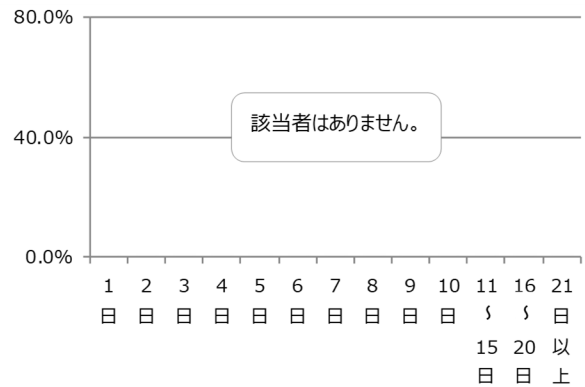
問 13-1.4 就労していない父親又は母親が
対応した日数



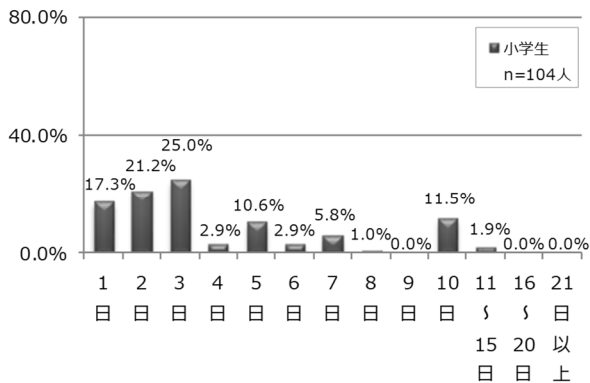
問 13-1.5 病児・病後児のための保育施設等を
利用した日数



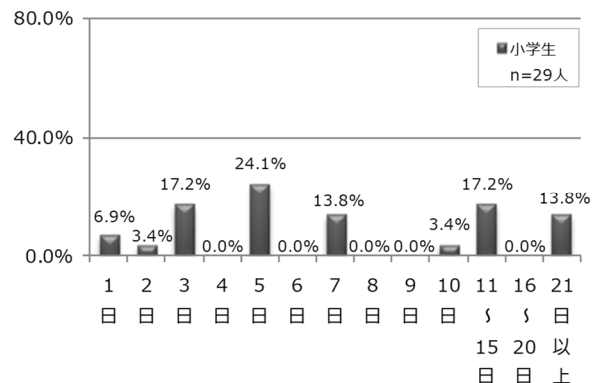
問 13-1.6 ベビーシッター等を
利用した日数



問 13-1.7 子どものみで自宅で療養した日数

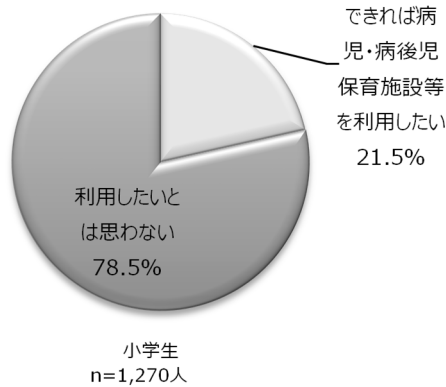


問 13-1.8 その他の日数

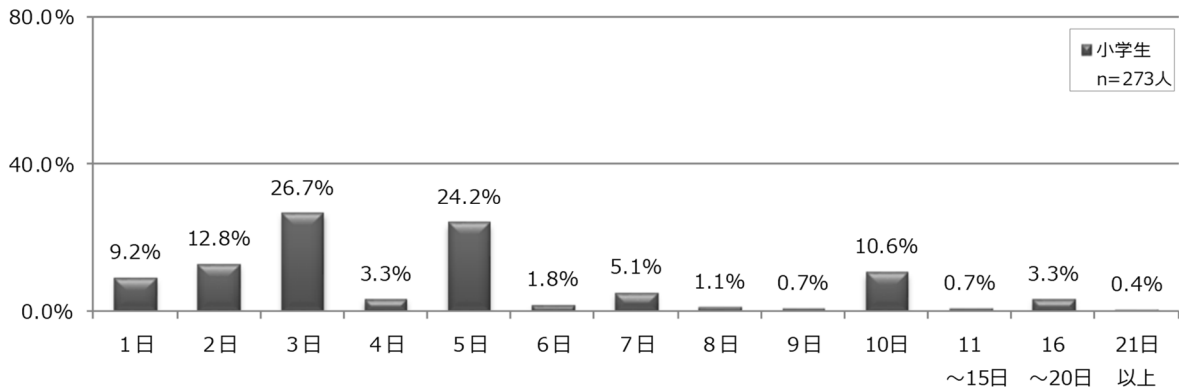


(新規) 小学生の父親・母親のいずれかが休んだ際の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は21.5%と、就学前児童に比べて26.8ポイント下回っています。
 利用希望日数は「3日」(26.7%)、「5日」(24.2%)、「2日」(12.8%)、「10日」(10.6%)、「1日」(9.2%)の順となっています。

問13-2 父親・母親のいずれかが休んだ方の休んだ際における病児・病後児保育施設利用意向



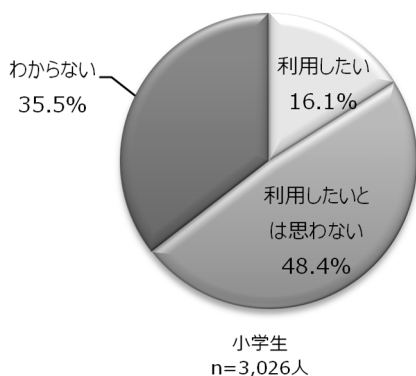
問13-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数



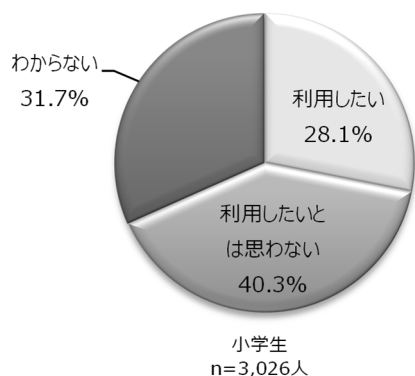
(新規) 小学生の病児・病後児保育施設の今後の利用意向をみると、「利用したい」が 16.1%、「利用したいとは思わない」が 48.4%となっており、就学前児童に比べて“利用したい”が 21.1 ポイント下回っています。また、「わからない」が 35.5%となっています。

さらに、送迎サービスがあるとした場合の病児・病後児保育施設の今後の利用意向をみると、「利用したい」が 28.1%、「利用したいとは思わない」が 40.3%となっており、送迎サービスがあれば、利用意向も増加するといえます。

問 14 今後の病児・病後児保育施設の利用意向



問 15 送迎サービスがあるとした場合の今後の病児・病後児保育施設の利用意向



2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向

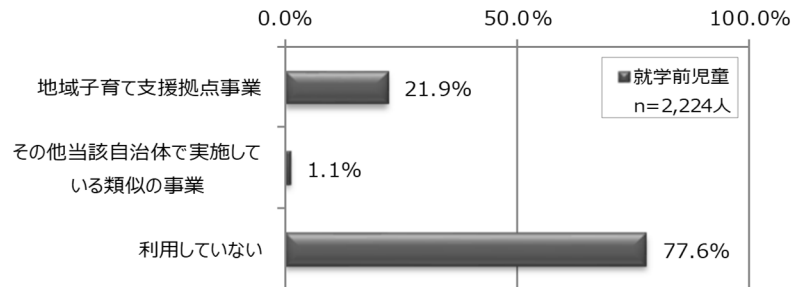
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用について

就学前児童の地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、21.9%の人が利用しています。「その他当該自治体で実施している類似の事業」の利用は1.1%となっています。

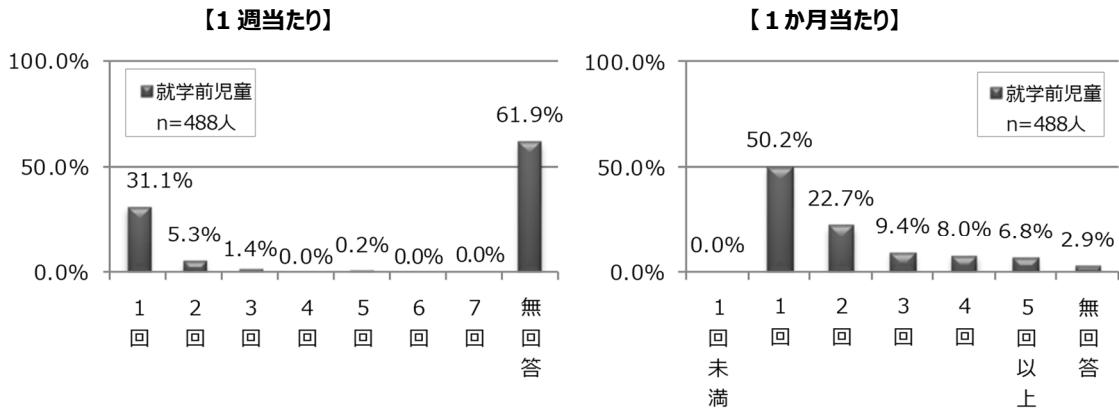
地域子育て支援拠点事業の1週当たりの利用回数は、「1回」(31.1%)が最も多く、次いで「2回」(5.3%)となっており、1か月当たりの利用回数は、「1回」(50.2%)、「2回」(22.7%)、「3回」(9.4%)の順となっています。

その他当該自治体で実施している類似の事業の1週当たりの利用回数は、「1回」(20.8%)、1か月当たりの利用回数は、「1回」(62.5%)が最も多くなっています。

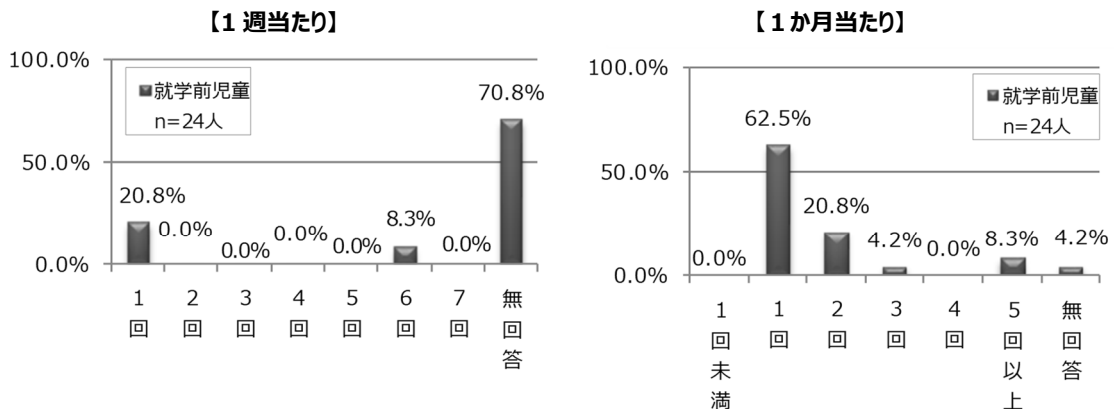
問 18 地域子育て支援拠点事業の利用状況



問 18.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数



問 18.2 その他類似の事業の利用回数

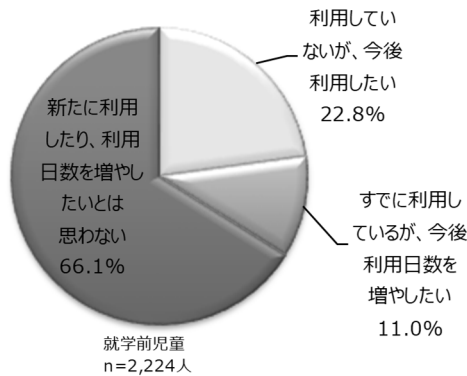


利用に関する希望をみると、「利用していないが、今後利用したい」（22.8%）、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」（11.0%）を合わせると33.8%の人が利用を希望しています。

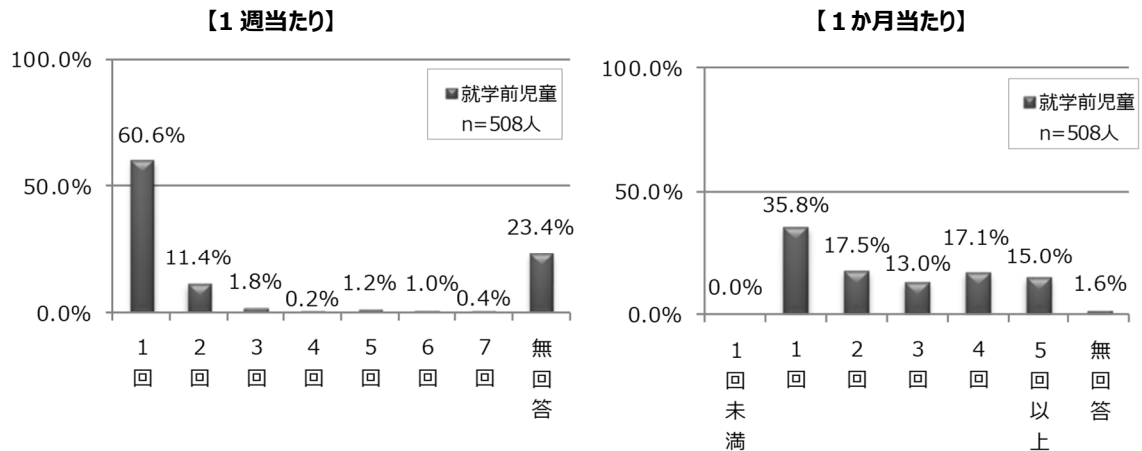
また、未利用者の1週当たりの利用希望回数は、「1回」（60.6%）、「1か月当たりの利用希望回数は、「1回」（35.8%）、「2回」（17.5%）、「4回」（17.1%）となっています。

利用者の増やしたい1週当たりの利用回数は、「1回」（35.1%）、「1か月当たりの利用回数は、「2回」（28.2%）、「1回」（23.3%）、「4回」（20.0%）となっています。

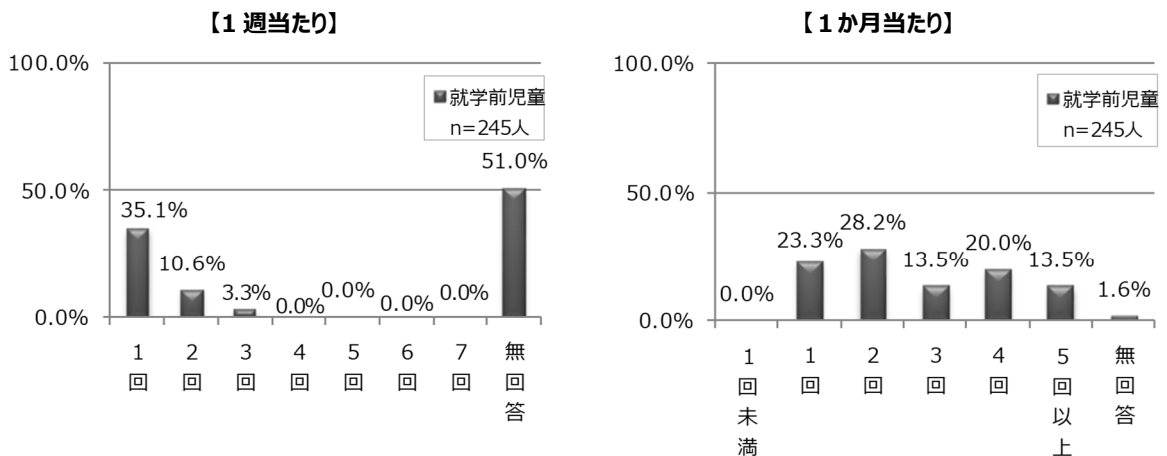
問 19 利用に関する希望



問 19.1 未利用者の利用希望回数



問 19.2 利用者の増やしたい回数

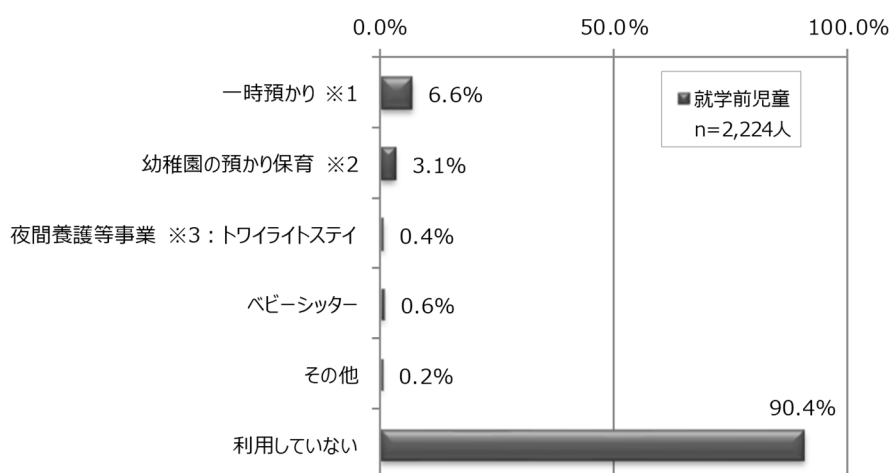


(2) 1. 就学前児童の不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

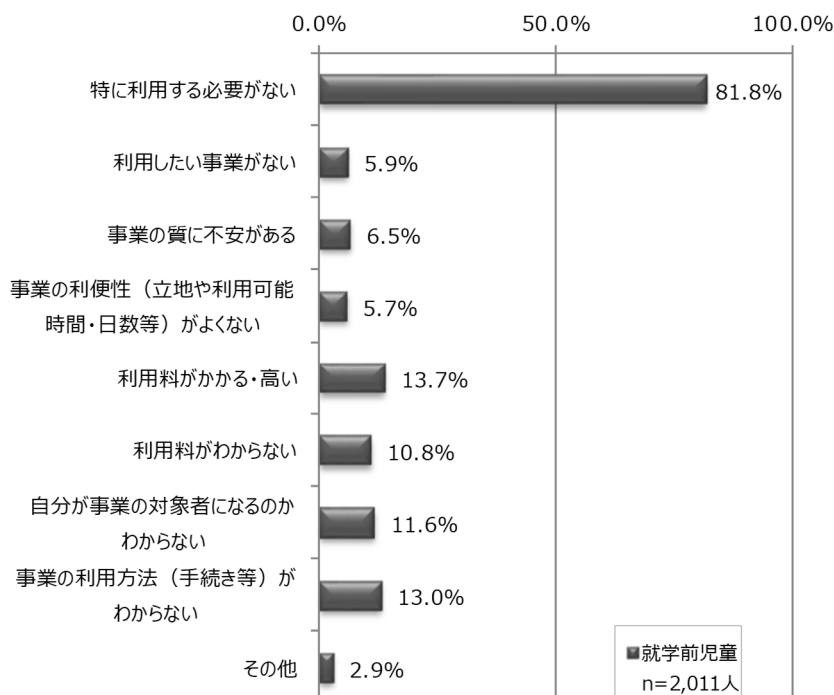
就学前児童の不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況を見ると、「一時預かり」(6.6%)、「幼稚園の預かり保育」(3.1%)と続き、「利用していない」が約9割を占めています。

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(81.8%)が最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(13.7%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(13.0%)、「自分が事業の対象者になるのかわからない」(11.6%)、「利用料がわからない」(10.8%)の順となっています。

問 26 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況



問 26-1 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等を利用していない理由



※1 一時預かり：私用など理由を問わずに保育所等で一時的に子どもを保育する事業
 ※2 幼稚園の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ
 ※3 夜間養護等事業：児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

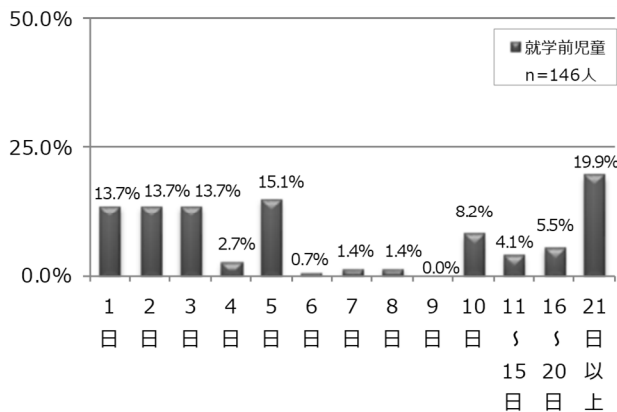
就学前児童の『一時預かり』に預けた年間日数は、「21 日以上」（19.9%）、「5 日」（15.1%）、「1 日」、「2 日」、「3 日」（ともに 13.7%）の順となっています。

『幼稚園の預かり保育』に預けた年間日数は、「21 日以上」（23.5%）、「1 日」、「5 日」、「10 日」（ともに 11.8%）、「2 日」、「11～15 日」（ともに 10.3%）の順となっています。

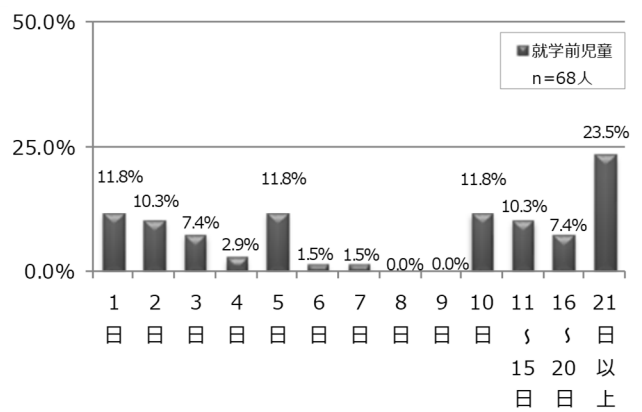
『夜間養護等事業：トワイライトステイ』に預けた年間日数は、「1 日」、「3 日」（ともに 25.0%）、「2 日」、「5 日」、「7 日」、「21 日以上」（ともに 12.5%）の順となっています。

『ベビーシッター』に預けた年間日数は、「21 日以上」（30.8%）、「1 日」、「5 日」、「11～15 日」（ともに 15.4%）の順となっています。

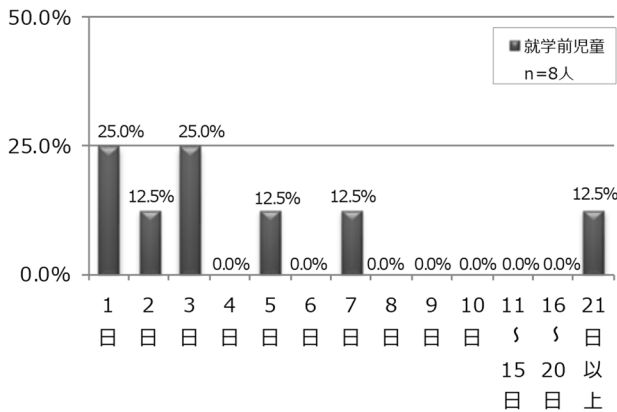
問 26.1 一時預かりに預けた日数（年間）



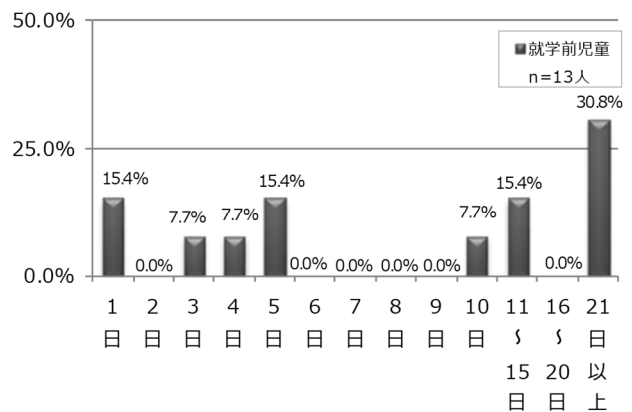
問 26.2 幼稚園の預かり保育（年間）



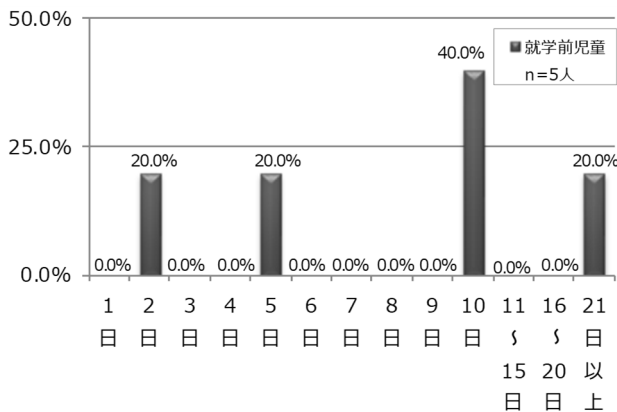
問 26.3 夜間養護等事業：トワイライトステイ（年間）



問 26.4 ベビーシッター（年間）



問 26.5 その他（年間）

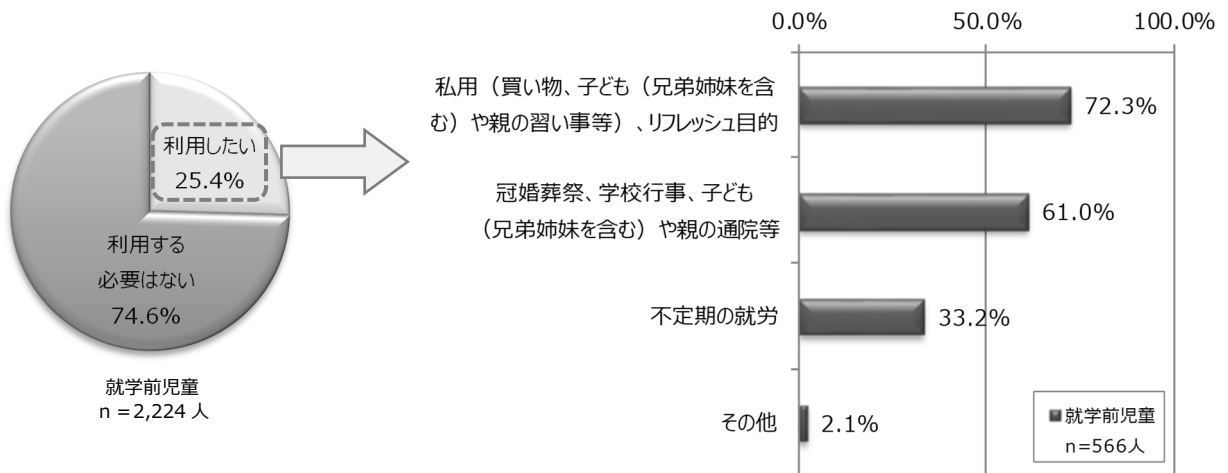


就学前児童の親の私用、通院、不定期就労などの目的による不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用希望をみると、25.4%の人が利用を希望しています。

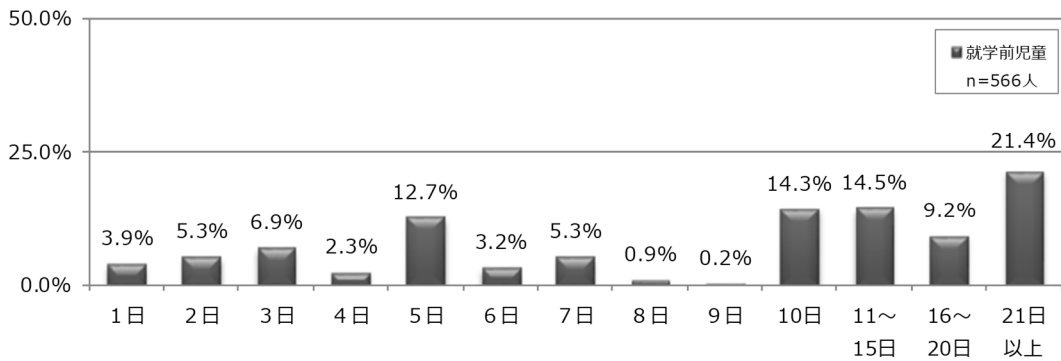
その利用目的は、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（72.3%）が最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（61.0%）、「不定期の就労」（33.2%）の順となっています。

また、年間の利用希望合計日数は、「21 日以上」（21.4%）、「11～15 日」（14.5%）、「10 日」（14.3%）、「5 日」（12.7%）の順となっています。

問 27 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用希望とその目的

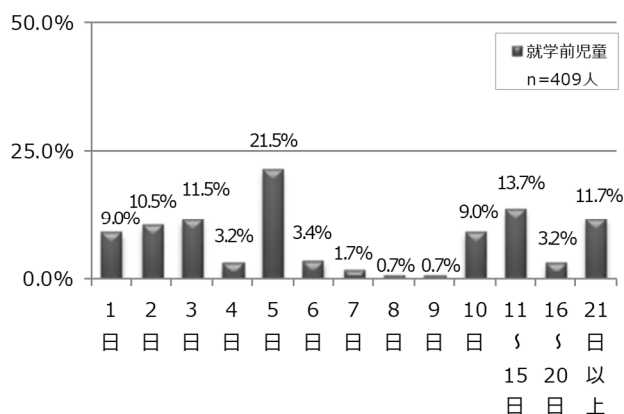


問 27.1 利用希望年間合計日数

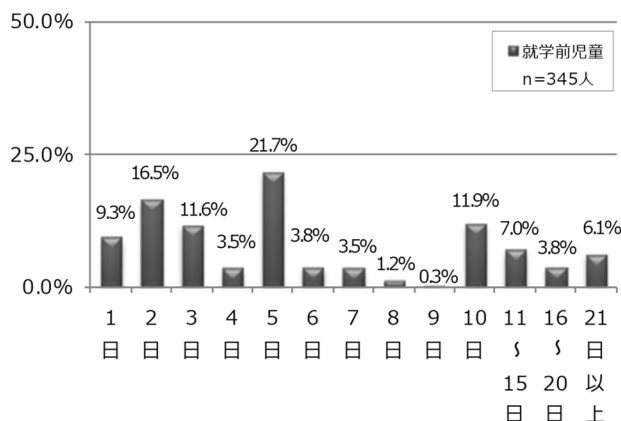


就学前児童の利用目的別の希望日数をみると、『私用、リフレッシュ目的』は「5日」(21.5%)、「11～15日」(13.7%)、「21日以上」(11.7%)、「3日」(11.5%)の順となっています。『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院』は「5日」(21.7%)、「2日」(16.5%)、「10日」(11.9%)、「3日」(11.6%)の順、『不定期の就労目的』は「21日以上」(21.3%)、「10日」(17.6%)、「5日」(11.7%)の順となっています。

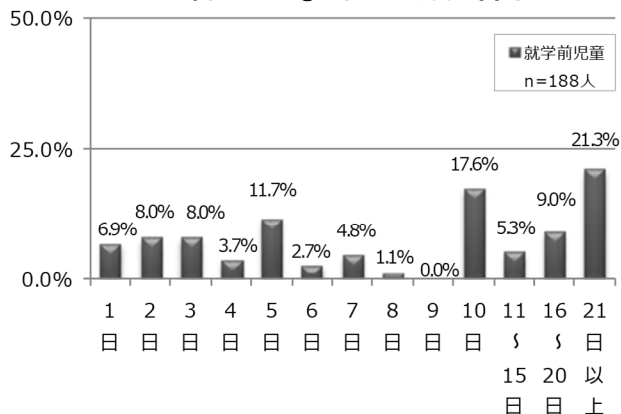
問 27.1.① 私用、リフレッシュ目的



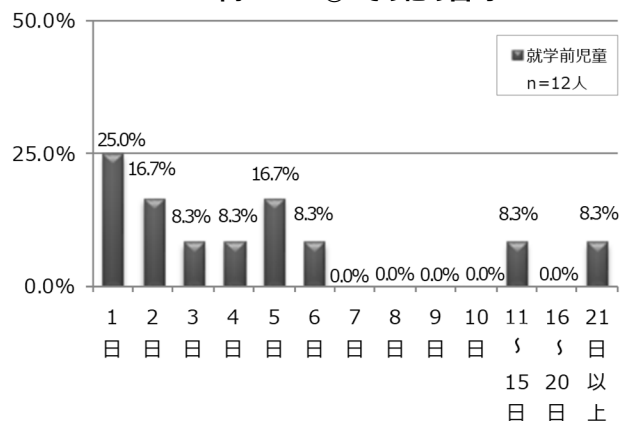
問 27.1.② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院



問 27.1.③ 不定期の就労目的

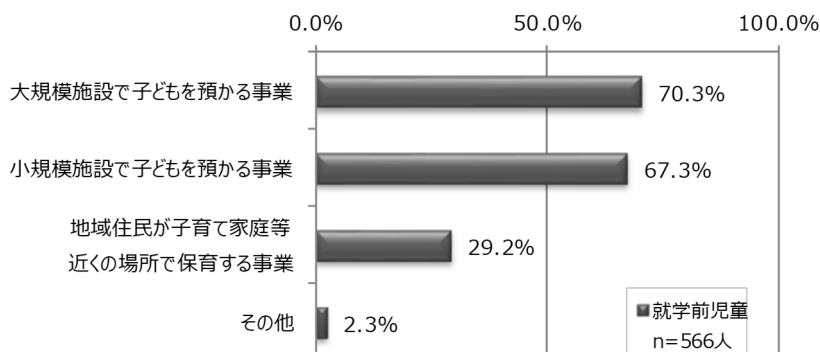


問 27.1.④ その他の目的



就学前児童の私用や不定期の就労目的等で子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「大規模施設で子どもを預かる事業」(70.3%)、「小規模施設で子どもを預かる事業」(67.3%)、「地域住民が子育て家庭等近くの場所で保育する事業」(29.2%)の順となっています。

問 27-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

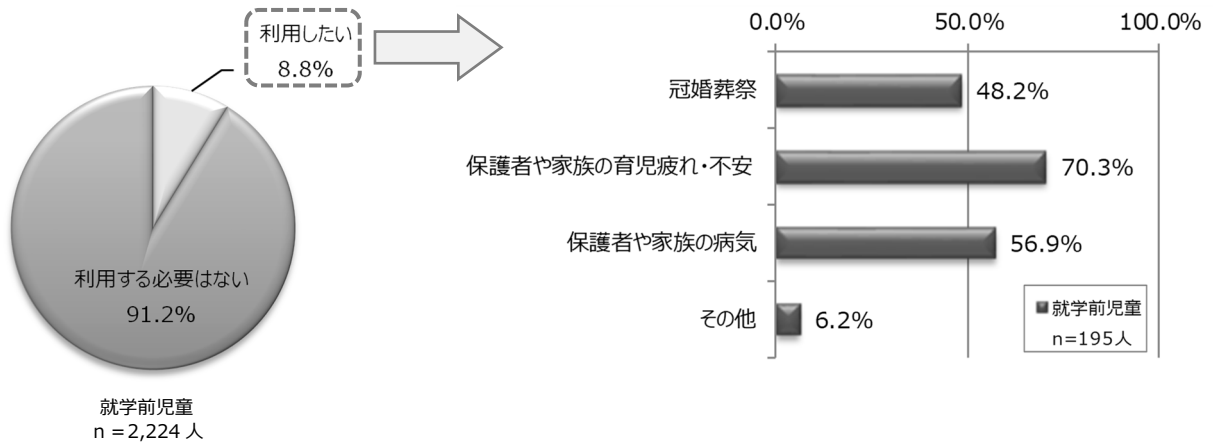


（新規） 就学前児童の保護者の用事による短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望をみると、8.8%の人が利用を希望しています。

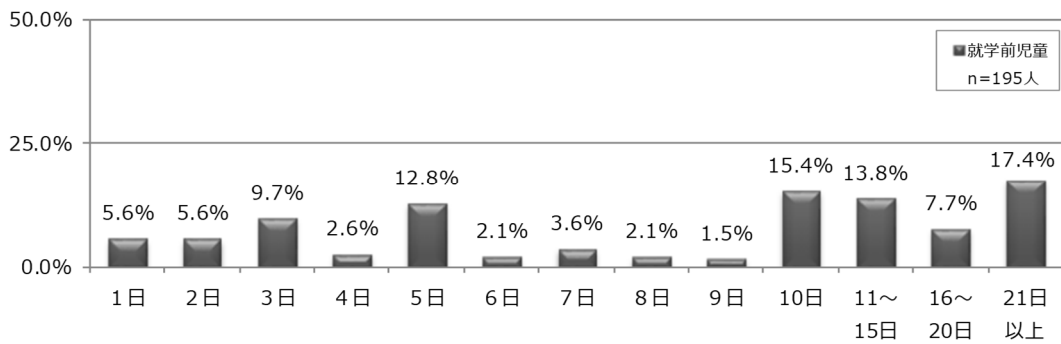
その利用目的は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」（70.3%）が最も多く、次いで「保護者や家族の病気」（56.9%）、「冠婚葬祭」（48.2%）の順となっています。

また、年間の利用希望合計日数は、「21 日以上」（17.4%）、「10 日」（15.4%）、「11～15 日」（13.8%）、「5 日」（12.8%）の順となっています。

問 28 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望とその目的

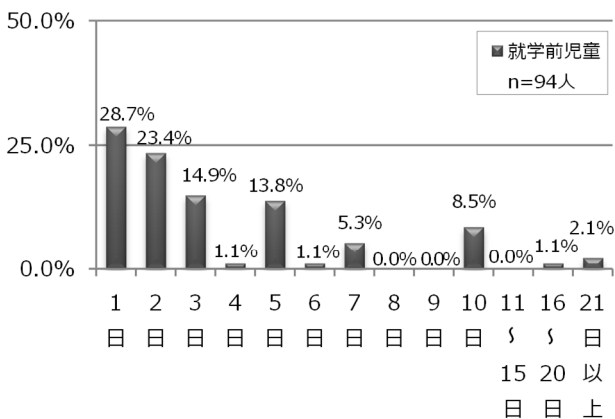


問 28.1 利用希望年間合計日数

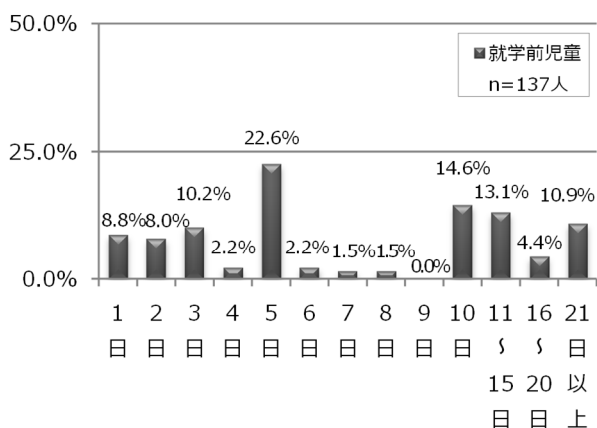


就学前児童の利用目的別の希望日数をみると、『冠婚葬祭』は「1日」(28.7%)、「2日」(23.4%)、「3日」(14.9%)の順となっています。『保護者や家族の育児疲れ・不安』は「5日」(22.6%)、「10日」(14.6%)、「11~15日」(13.1%)の順、『保護者や家族の病気』は「5日」(20.7%)、「3日」(17.1%)、「10日」(15.3%)の順となっています。

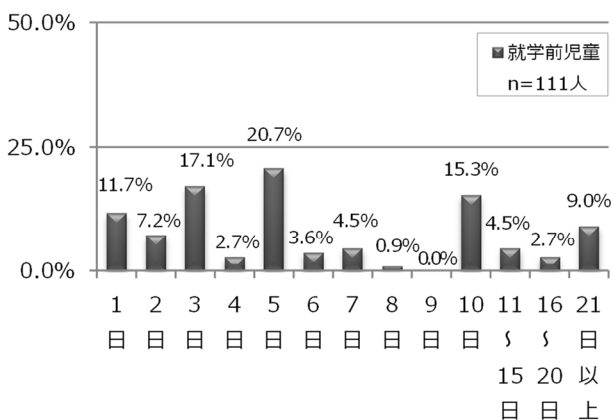
問 28.1.① 冠婚葬祭



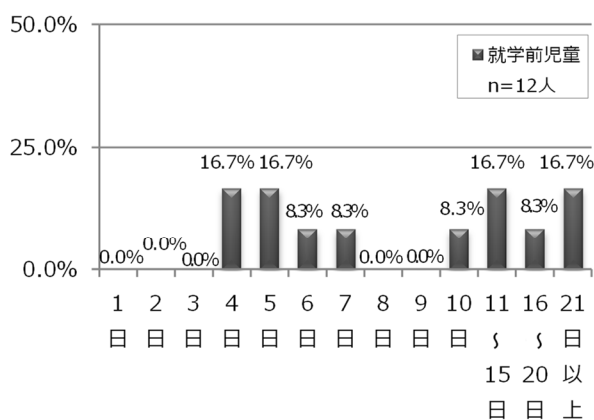
問 28.1.② 保護者や家族の育児疲れ・不安



問 28.1.③ 保護者や家族の病気



問 28.1.④ その他の目的

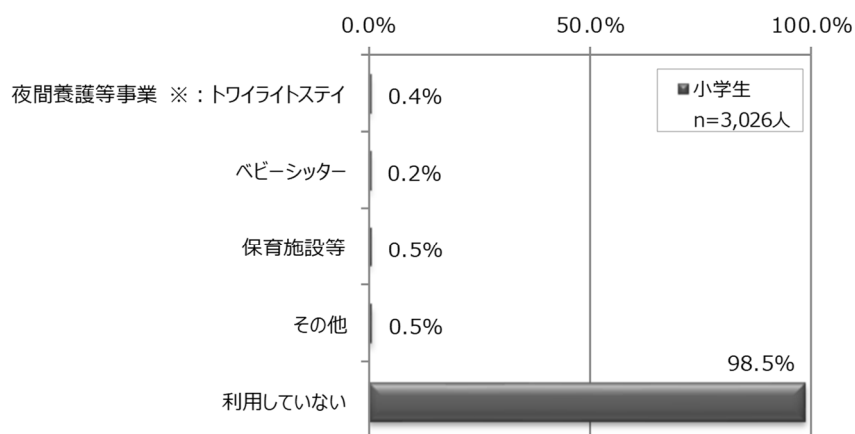


2. 小学生の不定期の保育や宿泊を伴う施設の利用について

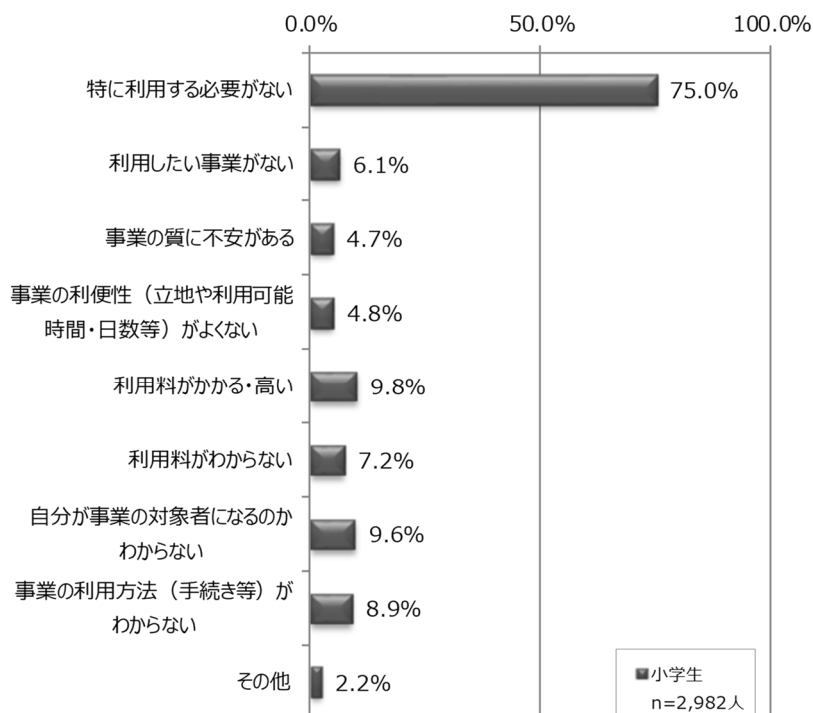
小学生の不定期の保育や宿泊を伴う施設の利用状況をみると、「保育施設等」(0.5%)、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」(0.4%)、「ベビーシッター」(0.2%)と続き、「利用していない」が98.5%を占めています。

不定期の保育や宿泊を伴う施設を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(75.0%)が最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(9.8%)、「自分が事業の対象者になるのかわからない」(9.6%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(8.9%)、「利用料がわからない」(7.2%)の順となっています。

問 16 不定期の保育や宿泊を伴う施設の利用状況



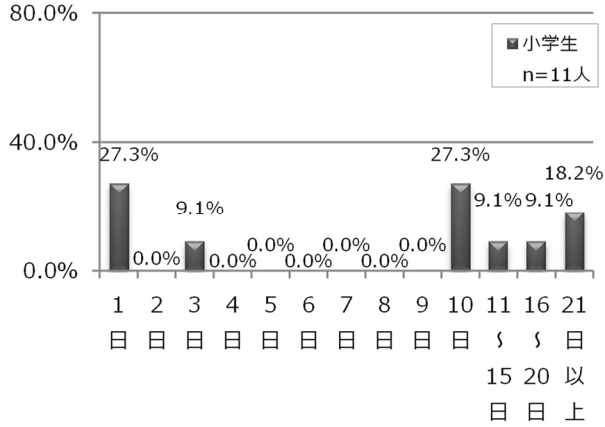
問 16-1 不定期の保育や宿泊を伴う施設を利用していない理由



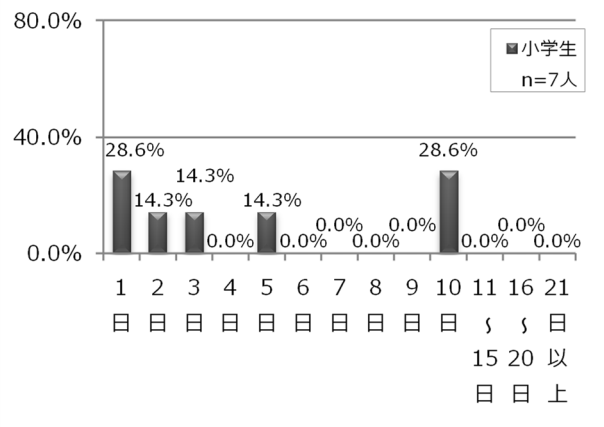
※ 夜間養護等事業：児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

小学生の『夜間養護等事業：トワイライトステイ』に預けた年間日数は、「1日」、「10日」（ともに27.3%）、『ベビーシッター』に預けた年間日数は、「1日」、「10日」（ともに28.6%）、『保育施設等』に預けた年間日数は「10日」、「21日以上」（ともに35.7%）となっています。

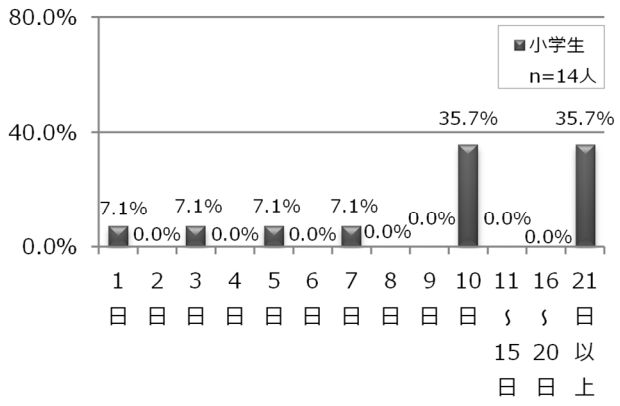
問 16.1 夜間養護等事業：トワイライトステイ（年間）



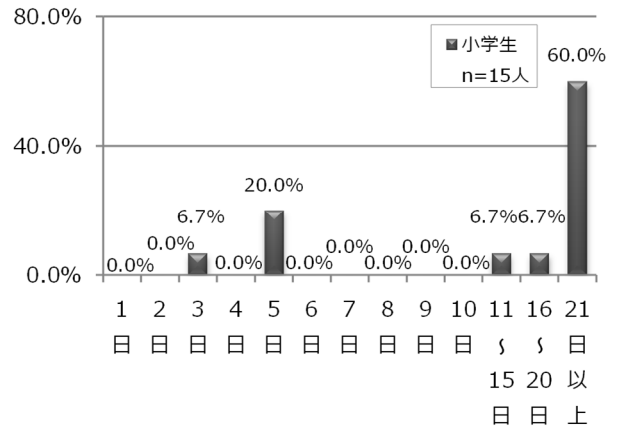
問 16.2 ベビーシッター（年間）



問 16.3 保育施設等（年間）



問 16.4 その他（年間）

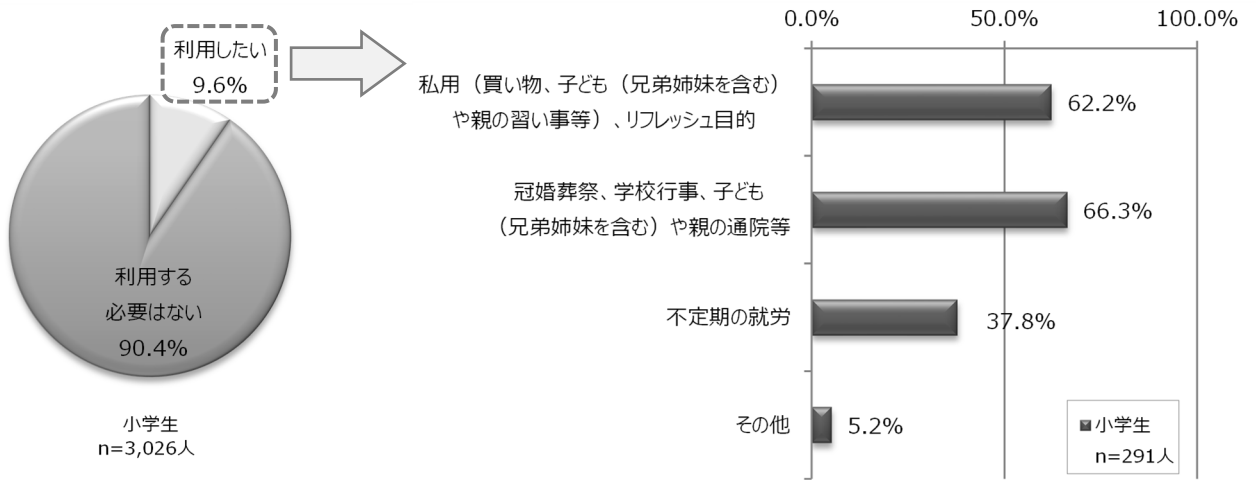


小学生の親の私用、通院、不定期就労などの目的による不特定の保育や宿泊を伴う施設の利用希望をみると、9.6%の人が利用を希望しています。

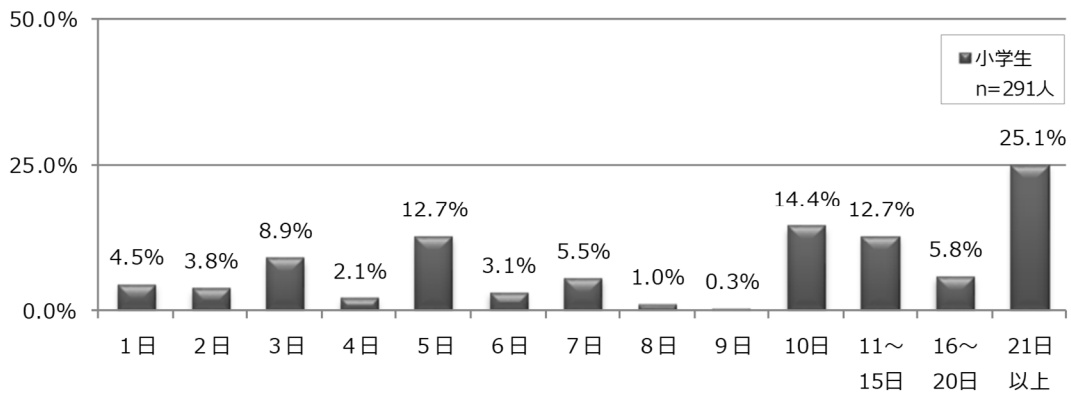
その利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（66.3%）が最も多く、次いで「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（62.2%）、「不特定の就労」（37.8%）の順となっています。

また、年間の利用希望合計日数は、「21日以上」（25.1%）、「10日」（14.4%）、「5日」、「11～15日」（ともに12.7%）の順となっています。

問 17 不特定の保育や宿泊を伴う施設の利用希望とその目的

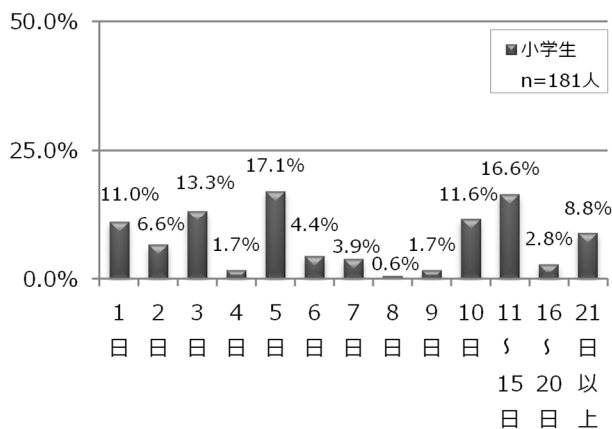


問 17.1 利用希望年間合計日数

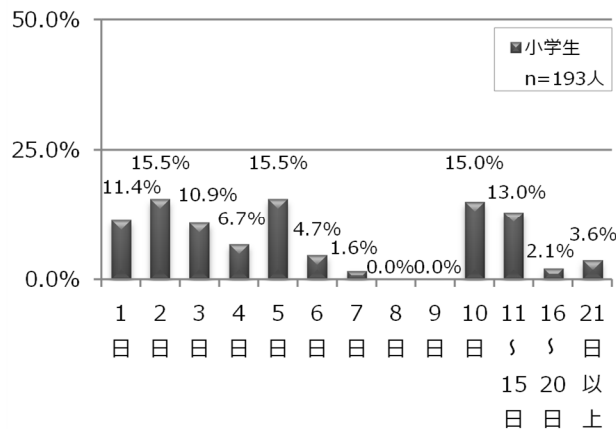


小学生の利用目的別の希望日数をみると、『私用、リフレッシュ目的』は「5日」(17.1%)、「11~15日」(16.6%)、「3日」(13.3%)の順となっています。『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院』は「2日」、「5日」(ともに15.5%)、「10日」(15.0%)、「11~15日」(13.0%)の順、『不特定の就労目的』は「21日以上」(22.7%)、「3日」(12.7%)、「10日」(11.8%)の順となっています。

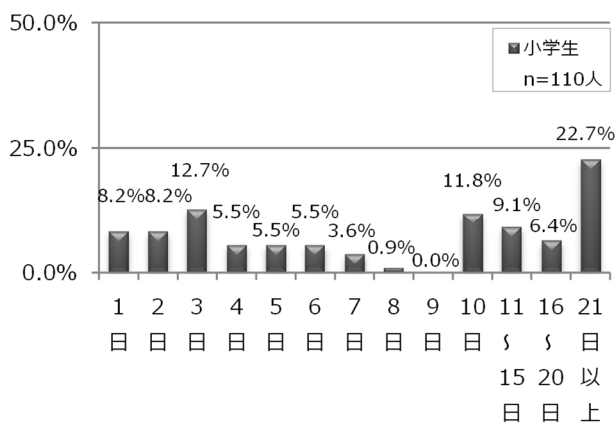
問 17.1.① 私用、リフレッシュ目的



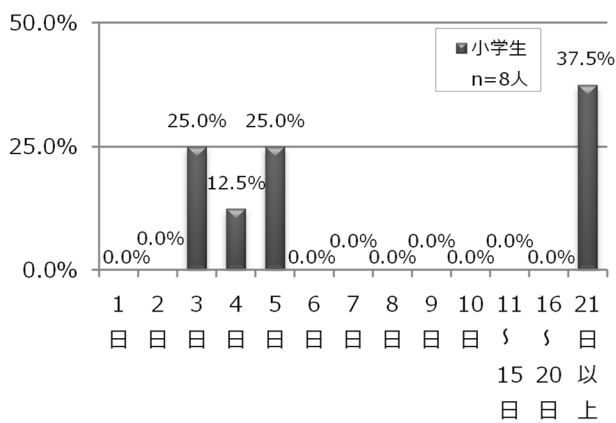
問 17.1.② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院



問 17.1.③ 不特定の就労目的

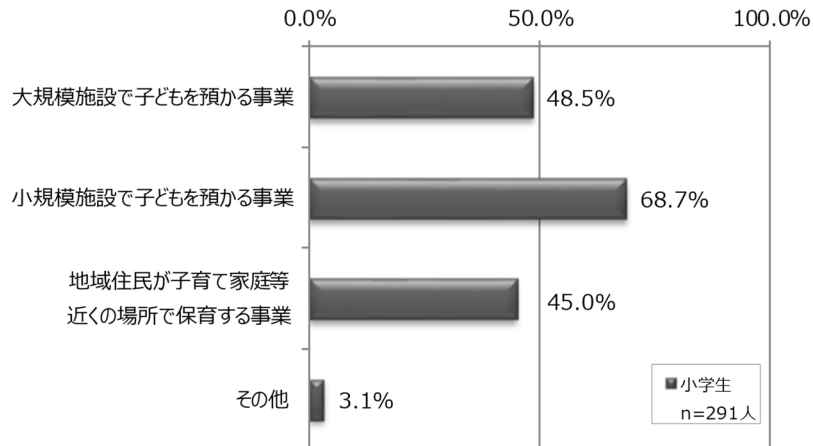


問 17.1.④ その他の目的



小学生の私用や不定期の就労目的等で子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「小規模施設で子どもを預かる事業」（68.7%）、「大規模施設で子どもを預かる事業」（48.5%）、「地域住民が子育て家庭等近くの場所で保育する事業」（45.0%）の順となっています。

問 17-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

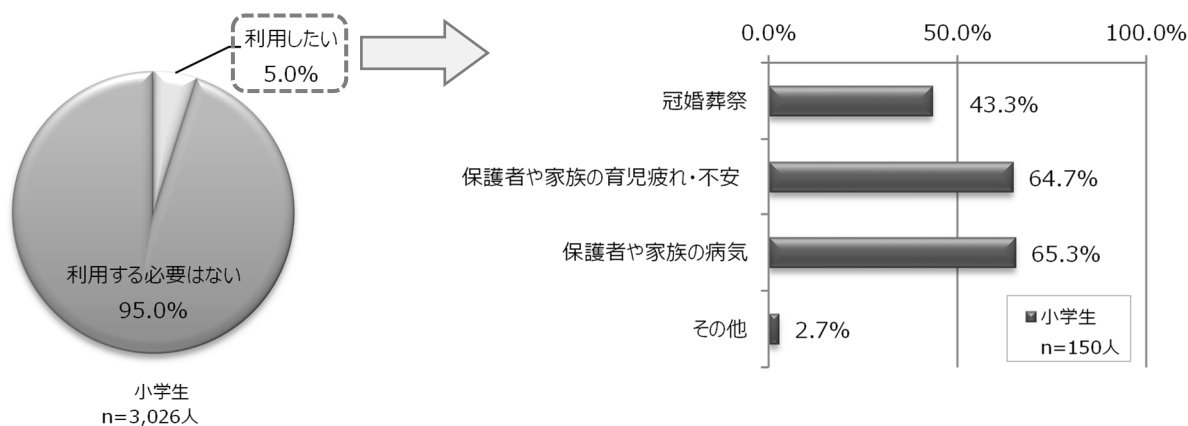


(新規) 小学生の保護者の用事による短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望をみると、5.0%の人が利用を希望しています。

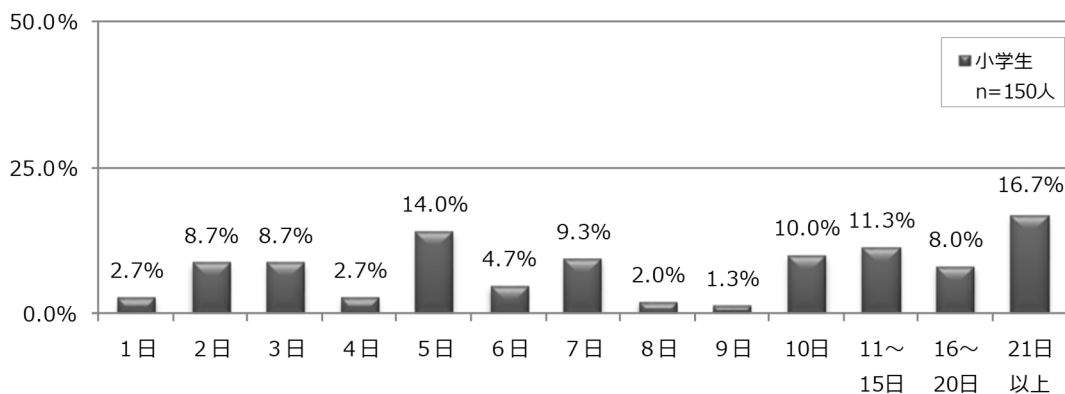
その利用目的は、「保護者や家族の病気」（65.3%）、「保護者や家族の育児疲れ・不安」（64.7%）が多く、次いで「冠婚葬祭」（43.3%）の順となっています。

また、年間の利用希望合計日数は、「21日以上」（16.7%）、「5日」（14.0%）、「11～15日」（11.3%）、「10日」（10.0%）の順となっています。

問 18 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望とその目的

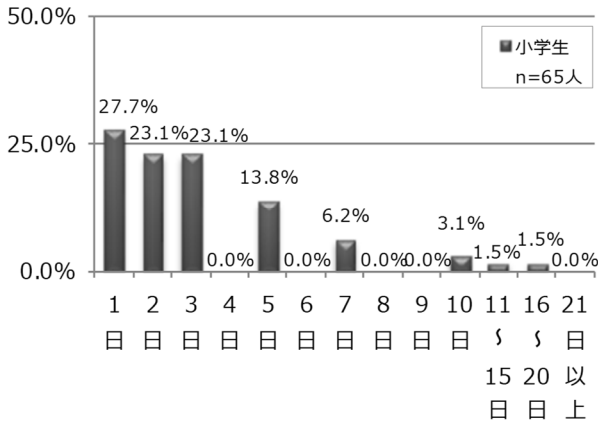


問 18.1 利用希望年間合計日数

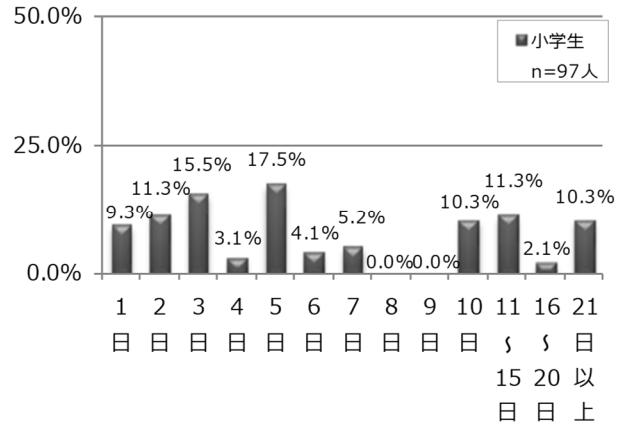


小学生の利用目的別の希望日数をみると、『冠婚葬祭』は「1日」(27.7%)、「2日」、「3日」(ともに23.1%)、「5日」(13.8%)の順となっています。『保護者や家族の育児疲れ・不安』は「5日」(17.5%)、「3日」(15.5%)、「2日」、「11～15日」(ともに11.3%)の順、『保護者や家族の病気』は「3日」(18.4%)、「2日」(16.3%)、「5日」(14.3%)の順となっています。

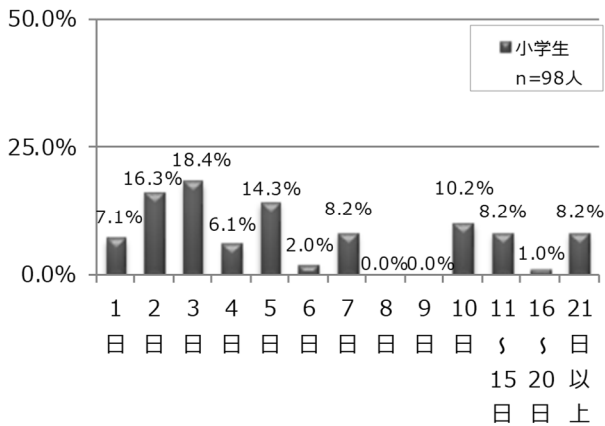
問 18.1.① 冠婚葬祭



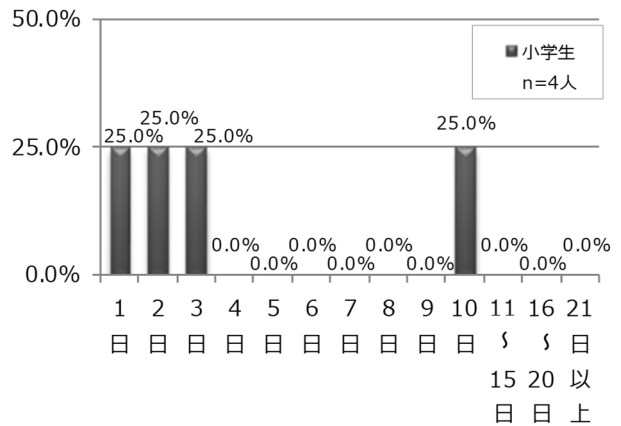
問 18.1.② 保護者や家族の育児疲れ・不安



問 18.1.③ 保護者や家族の病気



問 18.1.④ その他の目的



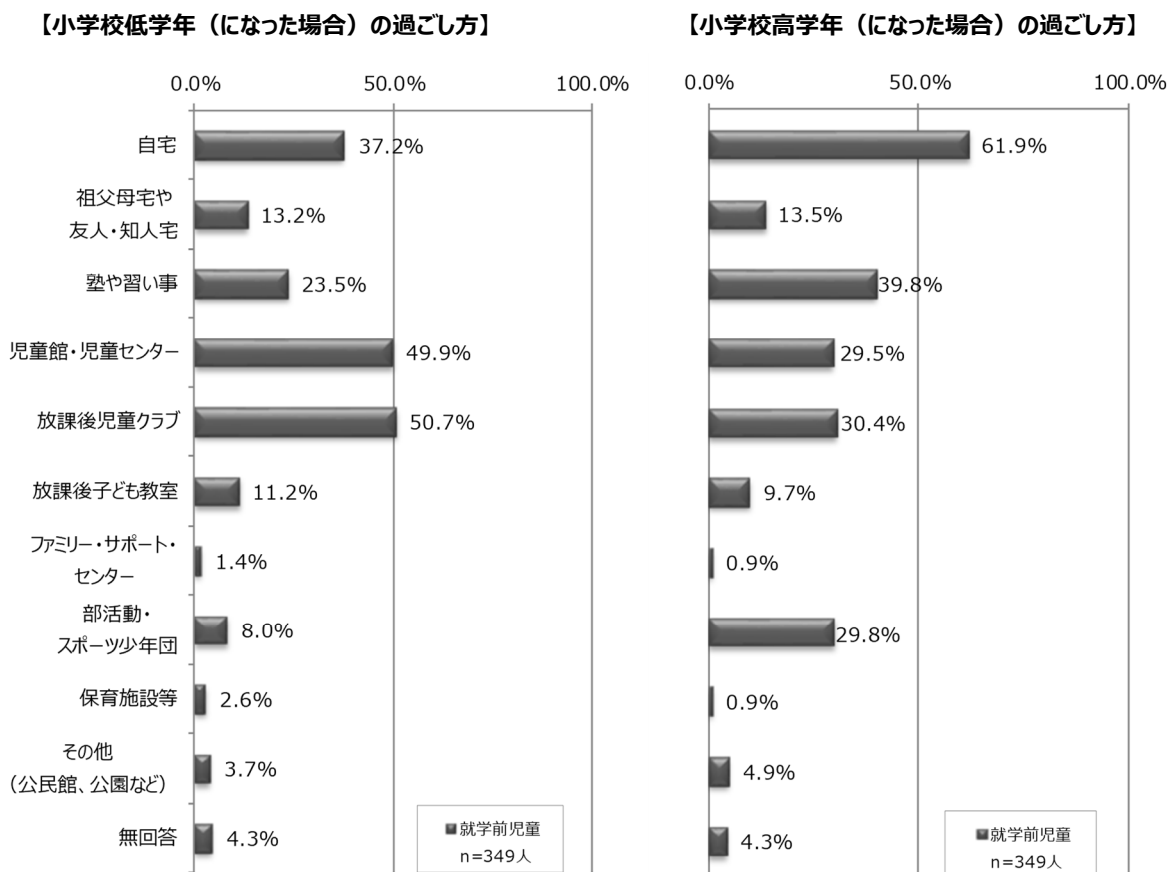
3 放課後の過ごし方について

(1) 1. 就学前児童の平日の放課後の過ごし方について

就学前児童の就学後の希望する放課後の過ごし方をみると、小学校低学年になった場合の過ごし方の希望は、「放課後児童クラブ」(50.7%)、「児童館・児童センター」(49.9%)が多く、次いで「自宅」(37.2%)、「塾や習い事」(23.5%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(13.2%)の順となっています。

小学校高学年になった場合の過ごし方の希望は、「自宅」(61.9%)が最も多く、次いで「塾や習い事」(39.8%)、「放課後児童クラブ」(30.4%)、「部活動・スポーツ少年団」(29.8%)、「児童館・児童センター」(29.5%)となっており、高学年期になると「自宅」や「塾や習い事」、「部活動・スポーツ少年団」への希望が増えています。

問 29・問 30 放課後の過ごし方の希望



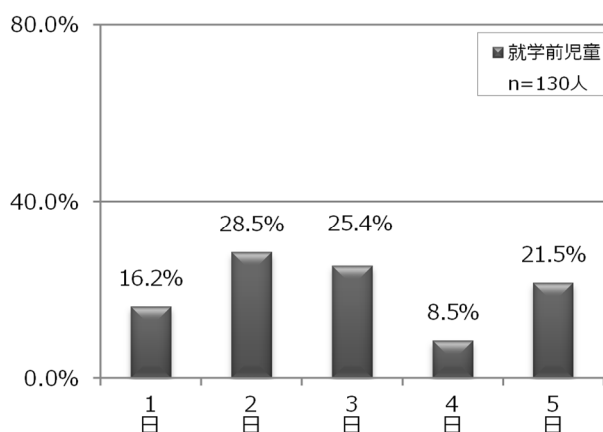
※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生を意味しています。

就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい1週（または1か月）当たりの希望日数をみると、低学年期では、『児童館・児童センター』、『放課後児童クラブ』、『保育施設等』は「5日」が最も多く、半数以上となっています。『放課後子ども教室』は「5日」（23.1%）、「2日」（20.5%）、「16～20日」（17.9%）の順となっています。

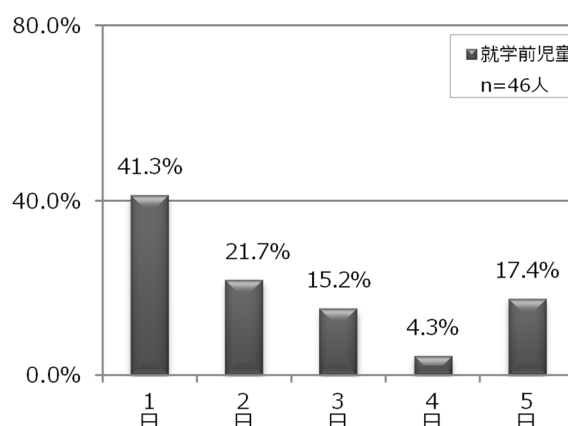
高学年期では、低学年期と同様、『児童館・児童センター』、『放課後児童クラブ』は「5日」が最も多く、さらに『自宅』も「5日」が最も多くなっています。

① 放課後の過ごし方【小学校低学年の時期】

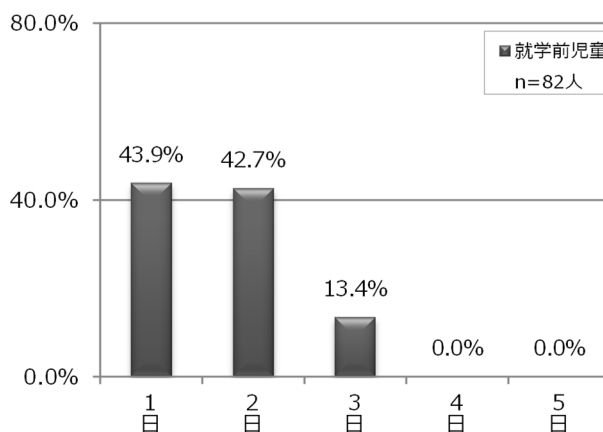
問 29.1 自宅の希望日数（1週当たり）



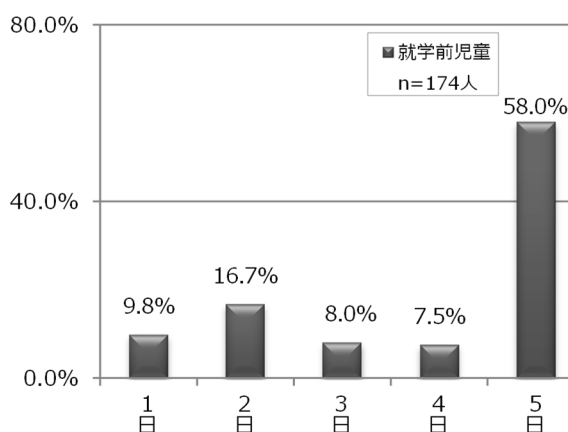
問 29.2 祖父母宅や友人・知人宅の希望日数（1週当たり）



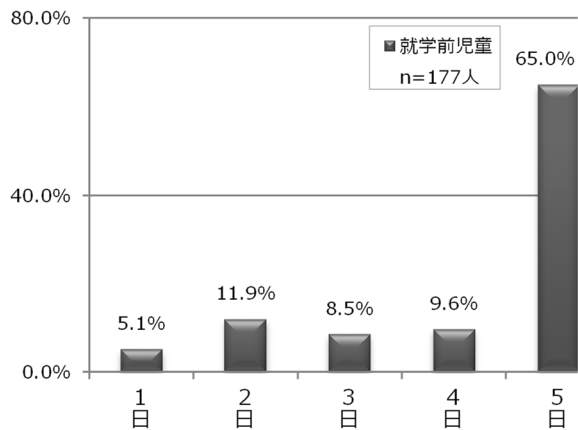
問 29.3 塾や習い事の希望日数（1週当たり）



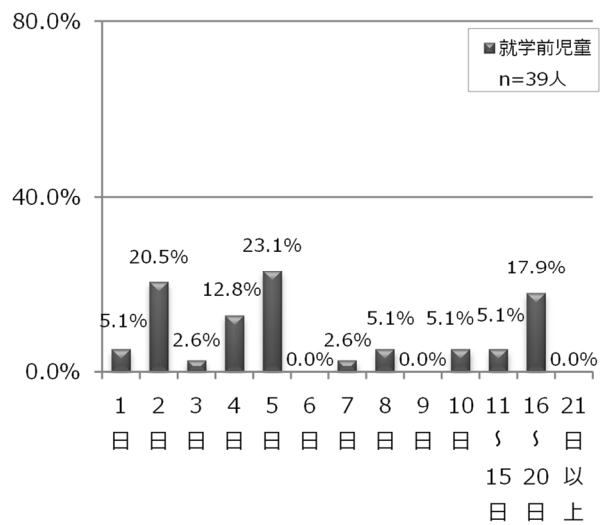
問 29.4 児童館・児童センターの希望日数（1週当たり）



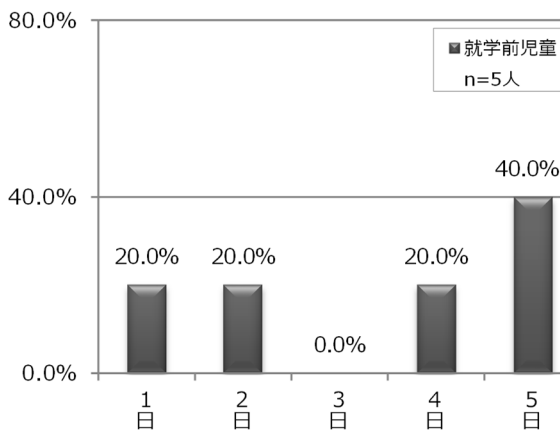
問 29.5 放課後児童クラブの希望日数（1週当たり）



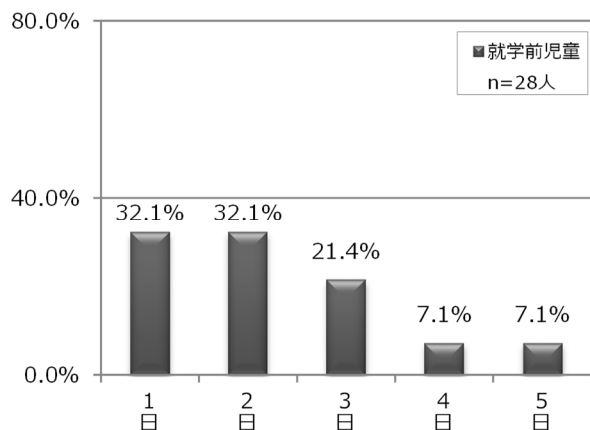
問 29.6 放課後子ども教室の希望日数（1か月当たり）



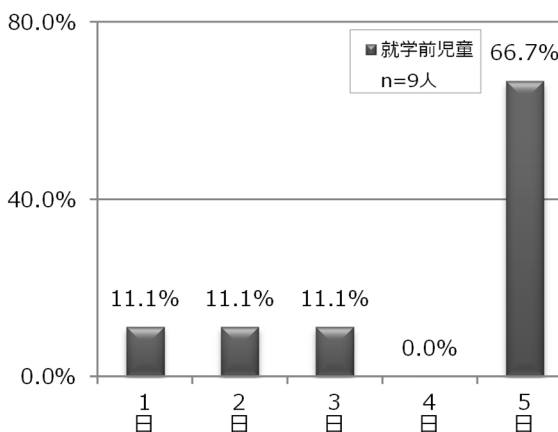
問 29.7 ファミリー・サポート・センターの希望日数（1週当たり）



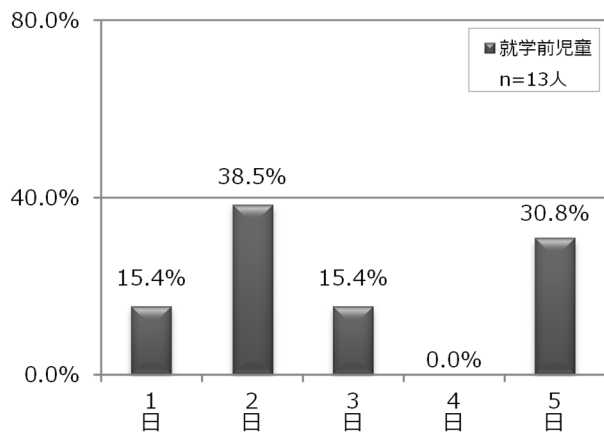
問 29.8 部活動・スポーツ少年団の希望日数（1週当たり）



問 29.9 保育施設等の希望日数（1週当たり）

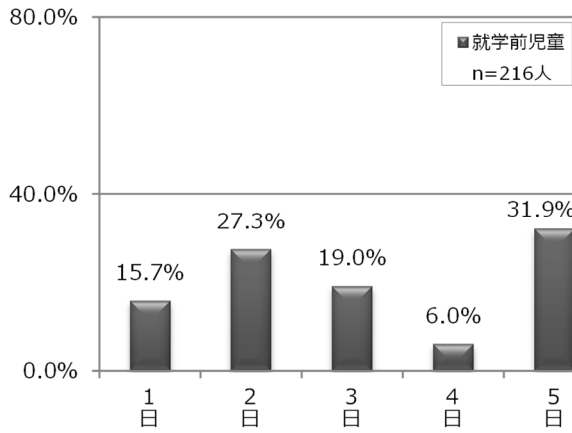


問 29.10 その他の希望日数（1週当たり）

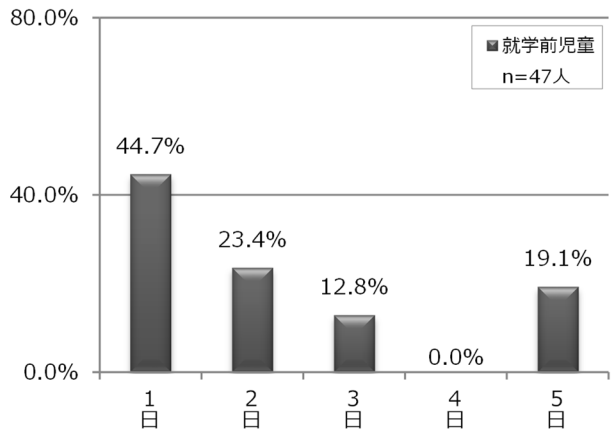


② 放課後の過ごし方【小学校高学年の時期】

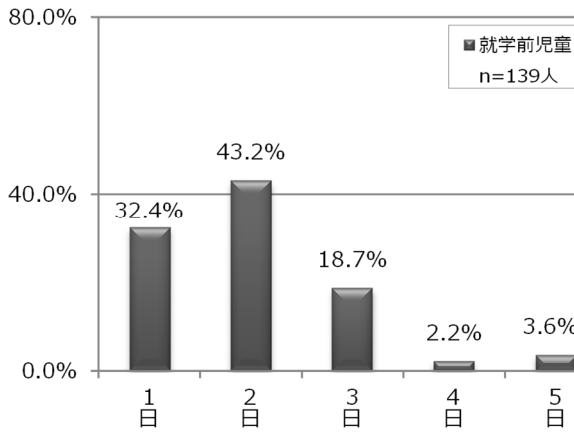
問 30.1 自宅の希望日数（1週当たり）



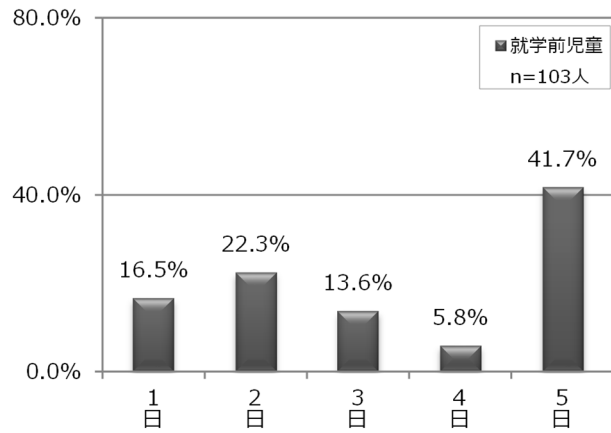
問 30.2 祖父母宅や友人・知人宅の希望日数（1週当たり）



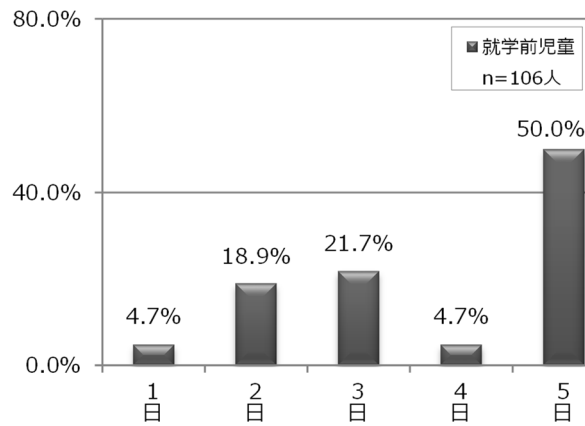
問 30.3 塾や習い事の希望日数（1週当たり）



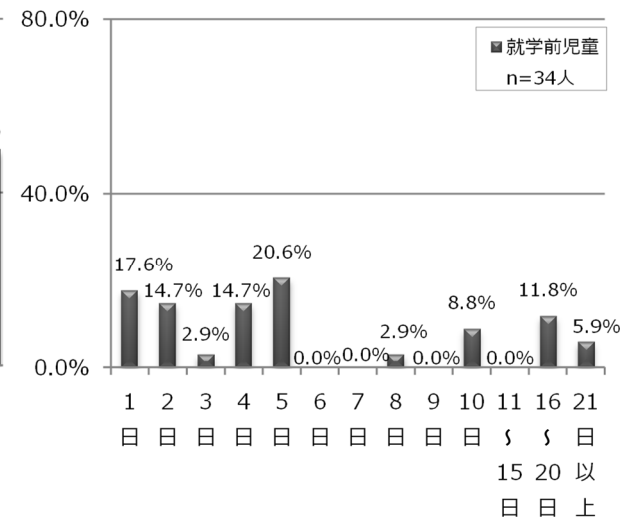
問 30.4 児童館・児童センターの希望日数（1週当たり）



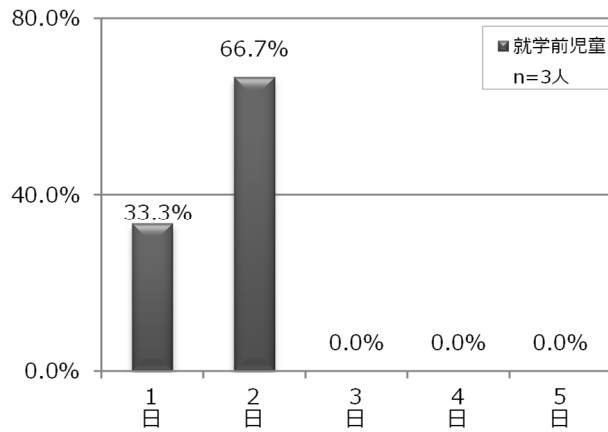
問 30.5 放課後児童クラブの希望日数（1週当たり）



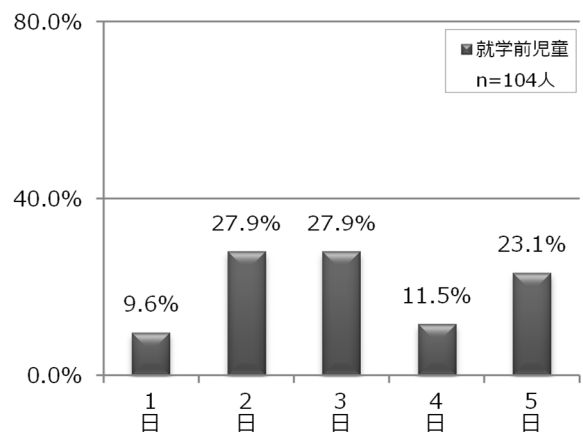
問 30.6 放課後子ども教室の希望日数（1か月当たり）



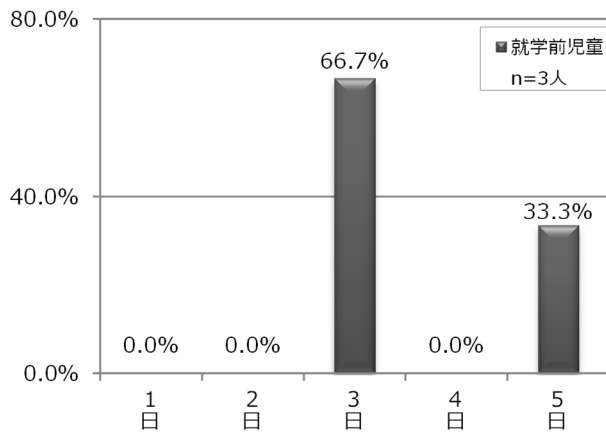
問 30.7 ファミリー・サポート・センターの希望日数（1週当たり）



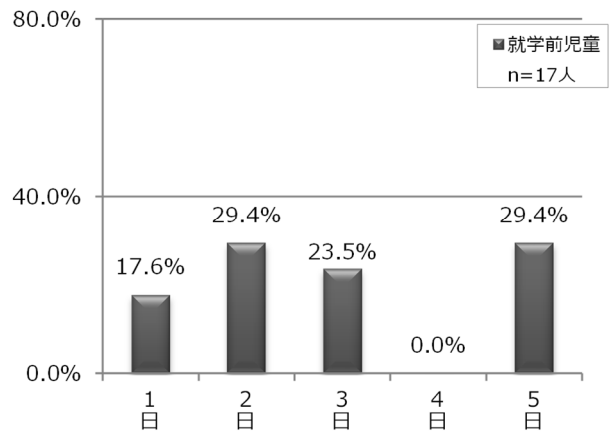
問 30.8 部活動・スポーツ少年団の希望日数（1週当たり）



問 30.9 保育施設等の希望日数（1週当たり）



問 30.10 その他の希望日数（1週当たり）

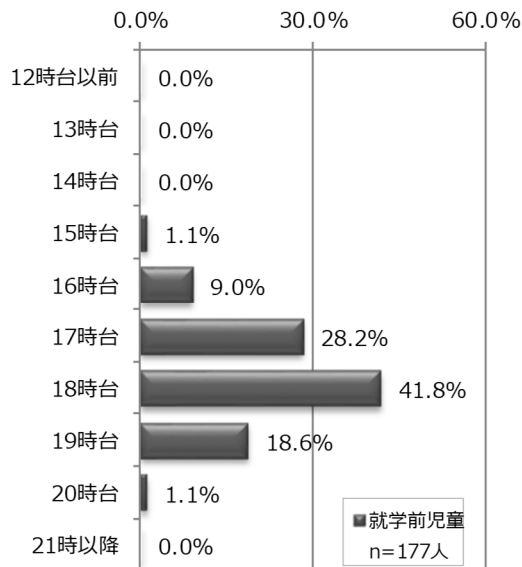


就学前児童の就学後に、放課後を過ごさせたい場所として「放課後児童クラブ」を選んだ保護者が、下校時から何時台まで利用させたいと思っているか、希望する時間をみると、低学年期については「18 時台」（41.8%）が最も多く、次いで「17 時台」（28.2%）、「19 時台」（18.6%）となっており、高学年期については「18 時台」（41.5%）が最も多く、次いで「17 時台」（31.1%）、「19 時台」（22.6%）と、ほぼ同じ割合となっています。

「放課後児童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間

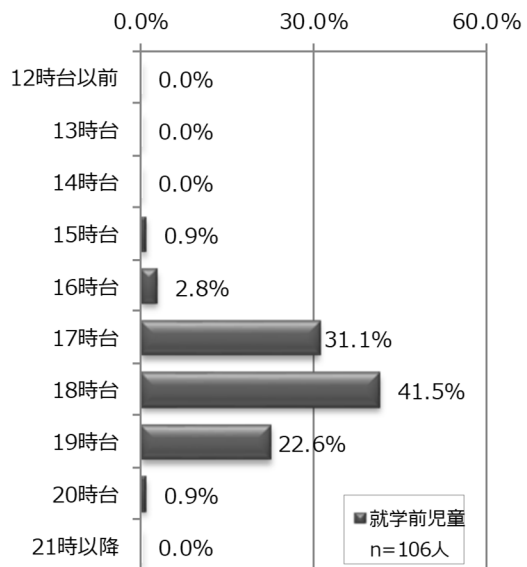
【小学校低学年の時期】

問 29.5.1 下校時からの利用希望時間



【小学校高学年の時期】

問 30.5.1 下校時からの利用希望時間

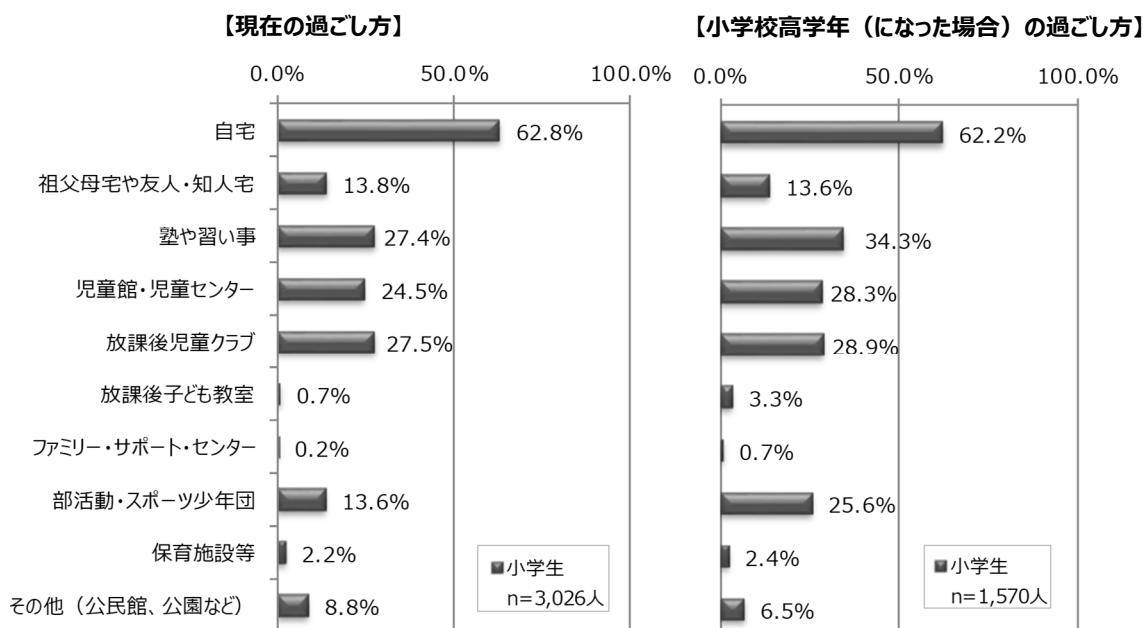


2. 小学生の平日の放課後の過ごし方について

小学生の放課後の過ごし方をみると、現在の過ごし方では、「自宅」(62.8%)が最も多く、次いで「放課後児童クラブ」(27.5%)、「塾や習い事」(27.4%)、「児童館・児童センター」(24.5%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(13.8%)、「部活動・スポーツ少年団」(13.6%)の順となっています。

小学校高学年になった場合の過ごし方の希望は、現在と同様、「自宅」(62.2%)が最も多く、次いで「塾や習い事」(34.3%)、「放課後児童クラブ」(28.9%)、「児童館・児童センター」(28.3%)、「部活動・スポーツ少年団」(25.6%)の順となっており、高学年期になると「部活動・スポーツ少年団」(12.0ポイント増)や「塾や習い事」(6.9ポイント増)の希望が多くなっています。

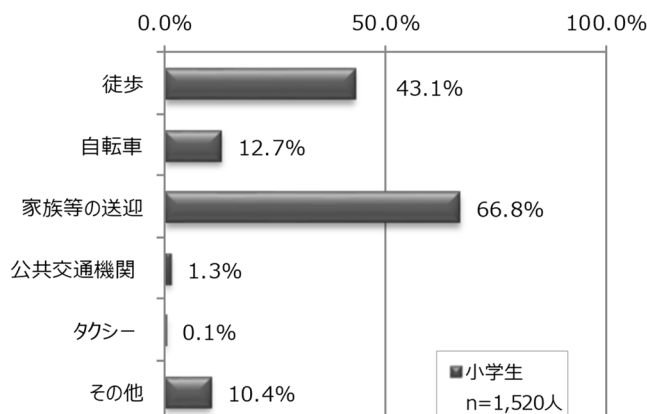
問 19・問 20 放課後の過ごし方の現状と希望



※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生を意味しています。

(新規) 現在『祖父母宅や友人・知人宅』、『塾や習い事』、『ファミリー・サポート・センター』、『部活動・スポーツ少年団』、『保育施設等』、『その他』のいずれかで放課後を過ごしている小学生の、それらの場所までの移動手段をみると、「家族等の送迎」(66.8%)が最も多く、次いで「徒歩」(43.1%)、「自転車」(12.7%)の順となっています。

問 19-1 塾や習い事などへの移動手段

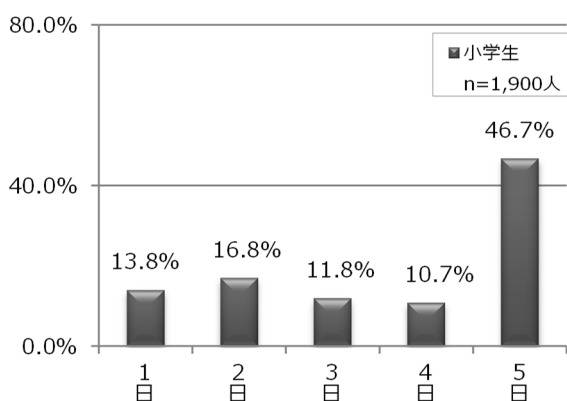


小学生の放課後過ごしている1週（または1か月）当たりの日数をみると、現在では、『児童館・児童センター』、『放課後児童クラブ』、『保育施設等』は「5日」が最も多く、半数以上となっています。『放課後子ども教室』は「1日」（42.9%）が最も多く、次いで「16～20日」（19.0%）、「4日」、「5日」、「21日以上」（ともに9.5%）の順となっています。

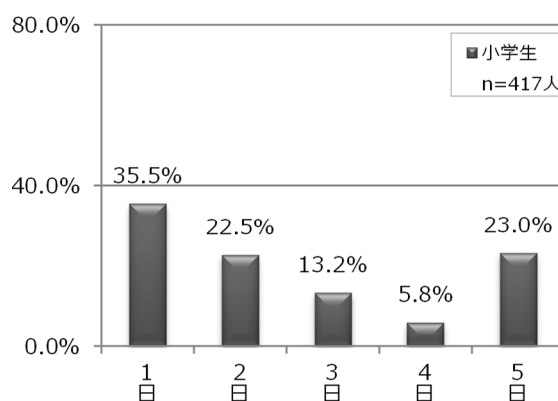
高学年期では、現在と同様、『児童館・児童センター』、『放課後児童クラブ』、『保育施設等』は「5日」が最も多くなっています。また、高学年期になると『部活動・スポーツ少年団』の1週当たりの日数は減少し、『塾や習い事』の日数が「1日」から「2日」に増える傾向がみられます。

① 放課後の過ごし方【現在】

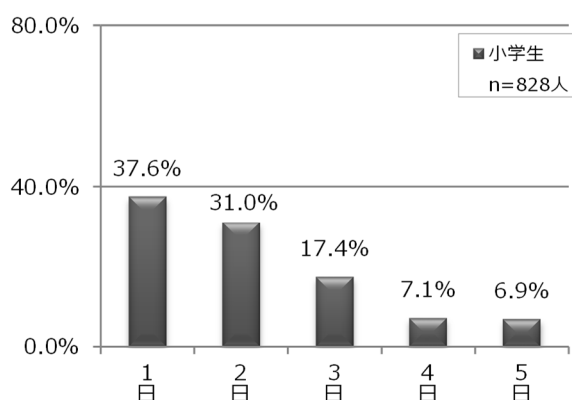
問 19.1 自宅の日数（1週当たり）



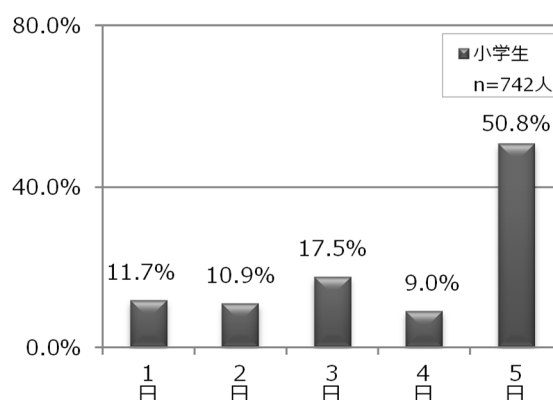
問 19.2 祖父母宅や友人・知人宅の日数（1週当たり）



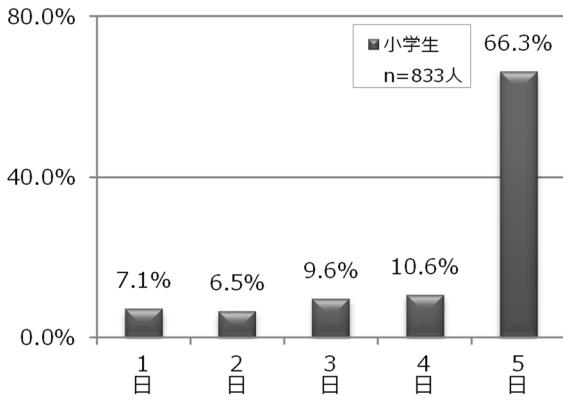
問 19.3 塾や習い事の日数（1週当たり）



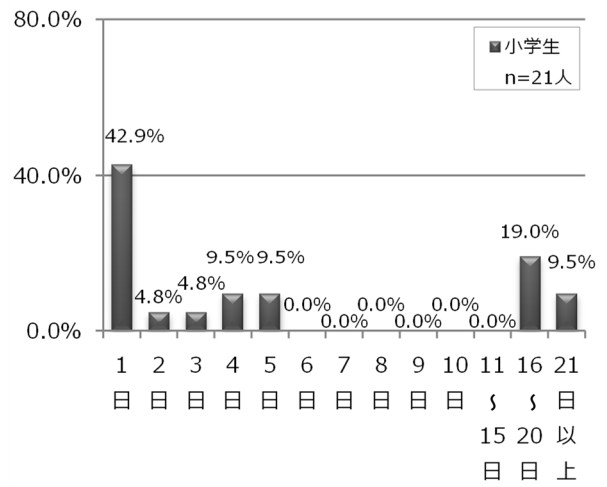
問 19.4 児童館・児童センターの日数（1週当たり）



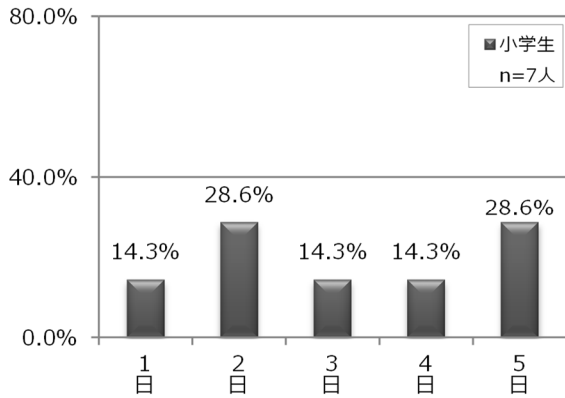
問 19.5 放課後児童クラブの日数（1週当たり）



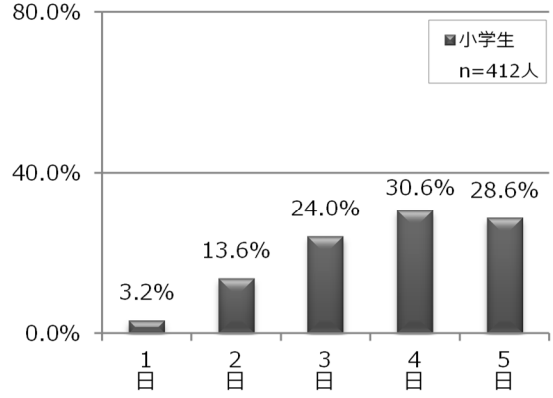
問 19.6 放課後子ども教室の日数（1か月当たり）



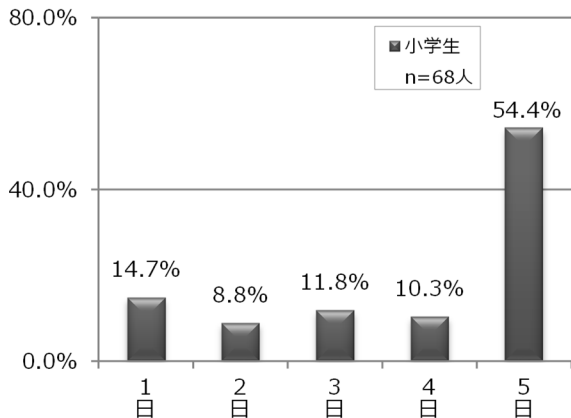
問 19.7 ファミリー・サポート・センターの日数（1週当たり）



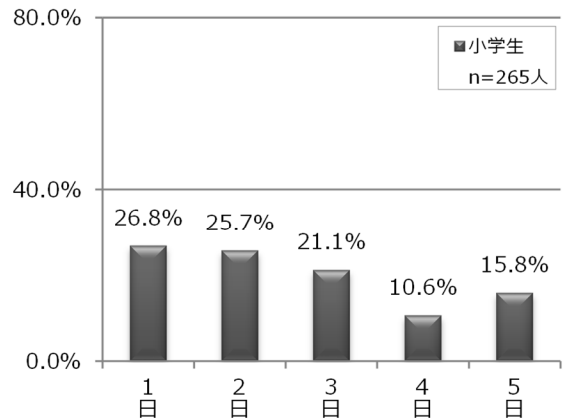
問 19.8 部活動・スポーツ少年団の日数（1週当たり）



問 19.9 保育施設等の日数（1週当たり）

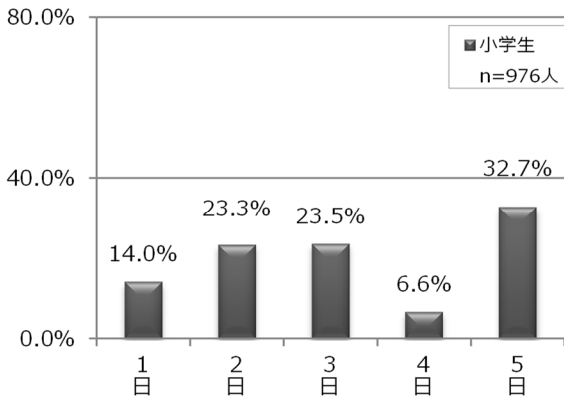


問 19.10 その他の日数（1週当たり）

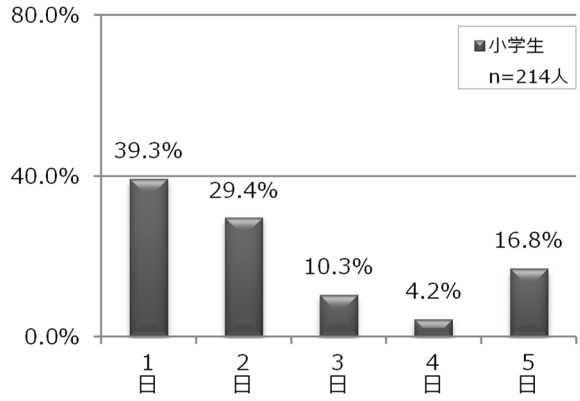


② 放課後の過ごし方【小学校高学年の時期】

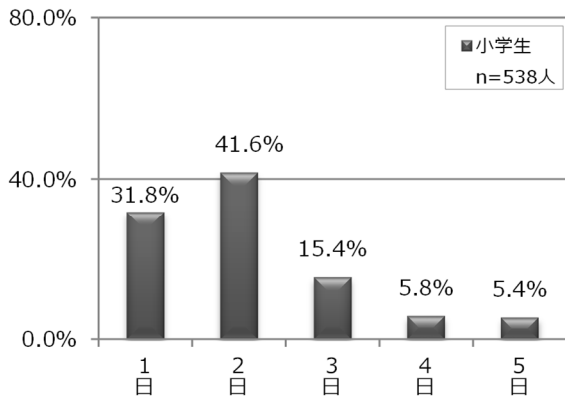
問 20.1 自宅の希望日数（1週当たり）



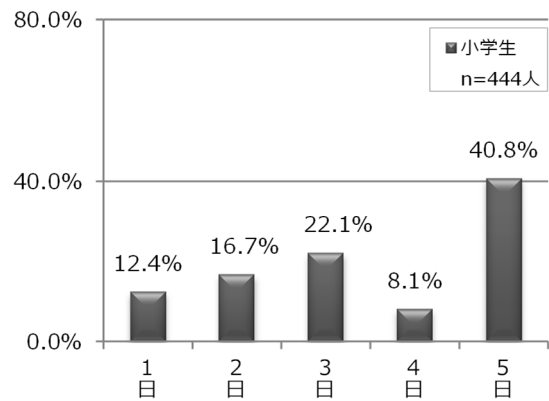
問 20.2 祖父母宅や友人・知人宅の希望日数（1週当たり）



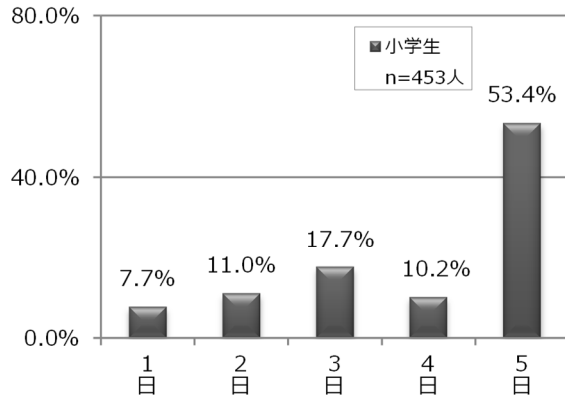
問 20.3 塾や習い事の希望日数（1週当たり）



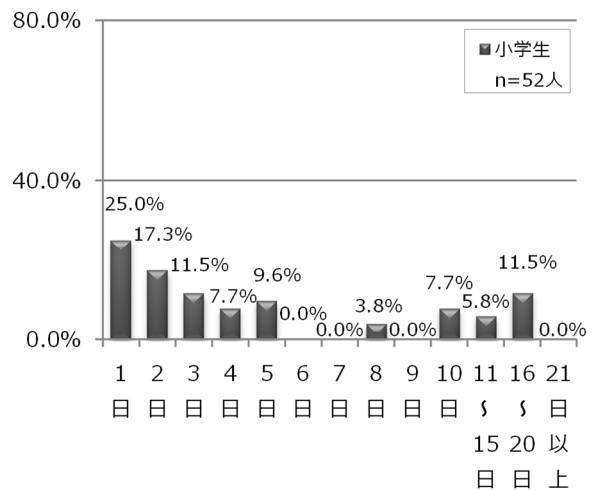
問 20.4 児童館・児童センターの希望日数（1週当たり）



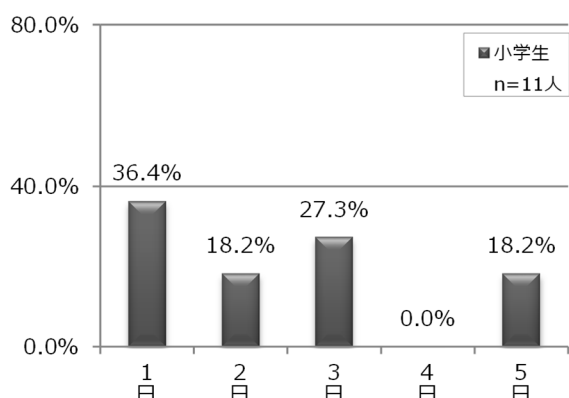
問 20.5 放課後児童クラブの希望日数（1週当たり）



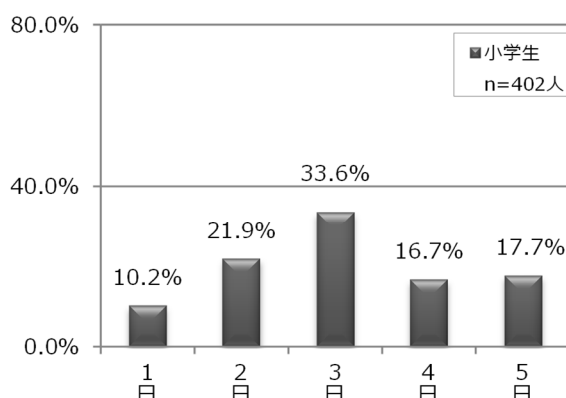
問 20.6 放課後子ども教室の希望日数（1か月当たり）



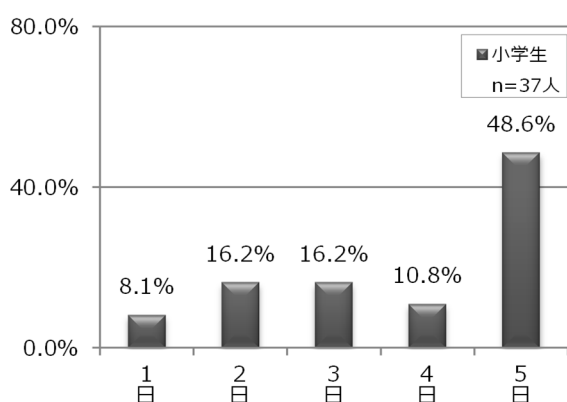
問 20.7 ファミリー・サポート・センターの希望日数（1週当たり）



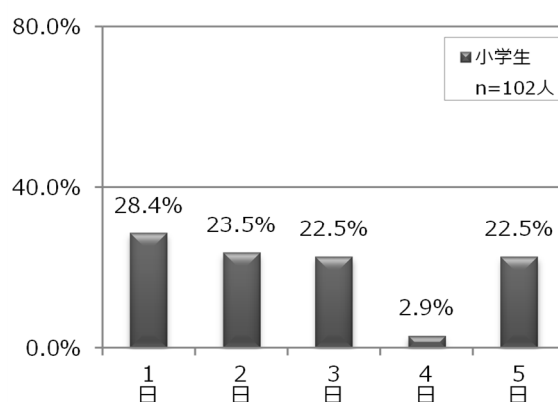
問 20.8 部活動・スポーツ少年団の希望日数（1週当たり）



問 20.9 保育施設等の希望日数（1週当たり）



問 20.10 その他の希望日数（1週当たり）

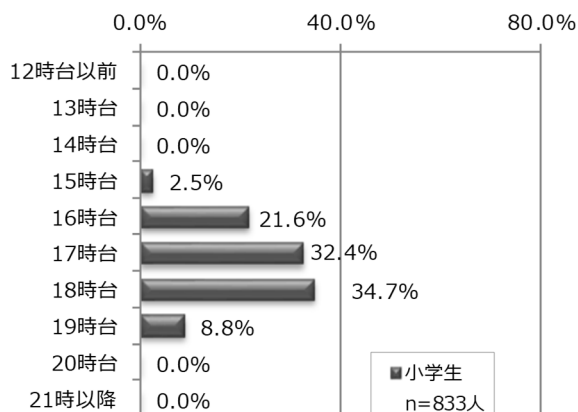


小学生の放課後児童クラブの利用時間をみると、現在は「18 時台」（34.7%）が最も多く、次いで「17 時台」（32.4%）、「16 時台」（21.6%）となっており、高学年期については「18 時台」（37.1%）が最も多く、次いで「17 時台」（32.5%）、「16 時台」（16.1%）と、ほぼ同じ傾向ですが、「19 時台」（13.0%）は現在に比べて 4.2 ポイント増加しています。

「放課後児童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間

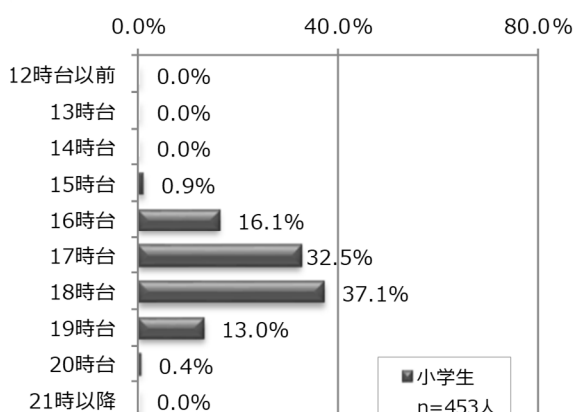
【現在】

問 19.5.1 下校時からの利用時間



【小学校高学年の時期】

問 20.5.1 下校時からの利用希望時間



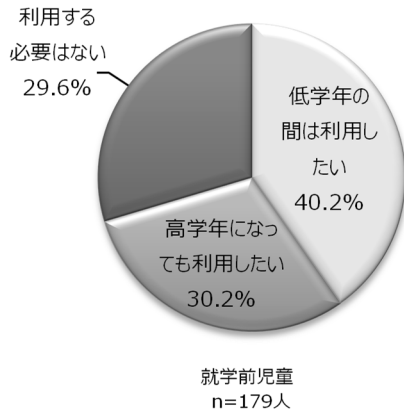
(2) 1. 就学前児童の土曜・休日の放課後児童クラブ利用希望について

就学前児童の放課後児童クラブの利用希望をみると、土曜日は「低学年の間は利用したい」(40.2%)が最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」(30.2%)、「利用する必要はない」(29.6%)となっています。一方、日曜・祝日では、「高学年になっても利用したい」(10.1%)、「低学年の間は利用したい」(8.4%)は約1割にとどまり、「利用する必要はない」が81.6%を占めています。

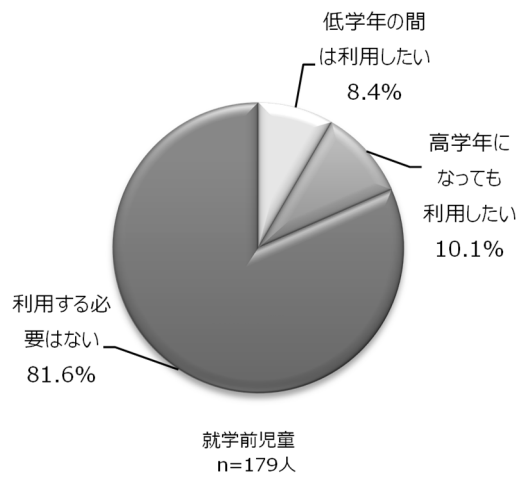
希望利用開始時間では、土曜日は「8時台」(51.6%)が最も多く、次いで「9時台」(25.4%)、「7時台」(21.4%)となっています。希望利用終了時間は、「17時台」(30.2%)、「18時台」(28.6%)が多くなっています。

日曜・祝日では、土曜日に比べて「7時台」(30.3%)が多くなっています。希望利用終了時間は、土曜日に比べて「19時台」(18.2%)の希望が多くなっています。

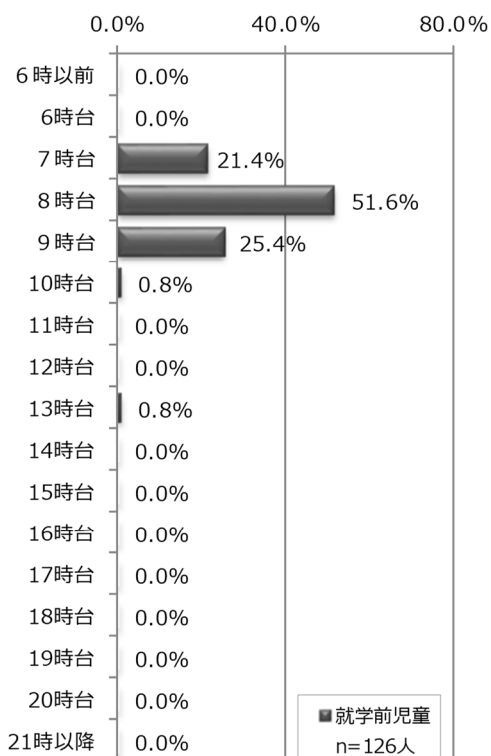
問 31 (1) 土曜日の利用希望



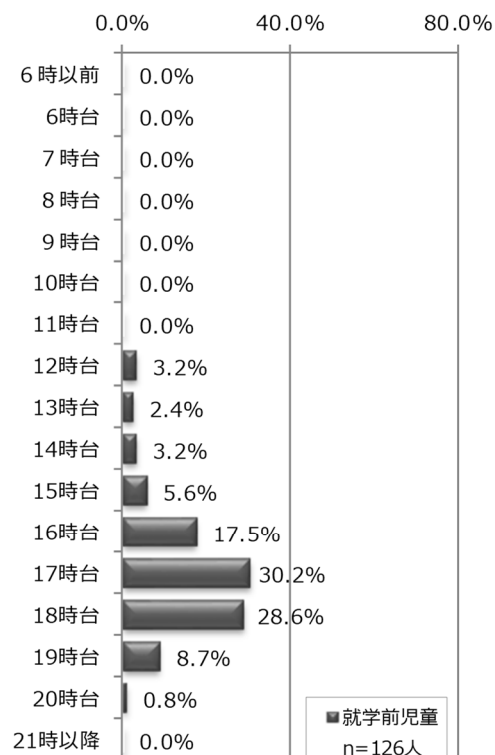
問 31 (2) 日曜・祝日の利用希望



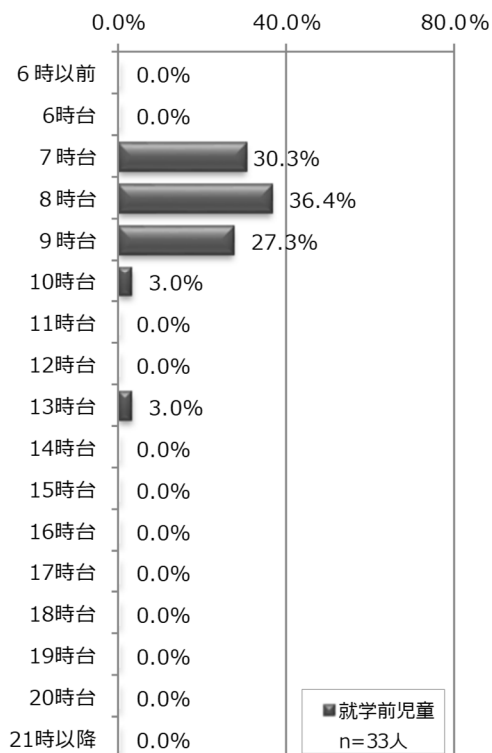
問 31 (1) . 1 土曜日の希望利用開始時間



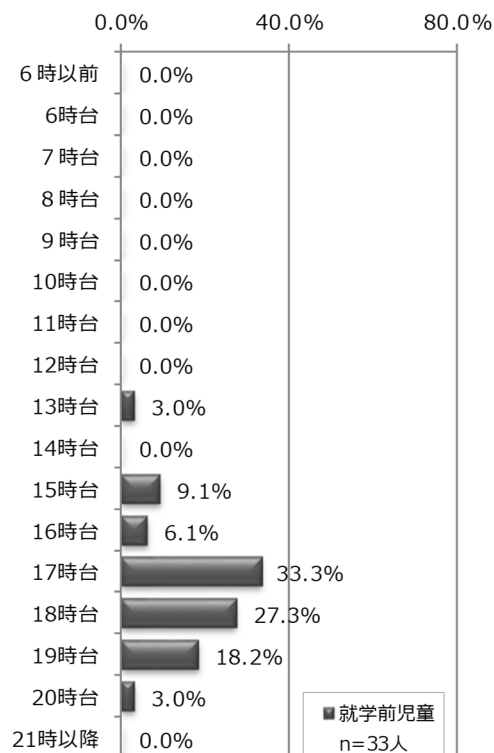
問 31 (1) . 2 土曜日の希望利用終了時間



問 31 (2) . 1 日曜・祝日の希望利用開始時間



問 31 (2) . 2 日曜・祝日の希望利用終了時間



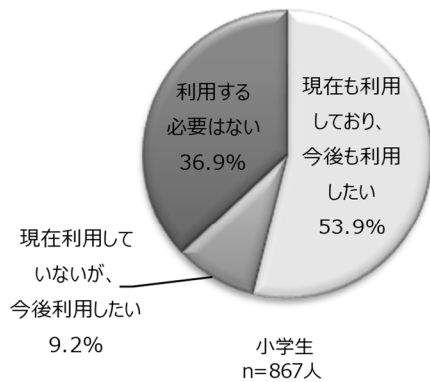
2. 小学生の土曜・休日の放課後児童クラブ利用希望について

小学生の放課後児童クラブの利用希望をみると、土曜日は「現在も利用しており、今後も利用したい」(53.9%) が最も多く、次いで「利用する必要はない」(36.9%)、「現在利用していないが、今後利用したい」(9.2%) となっています。一方、日曜・祝日では、「実施されれば利用したい」は 25.6%にとどまり、「利用する必要はない」が 74.4%を占めています。

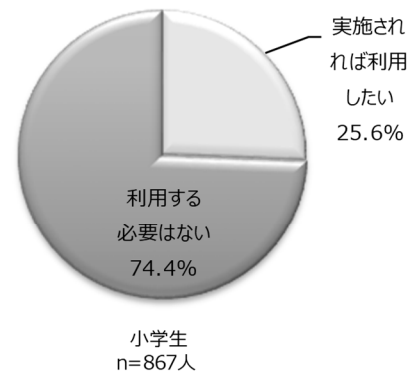
希望利用開始時間では、土曜日は「8時台」(48.6%) が最も多く、次いで「7時台」(26.5%)、「9時台」(21.8%) となっています。希望利用終了時間は、「17時台」(28.2%)、「18時台」(22.7%) が多くなっています。

日曜・祝日では、希望利用終了時間は、土曜日比べて「18時台」(27.5%)、「19時台」(14.4%) の希望が多くなっています。

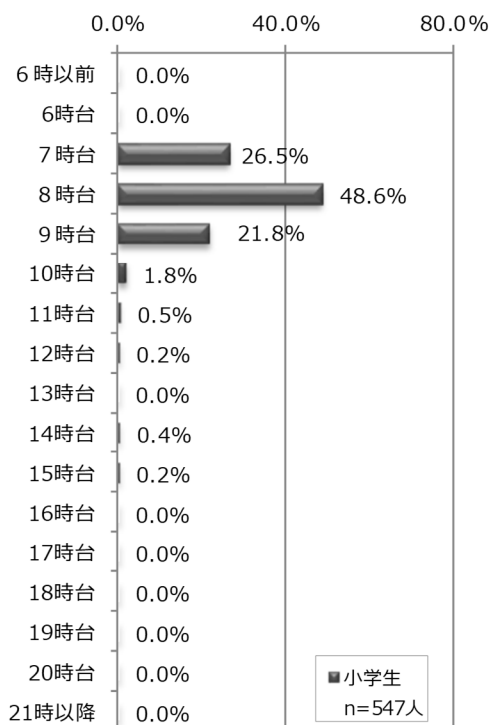
問 21 (1) 土曜日の利用状況・利用希望



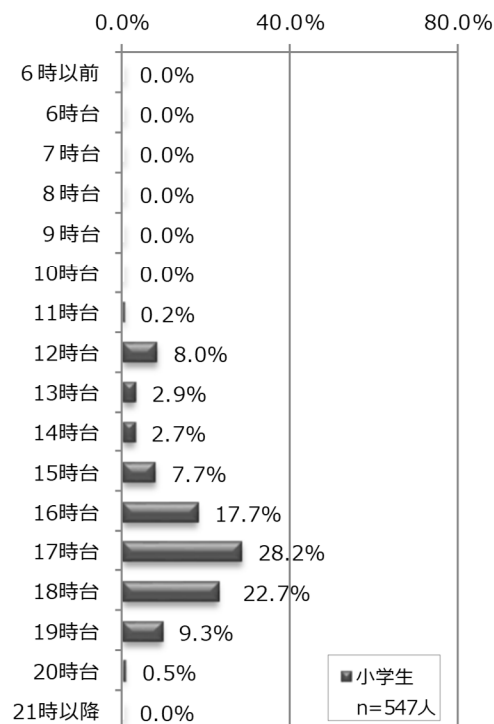
問 21 (2) 日曜・祝日の利用状況・利用希望



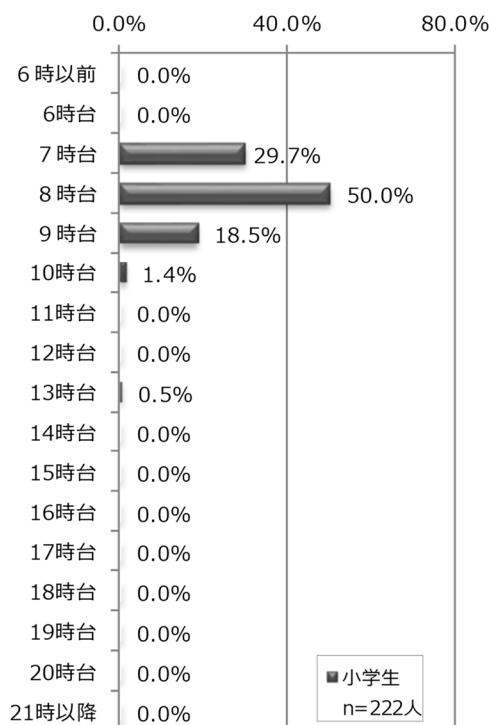
問 21 (1) . 1 土曜日の希望利用開始時間



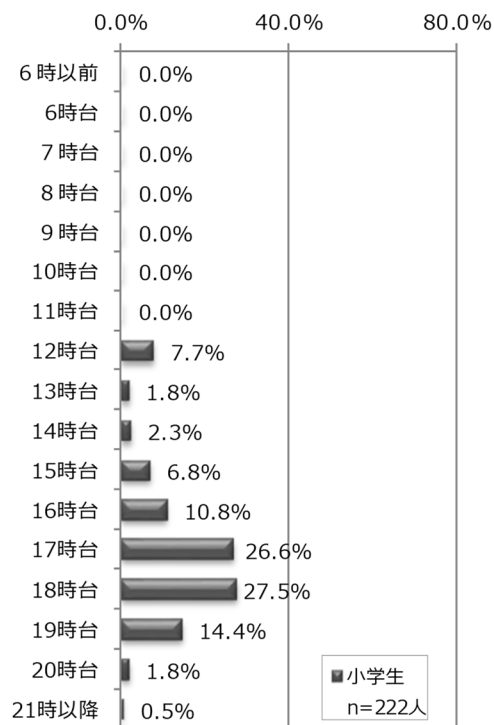
問 21 (1) . 2 土曜日の希望利用終了時間



問 21 (2) . 1 日曜・祝日の希望利用開始時間



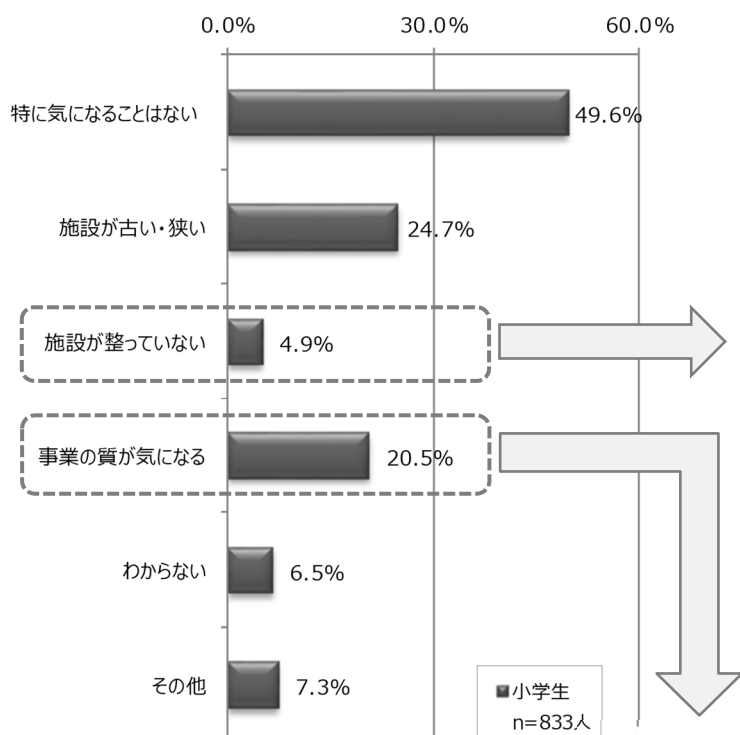
問 21 (2) . 2 日曜・祝日の希望利用終了時間



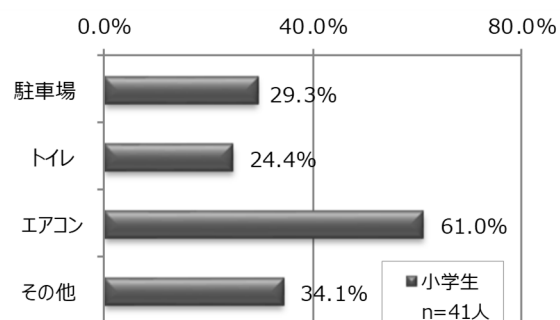
小学生の放課後児童クラブのサービスについての満足度をみると、「特に気になることはない」(49.6%)が約半数となっている一方、「施設が古い・狭い」(24.7%)、「事業の質が気になる」(20.5%)などが2割以上となっています。

「施設が整っていない」の具体的な内容を見ると、「エアコン」(61.0%)が最も多く、次いで「駐車場」(29.3%)、「トイレ」(24.4%)の順となっています。また、「事業の質が気になる」の具体的な内容を見ると、「職員の対応」(75.4%)が最も多く、次いで「1日のカリキュラム」(41.5%)、「行事の内容」(29.8%)の順となっています。

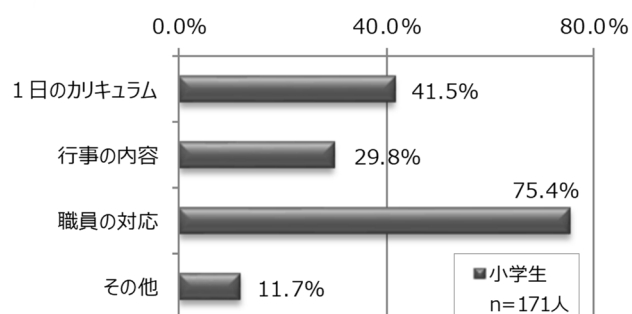
問 22 放課後児童クラブのサービスについての満足度



問 22 施設が整っていない内容



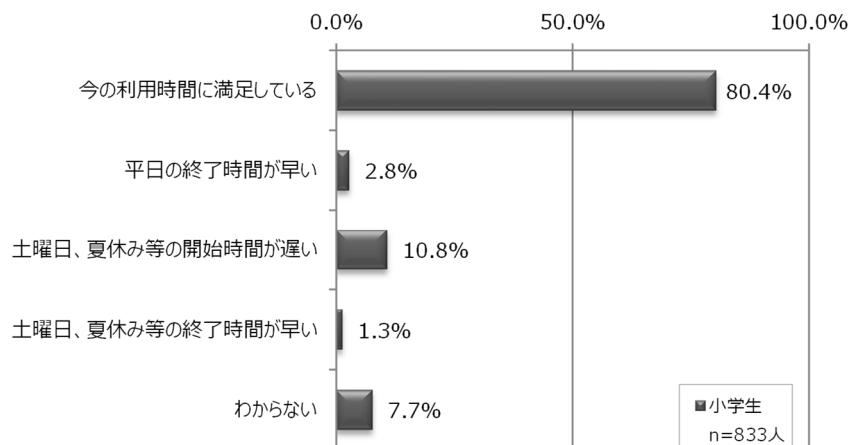
問 22 事業の質が気になる内容



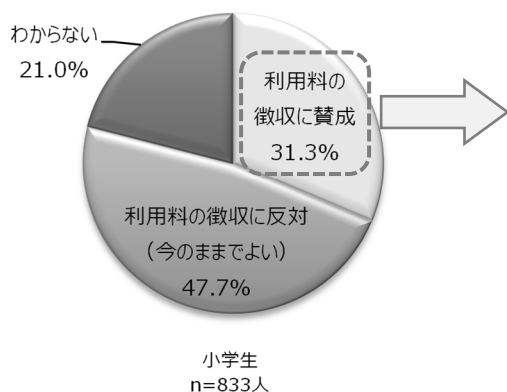
小学生の放課後児童クラブの利用時間についての満足度をみると、80.4%の人が「今の利用時間に満足している」と回答し、「土曜日、夏休み等の開始時間が遅い」（10.8%）、「平日の終了時間が早い」（2.8%）、「土曜日、夏休み等の終了時間が早い」（1.3%）は約1割にとどまっています。

放課後児童クラブ利用料徴収については、「利用料の徴収に賛成（今のままでよい）」（47.7%）が、「利用料の徴収に賛成」（31.3%）を上回っています。また、「利用料の徴収に賛成」と回答した人が妥当と考える月額利用料は「3,000円」（36.4%）が最も多くなっています。

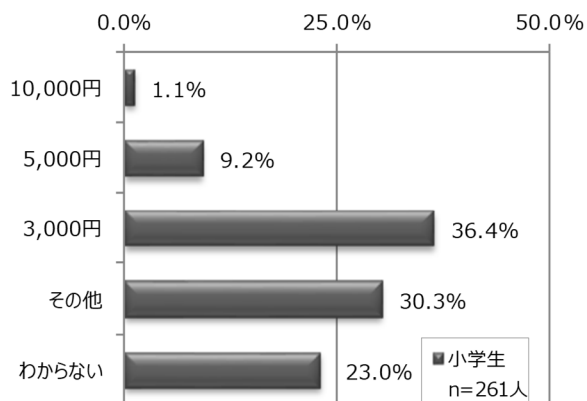
問 22-1 放課後児童クラブの利用時間についての満足度



問 22-2 放課後児童クラブの利用料徴収について



問 22-3 放課後児童クラブの妥当な月額利用料

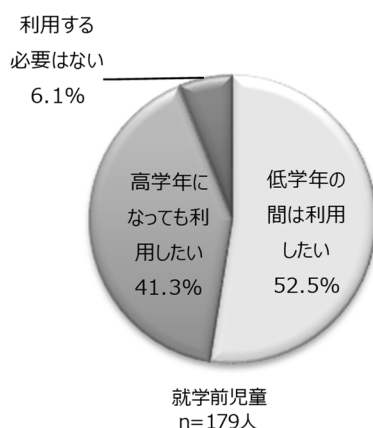


(3) 1. 就学時前児童の長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望について

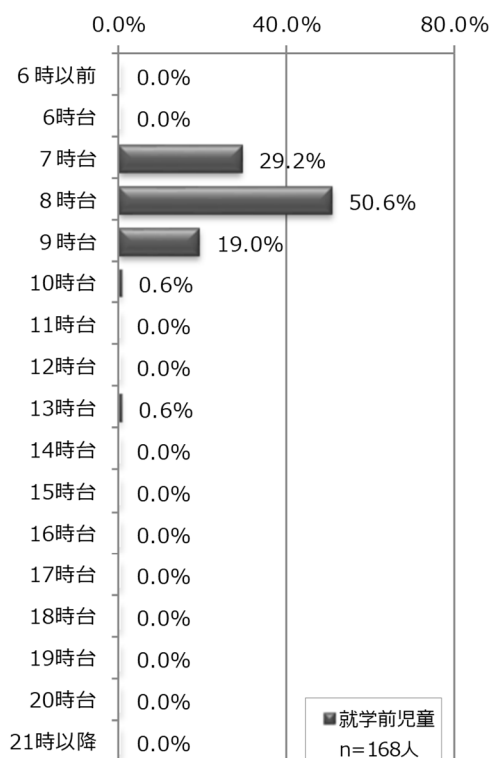
就学前児童の長期休暇期間中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」(52.5%)が最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」(41.3%)、「利用する必要はない」(6.1%)となっています。

希望利用開始時間は、「8時台」(50.6%)が最も多く、次いで「7時台」(29.2%)、「9時台」(19.0%)となっています。希望利用終了時間は、「18時台」(40.5%)が最も多く、次いで「17時台」(29.8%)となっています。

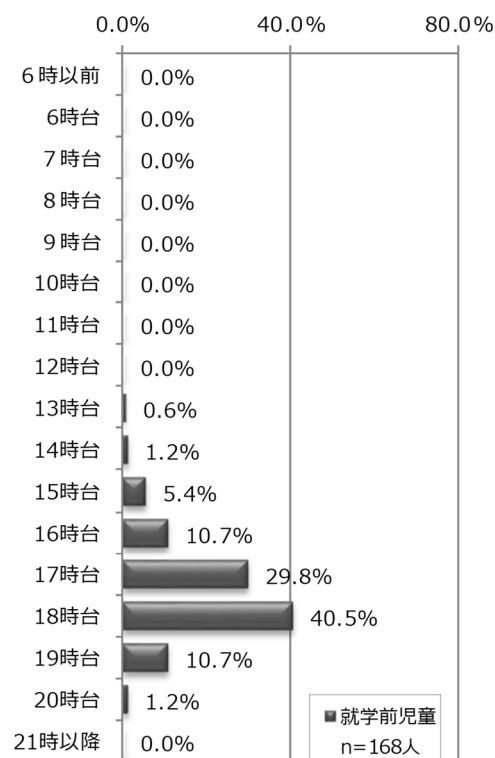
問 32 長期休暇期間中の利用希望



問 32.1 長期休暇期間中の希望利用開始時間



問 32.2 長期休暇期間中の希望利用終了時間

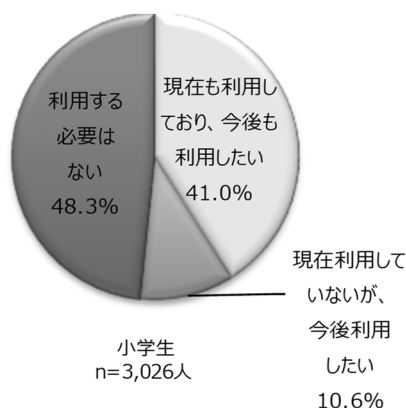


2. 小学生の長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望について

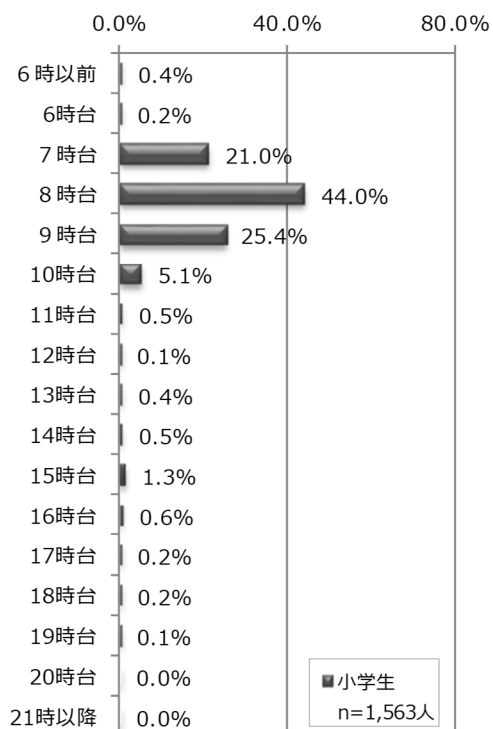
小学生の長期休暇期間中の利用希望をみると、「利用する必要はない」（48.3%）が最も多く、次いで「現在も利用しており、今後も利用したい」（41.0%）、「現在利用していないが、今後利用したい」（10.6%）となっています。

希望利用開始時間は、「8時台」（44.0%）が最も多く、次いで「9時台」（25.4%）、「7時台」（21.0%）となっています。希望利用終了時間は、「17時台」（30.4%）、「18時台」（29.8%）が多くなっています。

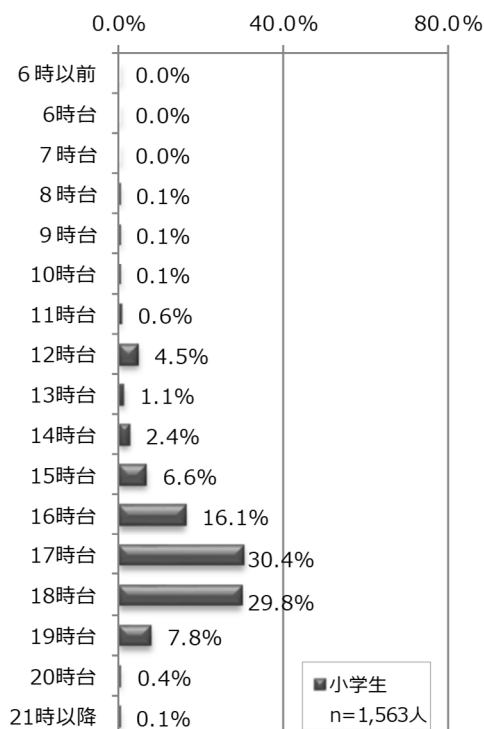
問 23 長期休暇期間中の利用希望



問 23.1 長期休暇期間中の希望利用開始時間



問 23.2 長期休暇期間中の希望利用終了時間



4 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について

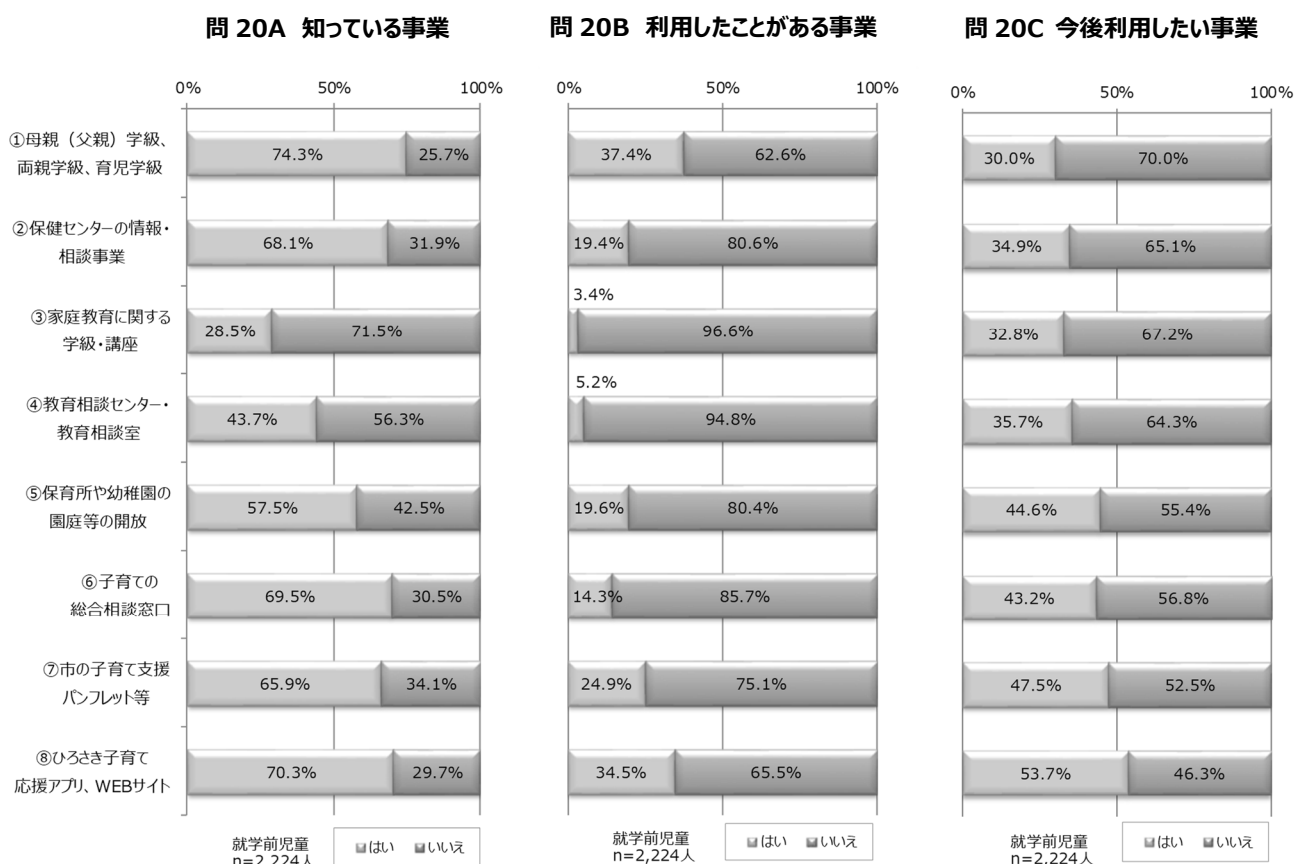
就学前児童の保護者が知っている子育て支援事業で認知度が高いのは、『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』（74.3%）と『⑧ひろさき子育て応援アプリ、WEB サイト』（70.3%）で7割以上となっています。次いで『⑥子育ての総合相談窓口』（69.5%）、『②保健センターの情報・相談事業』（68.1%）、『⑦市の子育て支援パンフレット等』（65.9%）が6割台となっています。一方、『③家庭教育に関する学級・講座』（28.5%）と『④教育相談センター・教育相談室』（43.7%）は半数以下となっており、特に『③家庭教育に関する学級・講座』は3割未満にとどまっています。

利用したことがある事業は、いずれの項目も4割未満にとどまっていますが、認知度で高い『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』（37.4%）と『⑧ひろさき子育て応援アプリ、WEB サイト』（34.5%）が3割台と他の項目に比べてやや多くなっています。

今後利用したい事業は、『⑧ひろさき子育て応援アプリ、WEB サイト』（53.7%）が最も多く、次いで『⑦市の子育て支援パンフレット等』（47.5%）、『⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放』（44.6%）、『⑥子育ての総合相談窓口』（43.2%）の順となっています。

『③家庭教育に関する学級・講座』と『④教育相談センター・教育相談室』は、利用経験が1割未満にとどまっていますが、今後の利用意向では3割以上となっています。

また、『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』と『②保健センターの情報・相談事業』は、認知度が高いものの今後の利用意向との差が他の項目に比べて少なくなっています。



5 地域における子育て環境や支援について（新規）

（1） 1. 就学前児童の保護者が感じる子育ての楽しさ・つらさ・孤立感（新規）

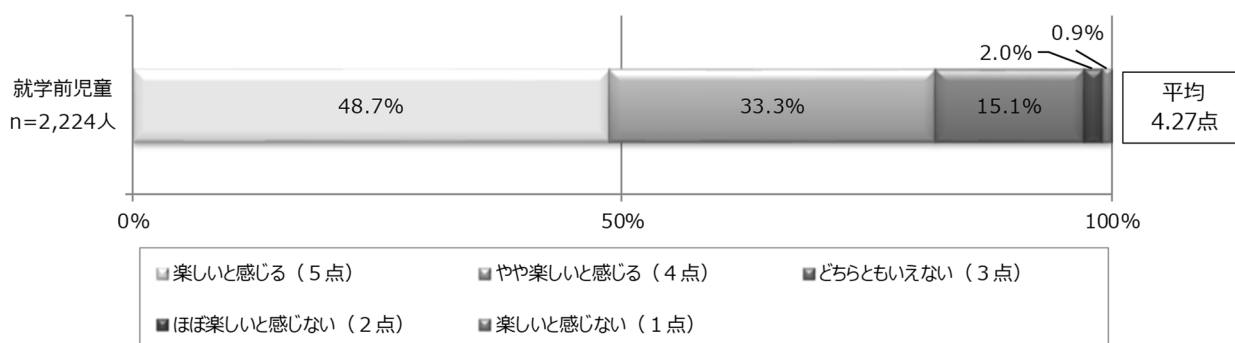
就学前児童の保護者が子育てを楽しんでいるかどうかをみると、「楽しいと感じる」（48.7%）が最も多く、「やや楽しいと感じる」（33.3%）を合わせた楽しいと感じている人は 82.0%となっています。一方、「ほぼ楽しいと感じない」（2.0%）と「楽しいと感じない」（0.9%）を合わせた楽しいと感じない人は 2.9%となっています。

また、回答に5点から1点までの点数を付けて（「楽しいと感じる」5点、「やや楽しいと感じる」4点、「どちらともいえない」3点、「ほぼ楽しいと感じない」2点、「楽しいと感じない」1点）集計したところ、平均点は 4.27 点となっています。

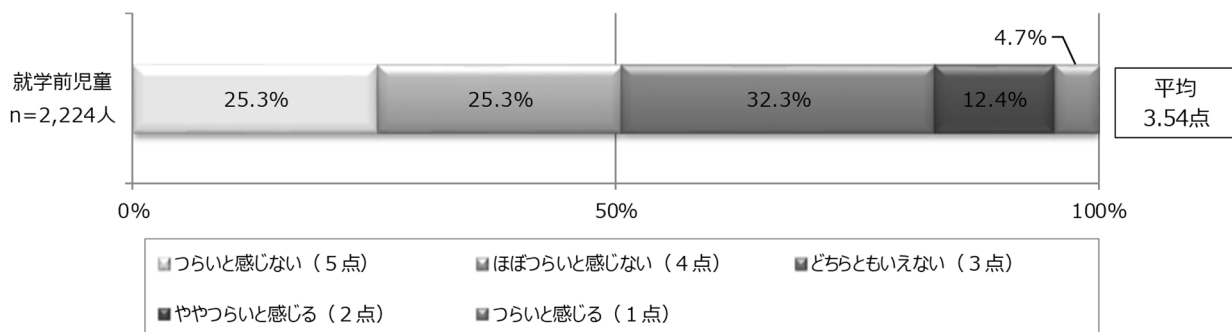
子育てをつらいと感じるかどうかをみると、「つらいと感じない」、「ほぼつらいと感じない」（各 25.3%）を合わせたつらいと感じない人は 50.6%となっています。一方、「ややつらいと感じる」（12.4%）、「つらいと感じる」（4.7%）を合わせたつらいと感じる人は 17.1%となっています。

また、子育てを楽しんでいるかどうかとの設問と同様に、回答に5点から1点までの点数を付けて（「つらいと感じない」5点、「ほぼつらいと感じない」4点、「どちらともいえない」3点、「ややつらいと感じる」2点、「つらいと感じる」1点）集計したところ、平均点は 3.54 点となっています。

問 33.1 子育てを楽しんでいるか

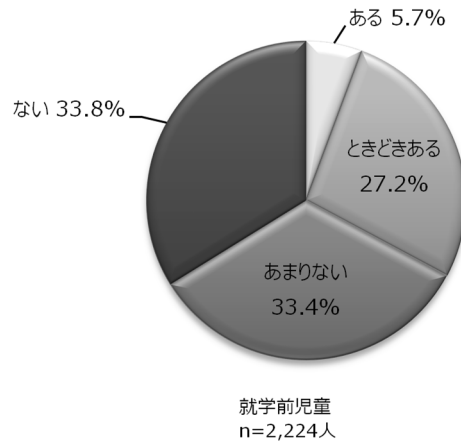


問 33.2 子育てをつらいと感じるか



就学前児童の保護者が子育てに関して孤立感を感じるかどうかをみると、「ない」（33.8%）が最も多く、「あまりない」（33.4%）を合わせた孤立感を感じたことがない人は 67.2%となっています。一方、「ある」（5.7%）、「ときどきある」（27.2%）を合わせた孤立感を感じたことがある人は 32.9%となっています。

問 34 子育てに関して孤立感を感じるか



2. 小学生の保護者が感じる子育ての楽しさ・つらさ・孤立感（新規）

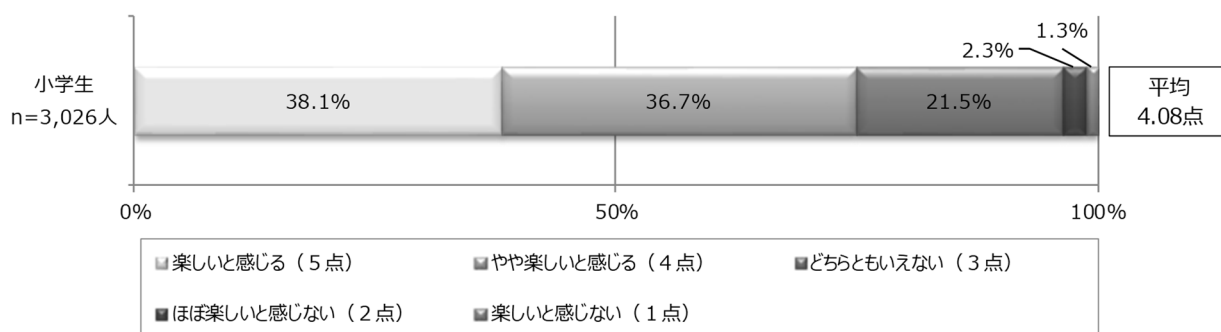
小学生の保護者が子育てを楽しんでいるかどうかをみると、「楽しいと感じる」（38.1%）が最も多く、「やや楽しいと感じる」（36.7%）を合わせた楽しいと感じている人は74.8%となっています。一方、「ほぼ楽しいと感じない」（2.3%）と「楽しいと感じない」（1.3%）を合わせた楽しいと感じない人は3.6%となっています。

また、回答に5点から1点までの点数を付けて（「楽しいと感じる」5点、「やや楽しいと感じる」4点、「どちらともいえない」3点、「ほぼ楽しいと感じない」2点、「楽しいと感じない」1点）集計したところ、平均点は4.08点となっています。就学前児童の保護者と比べ、子育てを楽しんでいる人の割合が減少しているため、平均点もやや低くなっています。

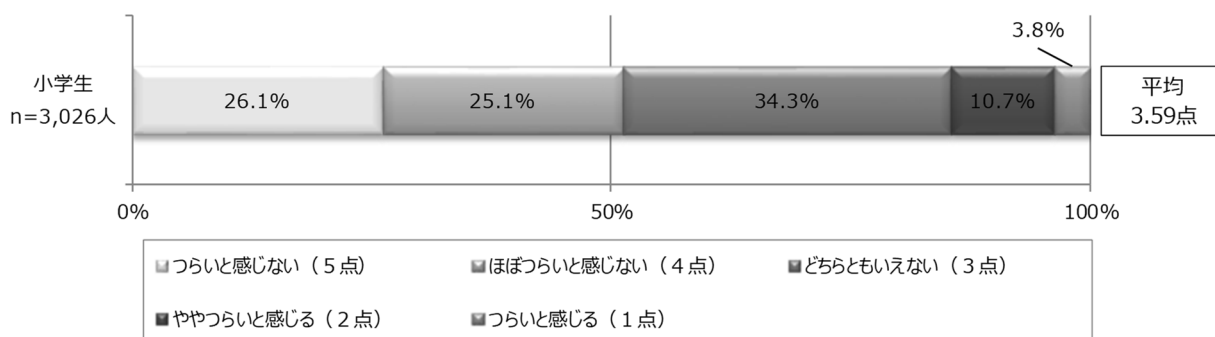
子育てをつらいと感じるかどうかをみると、「つらいと感じない」（26.1%）と「ほぼつらいと感じない」（25.1%）を合わせたつらいと感じない人は51.2%となっています。一方、「ややつらいと感じる」（10.7%）、「つらいと感じる」（3.8%）を合わせたつらいと感じる人は14.5%となっています。

また、子育てを楽しんでいるかどうかの問いと同様に、回答に5点から1点までの点数を付けて（「つらいと感じない」5点、「ほぼつらいと感じない」4点、「どちらともいえない」3点、「ややつらいと感じる」2点、「つらいと感じる」1点）集計したところ、平均点は3.59点となっています。

問 24.1 子育てを楽しんでいるか

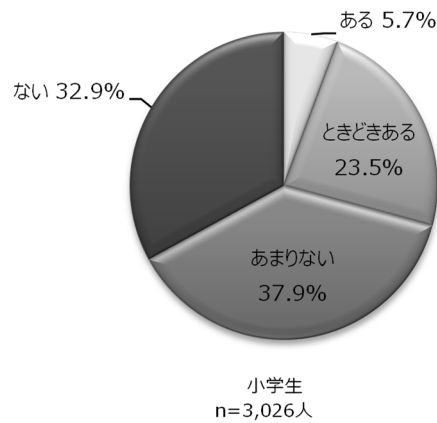


問 24.2 子育てをつらいと感じるか



小学生の保護者が子育てに関して孤立感を感じるかどうかをみると、「あまりない」（37.9%）が最も多く、「ない」（32.9%）を合わせた孤立感を感じたことがない人は 70.8%となっています。一方、「ある」（5.7%）、「ときどきある」（23.5%）を合わせた孤立感を感じたことがある人は 29.2%となっており、就学前児童の保護者に比べてやや少なくなっています。

問 25 子育てに関して孤立感を感じるか

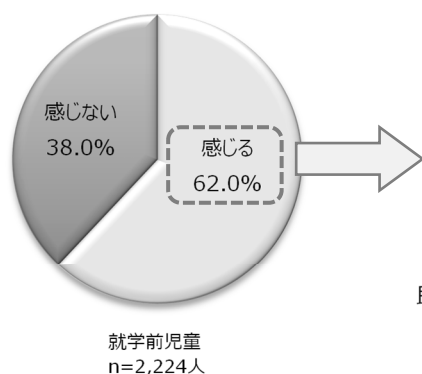


(2) 1. 就学前児童の保護者に対する子育て支援（新規）

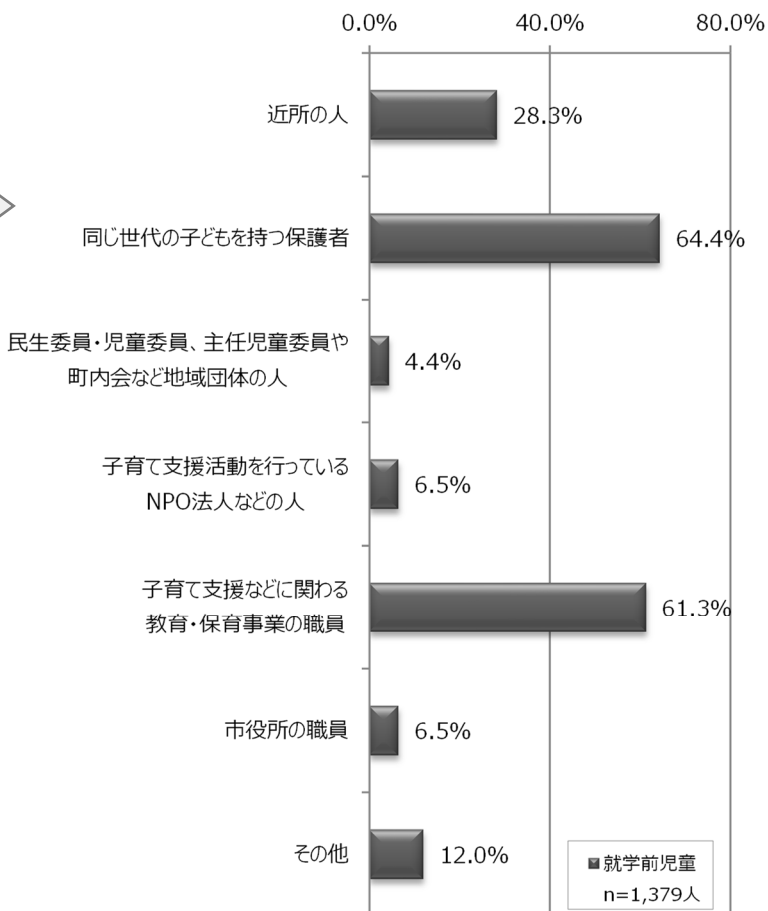
就学前児童の保護者が、自身の子育てが地域の人や社会に支えられていると感じるかどうかをみると、「感じる」が62.0%、「感じない」が38.0%となっています。

地域の人や社会に支えられていると感じている人が、誰に支えられていると感じているかをみると、「同じ世代の子どもを持つ保護者」(64.4%)が最も多く、次いで「子育て支援などに関わる教育・保育事業の職員」(61.3%)、「近所の人」(28.3%)の順となっています。

問 35.1 地域の人や社会に支えられていると感じるか



問 35.2 誰に支えられていると感じるか

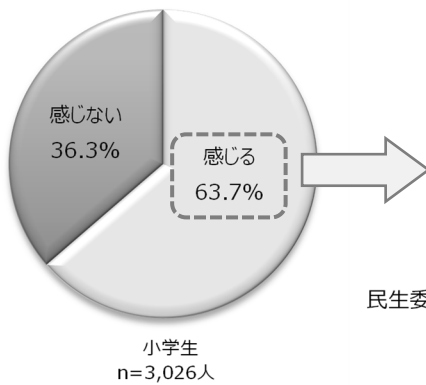


2. 小学生の保護者に対する子育て支援（新規）

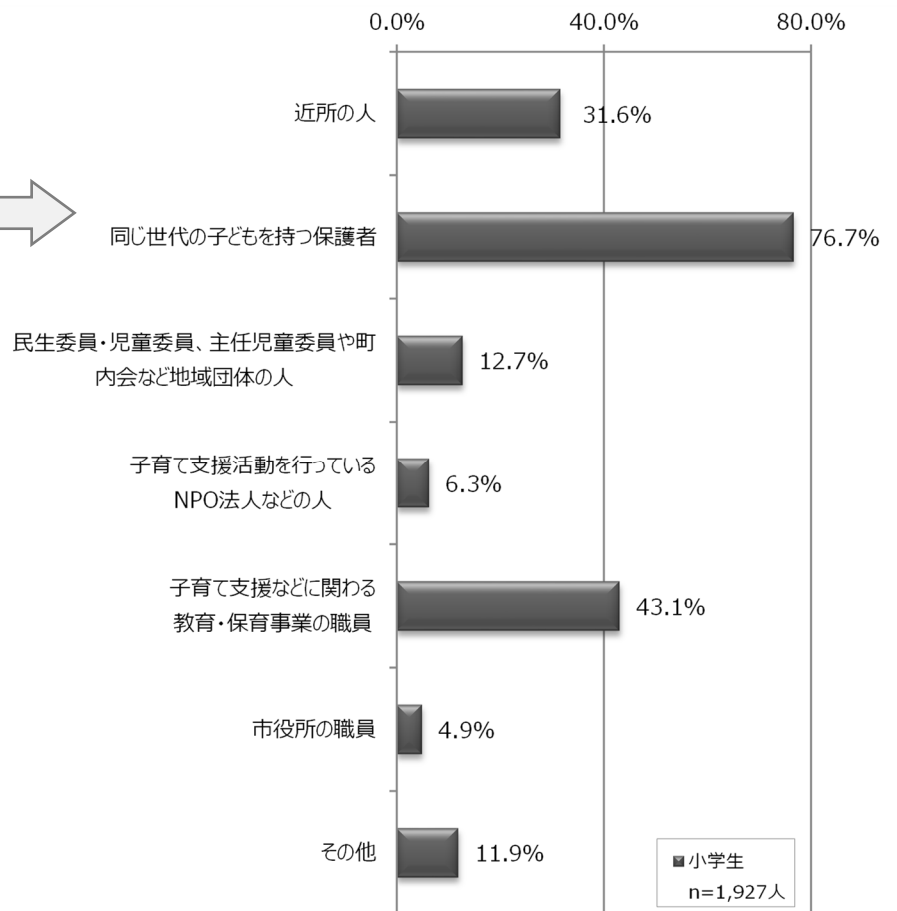
小学生の保護者が、自身の子育てが地域の人や社会に支えられていると感じるかどうかをみると、「感じる」が63.7%、「感じない」が36.3%と、就学前児童の保護者と同様の傾向となっています。

地域の人や社会に支えられていると感じている人が、誰に支えられていると感じているかをみると、「同じ世代の子どもを持つ保護者」（76.7%）が最も多く、次いで「子育て支援などに関わる教育・保育事業の職員」（43.1%）、「近所の人」（31.6%）の順となっており、就学前児童の保護者と同じ項目が上位にあげられていますが、小学生の保護者は就学前児童の保護者に比べて「同じ世代の子どもを持つ保護者」が12.3ポイント上回っています。

問 26.1 地域の人や社会に支えられていると感じるか



問 26.2 誰に支えられていると感じるか

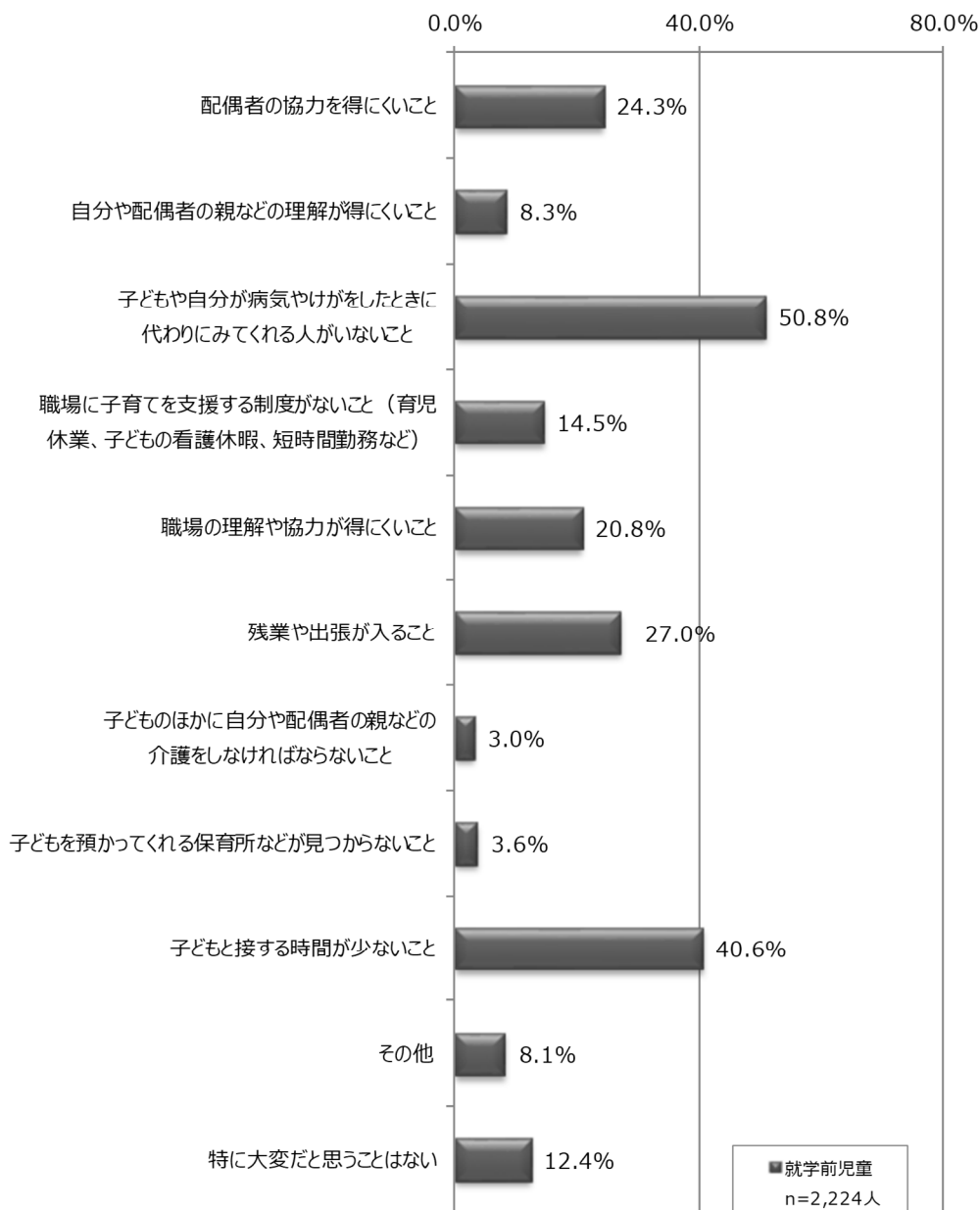


(3) 1. 就学前児童の保護者の仕事と子育ての両立について（新規）

就学前児童の保護者が、仕事と子育てを両立させるうえで大変だと思うことをみると、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりにみてくれる人がいないこと」（50.8%）が最も多くなっています。次いで「子どもと接する時間が少ないこと」（40.6%）、「残業や出張が入ること」（27.0%）、「配偶者の協力を得にくいこと」（24.3%）、「職場の理解や協力が得にくいこと」（20.8%）の順となっています。

なお、「特に大変だと思うことはない」は12.4%となっています。

問 36 仕事と子育てを両立させるうえで大変だと思うこと

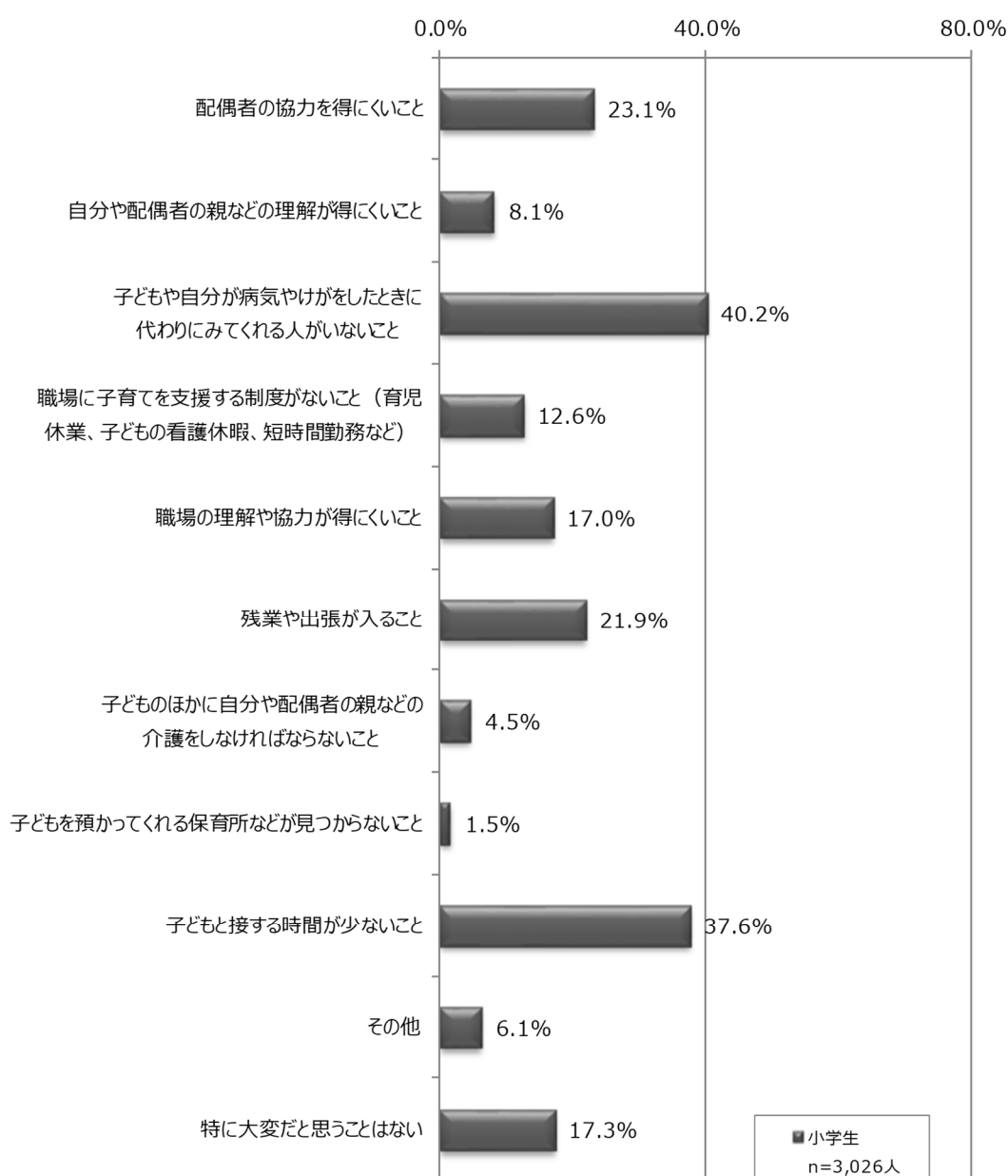


2. 小学生の保護者の仕事と子育ての両立について（新規）

小学生の保護者が、仕事と子育てを両立させるうえで大変だと思うことをみると、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりにみてくれる人がいないこと」（40.2%）が最も多く、就学前児童の保護者に比べて10.6ポイント下回っています。次いで「子どもと接する時間が少ないこと」（37.6%）、「配偶者の協力を得にくいこと」（23.1%）、「残業や出張が入ること」（21.9%）、「職場の理解や協力が得にくいこと」（17.0%）の順となっています。

なお、「特に大変だと思うことはない」は17.3%と就学前児童の保護者に比べて4.9ポイント上回っています。

問 27 仕事と子育てを両立させるうえで大変だと思うこと

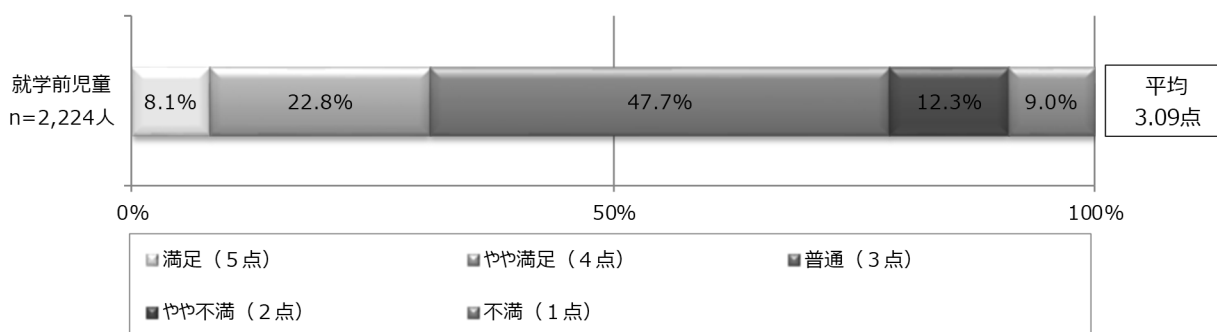


(4) 1. 就学前児童の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度

就学前児童の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度をみると、「普通」(47.7%)が最も多くなっています。「満足」(8.1%)と「やや満足」(22.8%)を合わせた満足している人は30.9%、「やや不満」(12.3%)、「不満」(9.0%)を合わせた満足していない人は21.3%となっています。

また、回答に5点から1点までの点数を付けて(「満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「不満」1点)集計したところ、平均点は3.09点となっています。

問 37 地域の子育て環境や支援に対する満足度 (就学前児童)

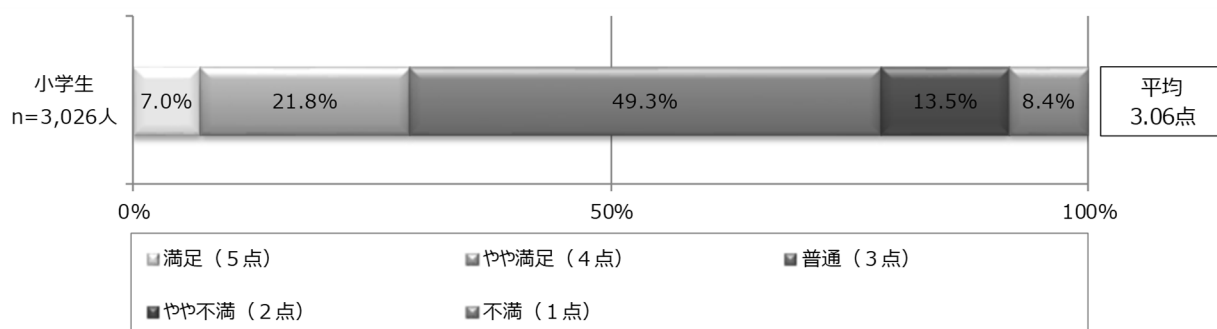


2. 小学生の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度

小学生の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度をみると、「普通」(49.3%)が最も多くなっています。「満足」(7.0%)と「やや満足」(21.8%)を合わせた満足している人は28.8%、「やや不満」(13.5%)と「不満」(8.4%)を合わせた満足していない人は21.9%と、就学前児童の保護者と同様の傾向となっています。

また、回答に5点から1点までの点数を付けて(「満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「不満」1点)集計したところ、平均点は3.06点となっています。

問 28 地域の子育て環境や支援に対する満足度 (小学生)



第4章

子ども・子育て支援に関する意見・要望等

第4章 子ども・子育て支援に関する意見・要望等

1 子育てサポートに関する意見・要望等

(1) 就学前児童の子育てサポートに関する意見・要望等（問 11）

回答者数：754人 総意見数：1,083件

	意見内容	件数（件）
1	子育て支援全般（子育て家庭に優しい地域など包含）	170
2	教育・保育の事業（誰でも通園などサービスや施設について包含）	150
3	相談や情報提供	144
4	経済的負担の軽減	114
5	病児・病後児保育	88
5	一時預かり（宿泊をとまなわない）	88
7	公園・遊び場	56
8	生活環境（外出支援、外出先の商業施設の充実・雪対策など包含）	55
9	労働環境の改善・家庭と仕事の両立支援	48
10	母子保健（健診・予防接種）・医療	43
11	交流・イベント	41
12	障がい児	16
13	学校（環境整備、先生に対すること、友達、いじめなど包含）	14
14	放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	13
14	行政全般	13
16	地域子育て拠点拠点事業（広場事業）について	11
17	ひとり親	5
18	安心・安全なまちづくり	4
19	ショートステイ（宿泊をとまなう）	2
-	その他	8
総意見数		1,083

(2) 小学生の子育てサポートに関する意見・要望等 (問 11)

回答者数：779人 総意見数：1,038件

	意見内容	件数 (件)
1	相談や情報提供	144
2	子育て支援全般 (子育て家庭に優しい地域など包含)	128
3	教育・保育の事業 (誰でも通園などサービスや施設について包含)	98
4	放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	97
5	生活環境 (外出支援、外出先の商業施設の充実・雪対策など包含)	96
6	経済的負担の軽減	80
7	学校 (環境整備、先生に対すること、友達、いじめなど包含)	79
8	公園・遊び場	53
9	一時預かり (宿泊をとまなわない)	41
10	交流・イベント	35
11	病児・病後児保育	34
12	母子保健 (健診・予防接種)・医療	31
12	労働環境の改善・家庭と仕事の両立支援	31
14	地域子育て拠点拠点事業 (広場事業) について	29
15	障がい児	25
16	安心・安全なまちづくり	11
17	ひとり親	10
18	行政全般	4
19	ショートステイ (宿泊をとまなう)	2
-	その他	10
	総意見数	1,038

2. 子育て環境や支援に関する意見・要望等

(1) 就学前児童の子育て環境や支援に関する意見・要望等 (問 38)

回答者数：707人 総意見数：1,118件

	意見内容	件数 (件)
1	教育・保育の事業 (誰でも通園などサービスや施設について包含)	250
2	公園・遊び場	167
3	子育て支援全般 (子育て家庭に優しい地域など包含)	144
4	経済的負担の軽減	125
5	労働環境の改善・家庭と仕事の両立支援	63
6	病児・病後児保育	61
7	母子保健 (健診・予防接種)・医療	50
8	相談や情報提供	47
9	生活環境 (外出支援、外出先の商業施設の充実・雪対策など包含)	41
10	学校 (環境整備、先生に対すること、友達、いじめなど包含)	37
11	交流・イベント	27
12	一時預かり (宿泊をとまなわない)	23
13	地域子育て拠点拠点事業 (広場事業) について	22
14	放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	18
15	ひとり親	10
15	障がい児	10
17	安心・安全なまちづくり	4
17	行政全般	4
19	ショートステイ (宿泊をとまなう)	0
-	その他	15
総意見数		1,118

(2) 小学生の子育て環境や支援に関する意見・要望等 (問 29)

回答者数：725人 総意見数：1,008件

	意見内容	件数 (件)
1	子育て支援全般 (子育て家庭に優しい地域など包含)	136
2	学校 (環境整備、先生に対すること、友達、いじめなど包含)	135
3	放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	117
4	公園・遊び場	109
5	経済的負担の軽減	83
6	生活環境 (外出支援、外出先の商業施設の充実・雪対策など包含)	78
7	地域子育て拠点拠点事業 (広場事業) について	55
8	教育・保育の事業 (誰でも通園などサービスや施設について包含)	54
9	労働環境の改善・家庭と仕事の両立支援	50
10	母子保健 (健診・予防接種)・医療	34
11	障がい児	32
12	相談や情報提供	31
13	病児・病後児保育	22
14	ひとり親	20
14	交流・イベント	20
16	一時預かり (宿泊をとまなわない)	7
17	安心・安全なまちづくり	4
18	行政全般	3
19	ショートステイ (宿泊をとまなう)	2
-	その他	16
	総意見数	1,008

資料編

資料編

1 「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査票」の見本

(1) 就学前児童の保護者用

「ご協力のお願い」と記載してある依頼状の右上にある5ケタの整理番号をご記入ください。

整理番号:

お住まいの地域についてうかがいます

《問1》 封筒の宛名シールに記載された小学校名をお答えください。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 三省	2. 致遠	3. 城東	4. 福村	5. 豊田
6. 堀越	7. 文京	8. 千年	9. 大和沢	10. 小沢
11. 青柳	12. 和徳	13. 時敏	14. 城西	15. 第三大成
16. 朝陽	17. 桔梗野	18. 西	19. 松原	20. 東
21. 北	22. 大成	23. 東目屋	24. 相馬	25. 自得
26. 高杉	27. 船沢	28. 裾野	29. 新和	30. 岩木
31. 常盤野	32. 石川			

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

《問2》 宛名のお子さんの生年月をお答えください。空欄に数字をご記入ください。

西暦

年

月生まれ

《問3》 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を空欄に数字で記入してください。

お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月を数字でご記入ください。

きょうだい数

人

末子の生年月

西暦

年

月生まれ

《問4》 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

《問5》 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

《問6》 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

宛名のお子さんの子育てをめぐり環境についてうかがいます

《問7》 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのはどなた（施設）ですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 幼稚園
6. 保育所 7. 認定こども園 8. その他（ ）

《問8》 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に大きく影響を与えると思う環境は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所 5. 認定こども園
6. その他（ ）

《問9》 日頃、父母のほかに宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------------------|---|--------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | ⇒問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる | | |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる | } | ⇒問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には、子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない | | ⇒問10へ |

問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

《問9-1》 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。 ⇒問9-2へ

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が心配である
4. 祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や成長にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

《問9-2》 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。

(※問9で「3.」または「4.」に○をつけていない場合は記入不要です。⇒問10へ)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が心配である
4. 友人・知人に負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や成長にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

全ての方にうかがいます。

《問10》 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や、相談できる場所がありますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---------|-----------|-------|
| 1. いる/ある | ⇒問10-1へ | 2. いない/ない | ⇒問11へ |
|----------|---------|-----------|-------|

問 10 で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

《問 10-1》 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先はどなた（どこ）ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設（子育て支援センター、児童館等）・NPO
5. 保健センター	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけ等の医師	10. 自治体の子育て関連相談窓口
11. その他（【例：ベビーシッター】（	）

全ての方にうかがいます。

《問 11》 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

《問 12》 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親（※父子家庭の場合は記入不要です。⇒(2)へ）あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ (1) -1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ (2)へ
6. これまで就労したことがない	

(1) で「1. ～ 4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

(1) -1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」を空欄に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり	<input type="text"/>	日	1日あたり	<input type="text"/>	時間程度
-------	----------------------	---	-------	----------------------	------

(1) -2 家を出る時刻と帰宅時刻を空欄に数字でご記入ください。（24時間表記。例：19時）

※時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻	<input type="text"/>	時頃	帰宅時刻	<input type="text"/>	時頃
--------	----------------------	----	------	----------------------	----

(2) 父親（※母子家庭の場合は記入不要です。⇒問 13 へ）あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	<div style="font-size: 3em;">}</div> <p>⇒ (2) - 1 へ</p> <div style="font-size: 3em;">}</div> <p>⇒ 問 14 へ</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) で「1. ～ 4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

(2) - 1 1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」を空欄に **数字** でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週あたり	<input style="width: 80%;" type="text"/>	日	1 日あたり	<input style="width: 80%;" type="text"/>	時間程度
--------	------------------------------------------	---	--------	------------------------------------------	------

(2) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻を空欄に **数字** でご記入してください。（24 時間表記。例：19 時）

※時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻	<input style="width: 80%;" type="text"/>	時頃	帰宅時刻	<input style="width: 80%;" type="text"/>	時頃
--------	------------------------------------------	----	------	------------------------------------------	----

問 12 の (1) または (2) で「3. ～ 4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、問 14 へ

《問 13》フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親（※父子家庭の場合は記入不要です。⇒ (2) へ）

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）での就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親（※母子家庭の場合は記入不要です。⇒問 14 へ）

1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）での就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。 ⇒該当しない方は、問 15 へ
 《問 14》 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親（※父子家庭の場合は記入不要です。⇒ (2) へ）

※空欄には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1 年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

①フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）

②パートタイム・アルバイト等（①以外）

→1 週あたり 日 1 日あたり 時間程度

(2) 父親（※母子家庭の場合は記入不要です。⇒問 15 へ）

※空欄には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1 年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

①フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）

②パートタイム・アルバイト等（①以外）

→1 週あたり 日 1 日あたり 時間程度

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・ 保育事業の利用状況についてうかがいます

全ての方にうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業をさします。
具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

《問 15》 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 利用している ⇒問 15-1へ | 2. 利用していない ⇒問 15-5へ |
|--------------------|---------------------|

問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

《問 15-1》 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

- | | |
|-----------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) | 6. その他の認可外の保育施設 |
| 7. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) | 8. その他 () |

《問 15-2》 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）か、空欄に数字でご記入ください。（24 時間表記。例：19 時）

※2 つ以上回答された方は、若い番号の事業についてお答えください。

(1) 現在

1 週あたり	□	日	1 日あたり	□	時間	(□	時	～	□	時)
--------	---	---	--------	---	----	---	---	---	---	---	----

(2) 希望

1 週あたり	□	日	1 日あたり	□	時間	(□	時	～	□	時)
--------	---	---	--------	---	----	---	---	---	---	---	----

《問 15-3》 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 弘前市内

2. 弘前市外

《問 15-4》 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由は何ですか。

あてはまる番号 すべて に○をつけてください。 ⇒回答後、問 16 へ

1. 子どもの教育や発達のため

2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため

3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中であるため

4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護しているため

5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがあるため

6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生であるため

7. その他（

）

問 15-5 は、問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

《問 15-5》 利用していない理由は何ですか。あてはまる番号 すべて に○をつけてください。

※「8.」に○をつけた場合は、空欄に年齢を **数字** でご記入ください。

1. 子どもの父親又は母親が就労していないなどの理由で、利用する必要がない

2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている

3. 近所の人や父母の友人・知人がみている

4. 利用したいが、教育・保育事業（施設）に空きがない

5. 利用したいが、経済的な理由で教育・保育事業を利用できない

6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）

9. その他（

）

全ての方にかがいます。

《問 16》 現在、国では、保護者が仕事をしていなくても、月の一定時間まで子どもを保育施設等に時間単位で預けられる「こども誰でも通園制度（仮称）」の検討を進めています。この制度が実施された場合、保育施設等を利用しようと思いませんか。あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

※施設の利用には、一定の利用者負担が発生する可能性があります。

1. 利用したい

2. 利用したいとは思わない

3. わからない

問 17 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。

《問 17-2》 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

全ての方にうかがいます。

《問 18》 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。あてはまる番号 す べてに○をつけてください。

また、おおよその利用回数（頻度）を空欄に 数字 でご記入ください。

※弘前市には駅前こどもの広場（ヒロロ3階）、大浦保育園地域子育て支援センター、相馬こども園地域子育て支援センター、みどり保育園地域子育て支援センターの4か所があります。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

1 週あたり 回 もしくは 1 か月あたり 回程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名： _____ ）

1 週あたり 回 もしくは 1 か月あたり 回程度

3. 利用していない

《問 19》 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

また、おおよその利用回数（頻度）を空欄に 数字 でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい

1 週あたり 回 もしくは 1 か月あたり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1 週あたり 更に 回 もしくは 1 か月あたり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

《問 20》 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

①～⑧の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
②保健センターの情報・相談事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④教育相談センター・教育相談室	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦市の子育て支援パンフレット等	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧ひろさき子育て応援アプリ、WEBサイト	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

《問 21》 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）。（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯を空欄に**数字**でご記入ください。（24 時間表記。例：19 時）

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} →	利用したい時間帯 [] 時から [] 時まで
-------------------------------------------------	-----	-----------------------------

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} →	利用したい時間帯 [] 時から [] 時まで
-------------------------------------------------	-----	-----------------------------

問 21 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

《問 21-1》 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日にできない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 () | |

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

《問 22》 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を空欄に数字でご記入ください。(24 時間表記。例：19 時)

- | | |
|---------------------|-------------------------------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | } → <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |

問 22 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

《問 22-1》 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 () | |

宛名のお子さんの病気等の際の対応についてうかがいます (平日の教育・保育を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問15で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。 ⇒利用されていない方は、問24へ

《問23》 この1年間に宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった事がありますか。
あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. あった ⇒問23-1へ

2. なかった ⇒問24へ

問23で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

《問23-1》 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、
どのように対応しましたか。この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号 すべて に○を
つけてください。

それぞれの日数も空欄に 数字 で記入してください。（半日程度の場合も1日と数えます）

対応方法	日数	
1. 父親が休み対応した	約 <input style="width: 50px;" type="text"/> 日	⇒問23-2へ
2. 母親が休み対応した	約 <input style="width: 50px;" type="text"/> 日	
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	約 <input style="width: 50px;" type="text"/> 日	
4. 就労していない父親又は母親が対応した	約 <input style="width: 50px;" type="text"/> 日	
5. 病児・病後児のための保育施設等を利用した	約 <input style="width: 50px;" type="text"/> 日	⇒問24へ
6. ベビーシッター等を利用した	約 <input style="width: 50px;" type="text"/> 日	
7. 子どものみで自宅で療養した	約 <input style="width: 50px;" type="text"/> 日	
8. その他 ()	約 <input style="width: 50px;" type="text"/> 日	

問23-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

《問23-2》 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

あてはまる番号 1つ に○をつけ、日数についても空欄に 数字 でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、料金がかかる場合があるほか、利用前に医療機関の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい



日

2. 利用したいとは思わない

全ての方にかがいます。

《問 24》 今後、病児・病後児保育施設を利用してお子さんを預けたいと思いますか。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------------|----------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したいとは思わない | 3. わからない |
|----------|----------------|----------|

《問 25》 送迎サービスがあるとしたら、病児保育施設を利用したいと思いますか。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

※送迎サービスは保育所等や学校にいる子どもを看護師が迎えに行き預かってくれるもので、自宅にいる場合は対象外です。

- | | | |
|----------|----------------|----------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したいとは思わない | 3. わからない |
|----------|----------------|----------|

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や 宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

《問 26》 宛名のお子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、親の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。利用している場合、1年間の利用日数（おおよそ）も空欄に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）		
1. 一時預かり <small>※私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業</small>	約	<input style="width: 90%;" type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 <small>※通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ</small>	約	<input style="width: 90%;" type="text"/> 日
3. 夜間養護等事業：トワイライトステイ <small>※児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業</small>	約	<input style="width: 90%;" type="text"/> 日
4. ベビーシッター	約	<input style="width: 90%;" type="text"/> 日
5. その他（ ）	約	<input style="width: 90%;" type="text"/> 日
6. 利用していない ⇒問 26-1 へ		

⇒問 27 へ

問 26 で「6. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

《問 26-1》 現在利用していない理由は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない 3. 事業の質に不安がある 5. 利用料がかかる・高い 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない 9. その他（ ）	2. 利用したい事業がない 4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数等）がよくない 6. 利用料がわからない 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

全ての方にかがいます。

《問 27》 宛名のお子さんについて、親の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい不定期な保育サービスや宿泊を伴う事業を利用する必要がある（利用したい）と思いませんか。利用希望の有無・日数をお答えください。

「1. 利用したい」に○をつけた場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、目的別の内訳の日数を空欄に数字でご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 <input type="text"/> 日	⇒問 27-1 へ
①私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日	
②冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	<input type="text"/> 日	
③不定期の就労	<input type="text"/> 日	
④その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 日	
2. 利用する必要はない ⇒問 28 へ		

問 27 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。

《問 27-1》 問 27 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：子育て支援センター等）
3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ <input type="text"/> ）

全ての方にかがいます。

《問 28》 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いませんか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無・日数をお答えください。

「1. 利用したい」に○をつけた場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、目的別の内訳の日数を空欄に数字でご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 <input type="text"/> 日
①冠婚葬祭	<input type="text"/> 日
②保護者や家族の育児疲れ・不安	<input type="text"/> 日
③保護者や家族の病気	<input type="text"/> 日
④その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 日
2. 利用する必要はない	

宛名のお子さんの小学校就学後の過ごし方についてうかがいます (宛名のお子さんが5歳以上である方のみ)

宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。 ⇒それ以外の方は、問33へ

《問29》宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、週(月)当たりの日数も空欄に数字でご記入ください。

「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた場合は、希望する利用時間についても空欄にご記入ください。(24時間表記。例：19時)

※児童館・児童センターで行う放課後児童クラブ(延長時間の登録利用者)を利用する場合は「5.」に回答してください。

1. 自宅	週	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日くらい
3. 塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日くらい
4. 児童館・児童センター ※1	週	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日くらい
5. 放課後児童クラブ ※2	週	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日くらい → 下校時から <input style="width: 40px;" type="text"/> 時まで
6. 放課後子ども教室 ※3	月	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日くらい
7. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	週	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日くらい
8. 部活動・スポーツ少年団	週	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日くらい
9. 保育施設等	週	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日くらい
10. その他(公民館、公園など)	週	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日くらい

※1 児童館・児童センター…子どもたちの遊びやスポーツを通じて友達の輪を広げ、明るく健やかな児童の育成と体力の増進を図ることを目的とした施設です。

【利用時間】平日：9時30分から18時 学校休業日：8時30分から17時

※2 放課後児童クラブ…保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に小学校の余裕教室(なかよし会)や児童館等を利用して適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図る事業です。

【利用時間】平日：小学校終了後から19時 学校休業日：7時30分から19時

※3 放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。実施している小学校に通っている3～6年生を対象にしており、保護者の就労の有無に関わらず利用できます。

《問 30》 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

また、それぞれ希望する週（月）当たりの日数を空欄に数字でご記入ください。

「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた場合は、希望する利用時間についても空欄にご記入ください。（24 時間表記。例：19 時）

※児童館・児童センターで行う放課後児童クラブ（延長時間の登録利用者）を利用する場合は「5.」に回答してください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 塾や習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館・児童センター	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後児童クラブ	週	<input type="text"/>	日くらい→下校時から <input type="text"/> 時まで
6. 放課後子ども教室	月	<input type="text"/>	日くらい
7. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	週	<input type="text"/>	日くらい
8. 部活動・スポーツ少年団	週	<input type="text"/>	日くらい
9. 保育施設等	週	<input type="text"/>	日くらい
10. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

問 29 または問 30 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

《問 31》 宛名のお子さんについて、土曜と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用を希望する時間を空欄にご記入ください。（24 時間表記。例：19 時）

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	→	利用したい時間帯		
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			<input type="text"/>	時から <input type="text"/>	時まで
3. 利用する必要はない					

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	→	利用したい時間帯		
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			<input type="text"/>	時から <input type="text"/>	時まで
3. 利用する必要はない					

※現在、弘前市では日曜・祝日に放課後児童クラブは実施しておりません。

《問 32》 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

また、希望する時間を空欄にご記入ください。(24 時間表記。例：19 時)

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯 [] 時から [] 時まで
------------------------------------------------------------------	-----	-----------------------------

地域における子育て環境や支援についてうかがいます

全ての方にうかがいます。

《問 33》 あなたは、子育てについてどのように感じていますか。

(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 子育てを楽しんでいると感じますか

楽しいと感じる	←————→					楽しいと感じない
5	4	3	2	1		

(2) 子育てをつらいと感じますか

つらいと感じない	←————→					つらいと感じる
5	4	3	2	1		

《問 34》 あなたは、子育てに関して孤立感を感じることはありますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. ある	2. ときどきある	3. あまりない	4. ない
-------	-----------	----------	-------

《問 35》 ご自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。

(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 支えられていると感じますか

1. 感じる	2. 感じない
--------	---------

(2) 誰に支えられていると感じますか

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. 近所の人 | 2. 同じ世代の子どもを持つ保護者 |
| 3. 民生委員・児童委員、主任児童委員や町内会などの地域団体の人 | 4. 子育て支援活動を行っているNPOなどの人 |
| 5. 子育て支援などに関わる教育・保育事業の職員 | 6. 市役所の職員 |
| 7. その他 () | |

《問 36》 仕事と子育てを両立させるうえで大変だと思うことは何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------------------------------|
| 1. 配偶者の協力を得にくいこと |
| 2. 自分や配偶者の親などの理解が得にくいこと |
| 3. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりにみてくれる人がいないこと |
| 4. 職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など） |
| 5. 職場の理解や協力が得にくいこと |
| 6. 残業や出張が入ること |
| 7. 子どものほかに自分や配偶者の親などの介護をしなければならないこと |
| 8. 子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと |
| 9. 子どもと接する時間が少ないこと |
| 10. その他 () |
| 11. 特に大変だと思うことはない |

《問 37》 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が高い	←—————→	満足度が低い
5	4 3 2	1

《問 38》 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

(2) 小学生の保護者用

「ご協力をお願い」と記載してある依頼状の右上にある5ケタの整理番号をご記入ください。

整理番号:

お住まいの地域についてうかがいます

《問1》 宛名のお子さんの通っている小学校をお答えください。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|--------|----------|
| 1. 三省 | 2. 致遠 | 3. 城東 | 4. 福村 | 5. 豊田 |
| 6. 堀越 | 7. 文京 | 8. 千年 | 9. 大和沢 | 10. 小沢 |
| 11. 青柳 | 12. 和徳 | 13. 時敏 | 14. 城西 | 15. 第三大成 |
| 16. 朝陽 | 17. 桔梗野 | 18. 西 | 19. 松原 | 20. 東 |
| 21. 北 | 22. 大成 | 23. 東目屋 | 24. 相馬 | 25. 自得 |
| 26. 高杉 | 27. 船沢 | 28. 裾野 | 29. 新和 | 30. 岩木 |
| 31. 常盤野 | 32. 石川 | | | |

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます

《問2》 宛名のお子さんの生年月と学年をお答えください。空欄に数字をご記入ください。

西暦

年

月生まれ

小学

年生

《問3》 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を空欄に数字で記入してください。

お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月を数字でご記入ください。

きょうだい数

人

末子の生年月

西暦

年

月生まれ

《問4》 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 母親

2. 父親

3. その他 ()

《問5》 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 配偶者がいる

2. 配偶者がいない

《問6》 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

宛名のお子さんの子育てをめぐり環境についてうかがいます

《問7》 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのはどなた（施設）ですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 小学校
6. 児童館・児童センター・なかよし会 7. 部活動・スポーツ少年団 8. 習い事（ ） 9. その他（ ）

《問8》 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に大きく影響を与えると思う環境は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 小学校 4. その他（ ）

《問9》 日頃、父母のほかに宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる] ⇒問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる] ⇒問9-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には、子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒問10へ

問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

《問9-1》 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。 ⇒問9-2へ

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が心配である
4. 祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や成長にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

《問9-2》 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(※問9で「3.」または「4.」に○をつけていない場合は記入不要です。⇒問10へ)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が心配である
4. 友人・知人に負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や成長にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

全ての方にうかがいます。

《問10》 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---------|-----------|-------|
| 1. いる/ある | ⇒問10-1へ | 2. いない/ない | ⇒問11へ |
|----------|---------|-----------|-------|

問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

《問10-1》 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先はどなた（どこ）ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（子育て支援センター、児童館等）・NPO |
| 5. 教員や養護教諭等学校関係者 | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. かかりつけ等の医師 | 8. 自治体の子育て関連相談窓口 |
| 9. その他（【例：ベビーシッター】（ | ） |

全ての方にうかがいます。

《問11》 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

《問 12》 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親（※父子家庭の場合は記入不要です。⇒(2)へ）あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------------------------------------|---|---------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | } | ⇒(1)-1へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | | |
| 3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | | |
| 4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } | ⇒(2)へ |
| 6. これまで就労したことがない | | |

(1) で「1. ～ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

(1) -1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」を空欄に**数字**でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり	<input style="width: 80%;" type="text"/>	日	1日あたり	<input style="width: 80%;" type="text"/>	時間程度
-------	------------------------------------------	---	-------	------------------------------------------	------

(1) -2 家を出る時刻と帰宅時刻を空欄に**数字**でご記入ください。（24時間表記。例：19時）

※時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻	<input style="width: 80%;" type="text"/>	時頃	帰宅時刻	<input style="width: 80%;" type="text"/>	時頃
--------	------------------------------------------	----	------	------------------------------------------	----

(2) 父親（※母子家庭の場合は記入不要です。⇒問 12-1 へ）あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	} ⇒ (2) -1 へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問 12-1 へ
6. これまで就労したことがない	

(2) で「1. ～ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

(2) -1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」を空欄に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり	<input type="text"/>	日	1日あたり	<input type="text"/>	時間程度
-------	----------------------	---	-------	----------------------	------

(2) -2 家を出る時刻と帰宅時刻を空欄に数字でご記入してください。（24時間表記。例：19時）

※時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻	<input type="text"/>	時頃	帰宅時刻	<input type="text"/>	時頃
--------	----------------------	----	------	----------------------	----

問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は、問13へ
《問12-1》 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

(1) 母親 (※父子家庭の場合は記入不要です。⇒(2)へ)

※空欄には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

(2) 父親 (※母子家庭の場合は記入不要です。⇒問13へ)

※空欄には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

宛名のお子さんの病気等の際の対応についてうかがいます

全ての方にかがいます。

《問 13》 この1年間に宛名のお子さんが病気やケガで通学できなかった事がありますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. あった ⇒問 13-1 へ

2. なかった ⇒問 14 へ

問 13 で「1. あった」に○をつけた方にかがいます。

《問 13-1》 宛名のお子さんが病気やケガで通学できなかった場合に、どのように対応しましたか。

この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号 すべて に○をつけてください。

それぞれの日数も空欄に 数字 で記入してください。(半日程度の場合も1日と数えます)

対応方法	日数	
1. 父親が休み対応した	約 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	⇒問 13-2 へ
2. 母親が休み対応した	約 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	約 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	
4. 就労していない父親又は母親が対応した	約 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	
5. 病児・病後児のための保育施設等を利用した	約 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	⇒問 14 へ
6. ベビーシッター等を利用した	約 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	
7. 子どものみで自宅で療養した	約 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	
8. その他 ()	約 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	

問 13-1 で「1.」または「2.」に○をつけた方にかがいます。

《問 13-2》 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても空欄に 数字 でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、料金がかかる場合があるほか、利用前に医療機関の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ➡ 日
2. 利用したいとは思わない

全ての方にかがいます。

《問 14》 今後、病児・病後児保育施設を利用してお子さんを預けたいと思いますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用したい 2. 利用したいとは思わない 3. わからない

《問 15》 送迎サービスがあるとしたら、病児保育施設を利用したいと思いますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

※送迎サービスは保育所等や学校にいる子どもを看護師が迎えに行き預かってくれるもので、自宅にいる場合は対象外です。

1. 利用したい 2. 利用したいとは思わない 3. わからない

宛名のお子さんの不定期の保育や宿泊を伴う施設の利用についてうかがいます

《問 16》 宛名のお子さんについて、親の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。利用している場合、1年間の利用日数（おおよそ）も空欄に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 夜間養護等事業：トワイライトステイ ※児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業	約 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 日
2. ベビーシッター	約 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 日
3. 保育施設等	約 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 日
4. その他（ ）	約 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 日
5. 利用していない ⇒問 16-1 へ	

⇒問 17 へ

問 16 で「5. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

《問 16-1》 現在利用していない理由は何ですか。

- あてはまる番号すべてに○をつけてください。1.
- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 2. 利用したい事業がない
3. 事業の質に不安がある
5. 利用料がかかる・高い
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
9. その他（ ） | 4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数等）がよくない
6. 利用料がわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|

全ての方にかがいます。

《問 17》 宛名のお子さんについて、親の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい不規則な保育サービスや宿泊を伴う事業を利用する必要がある（利用したい）と意思ですか。利用希望の有無・日数をお答えください。

「1. 利用したい」に○をつけた場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、目的別の内訳の日数を空欄に数字でご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 <input type="text"/> 日	⇒問 17-1 へ
①私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日	
②冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	<input type="text"/> 日	
③不定期の就労	<input type="text"/> 日	
④その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 日	
2. 利用する必要はない ⇒問 18 へ		

問 17 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。

《問 17-1》 問 17 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを預かる事業（例：児童館・児童センター等）
2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：子育て支援センター等）
3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ <input type="text"/> ）

全ての方にかがいます。

《問 18》 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思意思ですか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無・日数をお答えください。

「1. 利用したい」に○をつけた場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、目的別の内訳の日数を空欄に数字でご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 <input type="text"/> 日
①冠婚葬祭	<input type="text"/> 日
②保護者や家族の育児疲れ・不安	<input type="text"/> 日
③保護者や家族の病気	<input type="text"/> 日
④その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 日
2. 利用する必要はない	

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

《問 19》 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校授業終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、週（月）当たりの日数も空欄に数字でご記入ください。

「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた場合は、希望する利用時間についても空欄にご記入ください。（24 時間表記。例：19 時）

※児童館・児童センターで行う放課後児童クラブ（延長時間の登録利用者）を利用している場合は「5.」に回答してください。

1. 自宅	週	<input style="width: 30px;" type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input style="width: 30px;" type="text"/>	日くらい
3. 塾や習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input style="width: 30px;" type="text"/>	日くらい
4. 児童館・児童センター ※1	週	<input style="width: 30px;" type="text"/>	日くらい
5. 放課後児童クラブ ※2	週	<input style="width: 30px;" type="text"/>	日くらい → 下校時から <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 まで
6. 放課後子ども教室 ※3	月	<input style="width: 30px;" type="text"/>	日くらい
7. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	週	<input style="width: 30px;" type="text"/>	日くらい
8. 部活動・スポーツ少年団	週	<input style="width: 30px;" type="text"/>	日くらい
9. 保育施設等	週	<input style="width: 30px;" type="text"/>	日くらい
10. その他（公民館、公園など）	週	<input style="width: 30px;" type="text"/>	日くらい

※1 児童館・児童センター…子どもたちの遊びやスポーツを通じて友達の輪を広げ、明るく健やかな児童の育成と体力の増進を図ることを目的とした施設です。

【利用時間】平日：9時30分から18時 学校休業日：8時30分から17時

※2 放課後児童クラブ…保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に小学校の余裕教室（なかよし会）や児童館等を利用して適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図る事業です。

【利用時間】平日：小学校終了後から19時 学校休業日：7時30分から19時

※3 放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。実施している小学校に通っている3～6年生を対象にしており、保護者の就労の有無に関わらず利用できます。

問 19 で「2. 祖父母宅や友人・知人宅」「3. 塾や習い事」「7. ファミリー・サポート・センター」「8. 部活動・スポーツ少年団」「9. 保育施設等」「10. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

《問 19-1》 塾や習い事などへのお子さんの移動手段を教えてください。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 徒歩	2. 自転車	3. 家族等の送迎
4. 公共交通機関	5. タクシー	6. その他（ ）

宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）である方にかがいます。

《問 20》 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。また、それぞれ希望する週（月）当たりの日数を空欄に**数字**でご記入ください。

「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた場合は、希望する利用時間についても空欄にご記入ください。（24 時間表記。例：19 時）

※児童館・児童センターで行う放課後児童クラブ（延長時間の登録利用者）を利用する場合は「5.」に回答してください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 塾や習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館・児童センター	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後児童クラブ	週	<input type="text"/>	日くらい → 下校時から <input type="text"/> 時まで
6. 放課後子ども教室	月	<input type="text"/>	日くらい
7. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	週	<input type="text"/>	日くらい
8. 部活動・スポーツ少年団	週	<input type="text"/>	日くらい
9. 保育施設等	週	<input type="text"/>	日くらい
10. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

問 19 または問 20 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にかがいます。

《問 21》 宛名のお子さんについて、土曜と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。また、利用を希望する時間を空欄にご記入ください。（24 時間表記。例：19 時）

（1）土曜日

1. 現在も利用しており、今後も利用したい	}	→	利用したい時間帯		
2. 現在利用していないが、今後利用したい			<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>
3. 利用する必要はない					

（2）日曜日・祝日

1. 実施されれば利用したい	→	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	時まで
2. 利用する必要はない					

※現在、弘前市では日曜・祝日に放課後児童クラブは実施していません。

問 19 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

《問 22》 放課後児童クラブのサービスについて、気になることはありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に気になることはない	
2. 施設が古い・狭い	
3. 施設が整っていない	① 駐車場
	② トイレ
	③ エアコン
	④ その他 ()
4. 事業の質が気になる	① 1日のカリキュラム
	② 行事の内容
	③ 職員の対応
	④ その他 ()
5. わからない	
6. その他 ()	

《問 22-1》 放課後児童クラブの利用時間に満足していますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 今の利用時間に満足している	2. 平日の終了時間が早い
3. 土曜日、夏休み等の開始時間が遅い	4. 土曜日、夏休み等の終了時間が早い
5. わからない	

《問 22-2》 施設や設備、事業の質又は開始時間や終了時間のサービス向上のために、利用料を徴収することについてどう思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用料の徴収に賛成	⇒問 22-3 へ	} ⇒問 23 へ
2. 利用料の徴収に反対 (今のままでよい)		
3. わからない		

問 22-2 で「1. 利用料の徴収に賛成」に○をつけた方にうかがいます。

《問 22-3》 月額お子さん1人あたりの利用料としていくらが妥当だと思いますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 10,000 円	2. 5,000 円	3. 3,000 円
4. その他 () 円		
5. わからない		

宛名のお子さんの学校長期休暇期間の放課後児童クラブの利用についてうかがいます

全ての方にうかがいます。

《問 23》 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

また、希望する時間を空欄にご記入ください。(24 時間表記。例：19 時)

1. 現在も利用しており、今後も利用したい	} →	利用したい時間帯		
2. 現在利用していないが、今後利用したい		<input type="text"/>	時から <input type="text"/>	時まで
3. 利用する必要はない				

地域における子育て環境や支援についてうかがいます

《問 24》 あなたは、子育てについてどのように感じていますか。

(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

(1) 子育てを楽しみと感じますか

楽しいと感じる	←————→				楽しいと感じない
5	4	3	2	1	

(2) 子育てをつらいと感じますか

つらいと感じない	←————→				つらいと感じる
5	4	3	2	1	

《問 25》 あなたは、子育てに関して孤立感を感じることはありますか。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. ある	2. ときどきある	3. あまりない	4. ない
-------	-----------	----------	-------

《問 26》 ご自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。

(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

(1) 支えられていると感じますか

1. 感じる	2. 感じない
--------	---------

(2) 誰に支えられていると感じますか

1. 近所の人	2. 同じ世代の子どもを持つ保護者
3. 民生委員・児童委員、主任児童委員や町内会などの地域団体の人	4. 子育て支援活動を行っているNPOなどの人
5. 子育て支援などに関わる教育・保育事業の職員	6. 市役所の職員
7. その他 ()	

《問 27》 仕事と子育てを両立させるうえで大変だと思うことは何ですか。

あてはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 配偶者の協力を得にくいこと
2. 自分や配偶者の親などの理解が得にくいこと
3. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりにみてくれる人がいないこと
4. 職場に子育てを支援する制度がないこと (育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など)
5. 職場の理解や協力が得にくいこと
6. 残業や出張が入ること
7. 子どものほかに自分や配偶者の親などの介護をしなければならないこと
8. 子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと
9. 子どもと接する時間が少ないこと
10. その他 ()
11. 特に大変だと思うことはない

《問 28》 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。

あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

満足度が高い	←—————→	満足度が低い		
5	4	3	2	1

《問 29》最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

弘前市
子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査報告書

発行日 令和6年10月
発行元 弘前市健康子ども部子ども家庭課
住所 〒036-8551 弘前市大字上白銀町1-1
連絡先 TEL 0172-35-1131（直通） FAX 0172-39-7003
<https://www.city.hirosaki.aomori.jp/>
集計・分析 株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

